

WKD Y1A 00 D 70 22

Taycan



Taycan

Good to know - 取扱説明書

WKD Y1A 00 D **70 22**

09/2021

車載マニュアル

車載マニュアルは常に車両に保管し、車両を売却する場合は新しいオーナーにお渡してください。

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG

Vertrieb Customer Relations

Porscheplatz 1

70435 Stuttgart

Germany

装備品

ポルシェでは絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書のイラストおよび記載内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。装備品は、標準または国別の車両装備に必ずしも対応していません。追加装備品の詳細については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容が車両の仕様と異なる場合があります。この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店が、すべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明いたします。

取扱説明書のレイアウト

この取扱説明書について



取扱説明書は、車内の車載デジタル形式およびアプリ版が入手可能です。

▷ 2 ページ

初走行



車両について知り、初走行に役立つ主要な機能についてご確認ください。

目次



概要を把握し、確認したいテーマを探すことができます。

トピック



部品やコントロールの仕組み、およびそれらを操作する方法をご覧ください。

▷ 27 ページ

安全性とドライビング プレジャー



ドライビング プレジャーを安全に楽しむ方法をご覧ください。

▷ 4 ページ

テクニカルデータ



特定の図を検索してください。

▷ 296 ページ

概要



部品やコントロールについて十分に慣れてください。

▷ 20 ページ

索引



確認したい情報をすぐに見つけることができます。

この取扱説明書について

警告およびシンボル

この取扱説明書にはさまざまな警告およびシンボルが使用されています。



危険

重傷または死亡に至る危険

「危険」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る危険があります。



警告

重傷または死亡に至る可能性

「警告」欄の警告を守らないと、重傷または死亡に至る可能性があります。



注意

中程度の怪我または軽傷を負う可能性

「注意」欄の警告を守らないと、中程度の怪我または軽傷を負う可能性があります。

知識

車両が損傷する可能性

「通知」欄の警告を守らないと、車両が損傷する可能性があります。



インフォメーション

追加情報は「インフォメーション」という語を用いて記載されます。

✓ 機能を使用するために満たす必要のある前提条件です。

▶ お守りいただく必要のある指示です。

1. 手順が複数のステップに分かれる場合は、番号が付けられています。

2. 従う必要のある手順がセントラルディスプレイに表示されます。

▶ トピックに関する詳しい重要情報が記載されている通知です。

詳細情報

車両、コネクト サービス、および充電機器の詳細情報については、車両に関する車載の取扱説明書およびデジタルポルシェチャンネルをご覧ください。デジタルチャンネルの詳細については、ポルシェ正規販売店にご連絡ください。

車載



取扱説明書は下記のポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM) で確認できます。

▶  ▶ 取扱説明書

免責事項

Apple、Apple ロゴ、CarPlay、iPod、Siri、iPhone、および他の Apple の商標は Apple Inc. の登録商標であり、米国およびその他の国で登録されています。App Store は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. のサービス マークです。iOS は米国およびその他の国における Cisco Technology, Inc. の商標または登録商標であり、Apple によりライセンスに基づいて使用されています。Android、Android Auto、Google Play および Google Play ロゴは Google LLC の商標です。

目次

安全性とドライビングプレジャー.....	4	ブレーキ.....	105	ファンクション オンデマンド (FoD).....	204
概要図		走行モード.....	107	デバイス マネージャー.....	206
センサーおよびカメラ.....	21	車両の始動、走行、駐車.....	109	ホーム画面および個人画面.....	208
給油口.....	22	スピードリミッター.....	114	メディア.....	209
運転席.....	23	リヤスポイラー.....	118	メッセージ.....	212
運転席.....	24	HOLD 機能.....	118	ナビゲーション.....	213
オーバーヘッド コンソール.....	26	インターセクションアシスト.....	119	オンライン ソフトウェア アップデート.....	218
トピック.....	27	ライト.....	121	ポルシェ コネクト.....	220
開閉操作とロック		ナイト ビュー アシスト.....	127	スマート サービス.....	223
警報システム.....	28	緊急停止機能.....	128	スポーツ クロノ ストップウォッチ.....	224
キー.....	29	パークアシスト.....	130	電話.....	227
ウィンドウ.....	31	一般的な安全に関する指示.....	133	荷物および運搬	
ボンネット.....	33	ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM).....	134	収納スペース.....	232
一般的な安全に関する指示.....	35	ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM).....	137	ルーフトランスポート システム.....	233
リヤリッド.....	35	付属品およびシステムの初回アクティベーション.....	139	ドリンクホルダー.....	241
セントラル ロック.....	38	ドライバー カードによる / ドライバー カードなしでの PVTs の操作.....	139	ラゲッジ コンパートメント.....	243
エアコンおよび人間工学		フロント ウィンドウワイパー.....	140	スモーカーズ パッケージ.....	250
エアバッグ.....	46	レーン キープ アシスト.....	144	電気ソケット.....	251
インテリアライト.....	48	レーンチェンジアシスト (LCA).....	147	モビリティおよび軽修理	
チャイルドシート.....	49	クルーズコントロール.....	151	12V バッテリー.....	252
高度なオート エアコンによるエアコン システム (2-/4-ゾーン エアコン).....	60	ディスプレイ.....	153	けん引.....	256
ステアリング ホイール.....	71	警告およびブレーキ アシスト.....	154	ブレーキ フルード.....	259
パーソナル設定.....	72	表示および入力		クーラント.....	260
シート ベルト.....	74	ヘッドアップディスプレイ.....	157	充電.....	261
シート.....	77	インストールメント パネル.....	158	緊急電話システム.....	271
サンバイザー.....	82	センター コンソール コントロール パネル.....	169	車両のお手入れ.....	272
ミラー.....	83	ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM).....	173	タイヤおよびホイール.....	278
運転 / ドライバー アシスタンス		ボイス コントロール.....	181	パンク.....	287
アダプティブ クルーズコントロール (ACC).....	87	警告および情報メッセージ.....	184	ヒューズ.....	290
アクティブ パーキング サポート.....	93	操作および使用		ジャッキおよびリフティング プラットフォーム.....	294
アクティブ レーン キープ.....	99	Android Auto.....	192	ウォッシュャー液.....	295
リヤ クロス トラフィック アラート.....	103	Apple CarPlay.....	193	テクニカル データ	
降車警告.....	104	通知.....	196	テクニカル データ.....	296
		車両設定.....	197	無線機器 (EU 地域内).....	307
				無線機器 (EU 地域外).....	310
				索引.....	323

安全性とドライビング プレジャー

あなたの貢献

ポルシェ車は最高のパフォーマンス、最高のスポーツ性を誇り、魅力的な体験を満喫できることは間違いありません。しかし、それはどんな状況でもお客様がリラックスできる場合に限られます。これは、ポルシェが安全性も最高水準の質と同じくらい重要な問題であると考えているからです。

ポルシェ車の運転中に安全を確保する上で、お客様にどのような役割を果たしていただけるかをこちらで説明します。

完璧なテクノロジー：安全性の前提条件

高品質な材料と優れたワークマンシップにより、この車両は今後何年間もお乗りいただくことができるでしょう。ポテンシャルを最大限に発揮するには、車両の点検およびお手入れが必要です。それによって、危険な状況においてもポルシェ車の信頼できる走行性能が保証されます。

電気自動車の特徴について



高電圧車両電気システムの高電圧および高電圧バッテリーは非常に危険です。損傷のある電気システム構成部品（高電圧ケーブル、オンボード

充電器、高電圧補助ヒーター、高電圧バッテリー、電動モーター、パワー エレクトロニクス、エアコンコンプレッサーなど）に触れると、致命的な感電を引き起こす恐れがあります。

高電圧電気システムの高電圧ケーブルおよび他の構成部品はオレンジ色です。電気システムすべての構成部品は、警告ステッカーでマークされています。



1 高電圧によって重傷または死亡に至る可能性があります。指、工具、装飾品やその他の金属製の物体でバッテリー端子に触れないでください。

2 高電圧バッテリーには危険な液体および固体が含まれています。ガスが放出された場合、重度の火傷および失明を招く可能性があります。高電圧バッテリーの作業時は、バッテリー液が皮膚や目に触れないように、必ず適切な保護メガネと保護服を着用してください。バッテリー液が皮膚と目に付着した場合、該当箇所をきれいな流水で15分以上洗浄し、直ちに医師の診察を受けてください。

3 高電圧バッテリーは可燃性です。高電圧バッテリーを火気、スパーク、裸火にさらさないでください。損傷やフルード漏れを防ぐため、高電圧バッテリーは必ず慎重に取り扱ってください。

4 お子様を高電圧バッテリーに近づけないでください。

5 詳細については、取扱説明書およびワークショップの資料を参照してください。

6 高電圧バッテリーの不正な取り扱いによって、重傷または死亡に至る可能性があります。高電圧バッテリーのカバーを取り外したり、高電圧バッテリーを取り外したりしないでください。

7 高電圧バッテリーの不正な取り扱いによって、重傷または死亡に至る可能性があります。高電圧バッテリーのメンテナンスは、適切な資格を持ちトレーニングを受けた専門のスタッフのみが行ってください。高電圧バッテリーを改造しないでください。開いている高電圧バッテリーが氷や他の液体に決して触れないようにしてください。液体によって、短絡、感電、火傷を招く恐れがあります。

▶ 高電圧車両電気システム、オレンジ色の高電圧ケーブル、オンボード充電器、高電圧補助ヒーター、高電圧バッテリー、パワー エレクトロニクス、エアコンコンプレッサー、モーター/ジェネレーター、その他の電気システム構成部品には作業を実施しないでください。

▶ オレンジ色の高電圧ケーブルを損傷したり、高電圧車両電気システムから取り外したり、切り離したりしないでください。

- ▶ 事故の後などに、損傷した電気リカルシステムの部品に触れないでください。疑わしい場合：感電や火傷などの致命傷を負う危険があるため、オレンジ色のケーブルや高電圧システム(800V)の他の構成部品に触れないでください。
- ▶ 事故の後などに、損傷した電気リカルシステムの部品に触れないでください。
- ▶ 高電圧バッテリーを取り外さないでください。
- ▶ 警告ラベルまたは警告標識を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。
- ▶ 警告ステッカーが貼り付けられている高電圧システム構成部品のカバーを取り外さないでください。
- ▶ 高電圧システムの損傷や作動不良に関して表示される警告メッセージには常に注意を払い、指示に従ってください。疑わしい場合：車両を直ちに安全な場所に停車し、車両から離れてください。
 - ▷ 163 ページの「警告灯およびインジケーターライト」の章を参照してください。
- ▶ 損傷したバッテリーは発火する恐れがあります。直ちに安全かつ適切な場所で停車してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
 - ▷ 163 ページの「警告灯およびインジケーターライト」の章を参照してください。

駆動力

通常、バッテリー式電気自動車で利用できる駆動力は、電力要件の持続時間、バッテリー電圧、温度のようなさまざまな要素によって異なります。標準のローンチコントロールを使用する場合、規定出力は 10 秒以上利用可能で、規定オーバースト出力は 2.5 秒以上利用できます。特に、スポーティな走行またはクイック充電スタンドでの充電によって、バッテリー温度が上昇し、駆動力が一時的に低下する可能性があります。物理的状況が原因で、規定加速値に達するために必要な最大出力を数回呼び出すことができますが、任意に連続で呼び出すことはできません。

聞こえやすさの低下

電気自動車は、内燃エンジン搭載車と比べて、運転および走行時の騒音が大幅に低減されています。交通静音化対策地域、後退または駐車時など特定の状況下では、他の通行者に車両の音が聞こえないことがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。

電磁互換性

物理法則により、あらゆる電気機器の周辺には電磁場が生成されます。これは、車両の電装品にも当てはまります。ポルシェは、製品の開発初期段階でさえ、製品が乗員や通行人の健康に影響を及ぼさないようにすることを重視してきました。ポルシェは、国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) の時変電界、磁界、電磁場の暴露限度のガイドラインを厳守し、従っています。ICNIRP は、国際連合世界保健機関 (WHO) などの国内および国際健康機関と緊密に連携する非営利科学機関であり、どの業界からも独立しています。上記の基準に従って、隣接するデバイスとインプラントの機能はポルシェ社の製品の影響を受けていません。しかし、市場にはさまざまなインプラントが多数あるため、個別のケースごとに具体的な説明をすることはできません。医療に関する質問がさらにある場合は、医師に相談することをお勧めします。

車両の損傷および正常な動作の点検



たとえば、技術的な損傷のある車両は不適正な作動により、事故を引き起こす恐れがあります。

- ▶ 車両を定期的に点検し (少なくとも 1 か月に 1 度および長時間のドライブの前)、良好な状態であることを確認してください。特に、以下の点に注意してください。
 - タイヤに損傷がなく、空気圧は適正で、トレッドの残り溝も十分にある
 - ヘッドライト、ブレーキライト、および方向指示灯がすべて作動する
 - エアロ パーツに損傷がない
 - ワイパー ブレードに損傷がない
 - ウィンドウに亀裂や損傷がなく、視界が遮られていない
 - ドア ミラーおよびルーム ミラーに損傷がなく、正しい位置になっている
 - センサーおよびカメラにひび割れまたは損傷がない
 - クーリング エア ダクト、センサー、およびカメラの動きを妨げるものがない (フィルム、ストーン ガードまたはライセンス プレート ホルダーなど)
- ▶ 電話や無線装置は、外部アンテナに接続して車内でのみ使用し、車内の電磁波レベルが限界値を超えないようにしてください。

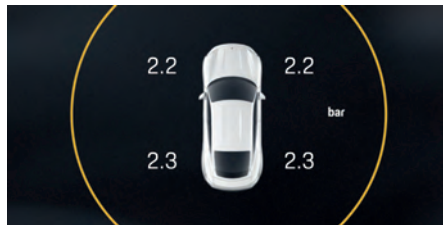
タイヤの損傷点検



損傷したタイヤは走行中にバースト (破裂) する恐れがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 走行頻度や状態に応じて、少なくとも月に 1 度は定期的にタイヤを点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、膨れなどがないかを確認してください。タイヤの側面も必ず点検してください。
- ▶ 損傷の疑いがある場合は、ポルシェ正規販売店でタイヤおよびホイール全体の点検を受けてください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を**続け**ないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧の調整



タイヤ空気圧が極端に低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷が発生するだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。タイヤの空気圧が低すぎると、燃費が著しく増加し、可走距離が減少する可能性があります。

- ▶ タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。

▶ 278 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

▶ 296 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

- ▶ マルチファンクションディスプレイのタイヤ空気圧モニタリングメニューにある設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載荷重と一致していることを確認してください。

▶ 278 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。

- ▶ インストルメントクラスターに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。損傷したタイヤを装着したままで運転を**続け**ないでください。必要に応じてタイヤシーラントで応急処置を行ってください。

▶ 287 ページの「パンク」の章を参照してください。

ライトの点検



ライトが故障すると、車両前方が照射されず、視界不良時に前方が見づらくなります。他のドライバーがあなたの車両に気付くのが遅れ、事故を引き起こす恐れがあります。

以下のライト類を点検してください。

- パーキングライト、ロービーム、ドライビングライト、ハイビーム
- 方向指示灯、ブレーキライト、リバースライト
- フォグライト
- ▶ すべてのライト類が正常に機能していることを確認し、故障したライトは速やかに修理してください。

エアロパーツの点検



エアロパーツ（スポイラーまたはアンダーボディパネル）が損傷または紛失していると、ハンドル操作が正常に行えなくなります。

- ▶ 車両に損傷の兆候がないか点検します。
- ▶ 損傷または紛失した部品は速やかに交換してください。

ウィンドウおよびワイパー ブレードの清掃およびメンテナンス



ウィンドウの汚れやワイパー ブレードに不具合があると、視界を遮るので事故を起こす危険が著しく高まります。

- ▶ 車両およびウィンドウは常にきれいな状態に維持してください。
- ▶ ワイパー ブレードは凍結を溶かしてから、フロントウィンドウから剥がしてください。
- ▶ ワイパー ブレードは定期的に、または少なくともフロントウィンドウに筋が残るようなら交換します。
 - ▷ 140 ページの「フロントウィンドウワイパー」の章を参照してください。

メンテナンスおよび仕様変更はポルシェ正規販売店以外では行わないでください



車両を改造すると、安全機能に悪影響を与えるばかりでなく、その機能が失われる恐れがあります。認可されていない作業の実施は、保証期間内であっても請求が無効になることがあります。

- ▶ 車両のすべてのメンテナンスおよび仕様変更は必ずポルシェ正規販売店で行ってください。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

故障診断用ソケット



故障診断用ソケットは、ポルシェ正規販売店で故障診断機器を接続するために使用されます。

外部装置（ナビゲーションユニット、ヘッドアップディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続すると、車両システムの機能に支障をきたしたり、車両がOFFのときにバッテリーが消耗または損傷（完全放電）した

りする恐れがあります。外部機器またはケーブルは、制動時またはカーブ走行時にペダル作動の障害となったり、ペダル間に挟まったりする可能性があります。

- ▶ いかなる装置も故障診断用ソケットに接続しないでください。
- ▶ 運転席の足元に機器またはケーブルなどの物を置かないでください。

ポルシェのスペア パーツ



- ▶ ポルシェ純正スペア パーツ、またはポルシェの仕様や製造要件に従って製造された同等品質のスペア パーツのみを車両にご使用ください。正規販売店にご依頼いただくと、車両の信頼性や安全走行性が保証され、誤った整備による車両の破損を防ぐことができます。これらの部品は、ポルシェ正規販売店から入手できます。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェ テクニッパメント シリーズのアクセサリ、またはポルシェが検査および認定したアクセサリのみをご使用ください。ポルシェ テクニッパメントに関するインフォメーション：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

① インフォメーション

他社製のスペア パーツまたはアクセサリを使用し、それにより損傷などが発生した場合、ポルシェはいかなる責任も負いかねます。スペア パーツやアクセサリを供給しているメーカーが認定メーカーであっても、車両の安全性が損なわれる恐れがあります。

ポルシェ社の承認していないスペア パーツまたはアクセサリを使用すると、車両の保証が適用されないことがあります。

荷物、安全装備、車両に子供を乗せるとき：ポルシェ ドライバーへの注意事項

ポルシェ車両は 100 km/h を超えるまでわずか数秒という加速タイムを誇ります。これほどのパワーを思いのままに操るには、お出かけの前に万全の準備をして安全を確保する必要があります。

そのため、走行前の準備にも走行するときと同等の情熱を注いでください。

あなたの命を守るもの：シートベルトの正しい使用方法



シートベルトは、正しく使用されていて完全に機能している場合にのみ、乗員を怪我から守ります。

① インフォメーション

シートベルトを着用しない場合、30 km/h という低速でも重症を負う場合があります。安全装備はシートベルトと組み合わせることで乗員を保護します。たとえば、エアバッグはシートベルトも適切に着用している場合のみ、適切な保護効果を発揮することができます。

- ▶ 短い距離の運転であっても、必ずシートベルトをしっかりと着用してください。
- ▶ 1つのシートベルトが固定するのは、乗員1人だけです。
- ▶ だぶついた衣服、厚手の衣服(例：冬物コート)は脱ぐようにしてください。
- ▶ 硬い物または壊れやすい物の上からシートベルトを締めないでください(例：メガネやボールペン)。
- ▶ シートベルトがねじれないようにしてください。
- ▶ 使用していないシートベルトは、必ず完全に格納するようにしてください。
- ▶ 妊娠中の方：腰部ベルトを腹部を避けて腰骨の低い位置にかけ、肩ベルトは胸部に密着させてください。
- ▶ 摩耗または損傷している場合は、ベルト、ベルトバックルまたは取り付け部を交換してください。
 - ▶ 74 ページの「シートベルト」の章を参照してください。

エアバッグ



エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用して正しく着席している場合のみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

- ▶ 乗員とエアバッグが展開する間のエリアに、人や動物がいないように、また物がないようにしてください。
- ▶ エアバッグから一定の距離を保ち、ドアの内側にもたれかからないでください。走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。作動しなかったり、予期せぬタイミングで作動したりする恐れがあります。予期せぬタイミングでエアバッグが作動すると、重傷を負う可能性があります。

- ▶ シートカバーを装着しないでください。
- ▶ ステアリングホイールまたはエアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグの部品を取り外さないでください(例：ステアリングホイール、フロントシート、天井の内張り)。
- ▶ エアバッグの配線や部品を改造しないでください。

▶ 46 ページの「エアバッグ」の章を参照してください。

車内の荷物をすべて固定する



車内の荷物を固定しなかったり不適切な位置に載せたりすると、ブレーキやステアリングを操作したとき、加速時、または事故の際に、投げ出される可能性があります。これは乗員を危険にさらし、怪我につながる恐れがあります。

ⓘ インフォメーション

たとえば、50 km/h で衝突した場合、固定していない荷物はその重量の最大 50 倍の力で前方に投げ出される可能性があります。たとえば、1.5 リットルの水が入っているペットボトルは 75 kg の力で車内に放り出されます。

- ▶ 荷物を運ぶ場合には必ず固定してください。
- ▶ 可能な場合は、必ず荷物をロック可能な小物入れに入れて運んでください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントなどの荷物は必ず固定して積載してください。
- ▶ 小さな物は小物入れに収納し、ロック可能な小物入れをすべて閉じてください。必ず小物入れから荷物がはみ出さないようにしてください。
- ▶ ダッシュボードの上には絶対に物を置かないでください。

- ▶ タイダウンベルトで荷物を固定してください(引き裂き強度は最低 700 kg)。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ また、乗員に安全対策についての情報を提供してください。

正しくポルシェに荷物を積載し、収納するために：

- ▶ 232 ページの「収納スペース」の章を参照してください。
- ▶ 243 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

挟み込み防止



以下に記載されている車両構成部品の可動範囲に人や動物がいると、挟まれたり押しつぶされたりする可能性があります。特に以下の部品が挙げられます。

- 調整式フロントシート
- ドア
- ウィンドウ
- カバーおよびリッド
- 小物入れのリッド
- ▶ これらの車両部品を動かすときには可動範囲に人や動物がいらないことを確認してください。

子供の行動を監視する



子供は危険を正しく判断できないことが多く、危険な状況で不適切に行動する場合があります。

子供は誤って自動設定（座席調整など）を作動させて怪我する可能性があります。子供は緊急時（車内の過熱状態など）に車両から降りることができません。これは、特に小さな子供にとって命に関わります。

- ▶ お子様を高温部品や作動中の部品に近づけないでください。
- ▶ タイヤシーラントなどの有毒物質は、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。

チャイルド シートの安全な使用



チャイルドシートは、正しく装備された場合にのみ効果を発揮します。

- ▶ **必ず**ボルシェによって承認されているチャイルドシートを使用してください。
- ▶ チャイルドシートを使用する前に：本マニュアルに加え、チャイルドシートのメーカーの取扱説明書を読み、従ってください。
 - ▶ 49 ページの「チャイルドシート」の章を参照してください。

安全で優れたドライビング：常に正しい判断をする

ボルシェ車はオールラウンダーです。ローンチコントロール機能から緊急ブレーキ機能まで – この車で走り出せば、すべてが可能になります。その一方で、最終的にこの能力を常に制御下に置く責任はドライバーにあります。

注意力の低下を防ぐ



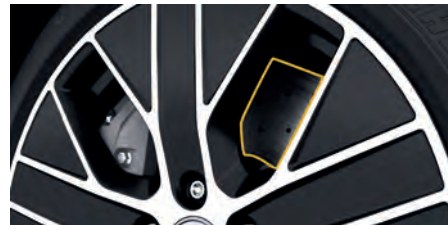
走行中にディスプレイやその他の装置を操作すると、周囲の交通状況に対する注意力が低下し、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。安全のため、一部の機能は停車中のみ利用できます。

- ▶ 運転中にミラーやシート、ステアリングホイールの調整は行わないでください。シートやステアリングホイールが思った以上に動く場合があります。

す。車両のコントロールを失う恐れがあります。ミラー、シート、ステアリングホイールの位置調整は運転前に行ってください。

- ▶ マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの運転中の使用は、交通状況が許す場合のみにしてください。不確かな場合は、安全に操作できるよう停車してください。
- ▶ 運転席からリヤのタッチディスプレイの操作を行わないでください。
- ▶ 運転中は携帯電話やその他の携帯デバイスを使用しないでください。
- ▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。
- ▶ 運転中にステアリングホイールのスポークの間に手を差し込まないでください。これらを遵守しない場合、危険な状況に素早く反応できなくなる恐れがあります。

雨天や降雪時のブレーキの挙動についての把握



大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキ内に水が浸入する可能性があり、ブレーキの反応が遅れたり、ブレーキペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

さらに、冬季の路面を長距離にわたって走行すると、ブレーキディスクやパッドに被膜ができて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。

- ▶ 特に停車前には、ブレーキが乾いた状態になるようブレーキをかけてください。これにより腐食を防ぐことができます。
- ▶ ブレーキが腐食すると激しい振動が発生しやすくなります。ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ブレーキシステムの点検を受けてください。

適切なタイヤと適切な運転スタイル



▶ 278 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

走行中にハンドルをとられたり、振動が発生したりした場合の適切な反応

タイヤや車両に損傷があると、走行中にハンドルをとられたり振動が発生したりすることがあります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。
- ▶ 停車してタイヤを点検してください。不具合の原因がわからないときは、慎重に運転し、不具合の修理を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経

験豊富なスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤの安全な状態の維持

タイヤが損傷すると、特に高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。タイヤを保護するように運転し、タイヤの損傷を防いでください。

- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
- ▶ 段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

新しいタイヤの慣らし運転

- ▶ 新品のタイヤを装着してから最初の 200 km は、抑制した速度で慣らし運転を行ってください。

ウィンタータイヤでの走行

ウィンタータイヤには最高速度が指定されています。最高許容速度を超えると、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

- ▶ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。

サマータイヤでの走行

外気温度が 15°C 以下のときに、駐車や操作、カーブからの加速などで騒音が出ることがあります。

- ▶ 外気温度が 7°C を下回る場合、ウィンタータイヤに交換してください。

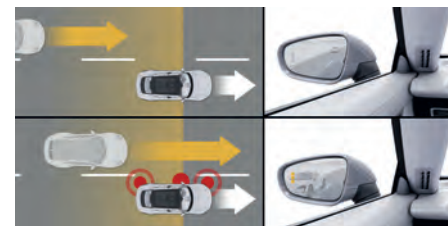
スポーツタイヤでの走行

特別なスポーツタイヤ（ウルトラハイパフォーマンスタイヤ）がサマータイヤとして車両に装備されている場合があります。このタイプのタイヤは一般道路での使用が認証されており、法律等の基準および安全基準に適合しています。このタイヤはレースサーキット（安全

運転トレーニングコース、スポーツドライビングスクール、クラブスポーツイベント）での使用に適した設計になっており、通常のタイヤに比べて、ドライ時のグリップおよび摩耗の面で優れた特徴を備えています。スポーツタイヤは、-7°C を下回る非常に低い温度下では硬化します。このような状態は、タイヤのひび割れや摩耗につながります。

- ▶ 外気温度が約 -7°C を下回るときは車両を走行させないでください。

アシスタンスシステムおよびその制限



車両には、安全性と乗り心地を高めるアシスタンスシステムが装備されています。

ただし、これらのシステムのいずれも物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ 走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。アシスタンスシステムは、不適切な運転スタイルによる事故の危険性を低減することはできません。
- ▶ アシスタンスシステムを過信せず、安全運転を心がけてください。周囲の交通状況に適切な反応ができるように、常に慎重な運転をしてください。
- ▶ 使用する前に、アシスタンスシステムについて十分に理解してください。

緊急ブレーキ機能



通常のフットブレーキが故障している場合などは、エレクトリックパーキングブレーキを使用して緊急ブレーキをかけることができます。

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。そのために後続の車両が危険にさらされる可能性があります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用し、通常走行時の使用は避けてください。
- ▶ 緊急停止の場合は、**[P]** ボタンを押します。ブレーキを解除するには、ボタンを放してください。
 - ▶ 105 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

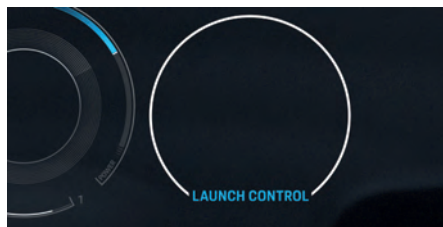
荷物積載時の運転



車両の操縦性は積載量によって変化します。ルーフトランスポートシステムを使用しているときは、空気抵抗も大きくなります。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムを装着して荷物を積載しているときは、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 装着したルーフトランスポートシステムに荷物を載せていないときは、180 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。
- ▶ ポルシェ テクニクメントの積載器具については、速度に関する情報が異なる場合があるため、積載器具の取扱説明書に従ってください。

発進



特にローンチコントロールを使用する場合、車両は発進時に急加速します。特定の状況(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)では、車両の制御が失われたり、他のドライバーに危険が及んだりする恐れがあります。

- ▶ 発進時や走行時には、道路や交通状況に合わせて速度を調節してください。
- ▶ 路面状況や周囲の交通状況から判断して、安全が確保できる場合に限ってローンチコントロールを使用してください。
- ▶ 発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。

警告音への適切な反応



システムが故障または不良部品を検知すると、インストルメントクラスターまたはセントラルディスプレイから警告灯の点灯またはメッセージによりドライバーに警告が行われます。車両の警告信号を無視すると、事故、怪我および車両の損傷の恐れが高まります。

- ▶ 警告に適切に対応できるよう、運転の開始前に警告灯およびメッセージの意味を十分に理解してください。必要であれば停車してください。
 - ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
 - ▶ 163 ページの「警告灯およびインジケータライト」の章を参照してください。

有害なフルード

9000_279



トランスミッションオイルに加えて、バッテリー液、クーラント、およびブレーキフルードも人体に有害です。

- ▶ 屋外または十分に換気されている場所でのみ、車両の作業を行ってください。
- ▶ オイルや液体類の容器には適切なラベルを貼り、お子様の手が届かない所に保管してください。
- ▶ 残ったフルードの廃棄は、規制に従い環境に影響が少ない方法で行ってください。

安全な駐車



車両を適切に駐車しなかった場合、不意に動き出して人や物に損傷を与える恐れがあります。

車両から離れる前に、以下の点に注意してください。

- ▶ セレクターレバーの **P** ボタンを押して、パーキングロックと電動パッシングブレーキを作動させてください。インストルメントクラスターでトランスミッションレンジ **P** が点滅している

場合、パーキングロックが正しく動作していません。セレクターレバーの **P** ボタンをもう一度押してください。

万が一の場合：故障および緊急時の安全確保

安全のため - 故障時には、以下の情報に注意してください。

緊急時はボイスコントロールを使用しない



緊急時は緊張のために声が変わり、ボイスコントロールが指示を認識できなくなる恐れがあります。

- ▶ 緊急時はボイスコントロールを使用しないでください。

加熱した車両部品



走行中はシャーシ部分の車両部品および隣接する構成部品が非常に高温になります。

ファンはいつでも自動で動作する可能性があります。

- ▶ 車両を停止し、可能であれば冷却させます。
- ▶ 身体の一部、衣服、長い髪、装飾品などは、ファンなどのすべての可動部品から遠ざけてください。
- ▶ 高温部品から守るため保護手袋を着用してください。

車両で特定の作業を行う際は、保護装備(切り傷防止用の手袋など)を着用する必要があります。

- ▶ 車両の作業は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊富なスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

高電圧バッテリーまたはエアコンシステムがあらかじめ正常に調整されている場合、湿度の高い環境(雨の中の走行後、または洗車後など)では右フロントホイールハウジングに蒸気が発生する可能性があります。

- ▶ 車両の使用は制限なく続けることができます。

けん引



けん引または押しがけによる始動により、車両に重大な損傷を与えるリスクがあります。

- ▶ けん引または押しがけによる始動は**行わない**でください。
- ▶ 車両をけん引するまたは車両がけん引される前に：
 - ▷ 256 ページの「けん引」の章を参照してください。

パンクしたとき



損傷したタイヤで走行するときは、速度によっては安全にステアリングを操作できなくなる恐れがあります。

- ▶ 決してパンクしたタイヤで走行**しない**でください。
- ▶ 安全な場所に正しく停車して、不具合を修理してください。
 - ▷ 287 ページの「パンク」の章を参照してください。

衝突後



衝突後は、安全装備（例：シートベルト プリテンショナーおよびエアバッグ）が作動しない場合があります。これにより、安全装置によって保護することができなくなります。

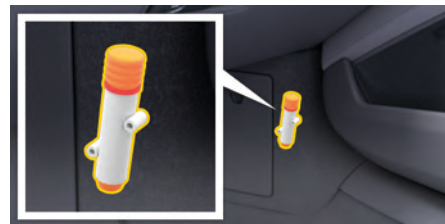
- ▶ 安全装置が作動してなくても、点検を受けてください。
- ▶ 一度作動した安全装置は必ず取り替えてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

緊急装備を携行する



一般的に、緊急装備を車両に携行することをお勧めします。

発煙筒



発煙筒は、事故や道路の欠陥のために車両を停止する必要がある場合に、周辺地域に警告するために使用されます。発煙筒は、ドア側の助手席の足元に取り付けられています。

▲ 警告

使用すると火傷や火災の原因となることがあります。

- ▶ 発火の危険性があるため、可燃物の近くで発煙筒を使用しないでください。
- ▶ 火傷の恐れがありますので、使用中は発煙筒を顔や体に向けたり、顔や体の近くに持ったりしないでください。
- ▶ 発煙筒は子供の手の届かない所に保管してください。不適切な使用は、火傷や車両の損傷を引き起こす可能性があります。

▲ 注意

トンネルで発煙筒を使用すると、事故を引き起こす可能性があります。

- ▶ トンネルなどの空気循環の悪い場所で使用すると、発煙筒からの煙が視界を損なうため、事故の原因となることがあります。必要に応じてハザードライトを点灯します。

発煙筒を使用する

1. キャップを取り外します。ケースをひねって発煙筒をゆるめます。
2. 発煙筒の後端をケースに挿入します。
3. 発煙筒は、点火ヘッドをキャップの点火面にこすりつけることによって点火されます。

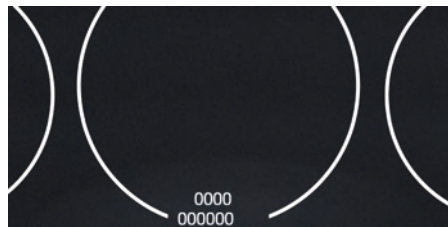
① インフォメーション

発煙筒は約5分間燃えます。

発煙筒には有効期限があります。印刷されている有効期限前に、発煙筒を交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。

お出かけの前に：車両に関する重要な情報

車両の慣らし運転



新車時は可動部品同士を馴染ませる慣らし運転を行う必要があります。走行距離が3,000 kmに達するまでは慣らし運転が必要となります。この慣らし期間中は、オイルや燃料の消費量が既定量よりも若干多くなります。

慣らし運転期間は次の点に注意して運転してください。

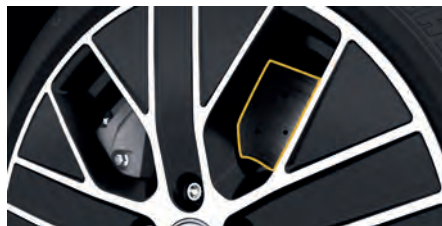
- ▶ なるべく長距離走行をする。
- ▶ モータースポーツイベント、スポーツドライビングスクールなどに参加しない。

工場設定へのリセット

必要に応じて(車両を販売する前など)、車両のシステムを工場設定にリセットできます。

- ▶ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。

新しいブレーキパッドの慣らし運転



車両を数百マイル走行させると、新しいブレーキパッドおよびブレーキディスクの「慣らし」が終わり、最適な摩擦力に達します。

ブレーキ性能が若干減少している場合、ブレーキペダルを踏むときに普段より大きな力が必要になります。ブレーキパッドやブレーキディスクを新品に交換した場合もこれと同じ状況になります。

地上高に注意する



この車両は地上高が低いいため、路面に接触しやすくなります。

- ▶ 急な傾斜路での走行は避けてください。
- ▶ 以下の状況では注意して走行してください。
 - 立体駐車場など、急勾配の上り坂や下り坂を走行する場合
 - 充電スタンドなど、縁石やスピードバンプ付近を走行する場合
 - 凹凸のある路面を走行する場合
 - 段差台がある場合

▶ 水たまりや浅瀬の走行時は、車体の下側を水に浸さないようにしてください。

▶ 車両が路面に接触した場合は、駐車して、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

サーキット走行



公道走行時に比べて、サーキット走行には過度に高い車両負荷が伴います。レース専用車両は、点検および構成部品の整備間隔が短いため、その負荷に耐えることができます。この点検および整備には、各サーキットでの

走行後に点検を実施し、必要に応じて個別に構成部品を交換し、規定された期間後には部品全体をオーバーホールすることが含まれます。

- ▶ レース サーキットでの走行前には、最新の規定についてお近くのポルシェ正規販売店にご確認ください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

サーキットの走行後は「クーリングラップ」走行を実施し、特に高い熱負荷にさらされる車両部品の温度を、温度上昇を抑制できる方法で下げる必要があります。車両をすぐに駐車すると、停止時の発熱によって構成部品の温度をさらに上昇させる結果につながります。この温度上昇は、個々の部品に修復不能な損傷を与える恐れがあります。

ブレーキシステム

ブレーキフルードは時間とともに空気から湿気を吸収します。水分を吸収すると沸点が低下し、高温時にブレーキの効きが大幅に低下することがあります。レースサーキット走行時、ブレーキパッドおよびブレーキディスクには非常に高い負荷がかかります。

- ▶ 使用開始から12か月以上経過したブレーキフルード：サーキット走行前に交換してください。
- ▶ レースサーキット走行の前後に、ブレーキパッドおよびブレーキディスクの摩耗点検を行ってください。

タイヤ

レースサーキット走行時、タイヤにも非常に高い負荷がかかります。

- ▶ レースサーキット走行の前後に、タイヤの摩耗点検を行ってください。
- ▶ レース用タイヤは装着しないでください。ポルシェ社はレース用タイヤを承認していません。

海外での走行の前に



すべてのポルシェモデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペアパーツが入手できない、あるいはポルシェ正規販売店で修理作業が行えない場合があります。

海外で走行する前に、次の情報をご確認ください。

- 車両故障時に修理を受けることができますか？
- 車両は技術的調整を必要としていますか？
- 左側 / 右側通行の違いに合わせてヘッドライトを切り替える必要がありますか？

▶ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。

車両のデータ処理



この車両は ECU 装備車です。これらの一部は車両の操作安全性に必須で、その他は走行アシスト機能 (ドライバー アシスタンス システム) を提供します。さらに、

車両には電子コントロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

各車両には固有の車台番号があります。この車両識別番号 (VIN) は、欧州連合内の地方自治体を通じて、車両の現在の所有者と以前の所有者までさかのぼることができます。車両登録番号の使用など、車両から収集されたデータをオーナーまたはドライバーまでさかのぼって追跡する他の方法もあります。

車両のテクニカルデータの保存

ECU は、車両の状態、コンポーネント負荷、サービス要件、事象、故障などに関する技術的な情報を一時的、または永久的に保存するデータメモリーを備えています。一般的に、この技術的な情報には、次に挙げる構成部品、モジュール、システムまたは環境のステータスが記録されています。

- システム構成部品の作動モード (例：給油レベル)
- 車両および個々の構成部品 (例：ホイール回転数、速度、減速、横加速度) に関するステータスメッセージ
- 重要なシステム構成部品の故障 (例：ライト、ブレーキ)
- 車両を損傷する可能性のあるイベントに関する情報
- 特別な走行状況での車両の反応 (例：エアバッグの展開、スタビリティコントロールシステムの作動)
- 環境要因 (例：温度)

実際の車両機能に加えて、このデータを使用して故障の検出および修正を実施し、メーカーが車両機能を最適化することができます。このデータの大部分は揮発性メモリーで、車両自体で処理されるのみです。データのわずかな一部分のみがイベントメモリーまたは故障メモリーに保存されます。さらに、車両には電子コント

ロールユニットにより実現可能になったコンフォート機能およびエンターテインメント機能が装備されています。

テクニカルデータの読み出し

必要に応じて、有償でワークショップなどの技術専門家の助けを借りて、車両にのみローカルで保存されたデータを読み出すことができます。このために法定規定が存在する個々のケースでは、政府機関の要請に応じてメーカーが保存したデータを必要な範囲で開示することが、メーカーとしてのポリシーに義務付けられる場合があります(例：犯罪行為の場合の事実認定のため)。

車両の整備時、サービス ネットワーク作業者(例：ワークショップ、ロードサービス、メーカー)は、車両からこの技術情報を読み出すことができます。サービスには修理サービス、サービス プロセス、保証請求および品質保証基準が含まれます。データは車両の OBD (オンボード診断) 用に法的に規定された接続を使用して読み出されます。データは、該当するサービス ネットワークのスタッフにより収集され、処理され、使用されます。また、製品監視義務に準拠し、あるいは品質向上などのためポリシーに送信される場合があります。車両の故障メモリーおよびイベントメモリーは、修理またはサービス実施とともに修理ワークショップでリセットされる可能性があります。

車両の機能の利用

選択された装備オプションの範囲内で、マルチメディアおよび住所録データなどの情報、またはナビゲーション目的地およびその他の設定を車両のコンフォート機能およびインフォテインメント機能に入力できます。このデータは車両にローカル保存されるか、車両に接続しているデバイス(例：携帯電話、USB スティック、MP3 プレイヤー)に保存されます。車両にこのデータが保存された場合、いつでも削除できます。このデータは特にオンライン サービス使用中、ユーザーが選択した設定にのみ基づいて、ユーザーが要求した場合に限り第三者に送信されます。

車両に必要な装備がある場合は、接続した携帯電話または他の携帯機器を車両に内蔵された制御装置を使用して制御することができます。携帯電話からの画像およびサウンドは、マルチメディア システムを介して出力できます。特定の情報はユーザーの携帯電話に転送することもできます。これは、装備品のタイプに応じ、たとえば一般的な車両情報または位置データを含みます。これにより、たとえばナビゲーション システムの使用やミュージック再生など、選択した携帯電話アプリを最適な方法で使用できます。携帯電話による車両データへの有効なアクセスは行われません。携帯電話が受信したデータを処理する方法は、使用している該当アプリのプロバイダーが定めます。携帯電話のアプリやオペレーティング システムによって、設定を構成できるかどうか、構成できるのであればどの設定を構成できるかが異なります。

車両の機能の利用

選択された装備オプションの範囲内で、マルチメディアおよび住所録データなどの情報、またはナビゲーション目的地およびその他の設定を車両のコンフォート機能およびインフォテインメント機能に入力できます。これらのデータは車両にローカル保存することも、車両に接続しているデバイス(例：携帯電話、USB スティック、MP3 プレイヤー)に保存することもできます。車両にこのデータが保存された場合、いつでも削除できます。このデータは特にオンライン サービス使用中、ユーザーが選択した設定にのみ基づいて、ユーザーが要求した場合に限り第三者に送信されます。車両に必要な装備がある場合は、接続した携帯電話または他の携帯機器を車両に内蔵された制御装置を使用して制御することができます。携帯電話からの画像およびサウンドは、マルチメディア システムを介して出力できます。特定の情報はユーザーの携帯電話に転送することもできます。装備品のタイプにより異なりますが、これには一般的な車両情報または位置データが含まれます。これにより、ナビゲーション システムの使用やミュージック再生など、選択した携帯電話アプリを最適な方法で使用できます。携帯電話による車両データへの有効なアクセスは行われません。携帯電話が受信したデータを処理する方法は、使用している該当アプリのプロバイダーが定めます。携帯電話のアプリやオペレーティング システムによって、設定を構成できるかどうか、構成できるのであればどの設定を構成できるかが異なります。

オンラインサービスの使用

車両にワイヤレスネットワーク接続がある場合は、これを使用して車両と周囲および他のシステムとの間でデータ交換が可能です。車両の送受信ユニットまたは接続した携帯機器（携帯電話など）により、ワイヤレスネットワークに接続可能です。このワイヤレスネットワーク接続により、オンライン機能を使用できます。これには、ポルシェまたは他のプロバイダーにより利用可能なオンラインサービスおよびアプリケーション/アプリが含まれます。

ポルシェ オンライン サービスでは、さまざまな機能が適切な場所（例：ポルシェ コネクト ウェブサイト）にまとめられており、関連するデータ保護規定情報が提供されます。オンラインサービスの提供のために個人データが使用されることがあります。必要なデータの交換は、保護された接続を介して実施されます（例：この目的のためのポルシェ IT システム設定）。サービス提供に必要なものを超えた個人データの収集、処理、使用は、法的な認可または承諾に基づいてのみ行われます。

通常、（料金ベース）サービスや機能、または車両のデータ接続自体の有効化/無効化は、ユーザー側の判断にて行うことが可能です。法律により定められた特定の機能およびサービスは除外されます。

他のプロバイダーのオンラインサービスを使用するためにオプションが存在する場合、それらは該当するプロバイダーの責任であり、そのプロバイダーのデータ保護ポリシーおよび使用規約の対象です。ポルシェはこのようなデータ交換について干渉しません。そのため、第三者サービスにおけるそうしたデータ収集や個人データの種類の種類、範囲および目的に関する情報は、該当するサービスプロバイダーから入手してください。

イベント データ レコーダーへのデータの保存

車両にはイベント データ レコーダー（EDR）が装備されています（国および装備に応じて利用可能）。EDRは、特に事故などの重大なイベントが発生した場合に車両ステータス データを記録するデータ ストレージ デバイスです。EDRは、そのようなイベントの状況を判断するため、特に車両システムの動作を決定するために使用されます。

特に、イベントの種類、アクセル/ブレーキペダルの踏み込み位置、ステアリングホイールの角度、速度、シートベルト着用の数/位置、車両の横加速度、走行距離、故障メモリーの内容、タイムスタンプ、および車両識別番号（VIN）などの、関連する可能性のあるステータス データがこの目的のために記録されます。このデータは定期更新メモリーに継続的に保存され、5秒間隔で繰り返し書き込まれます。EDRは、オーディオ、画像とビデオの両方またはいずれか一方の記録、または位置データを保存することはしません。

重大なイベントのインジケーターが登録される場合、EDRの現在のメモリー状態（例：トリガリングイベントの5秒前とその後300ミリ秒）がログファイルに保存されます。このようにしてデータを永久保存した後、EDRは別のトリガリングイベントによってさらにデータの永久保存がトリガーされるまで、定期更新ストレージモードに戻ります。イベントメモリーには、最大6個のログファイルを永久保存できます。これらのログファイルは、その後必要に応じて新しいログファイルで上書きされます。ただし、エアバッグ/シートベルトプリテンショナーの動作の結果として保存されたログファイルは、事故などの特に重大なイベントを示しているため、上書き保護されます。このような上書き保護されたログファイルがイベントメモリーに4つ保存されると、直ちにこの影響に関するメッセージが車両のインストールメントクラスターに表示されます。

EDRに永久保存されているログファイルを読み出すには、通信するためのデバイスと車両の診断インターフェースが必要です。

アシスタンスシステム モニター (ASM)

車両にはアシスタンスシステムモニター (ASM) が装備されています（国および装備に応じて利用可能）。これはイベント データ レコーダー (EDR) の機能を拡張します。データメモリーのおかげで、事故などの重大なイベントの後にASMを使用して、そのようなイベントの状況とドライバーアシスタンスシステムの動作を明確にすることができます。

ASMによって記録されるデータは機器によって異なり、次の情報が含まれる場合があります：アシスタンスシステムのステータス情報（アシスタンスシステムのON/OFF、システムイベントなど）、制御介入（PSMなど）、アシスタンスシステムの設定（速度設定など）。

このデータは定期更新メモリーに継続的に保存され、10秒間隔で繰り返し書き込まれます。ステータスデータは、新しい値が決定された場合のみ書き込まれます。重大なイベントのインジケーターが登録される場合、ASMの現在のストレージステータスがログファイルに記録されます。永久保存のトリガーとなるのは、エアバッグの作動またはターゲットブレーキの自動始動などの重大なイベントです。このようにしてデータを永久保存した後、ASMは別のトリガリングイベントによってさらにデータの永久保存がトリガーされるまで、定期更新ストレージモードに戻ります。

ASMに永久保存されているログファイルを読み取るには、通信するためのデバイスと車両の診断インターフェースが必要です。


自動運転のデータストレージ (DAF)

装備によっては、車両に自動運転 (DAF) 用データメモリーがあります。アクティブパーキングサポートが作動すると、車両のメモリーにデータが保存されます。このデータは、数秒後に最新のデータで継続的に上書きされます。データは作動準備が OFF になるとすぐに削除されます。エアバッグが膨らんだ後やパーキングプロセスが終了した後などの特定の状況では、該当するテクニカルデータが自動運転のデータメモリーに保存されます。パーキングプロセス中にシステムが誤作動したとドライバーが感じる場合、車両オーナーまたはポルシェ正規販売店がパーキングプロセス後に読み出しプロセスを実行できます。

車両オーナーによって読み出された DAF

データをエクスポートする際は、以下のデータが読み出され、暗号化され、USB 記憶メディアに保存されます。

- ドライバー インタラクション (ブレーキ作動など)
 - 車両ダイナミクス (速度など)
 - 自動システムのステータス (パーキング システム)
 - 標準要件
 - 環境モニタリングの該当するパラメーター
 - アクティブパーキングサポートの (非) 作動時のシステムステータス、タイムスタンプ
- ✓ 停車している。
 - ✓ 作動待機が確立されました。
 - ▷ 109 ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。
 - ✓ 自動システム (パーキング システム) が停止している。
 - ▷ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。

1. 市販の USB 記憶媒体をアームレストの USB インターフェース (Type-C) A に接続します。
 - ➡ 認識された記憶媒体に関する注記がセントラルディスプレイに表示されます。
 2.  ▶ **アシスタンス ▶ オプション... ▶ アシスタンス システム設定 ▶ データ エクスポート ▶ 保存済みデータをエクスポート**
 3. エクスポート中は USB 記憶媒体を取り外さないでください。
 - ➡ 正常なエクスポートに関するメモがセントラルディスプレイに表示されます。USB 記憶媒体は取り外すことができます。
- ▷ USB ストレージメディアをお届けするには、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

概要図

以降のページには、車両の一部の部位の概要図が簡略な説明とともに掲載されています。詳しい情報は該当するページをご覧ください。

センサーおよびカメラ

- A サラウンドビュー▷ 130 ページ
- B アクティブレーンキープ▷ 99 ページ
レーンキープアシスト▷ 144 ページ
インターセクションアシスト▷ 119 ページ
ダイナミックハイビーム▷ 121 ページ
警告およびブレーキアシスト (WBA)▷ 154 ページ
- C アクティブレーンキープ▷ 99 ページ
インターセクションアシスト▷ 119 ページ
警告およびブレーキアシスト (WBA)▷ 154 ページ
- D パークアシスト▷ 130 ページ
- E アダプティブクルーズコントロール (ACC)▷ 87 ページ
アクティブレーンキープ▷ 99 ページ
警告およびブレーキアシスト (WBA)▷ 154 ページ
- F ナイトビューアシスト▷ 127 ページ
- G パークアシスト▷ 130 ページ
- H アクティブレーンキープ▷ 99 ページ
レーンチェンジアシスト▷ 147 ページ
インターセクションアシスト▷ 119 ページ
- I 足の動きでリヤリッドを開く▷ 35 ページ



図. 1 センサーおよびカメラ



給油口

- A ブレーキフルード▶ 259 ページ
- B ウォッシャー液▶ 295 ページ

図. 2 給油口

運転席

- A インナー ドアハンドル▶ 38 ページ
- B パーソナル設定用メモリー ボタン▶ 72 ページ
- C セントラル ロッキング ボタン▶ 38 ページ
- D パワー ウィンドウ▶ 31 ページ
- E ライト ボタン▶ 121 ページ
- F オーバーヘッド コンソール▶ 26 ページ
- G ドア ミラーの調節▶ 83 ページ
- H 電源ボタン▶ 109 ページ
- I ステアリング ホイール調節▶ 71 ページ
- J シート調節▶ 77 ページ



図. 3 運転席



図. 4 運転席

運転席

- A 方向指示灯およびハイビームヘッドライト▶ 123 ページ
- B ボイスコントロール、インフォテインメント、回生レベル▶ 181 ページ
- C インstrument パネル▶ 158 ページ
- D 電話コントロール、インフォテインメント、Instrument パネル▶ 158 ページ
- E フロントウィンドウワイパー▶ 140 ページ
- F セレクターレバー▶ 109 ページ
- G シャーシおよびアシスタンス設定
- H スポーツクロノストップウォッチ (モデルおよび装備による)▶ 224 ページ
- I ボルシェコミュニケーションマネージメント (PCM)▶ 173 ページ
- J 自動エアVENT▶ 60 ページ
- K グローブボックスロック▶ 232 ページ
グローブボックスのエアバッグの作動停止▶ 46 ページ
- L フロント助手席ディスプレイ▶ 179 ページ
- M クルーズコントロール▶ 151 ページ
アダプティブクルーズコントロール (ACC)▶ 87 ページ
レーンキープアシスト▶ 144 ページ
アクティブレーンキープ▶ 99 ページ
- N モードスイッチ▶ 107 ページ
- O エレクトリックパーキングブレーキおよびパーキングロック▶ 109 ページ
- P センターコンソールコントロールパネル▶ 169 ページ
- Q ハザードライト▶ 121 ページ
- R 灰皿、ドリンクホルダー▶ 250 ページ

- S ドリンクホルダー ▶ 241 ページ
- T アームレスト、小物入れ ▶ 232 ページ



オーバーヘッド コンソール

- A 読書灯▶ 48 ページ
- B インテリアライト / 読書灯用ボタン▶ 48 ページ
- C インテリアライト (コントロールパネルのライト)▶ 48 ページ
- D 助手席エアバッグ OFF/ON 警告灯▶ 46 ページ
- E インテリアライト用ボタン▶ 48 ページ

図.5 オーバーヘッド コンソール

トピック

以下のページでは、さまざまな車両のトピックに関する内容を見つけることができます。

開閉操作とロック

警報システム

作動原理

警報システムは、次の警報接点を監視します。

- ドア、ボンネットおよびリヤリッドの警報接点
- 室内モニタリングシステム：車両をロックした後の車内への侵入（たとえば泥棒がウィンドウを壊して車内に侵入するなど）
- 傾斜センサー：車両の傾き（たとえば車両をけん引して盗もうとされるなど）
- 故障診断用ソケット

警報システム機能表示

フロント ドアのインジケーター ライトおよび警告灯の点滅速度によりロック状態が示されます。

警報システムが起動

車両をロックしたときにインジケーター ライトは素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。ハザード ライトが2回点滅します。

警報システムが起動、室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーがスイッチ OFF

車両をロックするときにインジケーター ライトが素早く点滅した後、28 秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。ハザード ライトが2回短く点滅し、その後1回長く点滅します。

セントラル ロッキング システムおよび警報システムの故障

車両をロックするときに、インジケーター ライトは素早く点滅し、28 秒間点灯し続けて、その後はノーマルモードで点滅します。

ハザード ライトがゆっくり1回点滅します。

警報システムの ON/OFF を切り替える

- ▶ 車両をロックすると、約 30 秒後に警報システムが有効になります。
- ▶ 車両のロックを解除すると、警報システムは無効になります。

次に車両をロックするときに室内モニタリングシステムと傾斜センサーを無効のままにするかどうかを、セントラルディスプレイを使用して指定できます。


▶  ▶ 車両の設定  ▶ 車両 ▶ 車両ロックシステム ▶ 室内モニタリングシステム

インフォメーション

ドアロックにエマージェンシー キーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するため、15 秒以内に電源ボタンを ON にしなければなりません。

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

作動した警報システムを OFF にする

- ▶ キーの  ボタンを押してください。
- または -
▶ パワー ボタンを押して、車両を ON にします。


室内モニタリング システムおよび傾斜センサーを停止する

人や動物が車両に残っている場合、車両をロックする際に室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを停止することができます。

▶ 38 ページの「セントラルロック」の章を参照してください。

盗難防止機能

車両から離れる前に、必ず次のことを行ってください。

- ▶ ウィンドウを閉じてください。これは室内モニタリングシステムによる警報の誤作動を防止することにもなります。
- ▶  ボタンを押して、パーキングロックとパーキングブレーキを作動させます。
- ▶ グローブボックスを閉じます。
- ▶ 小物入れをすべて閉じます。
- ▶ 貴重品、車両の書類、電話、自宅の鍵を車両に残さないようにします。
- ▶ ドア、ボンネット、リヤリッドを閉じます。
- ▶ 車両をロックします。

イモビライザー

すべてのキーに、コードが保存されたトランスポンダー（電装部品）が内蔵されています。イモビライザーを無効にし、車両の作動準備を整えるには、承認済みのキーが必要です。

キー

キーの使用

i インフォメーション

- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っているときだけにしてください。

キーが作動すると、キーのボルシェクレストが点灯します。また走行中には、キーが作動していなくてもキーのクレストが点灯する場合があります。

走行中に、サービスおよびメンテナンスに関連するデータがキーに保存されます。このため走行中には、キーが作動していなくてもキーのボルシェクレストが点灯する場合があります。キーへのデータ保存やキーからのデータ読み取りに関する詳細情報については、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

以下の理由でリモートコントロールが機能しない場合があります。

- データ伝送中(コンフォートアクセス装備車両の場合、キーと車両間の無線通信中)に電磁波が干渉している場合。
- 故障のためにリモートコントロールに不具合が発生している場合。
- キーのバッテリーが消耗している場合。
- ▶ キーは、電源が入っている電子デバイス(例: 携帯電話、ノートパソコン、充電ケーブル)と一緒に保管しないでください。
- ▶ キーは、車両から少なくとも6mの距離に置いてください。



図.6 キー

- A 車両のロック解除
 - B 車両のロック
 - C ボンネットおよび車両をロック解除する
 - D リヤリッドを開き、車両をロック解除
 - E エマージェンシーキー
- すべてのキーにエマージェンシーキーが内蔵されています。キーは、車両のすべてのロックを操作するのに使用できます。

- ▶ キーの取り扱いには細心の注意を払ってください。特別な状況を除いて、キーを放置しないでください。
- ▶ キーを車内に残さないでください。

キーのバッテリー交換

⚠ 警告

リチウムボタンセルを誤って飲み込んだ場合、体内で火傷を引き起こし、死に至る危険性があります。

キーにはリチウムボタンセル(バッテリー)が含まれています。

バッテリーを飲み込むと、2時間以内に体内に火傷を負い、死亡する恐れがあります。

- ▶ 取り外したバッテリーまたは新しいバッテリーは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ キーに子供を近づけないでください。子供がキーを開けて、バッテリーを取り外す可能性があります。
- ▶ リチウムバッテリーを誤って飲み込んでしまった場合や身体開口部に挟まった場合、すぐに医師の診察を受けてください。

i インフォメーション

- ▶ 電池の廃棄に関する法規を遵守してください。

キーのバッテリーを交換する必要がある場合、メッセージがインストルメントパネルに表示されます。キーが作動しても、キーのボルシェクレストは点灯しなくなります。



図. 7 バッテリーの交換

バッテリーの交換 (CR 2032, 3V)

1. エマージェンシー キーを取り出してください。
2. キーハウジングの左右2箇所のクリップを外します。
3. バッテリーカバーを反時計回りにゆるめて取り外します。
4. バッテリーを交換します (極性を確認してください)。
5. バッテリーカバーを再セットして、しっかりと時計回りに締め戻します。
エマージェンシー キーを元の位置まで押し込めることを確認してください。
6. キーハウジングがクリップ留め箇所にはまるまで、下から上方向へと押し上げます。
7. エマージェンシー キーを挿入してください。

キーのバッテリーが切れた状態または電波干渉がある状態での車両の始動。

車両とキーの間の無線通信に不具合があったり、キーのバッテリーが切れたりすると、キーが検出できなくなる恐れがあります。

この場合に車両の電源を入れるには、次の手順に従ってください。

1. キーをセンターコンソールのリヤドリンクホルダーに置きます。キーをドリンクホルダーのフロントウォールに対して直立させて保持します。
2. パワーボタンを押して、車両をONにします。

エマージェンシー キーの使用

エマージェンシー キーの取り出し



図. 8 エマージェンシー キーの取り出し

- ▶ エマージェンシー キーを押し上げ、キーから取り出してください。

エマージェンシー キーの挿入

- ▶ しっかりとまるまで、エマージェンシー キーをキーに挿入します。

スペア キーの注文と登録

キーの注文は、ポルシェ正規販売店からのみ行えます。これには時間がかかる場合があります。

- ▶ スペア キーを常に利用できるようにしてください。
- ▶ スペア キーを安全な場所に保管し、いかなる場合も車内または車両上に保管しないでください。

車両用の新しいキーを登録するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ その車両に使用するすべてのキーを再登録します。

① インフォメーション

合計 8 個のキーを登録することができます。

② インフォメーション

- ▶ キーが紛失したり盗まれたりした場合は、ポルシェ正規販売店に依頼し、車両のキーを無効にし、必要に応じて機械的なロックを変更してください。
- ▶ キーの紛失または盗難について保険会社に通知し、追加または交換用のキーを作成したことを知らせます。

ウィンドウ

サイドウィンドウの開閉



警告

サイドウィンドウの開閉

サイドウィンドウを開閉するとき、特にワンタッチ作動で閉じるときは、動いているサイドウィンドウと車両の固定部分に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。

- ▶ サイドウィンドウを開閉するときは、作動中のサイドウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。
- ▶ 車両を離れるときは、電源ボタンを押して車両の電源を OFF にしてください。乗員がパワーウィンドウを誤って操作し、怪我をする恐れがあります。
- ▶ 危険が発生した場合：直ちにキーのボタンを放してください。ポルシェコンフォートアクセス装備車は、直ちにドアハンドルのタッチセンサーを放してください。
- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。



警告

サイドウィンドウを手動で閉じる

サイドウィンドウの動きが妨げられてワンタッチ作動が無効になっている場合、サイドウィンドウを手動で閉じると、このウィンドウは最大力で閉じられます。そのため、動くサイドウィンドウと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれると、押しつぶされる危険があります。

- ▶ サイドウィンドウを閉じるとき、乗員が挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。



インフォメーション

サイドウィンドウが閉じるときに障害物に妨げられると、サイドウィンドウは停止した後、再び数センチ開きます。サイドウィンドウの作動が約 10 秒以内に 2 回妨げられると、そのサイドウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。サイドウィンドウは手動で閉じることができます。ワンタッチ操作を再度有効にするには、サイドウィンドウを手動開操作で一度完全に閉じてください。

サイドウィンドウの開閉

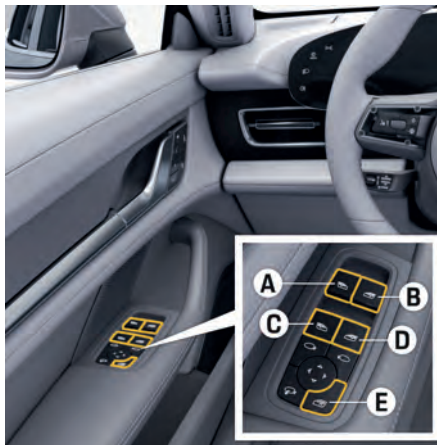


図.9 運転席ドアのパワーウィンドウボタン

- A パワーウィンドウ、フロント運転席側
- B パワーウィンドウ、フロント助手席側
- C パワーウィンドウ、リヤ運転席側
- D パワーウィンドウ、リヤ助手席側
- E チャイルドプロテクションセーフティボタン

- ✓ 作動待機が確立されている。
—または—
車両の電源が OFF になっているが、その時間は 10 分以内である。

- ✓ 運転席 / 助手席ドアがまだ開いていない。

ロッカースイッチには **2段階の作動位置**があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

第1段階 - 手動操作

- ▶ 希望の位置に達するまで、ロッカースイッチを1段階目の位置まで押すか、引いてください。
➡ スイッチから指を離すと、ウィンドウが止まります。

2段階目 - ワンタッチ操作



1. ロッカースイッチを2段階目まで押すか、引いてください。
➡ サイドウィンドウは自動的にいっぱいまで開閉します。
2. サイドウィンドウを希望の位置で停止させたいときは、もう一度スイッチを操作します。

ウィンドウは、手動操作中よりもワンタッチ操作中の方が速く閉じます。

キーによるサイドウィンドウの開閉



図. 10 キーによるサイドウィンドウの開閉

- ✓ 機能が作動している。
- ▶ サイドウィンドウが希望の位置になるまで、キーの  または  を押し続けてください。
 - ➡ すべてのサイドウィンドウとルーフシステムが閉じると、ハザードライトが2回点滅します。

セントラルディスプレイでこの機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

- ▶  ▶ 車両の設定  ▶ 車両 ▶ 車両ロックシステム ▶ コンフォートオープン

ドアハンドルの近接センサーでサイドウィンドウを閉じる

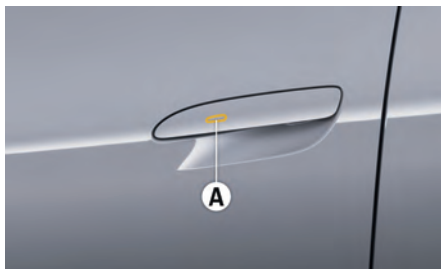


図. 11 コンフォートアクセス

適用対象：コンフォートアクセス装備車。

- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。
- ▶ 車両をロックするときにウィンドウが希望の位置になるまで、ドアハンドルの近接センサー **A** に触れ続けてください。
 - ➡ すべてのサイドウィンドウとルーフシステムが閉じると、ハザードライトが2回点滅します。

サイドウィンドウの停止位置の保存

12V電源に障害が発生すると、サイドウィンドウの停止位置が失われます。サイドウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのサイドウィンドウに対して以下の作業を行ってください。

1. ロッカースイッチを2段階目まで引いて、一度サイドウィンドウを完全に閉じます。
2. サイドウィンドウが完全に閉じたら、ロッカースイッチを再度短く2段階目まで引きます。

3. スイッチを押して、一度サイドウィンドウを完全に開きます。

リヤでの操作を無効にする - チャイルドプロテクション

運転席ドアのコントロールパネルのセーフティーボタン **E** を押すと、リヤドアのパワーウィンドウスイッチとリヤ助手席タッチスクリーンの機能が無効になります。

チャイルドプロテクションのON/OFFの切り替え

- ▶ セーフティーボタン **E** を押してください。
 - ➡ ボタンのインジケーターライトが点灯します。
- リヤドアのリヤパワーウィンドウスイッチとリヤディスプレイが無効になります。

ボンネット

ボンネットの開閉

ボンネットのロック解除および開閉操作

知識

ボンネットまたはフロント ウィンドウワイパーを損傷する恐れがあります。

- ▶ ボンネットを開くときは、ワイパーが起きていないことを確認してください。
- ▶ エンジンコンパートメント リッドを開く前に、必ずフロント ウィンドウワイパーを OFF (ワイパーレバーを **0** の位置) にしてください。

センターコンソールコントロールパネルまたはセントラルディスプレイからボンネットのロックを解除する

ボンネットは、センターコンソールコントロールパネルのリッドスクリーンまたはセントラルディスプレイからロックを解除できます。



センターコンソールコントロールパネル

- ✓ パーキングロックおよびパーキングブレーキが作動しています。

- ▶ 
 - ➔ ボンネットがロック解除されます。

セントラルディスプレイ


- ✓ 作動待機が確立されました。

- ▶  ▶ 車両の設定  ▶ 車両 ▶ ボンネット、ラゲッジコンパートメントリッドおよび充電ポート
 - ▶ フードを開く
 - ➔ ボンネットがロック解除されます。

キーによるボンネットのロック解除



図. 12 キーでボンネットを開く

- ▶  ボタンを押してください。
 - ➔ ボンネットと車両のドアがロック解除されません。

コンフォートアクセスを使用したボンネットのロック解除(キーレス)



図. 13 コンフォートアクセスでボンネットを開く

適用対象：コンフォートアクセス装備車

- ✓ キーを車両の前部に持っていきます。
- ▶ Porsche クレストとナンバープレートの間に手を置いてください。手を前後に動かしたり、スワイプしたりしてください。
 - ➔ ボンネットがロック解除されます。

ボンネットを開く



図. 14 ボンネットのロック解除

✓ ボンネットがロック解除されました。

1. ボンネットをわずかに持ち上げ、セーフティーラッチ (矢印) を解除してください。
2. ボンネットを完全に開いてください。

ボンネットを閉じる

▲ 注意 重いボンネット

半分開いた状態のボンネットを閉じるとき、ボンネット自体の重さを利用してロックすることができます。

- ▶ 可動部品 (ヒンジ) の近くやボンネットの下に物を置いたり手足を近づけたりしないでください。

1. ボンネットを下げて、ロック部分が噛み合うようにします。ロック部分を手のひらで押して、ボンネットを閉じます。
2. ボンネットが確実にロックされていることを確認してください。
ボンネットが正しく閉じていない場合、走行中インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

ボンネットの緊急解除の実行

12Vバッテリーが放電した場合、支援車のバッテリーを使用しないとボンネットのロックを解除できません。

▶ 252 ページの「12Vバッテリー」の章を参照してください。



図. 15 ボンネットの緊急解除 - プラス端子の接続

1. エマージェンシーキーを使用して、ドアロックを解除してください。▶ 252 ページの「12Vバッテリー」の章を参照してください。
2. 左側ヒューズボックスのプラスチックカバーを取り外してください。
3. ヒューズボックスのプラス端子 A (赤色) (図. 15) を引き出してください。
4. 赤色のブースターケーブルを使用して、外部バッテリーのプラス端子とヒューズボックスのプラス端子 A (図. 15) を接続します。
5. **① インフォメーション**

車両がロックされていた場合、マイナス端子を接続したときに警報システムのホーンが鳴ります。

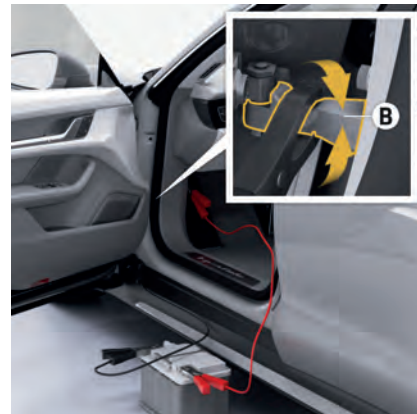



図. 16 ボンネットの緊急解除 - マイナス端子の接続

黒色のブースターケーブルを使用して、外部バッテリーのマイナス端子とドアストッパーのジョイント B (図. 16) を接続してください。

6. キーの  ボタンを約2秒間押し続けてください。ボンネットがロック解除され、警報システムが無効になります。
7. マイナス ケーブルを先に外し、次にプラス ケーブルを外してください。
8. プラス端子 A (図. 15) をヒューズ ボックスに押し込み、ヒューズ ボックスのプラスチック カバーを取り付けてください。

歩行者保護

フロントバンパーのセンサーが歩行者または類似した物体との衝突を検出します。その後、ボンネットの後ろ側が開き、衝撃を低減します。



注意

歩行者保護が起動しない

衝突後に歩行者保護が起動しない場合は、システムが故障している可能性があります。

- ▶ 起動しなかった場合、歩行者保護システムを点検する必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

歩行者保護が起動してからボンネットを閉じる

歩行者保護が起動した場合は、メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

作動した後に、ボンネットを再度押し閉じることはできません。歩行者保護部品を取り替える必要があります。

1. 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
2. 歩行者保護システムをすぐに取り替えてください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

歩行者保護システム エラー

故障の場合には、警告メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

一般的な安全に関する指示



警告

操作した機器による挟み込み、締め付けまたは圧迫

ガレージドアオープナーの使用時またはプログラミング時に、ガレージドアオープナーで操作する装置の可動範囲に人や動物がいたり物があつたりすると、事故につながる恐れがあります。

- HomeLink®システムを操作またはプログラミングするときは、装置の可動範囲に人や動物がいなくて物がいないことを確認してください。
- オリジナルリモートコントロールの安全に関する指示に従ってください。

リヤリッド

一般的な安全に関する指示



警告

オートマチックリヤリッドの不用意な開閉

オートマチックリヤリッドが不意に開閉することにより、ケガをする危険があります。

- ▶ リヤリッドの開閉は車両が停車中のときのみ行ってください。
- ▶ リヤリッドの開閉は、可動範囲内に人や動物がないときのみ行ってください。
- ▶ 危険があるときはいつでも作動を中断できるように、リヤリッドの開閉作動から目を離さないでください。


知識

リヤリッドが不意に開閉することにより、車両が損傷する恐れがあります。

- ▶ 車両の後方や上方に十分なスペースがあることを確認してください (ルーフトランスポートシステムやガレージの天井など)。
- ▶ 積み荷がラゲッジコンパートメントから突き出したり、はみ出したりしないようにしてください。

緊急時の開閉動作の中断

次のいずれかのボタン操作で、すぐに開閉動作を中断します：

1. キーの  ボタン。
 -または-
 リヤリッドトリム パネルの2つのボタンのうちの1つ。
 -または-
 外側のリヤリッド (後部スカート) の下にあるリリースボタン。
 -または-
 足の動きで操作します。
2. ワンタッチ操作を再作動するには該当するボタンを押します。

リヤリッドの開閉 リヤリッドを開く

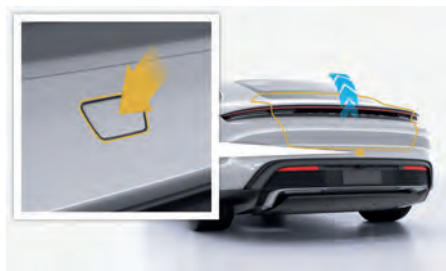


図. 17 リヤリッドのリリース ボタン

リリース ボタンを使用してリヤリッドを開く

- ✓ 車両のロックが解除されている (コンフォート アクセス非装備車)。
 -または-
 キーを携帯している (コンフォート アクセス装備車)。

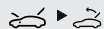
- ▶ ボタンを押してください。
 ➔ 車両のすべてのドアのロックが解除されます。
 リヤリッドが、設定した高さまで開きます。

センター コンソールコントロールパネルまたはセントラルディスプレイからリヤリッドを開く

リヤリッドは、センター コンソールコントロールパネルのリッド スクリーンまたはセントラルディスプレイから閉じることができます。



- ✓ 作動待機が確立されている。
- ✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動している。

▶ センター コンソールコントロールパネル：




- ➔ リヤリッドが、設定した高さまで開きます。

-または-

- セントラルディスプレイ： ▶ **車両の設定**  **車両** ▶ **ボンネット、リヤリッド、充電ポートリッド** ▶ **リヤリッドを開く**
 ➔ リヤリッドが、設定した高さまで開きます。

キーでリヤリッドを開く

- ✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動している。
- ▶ キーの  ボタンを押してください。
 ➔ 車両のすべてのドアのロックが解除されます。
 リヤリッドが、設定した高さまで開きます。

足の動きでリヤリッドを開く



注意

リヤリッドの意図しない作動

後方のセンサーが人、動き、または物体を検出し、有効なキーが車両後方にある場合、リヤリッドは自動的に開閉するため、負傷または車両への損傷を引き起こす恐れがあります。

リヤリッドの意図しない作動を防ぐには、以下を実行します。

- ▶ セントラルディスプレイの機能を無効にします。
 -または-
 コンフォート アクセスを OFF にします。

適用対象：コンフォート アクセス装備車。

- ✓ 機能が作動している。
- ✓ キーを携帯している。

1. 車両の後方中央に立っている。



図. 18 足動作コントロール

2. 足を車両後方に向けて前後に1回動かします。
 ➔ リヤリッドが、設定した高さまで開きます。

セントラルディスプレイでこの機能の有効 / 無効を切り替えることができます。

- ▶  ▶ **車両の設定**  ▶ **車両** ▶ **車両ロック システム** ▶ **リヤリッドのコンフォート オープン**

① インフォメーション


次のような状況では、足動作機能は利用できない場合があります。

- 悪天候（雨、雪または凍結）の場合。
- パンパーが汚れている場合。
- キーの信号が電波干渉の影響を受けている場合。

リヤリッドを開く高さの設定

リヤリッドを開く高さは個別に調整できます。

レベルコントロール装備車は、必ず車両が最も高い状態にあるときにリヤリッドの高さを調整してください。

1. 車両の後方に立ってリヤリッドを開きます。
2. 開作動を中断するには、リヤリッドのトリムパネル内またはキーのボタン  を押します。
3. 希望する高さまでリヤリッドを手で動かします。
4. リヤリッドトリムパネルのボタンAを約3秒間押します。
 - ➡ 設定された高さの確認が完了すると、確認音が鳴ります。

リヤリッドが意図せず作動した場合の自動停止

リヤリッドが降り積もった雪の重みなどで開いた後すぐに不意に下がると、パワーメカニズムのブレーキ機能が作動してリッドの動きを制止するとともに、リッドの動きが止まるまで警告音が鳴ります。

- ▶ リヤリッドの動きを約1秒止めます。
 - ➡ 自動停止が無効になります。

リヤリッドを閉じる

リヤリッドトリムパネルのボタンを使用してリヤリッドを閉じる



図. 19 リヤリッドトリムパネルのボタン

- A リヤリッドを閉じる
 B リヤリッドを閉じて車両をロックする
- ▶ リヤリッドトリムパネルのボタンA(図. 19)を押します。
 - ➡ リヤリッドが閉じます。

リヤリッドトリムパネルのボタンを使用してリヤリッドを閉じ、ロックする

① インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。何度か警告音が鳴り、車両は4回点滅します。ドアまたはリヤリッドを約45秒以内に開けなかった場合に限り、車両はロックされません。スペアキーを使用しないとロック解除できなくなります。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内にないことを確認してください。

適用対象：コンフォート アクセス装備車

- ✓ キーを携帯している。


- ▶ リヤリッドトリムパネルのボタンB(図. 19)を押します。
 - ➡ リヤリッドが閉じて車両がロックされます。

センターコンソールコントロールパネルまたはセントラルディスプレイからリヤリッドを閉じる



センターコンソールコントロールパネルのフラップビューまたはセントラルディスプレイを使用して、リヤリッドを閉じることが出来ます。

- ✓ 作動待機が確立されている。
- ✓ パーキングロックおよびパーキングブレーキが作動している。

センターコンソールコントロールパネル

1. 
2. リヤリッドが閉じるまでセントラルディスプレイを押し続けます。
 - ➡ 警告音が鳴り、リヤリッドが閉じます。

セントラルディスプレイ

1.  車両の設定  車両 ▶ ボンネット、リヤリッド、充電ポート ▶ リヤリッドを閉じる
2. リヤリッドが閉じるまでセントラルディスプレイを押し続けます。
 - ➡ 警告音が鳴り、リヤリッドが閉じます。

足の動きでリヤリッドを閉じる



注意

リヤリッドの意図しない作動

後方のセンサーが人、動き、または物体を検出し、有効なキーが車両後方にある場合、リヤリッドは自動的に開閉するため、負傷または車両への損傷を引き起こす恐れがあります。

リヤリッドの意図しない作動を防ぐには、以下を実行します。

- ▶ セントラルディスプレイの機能を無効にします。
-または-
コンフォートアクセスをOFFにします。

適用対象：コンフォートアクセス装備車

- ✓ キーを携帯している。
- ✓ 車両までの最大距離が約75 cmである。

1. 車両の後方中央に立っている。
2. 足を車両後方に向けて前後に1回動かします。
➡ リヤリッドが閉じます。

リヤリッドの開閉操作が障害物によって妨げられると、動作は自動的に中断されます。

警告音が鳴り、リヤリッドが作動を停止します。

閉作動中の障害物の検出

1. 障害物を取り除きます。
2. リヤリッドを自動で閉じるか、手でゆっくり閉じます。

セントラルロック

概要 - 車外からのドアの開閉操作とロック

この概要は「セントラルロック」の章に記載された詳細な情報に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。



図. 20 キー

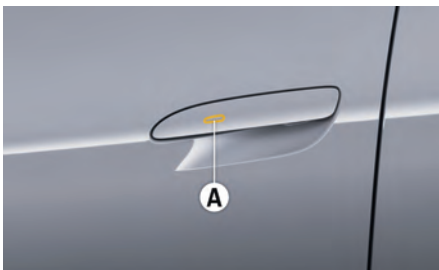






図. 21 コンフォートアクセス

希望する操作	操作方法	結果	操作箇所
ロック解除	<p>キーを使用する：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの  ボタンを押してください。 <p>コンフォート アクセスを使用する：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ドアハンドルのハンドルのくぼみに手を入れ、つかみます。作動中はドアハンドルの近接センサー A (図. 21) に触れないでください。 <p>車両に接近する場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両に接近します。 	<p>ハザードライトが1回点滅します。</p> <p>ドアハンドルが展開します。</p> <p>ドアおよびリヤリッドを開くことが可能です。</p>	▶ 40 ページ
ロック	<p>キーを使用する：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの  ボタンを押してください。 <p>コンフォート アクセスを使用する：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ドアハンドルの近接センサー A (図. 21) に触れてください。 	<p>ハザードライトが2回点滅します。</p> <p>ドアハンドルが格納します。</p> <p>ドアとラゲッジコンパートメントがロックされ、車内からドアハンドルを引いてもドアを開けることができなくなります (セーフロック)。内側から開けようとした場合、警報システムが発動します。</p>	▶ 40 ページ
<p>人 / 動物を車両に残してロックする</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ セーフロックと警報システムの車内モニタリングシステムを OFF にします。 	<p>キーを使用する：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーの  ボタンを2回押してください (約2秒以内)。 <p>コンフォート アクセスを使用する：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ドアハンドルにあるタッチセンサー A (図. 21) に2回触れてください (約2秒以内)。 	<p>ハザードライトが2回短く点滅し、その後1回長く点滅します。</p> <p>ドアハンドルが格納します。</p> <p>ドアとラゲッジコンパートメントリッドがロックされます。</p> <p>ドアはインナー ドアハンドルを引くことにより、車内から開くことができません。車内からドアハンドルを引くと、警報システムが作動します。</p>	▶ 40 ページ

希望する操作	操作方法	結果	操作箇所
警告システムの警告音を OFF にする	▶ キーの  ボタンを押してください。 -または- パワー ボタンを押して、車両を ON にします。	警告音が OFF になります。	▶ 28 ページ

セントラル ロッキング システムの使用

インフォメーション


- ▶ キーを使用するのは、車両が視界に入っているときだけにしてください。

車両装備により、キーを使用して、またはキーを使用せずにコンフォート アクセスで、ドアのロック解除およびロックができます。

車両のロックを解除する際、運転席ドアのみを解除するか、または車両全体のロックを解除するかを選択できます。

▶ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。

設定内容にかかわらず、すべてのドアをロック解除できます。

- ▶ キーの  ボタンを 5 秒以内に 2 回押します。

インフォメーション

車両の工場設定については、この章で説明されていません。

コンフォート アクセス¹



コンフォート アクセス装備車では、キーを使用せずにロック解除およびロックができます。そのためには、常にキーをズボンのポケットなどに入れて携帯する必要があります。

ドアハンドルの汚れがひどいと、コンフォート アクセス機能が制限されることがあります。

▶ 272 ページの「車両のお手入れ」の章を参照してください。

キーを使用してコンフォート アクセスを停止する

第三者による車両の不正なロック解除および始動を防ぐため、キーを使用してコンフォート アクセス機能を一時的に停止することができます。

- ▶ キーのインジケーター ライトが点灯し続けるまで  および  ボタンを同時に押します。
 - キーのインジケーター ライトが点灯し続けている間は、停止していることを示しています。

キーの任意のボタンを押すと、コンフォート アクセス機能が自動的に作動します。

- ▶ キーを強い電磁波にさらさないでください。コンフォート アクセスが妨げられることがあります。

ドアのロック解除とロック

ドアのロック解除

インフォメーション

- ドア、ボンネット、リヤリッドが閉じられてから 45 秒後に、ドアハンドルが格納されます。車両はロック解除されたままになります。
- 車両のロックを解除し、ドア、ボンネット、またはリヤリッドを 45 秒以内に開けなかった場合には、車両が自動的に再ロックされます。

インフォメーション

事故が発生してエアバッグが作動した場合、救助者が車両に入れるようにするために、車両全体が自動的にロック解除されます。さらに、ハザードライトも自動的に作動します。

1. コンフォート アクセス システムは最先端技術です。しかし、無線キーのキーコードが傍受され、使用されて車両の盗難に遭う、といった可能性を完全には排除できていません。

キーによるドアのロック解除

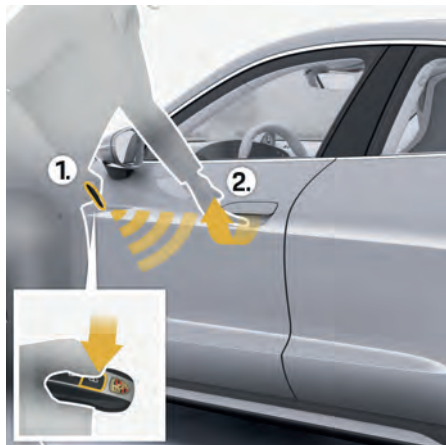


図. 22 キーによるドアのロック解除

1. ボタンを押してください。
 ➡ ハザードライトが1回点滅します。
 設定によっては、車両のロックが解除され、
 ドアハンドルが展開します。
2. ドアハンドルを引いてください。

ドアハンドルの近接センサーによるドアのロック解除



図. 23 コンフォートアクセスによるドアのロック解除

- ✓ コンフォートアクセス装備車。
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。

1. 機能を事前に有効にします。 ▶ 車両の設定 ▶ 車両 ▶ 車両ロックシステム ▶ ドアのロック解除

2. キーを携行して運転席または助手席側のドアに近づくと、ドアロックを解除することができます。
 ドアハンドルのハンドルのくぼみに手を入れ、つかみます。作動中にドアハンドル前部の近接センサーに**触れない**でください。
 ➡ ハザードライトが1回点滅します。
 設定によっては、車両のロックが解除され、
 ドアハンドルが展開します。
3. ドアハンドルを引いてください。

インフォメーション

バッテリーを節約するために、不要なコンフォート機能は順次 OFF になります。その後、キーを使用して車両のロックを解除できます。

車両接近時のドアのロック解除

セントラルロックは、車両に近づくとドアが自動的にロック解除されるように設定できます (約 2 m の距離から)。

駐車して車両をロックした後、車両のキーを車両から 6 m 以上離してください。これにより意図しないロック解除や、車両キーのバッテリーの急速な放電が回避されます。

- ✓ コンフォートアクセス装備車。
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。


1. 機能を事前に有効にします。 ▶ 車両の設定 ▶ 車両 ▶ 車両ロックシステム ▶ 接近時のドアの自動ロック解除

2. 車両に接近します。
 ➡ ハザードライトが1回点滅します。
 設定によっては、車両のロックが解除され、
 ドアハンドルが展開します。
3. ドアハンドルのハンドルのくぼみに手を入れ、つかみます。作動中にドアハンドル前部の近接センサーに**触れない**でください。
4. ドアハンドルを引いてください。

車内からのドアのロック解除



図. 24 ドアパネルのセントラル ロッキング ボタン

- ▶ ドアパネルの  ボタンを押してください。
- または -
インナー ドアハンドルを引いてください。
- ➡ **すべてのドアおよびリヤリッドのロックが解除されます。ドアハンドルが展開します。**
ボタンのインジケーター ライトが消灯します。

① インフォメーション

セーフロック作動で車両をロックした場合、またはエマージェンシー キーを使用して車両をロックした場合には、車内からドアを開くことはできません。

① インフォメーション

車両の電源が入っていない場合 (高電圧バッテリーが放電しているなど)、またはドアハンドルを引っ張るのが速すぎた場合には、ドアハンドルを2回引っ張ることが必要な場合があります。

- ▶ ドアハンドルから手を放し、もう一度引きます。

車両の自動ロック解除

ドアを開けると車両のロックが自動解除されます。

バッテリーが切り離された状態でのロック解除

12V リチウム バッテリーを切り離した後、もともとロック解除されていたドアはエマージェンシー キーで車外からのみ開くことができます。

- ▶ 12V リチウム バッテリーを切り離す前にウィンドウを開いてください。
 - ➡ インナー ドアハンドルを2回引っ張ると、ドアは車内外から開くことができます。そのため、インナー ドアハンドルを静止位置からいっぱいに停止する位置まで完全に引きまします。

ドアをロックする

知識

展開中のドアハンドルは、洗車機にかけると損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機にかける前に、車両をロックしてください。

セーフロックの使用 (国別仕様による)

⚠ 警告

車外からドアをロックする

車外からドアをロックすると、車内からドアやウィンドウを開くことができなくなります (セーフロック)。そのため、ロックする前に車両に人または動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。


- ▶ 車両をロックするときは、車内に人や動物がいないことを確認してください。

セーフロック (国別仕様による) を使用すると、車両をロックしたときにインナー ドアハンドルとセントラル ロッキング ボタンが無効になり、車両に侵入することが一層難しくなります。

セーフロックが作動：インナー ドアハンドルを引いて、**ドアを車内側から開くことはできません。**内側から開けようとした場合、警報システムが発動します。

人や動物を車内に残して車両をロックする場合、セーフロックを解除してください。

キーでドアをロックする

- ✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動しています。
- ✓ すべてのドアが閉じられています。
- ▶  ボタンを1回押してください。
 - ➡ ハザード ライトが2回点滅します。
ドアハンドルが格納します。

車両をロックするときのセーフロックの解除

1. ㊦ ボタンを2秒以内に2回押してください。
 - ➡ ハザードライトが2回短く点滅し、その後1回長く点滅します。
 - ドアハンドルが格納します。
 - ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。
2. ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

i インフォメーション

ドア、ボンネットまたはリヤリッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックすることはできません。警告音が鳴り、ハザードライトは点滅しません。

i インフォメーション

車両をロックする際にキーが車内にある場合は、車両が再度ロック解除されます。何度か警告音が鳴り、ハザードライトが4回点滅します。ドア、ボンネット、またはリヤリッドを約45秒以内に開けなかった場合にのみ車両がロックされ、その後はスペアキーを使用しないとロック解除できなくなります。

- ▶ 車両をロックするときは、キーが車内にないことを確認してください。

ドアハンドルの近接センサーによりドアをロックする

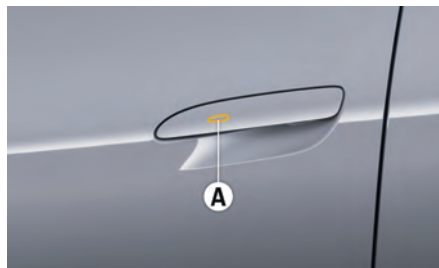


図. 25 コンフォート アクセスによりドアをロックする

- ✓ コンフォート アクセス装備車。
- ✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動しています。
- ✓ キーをズボンのポケットなどに入れて携行している。
- ✓ すべてのドアが閉じられています。
- ▶ ドアハンドルの近接センサー A (図. 25) に触れてください。
 - ➡ ハザードライトが2回点滅します。
 - ドアハンドルが格納します。

車両をロックするときのセーフロックの解除

1. ドアハンドルの近接センサー A (図. 25) に2秒以内に2回触れてください。
 - ➡ ハザードライトが2回短く点滅し、その後1回長く点滅します。
 - ドアハンドルが格納します。
 - ドアはロックされますが、インナー ドアハンドルを引くことにより、車内側から開くことができます。
2. ドアを開いたら警報システムが作動することを、車内に残る人に伝えてください。

i インフォメーション


- ドア、ボンネットまたはリヤリッドが完全に閉じていない場合、車両を完全にロックすることはできません。警告音が鳴り、ハザードライトは点滅しません。
- 車両をロックするときはキーを車外に持ち出してください。キーが車内にあると車両をロックできません。

車内からドアをロックする



図. 26 ドアパネルのセントラル ロッキング ボタン

- ✓ ドアが閉じられている。

- ▶ ドアパネルの  ボタンを押してください。
 - ➔ すべてのドアおよびリヤリッドがロックされます。
 ドアハンドルが格納します。

ボタンのインジケーター ライトが点灯します。

インナー ドアハンドルを引くことによるのみ、車内からドアを開くことができます。

自動ロック

✓ 機能が作動している。

速度が約 15 km/h を超えると、車両は自動的にロックされます。

▶ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。

チャイルドロックの作動 / 解除

リヤドアは、車内から開けられないようにロックできます。チャイルドロックはチャイルドプロテクションと連動して作動します。

▶ 32 ページの「リヤでの操作を無効にする - チャイルドプロテクション」の章を参照してください。



チャイルドロックが故障した場合、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

セントラルロック設定の調整

セントラルロックの動作の設定は、セントラルディスプレイで調整できます。例：

- ドアのロック解除 (運転席ドアのみ、サイド選択、すべてのドア)。
- 車両接近時のドアのロック解除。

- 速度が約 15 km/h を超えると車両を自動的にロック。
- ロック / ロック解除時のドア ミラーの自動格納および復帰。

▶  ▶ 車両の設定  車両 ▶ 車両ロックシステム


ドアの緊急ロック解除および緊急ロック



図. 27 緊急ロック解除 / 緊急ロックの実行

キーのリモートコントロールが機能しない場合、リモートコントロールなしでもドアのロックおよびロック解除ができます。

緊急ドアロック解除の実行

- ▶ リヤウィンドウの上の進行方向右にキーを置き、 ボタンを押してください。

車両のロックがまだ解除できない場合：

1. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。

▶ 30 ページの「エマージェンシーキーの使用」の章を参照してください。

2. 運転席ドアのドアハンドルを引いたままにします。
3. エマージェンシーキーをラウンドエッジが上を向くようにしてドアロックに挿入します (右ハンドル車ではラウンドエッジが下を向きます)。
4. エマージェンシーキーを、最初に抵抗を感じるところまで反時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシーキーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. ドアハンドルを、閉位置からしっかりした抵抗を感じる位置を超えるまで引きます。
 - ➔ ドアを開くことができます。
7. 警報システムが作動しないように、パワーボタンを 15 秒以内に押して車両を ON にします。

インフォメーション

国別仕様により、警報システムが作動するまでの時間が異なる場合があります。

緊急ドアロックの実行

インフォメーション

緊急ロック機能は、車両を駐車する際にドアをロックする場合にのみ使用してください。

- ▶ 運転を開始する前に、ドアのロックを解除してください。

1. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
▶ 30ページの「エマージェンシーキーの使用」の章を参照してください。
2. 運転席ドアのドアハンドルを引いたままにします。
3. エマージェンシーキーをラウンドエッジが上を向くようにしてドアロックに挿入します(右ハンドル車ではラウンドエッジが下を向きます)。
4. 運転席ドアを開けた状態で、エマージェンシーキーを最初に抵抗を感じるころまで時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
5. エマージェンシーキーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
6. 運転席ドアを閉じます。
7. 車両がロックされているか確認してください。

i インフォメーション

セントラルロックが故障した場合、セントラルロックシステムすべてのファンクションロックは運転席のドアロックからロックすることができます。

- ▶ セントラルロックシステムの故障は修理してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

セントラルロックシステムが故障した場合のドアの緊急ロックの実行

助手席ドアおよびリアドアに対して、この手順を行ってください。



図. 28 助手席ドアの緊急ロックの実行

1. ドアを開けます。
2. キーからエマージェンシーキーを取り外してください。
3. クリップを外し、カバーを取り外します。
4. エマージェンシーキーを使用して、キースイッチを車両の外側方向に回してください。
5. カバーを再度取り付けてください。
6. ドアハンドルを引いたままにしてください。
7. ドアを開けた状態で、エマージェンシーキーを最初に抵抗を感じるころまで時計回りに回してから、回るところまでさらにしっかり回します。
8. エマージェンシーキーを最初の位置まで戻し、抜いてください。
9. ドアを閉じてください。
10. すべてのドアがロックしているか確認してください。

ラジオ アンテナの取り付け位置



警告

電波による医療技術機器の障害

車両のアンテナが電波を送信することにより、ペースメーカーや除細動器などの医療機器の機能が損なわれる可能性があります。

- ▶ アンテナから約 22 cm の距離を維持してください。
- ▶ 考えられる障害については、医師またはメーカーにご相談ください。

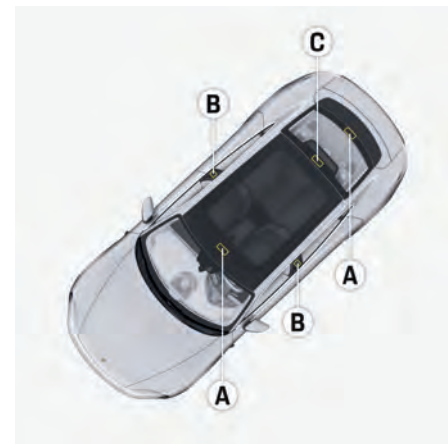


図. 29 ラジオ アンテナの取り付け位置

エアコンおよび人間工学

エアバッグ

一般的な安全に関する指示



危険

不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

エアバッグは、乗員全員がシートベルトを着用して正しく着席している場合にのみ、保護機能を発揮します。荷物や手荷物は安全に収納する必要があります。

エアバッグは、衝突の強さおよび角度に応じて作動します。最適な保護機能を提供するため、エアバッグは非常に高速で展開する必要があります。シートベルトを着用していない、不適切なシート位置が想定される、または乗員がエアバッグに近すぎる場合、エアバッグの展開時に正しく保護効果を発揮できず、ケガや死亡の危険性があります。

- ▶ 常にシートベルトを着用してください。
- ▶ ドライバーや乗員とエアバッグが展開するエリアとの間に、人や動物がないように、また物がないようにしてください。
- ▶ ステアリングホイールは必ずステアリングホイールリムを握るようにしてください。
- ▶ 保護効果を発揮するには、ドライバーや乗員からエアバッグまで一定の距離が必要です。シート位置が不必要にエアバッグに近くならないようにします。
- ▶ ドアの内側(エアバッグが膨らむエリア)にもたれかからないでください。
- ▶ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシートの上に足を乗せないでください。
- ▶ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。
- ▶ 重い荷物をシートの上や前方に積載して輸送しないでください。

- ▶ ダッシュボードの上に物を置かないでください。
- ▶ 走行中はグローブボックスを閉じてください。
- ▶ シートバックレストには何も掛けないでください(ジャケットやコートハンガーなど)。
- ▶ ドライバーはこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

エアバッグの機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面で衝突が起こった場合、エアバッグが作動し、衝突方向のドライバーや乗員の動きを減衰させつつ、頭部、上半身、骨盤を保護します。

フロントエアバッグは、運転席側ではステアリングホイールのパッド内、助手席ではダッシュボードの中に取り付けられています。

フロントシートの**サイドエアバッグ**はシートレストの側面に取り付けられています。リヤシートの**サイドエアバッグ**(装備により異なる)はサイドボルスター内にあります。

ヘッドエアバッグはサイドルーフフレームに取り付けられています。

運転席および助手席用の**ニーエアバッグ**はダッシュボードの下にあります。

それぞれのエアバッグは、衝突の角度や力に応じて作動します。



危険

作動済みのエアバッグを作動させることはできません。

エアバッグは1回しか作動できません。

- ▶ 作動済みのエアバッグは直ちに切り替える必要があります。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。



危険

エアバッグの改造による不具合

手を加えたエアバッグは、保護効果を発揮しません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする危険があります。予期しないタイミングでエアバッグが作動すると、重症を負う可能性があります。

- ▶ エアバッグシステムの配線や構成部品を改造しないでください。
- ▶ エアバッグの配線の近くには、アクセサリ類の配線を取り付けしないでください。
- ▶ エアバッグ付近にアクセサリを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けたりしないでください。
- ▶ シートに保護カバーを装着しないでください。
- ▶ エアバッグ構成部品を取り外さないでください。

助手席エアバッグを OFF にする



図. 30 助手席エアバッグ OFF/ON インジケーター



危険

助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。



危険

助手席エアバッグの故障と作動不良

作動待機が確立されていて助手席エアバッグが OFF のときに PASSENGER AIR BAG OFF ライトが点灯しない場合、システム故障の恐れがあります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。




図. 31 助手席エアバッグを OFF にする

助手席エアバッグは、グローブボックス内のキースイッチで OFF にできます。キースイッチはエマーゼンシーキーで操作できます。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。

▶ 51 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

故障の認識

エアバッグシステムが故障した場合、インストルメントクラスターの赤いエアバッグ警告灯  によって表示されます。

次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- 車両を ON にしたときに警告灯が点灯しない。
 - または-
- 作動準備が整っても、警告灯が消えない。
 - または-
- 走行中に警告灯が点灯する。

ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インテリアライト

インテリアライトのON/OFFの切り替え



図. 32 インテリアライトの操作

- A 左フロント読書灯用ボタン
- B 右フロント読書灯用ボタン
- C フロントおよびリヤのインテリアライト用ボタン

フロントおよびリヤインテリアライトのON/OFFの切り替え

- ▶ ボタンC(図. 32)を押します。

読書灯のON/OFFの切り替え

フロント読書灯

- ▶ ボタンA(図. 33) またはB(図. 33)を押します。

リヤ読書灯



図. 33 読書灯の操作

- ▶ 該当するドアの上のボタンD(図. 33)を押します。

インテリアライトのON/OFFの自動切り替え

- ▶ **設定 ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ ロックまたはロック解除中のインテリアライトを有効にします。**

暗い場合、インテリアライトは以下の状況でONになります。

- 車両のロックが解除されている場合、またはドアが開いている場合
- 車両をOFFにした後

以下の状況では、インテリアライトが再び減光され、OFFになります。

- 作動待機が確立された後
- 車両ロック後

以下の状況では、選択したライト遅延時間にに応じてインテリアライトが再びOFFになります。

- すべてのドアが閉まった後
- インテリアライトをONにしてから約10分後、自動的にOFF

インテリアライトのライト遅延時間設定

- ▶ **設定 ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ ライト遅延時間を設定。**

アンビエントライトのON/OFFの切り替え

1. **設定 ▶ Comfort ▶ アンビエントライトをタップします。**
2. **ライトをONにするを有効にします。**

インテリアライトの調節

明るさの調節

セントラルディスプレイ

- ▶ **設定 ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ インテリアライト ▶ 明るさ車両インテリアライトの明るさを設定します。**

読書灯の明るさを調節する

- ▶ 該当するライトのボタンを希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。


アンビエントライトの調節

アンビエントライトのカラーの設定


1. **設定 ▶ Comfort ▶ アンビエントライトをタップします。**
2. **カラーを選択します。**
3. **希望のライトのカラーを設定します。**

アンビエントライトの明るさ調節

車室内全体の明るさ設定

1.  ▶ **Comfort** ▶ アンビエントライトをタップします。
2. **全体の明るさ**をタップします。
3. 明るさを希望の値に設定します。

車内の各エリアの明るさの設定

1.  ▶ **Comfort** ▶ アンビエントライトをタップします。
2. **カップホルダー、ドア、センターコンソール**または**フットウェル**をタップします。
3. 明るさを希望の値に設定します。

チャイルドシート

一般的な安全に関する指示


危険

チャイルドシートの誤った使用

チャイルドシートを正しく使用しないと、重傷または致命傷を負う危険があります。

チャイルドシートが車種に適していない場合、またはチャイルドシートが車両に正しく取り付けられていない場合、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

- ▶ チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
- ▶ チャイルドシートは使用する国の道路交通法規に従って使用してください。
- ▶ ポルシェが推奨するチャイルドシートのみを使用してください。ポルシェ推奨のチャイルドシートは、テストが実施されており、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。推奨外のチャイルドシートはテストされておらず、万一のときに負傷する危険性が高まります。
- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合は、助手席エアバッグをOFFにしてください。

ポルシェでは、ポルシェテイクアップメント製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします。取り付け方法に関するインフォメーション：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ www.porsche.com/tequipment
- ▶ 51 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。


危険

助手席のチャイルドシート

助手席エアバッグは、ある程度の体格と体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルドシートを助手席に取り付けた場合、または乗員が小柄である場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

- ▶ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートは**使用しないでください。フロントエアバッグが作動した場合、お子様が致命傷または重傷を負う危険があります。**
- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付ける前に、助手席エアバッグをOFFにする必要があるかどうかを必ず確認してください。
- ▶ 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節すること。

▶ 51 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

▶ 47 ページの「助手席エアバッグをOFFにする」の章を参照してください。

- ▶ 身長 150 cm 未満または 12 歳未満の子供は、適切なチャイルドシートがないと乗車することができません。国別の法律を遵守してください。これらは異なる場合があります。
- ▶ チャイルドシートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ずOFFにしてください。
- ▶ 前向きに着座するチャイルドシートを取り付ける前に、ヘッドレストを可能な限り高く調節してください。
リヤシートへのヘッドレストを最も高い位置に調節してもチャイルドシートが取り付けられない場合は、ヘッドレストを取り外す必要があります。チャイルドシートを取り外した後で、必ずヘッドレストを取り付けてください。

▶ 79 ページの「ヘッドレストの調節」の章を参照してください。



図. 34 エアバッグ警告ラベル



図. 35 サンバイザーのエアバッグ警告ラベル

▶ エアバッグ警告と警告標識付きラベル A (図. 35) を除去したり、汚損したり、判読不能にしたりしないでください。

チャイルドシートの正しい使用

このセクションは、1 つずつ遵守していただく必要のある 3 つの項目に分けられています。

▶ チャイルドシートを安全に取り付けるため、以下の 3 つの項目すべてを注意深くお読みください。

1. 適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートを使用してください。

▶ 50 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。

2. チャイルドシートは正しい取り付け位置で使用してください。

▶ 51 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

3. チャイルドシートを確実に固定して取り付けてください。

▶ 55 ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。

適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用

▶ 適切な体重およびサイズグループに加えて、チャイルドシートが正しく取り付けられており、取り付け位置が適切であることも確認してください。

▶ 51 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。

▶ 55 ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。



図. 36 チャイルドシートの ECE ラベルの例

A サイズグループ

B 「汎用 (ユニバーサル)」または「準汎用 (セミユニバーサル)」マーク

C 体重グループ

▶ 準汎用 (セミユニバーサル) 認可のチャイルドシートの場合は、該当のチャイルドシートに付属する、またはインターネットで入手できる適合車種一覧表を参照してください。

チャイルドシートの体重グループによる分類

体重グループ 0、0 + のお子様：13 kg まで (i-Size システム、ISOFIX システム、およびシートベルトによる固定)

この体重グループのお子様は、後ろ向きに着座するタイプのチャイルドシートを必ず使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループIのお子様：9～18 kg (i-Size システム、ISOFIX システム、またはシートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。特別な状況に限り、この体重グループのお子様は後ろ向きに着座するタイプの特別なチャイルドシートを使用することもできます。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループIIのお子様：15～25 kg (シートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

体重グループIIIのお子様：22～36 kg (シートベルトによる固定)

このグループのお子様は、必ず前向きに着座するタイプのチャイルドシートを使用してください。このタイプのチャイルドシートは、可能な限りリヤシートに取り付けてください。

チャイルドシートのサイズグループによる分類

- A** ISO/F3：前向き、フルサイズチャイルドシート
- B** ISO/F2：前向き、小型サイズチャイルドシート
- B1** ISO/F2X：前向き、小型サイズチャイルドシート
- B2** ISO/B2：バックレスト付き前向き i-Size ブースターシート
- C** ISO/R3：後ろ向き、フルサイズチャイルドシート
- D** ISO/R2：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート
- D1** ISO/R2X：後ろ向き、小型サイズチャイルドシート

- E** ISO/R1：後ろ向き、乳幼児用チャイルドシート
- F** ISO/L1：左向きチャイルドシート (ベビーキャリア)
- G** ISO/L2：右向きチャイルドシート (ベビーキャリア)

バックレスト装備または非装備のブースターシート

- ISO/B2：前向きチャイルドシート (バックレスト装備または非装備のブースターシート)、減少幅 440 mm
- ISO/B3：前向きチャイルドシート (バックレスト装備または非装備のブースターシート)、全幅 520 mm

- ▶ チャイルドシートの適用範囲、および使用するチャイルドシートのメーカーの取り付けおよび取扱説明書を遵守してください。

体重およびサイズグループの概要

この表は利用可能なチャイルドシートサイズの概要を示しています。推奨する取り付け方法を示しているわけではありません。

体重グループ	チャイルドシートの位置	サイズグループ / ISOFIX グループ
グループ0 0～10 kg	左向き	F/L1
	右向き	G/L2
	後ろ向き	E/R1 C/R3
グループ0+ 0～13 kg	後ろ向き	D/R2 E/R1
グループI	前向き	A/F3

体重グループ	チャイルドシートの位置	サイズグループ / ISOFIX グループ
9～18 kg		B/F2
		B1/F2X
	後ろ向き	C/R3
		D/R2
グループII 15～25 kg	前向き	—
グループIII 22～36 kg	前向き	—
i-Size チャイルドシート	後ろ向き	—/R2X
	前向き	—/B2, F2X
ブースターシート	前向き	—/B2, B3

チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底

- ▶ 適切な取り付け位置に加えて、チャイルドシートが正しい体重およびサイズグループで、正しく取り付けられていることを確認してください。
 - ▷ 55 ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。
 - ▷ 50 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。

下表は、ECE-R16 規格に従ってチャイルドシートを使用する方法の概要です。

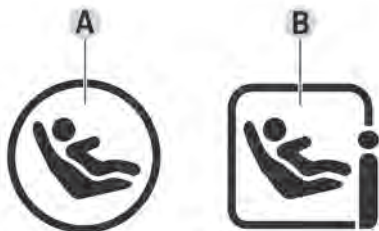


図. 37 ISOFIX および i-Size のシンボル

A ISOFIX チャイルドシートのアタッチメントのシンボル(国によって異なる)

B i-Size チャイルドシートのアタッチメントのシンボル(国によって異なる)

i-Size および ISOFIX はチャイルドシート用の標準化されたアンカーシステムです。使用できるかどうかは国によって異なります。ECE-R 129 および ECE-R 44 に準拠して承認された ISOFIX チャイルドシートおよび i-Size チャイルドシートは、i-Size のアンカーポイントに取り付けることができます。

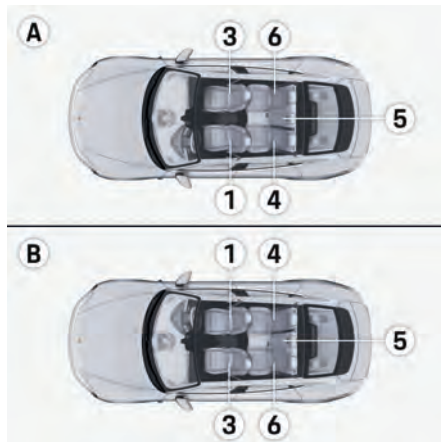


図. 38 リヤシート 3 席装備車にチャイルドシートを取り付けるためのシート番号

A リヤシート 3 席装備の左ハンドル車

B リヤシート 3 席装備の右ハンドル車

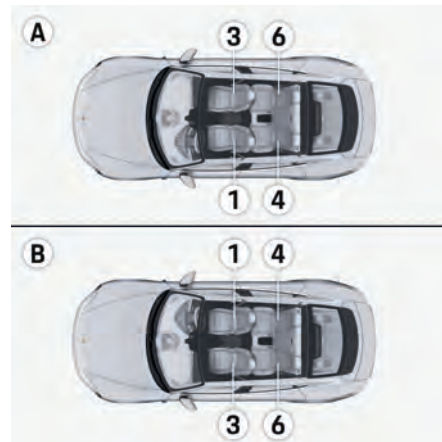


図. 39 リヤシート 2 席装備車にチャイルドシートを取り付けるためのシート番号

A リヤシート 2 席装備の左ハンドル車

B リヤシート 2 席装備の右ハンドル車

	i-Size システムによる固定	シートベルトによる固定	ISOFIX システムによる固定
シート番号に応じて許容される取り付け位置 ▷ (図. 38) ▷ (図. 39)	4 および 6	3、4、5 ¹ および 6	4 および 6

チャイルドシート取り付けのためのシート番号	1	3 ²	4	5 ^{1 3}	6
シートベルトによる固定 ⁴	不可	可	可	可	可
ISOFIX の取り付け位置 ⁵	不可	不可	可	不可	可
i-Size の取り付け位置	不可	不可	可	不可	可
横向きのチャイルドシート	不可	不可	不可	不可	不可
適切な後ろ向きチャイルドシートで最大のもの	不可	R2X	R2X/R3	R2	R2X/R3
適切な前向きチャイルドシートで最大のもの	不可	F2X	F3	F2	F3

- シート 5 は、リヤシート 3 席装備車でのみ使用可能で、車両のシートベルトで固定されるチャイルドシートの取り付けのみに適しています。
- 助手席エアバッグを OFF にする必要があるかどうかを必ず確認してください。
- この取り付け位置は、サポートレッグ付きのチャイルドシートの取り付けに適していません。
- 可：車両シートベルトで固定された汎用および準汎用チャイルドシートに適しています。準汎用チャイルドシートを取り付けることができるかどうかを検討する際、チャイルドシートに付属している、インターネットで入手可能なタイプリストにご注意ください。
- 可：汎用および準汎用 ISOFIX チャイルドシートに適しています。準汎用チャイルドシートを取り付けることができるかどうかを検討する際、チャイルドシートに付属している、インターネットで入手可能なタイプリストにご注意ください。

チャイルドシート取り付けのためのシート番号	1	3	4	5	6
適切なチャイルドシートで最大のもの(バックレスト装備または非装備のブースターシート) (B2/B3)	不可	B3	B3 ¹	B3 ²	B3 ¹

不可：シートはこのグループのチャイルドシートの取り付けに適していません。

チャイルドシートの体重とサイズグループの説明、およびi-Sizeチャイルドシートとバックレスト装備または非装備のブースターシートの分類：

▶ 50 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。

助手席へのチャイルドシートの取り付けの概要

汎用(U)または「準汎用」(L)認定カテゴリーのチャイルドシートを助手席に取り付ける場合、下記の表を使用して、助手席エアバッグをOFFにする必要があるかどうかを確認してください。

認定カテゴリーの詳細については、チャイルドシートにあるオレンジ色の認証マークを参照してください。

X： シートはこのグループのチャイルドシートには適していません。

U/L： 「汎用」または「準汎用」認定カテゴリーの前向きタイプのチャイルドシートで、大人用シートベルトで固定され、このグループでの使用が認定されているものに適しています。

グループ	助手席シート	
	助手席エアバッグON ³	助手席エアバッグOFF
グループ0： 0～10 kg	X	U/L

グループ	助手席シート	
	助手席エアバッグON	助手席エアバッグOFF
グループ0+： 0～13 kg	X	U/L
グループ1： 9～18 kg 後ろ向き	X	U/L

- 高さ 1.50 m まで調整可能なバックレスト付きブースターシートに適しています。
- 高さ 1.35 m まで調整可能なバックレスト付きブースターシートに適しています。
- 助手席シートを最後部上部位置に調整します。

グループ	助手席シート	
	助手席エアバッグ ON	助手席エアバッグ OFF
グループⅠ： 9 ～18 kg 前向き	U/L	U/L
グループⅡ： 15～25 kg	U/L	U/L
グループⅢ： 22～36 kg	U/L	U/L

チャイルドシートの取り付け

- ▶ チャイルドシートは、適切に取り付けることに加えて、体重、サイズグループ、および取り付け位置が適切であることも確認してください。
 - ▷ 50 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
 - ▷ 51 ページの「チャイルドシートの正しい取り付け位置の徹底」の章を参照してください。
- ▶ チャイルドシートが取り付けられている場合、シートヒーターを必ず OFF にしてください。
- ▶ 前向きに着座するチャイルドシートを取り付ける前には、ヘッドレストを可能な限り高く調節してください。リヤシートのヘッドレストを最も高い位置に調節してもチャイルドシートが取り付けられない場合は、ヘッドレストを取り外す必要があります。チャイルドシートを取り外した後で、必ずヘッドレストを取り付けてください。
 - ▷ 79 ページの「リヤシートのヘッドレストの取り外しと取り付け」の章を参照してください。

ベビーキャリア

サイズ カテゴリー F および G の左向きまたは右向きタイプのチャイルドシート（ベビーキャリアなど）は、どのシートにも使用できません。
 ポルシェ テクニップメント製品のチャイルドシートを使用することを推奨いたします（例：Porsche Babyseat ISOFIX GO+）。

助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え

▲ 危険 助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

- ▶ チャイルドシートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグを OFF にしてください。
- ▶ チャイルドシートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再び ON にしてください。



図. 40 助手席エアバッグを OFF にする

✓ 車両が OFF になっている。

1. グローブボックスを開きます。
2. **知識**

キースイッチおよびエアバッグシステムが損傷する危険があります。

- ▶ エマージェンシーキーは必ずキースイッチにしっかりと押し込んでから回してください。
キースイッチはさほど大きな力をかけなくても回せるはずです。
- ▶ 助手席エアバッグは、車両が OFF のときのみ、ON または OFF に切り替えてください。

キーからエマージェンシーキーを取り外してください。

▷ 29 ページの「キーの使用」の章を参照してください。

3. エマージェンシーキーをキースイッチにしっかりと押し込みます。

4. **▲ 危険** 助手席エアバッグの不意の作動により重傷または致命傷を負う危険

キースイッチにエマージェンシーキーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシーキーが不意に回転し、エアバッグが作動する恐れがあります。

- ▶ エマージェンシーキーをキースイッチに挿入したまま走行しないでください。

エマージェンシーキーを使用して、助手席エアバッグを OFF（スイッチ位置 **OFF**）または ON（スイッチ位置 **ON**）にします。

5. エマージェンシーキーをキースイッチから抜き取ります。

6. グローブボックスを閉じます。

PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケータ



図. 41 助手席エアバッグ OFF/ON インジケータ

助手席エアバッグ OFF/ON インジケータは、オーバヘッドコンソールにあります。

OFF 燈 ON 燈 ライト作動点検

作動待機が確立されると、ライト作動点検のために PASSENGER AIR BAG OFF/ON インジケータが約 5 秒間点灯します。

OFF 燈 助手席エアバッグ OFF

助手席エアバッグを OFF にすると、作動待機が確立されたときに PASSENGER AIR BAG OFF インジケータが点灯し続けます。

ON 燈 助手席エアバッグ ON

助手席エアバッグを ON にすると、作動待機が確立されたときに PASSENGER AIR BAG ON インジケータが約 1 分間点灯し、その後消灯します。



危険

助手席エアバッグの故障と作動不良

作動準備が確立されて助手席エアバッグを OFF にしたときに PASSENGER AIR BAG OFF インジケータが点灯しない場合は、システムに不具合が生じている可能性があります。

- ▶ 助手席にチャイルドシートを取り付けないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両シートベルトを使用したチャイルドシートの取り付け

車両シートベルトを使用したリヤシートへのチャイルドシートの取り付け

1. 助手席とチャイルドシートシステムが確実に接するように助手席のバックレスト角度を調節します。
2. 助手席シートを最後部上部位置に調整します。
▶ 77 ページの「シートの調節」の章を参照してください。
3. 可能であれば、チャイルドシートのバックレストのシートベルトガイドが車両の B ピラーのベルトアウトレットの前側および下側になるように調整します。
4. 助手席とその後ろに座っている乗員との間に十分な距離を確保し、必要に応じて助手席を適宜調整します。
5. おお客様の足とダッシュボードの間に十分なスペースを確保し、必要に応じて助手席を適宜調整します。

車両シートベルトを使用したリヤシートへのチャイルドシートの取り付け

- ▶ ブースターシートにバックレストがない場合は、ブースターシートとリヤシートバックレストが接触していることを確認します。

i-Size または ISOFIX システム付きチャイルドシートの取り付け

- ▶ 50 ページの「適切な体重およびサイズグループのチャイルドシートの使用」の章を参照してください。
- ▶ チャイルドシートシステムに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

リヤシートへのチャイルドシートの取り付け

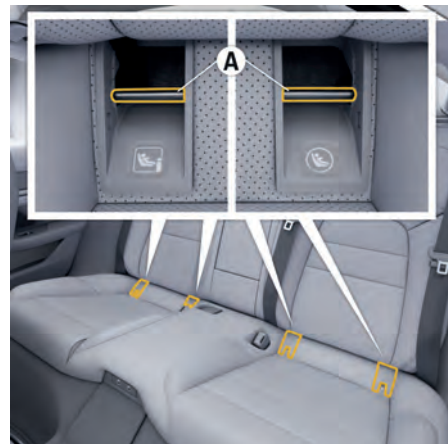


図. 42 リヤシートの i サイズまたは ISOFIX アンカーシステム (国によって異なります)

i-Size または ISOFIX のチャイルド シート アンカー システムのリテーニング ラグ A (図. 42) は、シート クッション上のマーキングされた保護キャップの下にあります。

1. 必要に応じて i-Size または ISOFIX リテーニング ラグの保護キャップを取り外し、安全な場所に置きます。
2. チャイルド シートを付属の説明書に従ってリテーニング ラグ A (図. 42) に固定します。
3. チャイルド シートを引っ張って、両側のリテーニング ラグに確実に固定されているか点検します。
4. フロント助手席側シートとその後ろに座っている乗員の間が快適な距離になるようにします。

回転しないように、チャイルド シートをサポート レッグまたはトップ テゼーでさらに固定します。

サポート レッグ付きチャイルド シートの取り付け



図. 43 サポート レッグ付きチャイルド シートの取り付け

1. リテーニング ラグ A (図. 43) を使用して、ISOFIX または i-Size アンカー付きチャイルド シートを正しく取り付けます。
▷ 55 ページの「チャイルド シートの取り付け」の章を参照してください。
2. チャイルド シート メーカーの指示に従って、サポート レッグを位置決めします。
3. チャイルド シートがリヤシートに対して面一に取り付けられているようにします。

トップ テゼー付きチャイルド シートの取り付け

Taycan

チャイルド シートをトップ テゼーと一緒に使用する場合、トップ テゼーはリヤ シェルフ上のアンカー ポイントに取り付けます。



図. 44 トップ テゼーのアンカー ポイント

1. トップ テゼー カバーを開きます。



図. 45 トップ テゼー付きチャイルド シートの取り付け

2. ISOFIX または i-Size アンカー付きチャイルド シートをリテーニング ラグ A (図. 45) で正しく取り付けます。
▷ 56 ページの「i-Size または ISOFIX システム付きチャイルド シートの取り付け」の章を参照してください。
3. トップ テゼー B (図. 45) をヘッドレストに通します。容易に取り付けられるようにヘッドレストは取り外すことができます。

チャイルド シートを取り外した後で、必ずヘッドレストを取り付けてください。

▷ 79 ページの「リヤシートのヘッドレストの取り外しと取り付け」の章を参照してください。

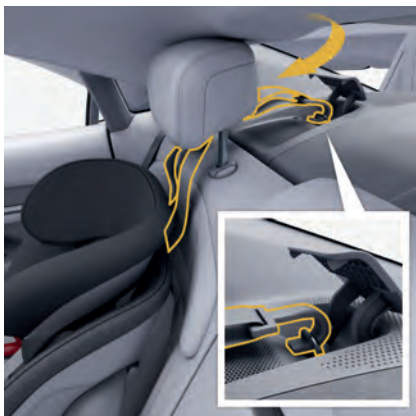


図. 46 i-Size または ISOFIX トップテザー付きチャイルドシートの固定

4. トップテザーをバックレストのリアシェルフのアンカーポイントに固定し、トップテザーを締め付けます。

トップテザー付きチャイルドシートの取り付け

Taycan Cross Turismo

トップテザー付きチャイルドシートを使用する際、トップテザーはリアシートバックレストの後ろのアンカーポイントに取り付けてください。



図. 47 トップテザーのアンカーポイント

1. ISOFIX または i-Size アンカー付きチャイルドシートをリテーニングラグ A (図. 48) で正しく取り付けます。

▷ 56 ページの「i-Size または ISOFIX システム付きチャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。



図. 48 トップテザー付きチャイルドシートの取り付け

2. トップテザー B (図. 48) をヘッドレストに通します。容易に取り付けられるようにヘッドレストは取り外すことができます。

チャイルドシートを取り外した後で、必ずヘッドレストを取り付けてください。

▷ 79 ページの「リアシートのヘッドレストの取り外しと取り付け」の章を参照してください。



図. 49 i-Size または ISOFIX トップテザー付きチャイルドシートの固定

3. トップテザー **B** (図. 48) をバックレスト後部のアンカーポイントに固定し、トップテザーを締め付けます。

高度なオート エアコンによるエアコンシステム (2-/4- ゾーン エアコン)

概要説明 - エアコン

セントラルディスプレイ

エアコンシステムは装備に応じて、セントラルディスプレイ、センターコンソールコントロールパネル、およびリヤディスプレイから操作できます。

事前設定されたオートモードであるワイドおよびフォーカスにより、全自動のエアコンコントロールが実現します。

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

▶ 173 ページの「ボルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

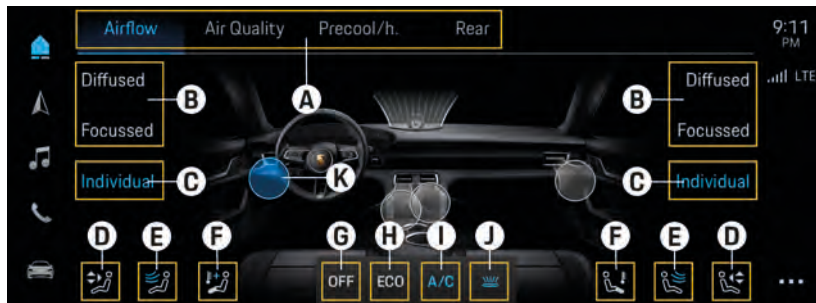


図. 50 セントラルディスプレイの概要

希望する操作	操作方法	操作箇所
セントラルディスプレイでエアコンメニューを呼び出します	<ul style="list-style-type: none"> セントラルディスプレイ：▲▶ エアコン📄をタップします。 —または— センターコンソールコントロールパネル：ソフトキー A/C をタップします。 	—
エアコンメニューを切り替える	メニュー エリア A を使用します。	—
事前設定されたオートモード	オートモード (B) を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ワイド フォーカス 	▶ 64 ページ
パーソナルオートモードを設定する	✓ C が選択されています。 <ul style="list-style-type: none"> [内気循環の設定] をタップします (D を参照)。 希望するエアコンの種類をタップします (風量設定については E を参照)。 [フットウェル温度の設定] をタップします (F を参照)。 	▶ 64 ページ
車両全体のエアコンの ON/OFF の切り替え	G をタップします。	▶ 63 ページ
Eco モードの ON/OFF の切り替え	H をタップします。	▶ 64 ページ
冷房機能の ON/OFF を切り替える	I をタップします。	▶ 64 ページ
アッパーベンチレーションパネルの ON/OFF の切り替え	✓ C が選択されています。 J をタップします。	▶ 64 ページ
風向の変更	✓ C が選択されています。 K をタップして、選択したエアベントを動かします。	▶ 64 ページ

センターコンソールコントロールパネル

▶ 169 ページの「センターコンソールコントロールパネル」の章を参照してください。



希望する操作	操作方法	操作箇所
フロントウィンドウデフロスター	ソフトキーAをタップします。	▷ 64 ページ
リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをONにする	ソフトキーBをタップします。	▷ 64 ページ
セントラルディスプレイのエアコンメニューの表示/非表示を切り替えます	ソフトキーCをタッチします。	—
内気循環モードのON/OFFを手動で切り替える	ソフトキーDをタップします。	▷ 64 ページ
A/C MAX モード (最大冷房出力) のON/OFFの切り替え	ソフトキーEをタップします。	▷ 64 ページ
オートモードをONにする	中央のソフトキーFをタップします。	▷ 64 ページ
温度の設定	ソフトキーGを上 ▲ (温) または下 ▼ (冷) にタップまたはスワイプします。	▷ 64 ページ
送風量を手動で設定する	ソフトキーFを上 ▲ (強) または下 ▼ (弱) にタップまたはスワイプします。	▷ 64 ページ
車両全体のエアコン設定の調節 - SYNC モード	ソフトキーHをタップします。	▷ 64 ページ

リヤ助手席タッチスクリーン (装備により異なる)

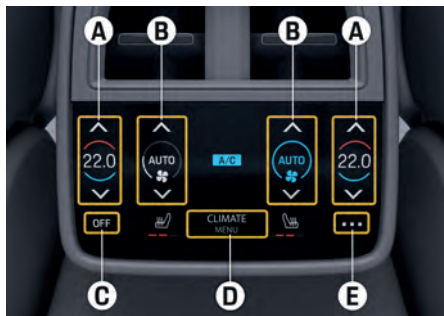


図. 52 リヤ助手席タッチスクリーンの概要

希望する操作	操作方法	操作箇所
温度の設定	Aを上 ▲ (温) または下 ▼ (冷) にタップします。	▶ 64 ページ
送風量を手動で設定する	Bを上 ▲ (強) または下 ▼ (弱) にタップします。	▶ 64 ページ
リヤエアコンシステムのON/OFFの切り替え	Cをタップします。	-
送風口を調節する	Dをタップします。	▶ 64 ページ
設定を呼び出す	Eをタップします。	-

エアコンシステム Advanced Climate Control (2/4 ゾーンオートエアコン)

オートモードでは、さまざまな環境条件(車室内の温度、日射量、空気の状態など)に応じて、エアコンシステムが温度、送風口、送風量を全自動で調節します。

エアコンシステムの設定を手動で調整すると、オートモードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

エアコンシステムは機器に応じて、セントラルディスプレイ、センターコンソールコントロールパネルおよびリヤディスプレイから操作できます。

エアコンシステムは、ウィンドウを閉じた状態で最も効果的に作動します。

車内に熱がこもっている場合：

- ▶ ウィンドウを開けて車内を短時間換気します。

外気温度および湿度によっては、除湿した水分により車両下部に水たまりができることがあります。これは正常な状態であり、故障ではありません。

高電圧バッテリーのバッテリー充電が10%未満の場合、最初エアコン機能が制限され、その後OFFになります。

温度が約2°Cを下回ると冷却機能が自動的にOFFになり、手動でもONにできなくなります。

温度を一時的に低くまたは高く設定しても、車内が設定温度まで下がる、または上がる時間が短くなるわけではありません。

外気の取り入れを可能にする

- ▶ フロントウィンドウとボンネットの間の外気導入口を、雪、氷、木の葉などが塞がないようにしてください。

2ゾーンエアコン

オートエアコンの温度、風速、送風口、およびタイプは、**左**および**右**の空調エリアに対して個別に設定できます。リヤのエアイベントは**手動**で開閉できます。送風方向も調節可能です。

4ゾーンエアコン

オートエアコンの温度、風速、送風口、およびタイプは、**左前**、**右前**、**左後**、および**右後**の空調エリアに対して個別に設定できます。フットウェル温度は、フロントエリアで個別に調節することもできます。

エアコンのON/OFFの切り替え

車両全体のエアコンのON/OFFの切り替え

セントラルディスプレイ

- ▶ **エアコン** ▶ **送風** ▶ **OFF**
 - ➔ センターコンソールコントロールパネルおよびリヤのタッチディスプレイにこのディスプレイが表示された場合、外気導入が中断され、エアコンシステムが**OFF**になります。

リヤ空調エリアへの風量を少なくしたり、リヤエアコンシステムをOFFにしたりしても、フロント空調エリアの快適性は向上しません。

エアコンシステムの操作

事前設定されたオートモード

事前設定されたオートモードが2つあります。

- **ワイド**：風を感じにくい低風速の設定
- **フォーカス**：車内への送風が強くなります。風の流れをはっきりと感じられるようになります。

セントラルディスプレイ

1. **エアコン** ▶ **送風**
2. 該当する空調エリアでの希望するオートモードを選択します。

オートモード Individual の設定

- **Individual**：温度、送風量、および送風口を個別に調節できます。

セントラルディスプレイ

1. **エアコン** ▶ **送風** ▶ **Individual**
2. 希望する設定を選択してください。

フロントおよびリヤの空調エリアは、個別にオートモードに切り替えることができます。

センターコンソールコントロールパネル

- ▶ センターコンソールコントロールパネルまたはリヤ助手席タッチスクリーン上の対象の空調エリアのソフトキー(🌬️)をタップします。
 - ➔ オートモードが作動中の場合、ソフトキーが青色に点灯します。風速および送風口が自動的に制御されます。

必要であれば、自動システムを手動で制御できます。手動設定は、該当するソフトキーを再度タップするまで、またはソフトキー(🌬️)をタップするまで保持されます。

フロントエアイベントの調整

エアイベントは、ダッシュボードおよびフロントとリヤのセンターコンソールにあります。事前設定されたオートモードの**ワイド**または**フォーカス**では、エアイベントの開口部や風向が自動的に制御されます。オートモード **individual** では、必要に応じて各空調エリアの自動制御をセントラルディスプレイで手動で調節できます。

知識

エアイベントを損傷する恐れがあります

- ▶ エアイベントに物(携帯電話クレードルや差し込み式のエアフレッシュナーなど)を挟まないでください。
- ▶ 電動エアイベントは、タッチディスプレイでのみ調節できます。
- ▶ エアイベントの電動調節を妨害しないでください(スラットの動きを妨げるなど)。

フロントエアイベントの開閉



図. 53 フロントエアイベントの開閉

セントラルディスプレイ

1. **🏠 ▶ エアコン 📶 送風 ▶ Individual**
➡ 調節可能なエアイベントは、セントラルディスプレイに白い○印で示されています。
2. 目的のエアイベントを選択します。
➡ エアイベントを調節するためのスライダが表示されます。
選択したエアイベントが青色に変わります。
3. スライダーを使用して、エアイベントの開き具合を調節します。

フロントの風向の変更



図. 54 フロントの風向の変更

セントラルディスプレイ

1. **🏠 ▶ エアコン 📶 送風 ▶ Individual**
➡ 調節可能なエアイベントは、セントラルディスプレイに白い○印で示されています。
2. 目的のエアイベントを選択します。
➡ 選択したエアイベントが青色に変わります。
3. エアイベントを希望の方向に調節します。

車内表示の任意の場所をタップすると、エアイベントが選択した位置に自動的に調整されます。

送風口を調節する

フロントセントラルディスプレイで送風口を調整する

1. **🏠 ▶ エアコン 📶 送風 ▶ Individual ▶ 🌀**
2. 該当する空調エリアの送風口を選択してください。

- 🌀 フロントウィンドウおよびサイドウィンドウへの送風を開始します。
- 🌀 センターエアイベントおよびサイドベントからの送風を開始します。
- 🌀 フットウェルへの送風を開始します。

アッパーベンチレーションパネルのON/OFF



図. 55 アッパーベンチレーションパネル

ダッシュボード上にあるベンチレーションパネルでも車内への補助的な換気ができます。各ベンチレーションパネルは、オートモード **Individual** で個別にON/OFFを切り替えることができます。エアコンシステムは送風量を自動的に調整します。

セントラルディスプレイ

- ▶ **🏠 ▶ エアコン 📶 ▶ 送風 ▶ Individual ▶ 🌀**
➡ 機能がONになると、アイコンが青色に変わります。

上部ベンチレーションパネルは、事前設定されたオートモードのワイドおよびフォーカスにより個別に動作します。

フロントオートエアコンの種類の設定

フロントの空調エリアは、全体の室内温度とは別に、風量を個別に設定できます。

セントラルディスプレイ

1. **🏠 ▶ エアコン 📶 ▶ 送風 ▶ Individual ▶ 🌀**
2. 希望する空調エリアのオートエアコンの種類を選択します。

フットウェル温度の設定 (車両の装備により異なります)

フロント空調エリアでは、全体の室内温度とは別に、フットウェル温度を個別に設定できます。

セントラルディスプレイ

1. **🏠 ▶ エアコン 📶 ▶ 送風 ▶ Individual ▶ 🌀**
2. 該当する空調エリアでの希望するフットウェル温度を選択してください。

冷房機能のON/OFFの切り替え

冷房機能は空気を冷却し、乾燥させます。オートモードでは、冷房機能が常にONになります。冷房の出力は自動制御されます。

セントラルディスプレイ

- ▶ **エアコン** ▶ 送風 ▶ A/C
- ▶ 機能がONになると、アイコンが青色に変わります。

最大冷房出力のON/OFFの切り替え - A/C MAXモード

A/C MAXモードでは、最大出力で車内が冷却されます。

センターコンソールコントロールパネル

- ▶ ソフトキー **A/C MAX** をタップします。
- ▶ A/C MAXモードが作動中の場合、ソフトキーが青色に点灯します。エアコンシステムは最大冷房出力で作動します。

温度の設定

温度は16°C~29.5°Cの範囲に設定できます。推奨：22°C。
温度を一時的に低くまたは高く設定しても、車内が設定温度まで下がる、または上がる時間が短くなるわけではありません。



図. 56 フロントの温度の設定



図. 57 リヤの温度の設定

温度を上げる / 下げる

センターコンソールコントロールパネルまたはリヤのタッチディスプレイ

- ▶ 該当する空調エリアのソフトキーを上方向 **▲** (温度を上げる) または下方向 **▼** (温度を下げる) にタップまたはスワイプします。
- ▶ 選択した温度が、該当する空調エリアのディスプレイに表示されます。

ディスプレイに **LO** または **HI** が表示された場合、エアコンは冷房 (LO) または暖房 (HI) の最大出力で作動しています。このときオートモードはOFFになります。

風量を設定する



図. 58 フロントの風速の設定



図. 59 リヤの風速の設定

送風量を上げる / 下げる

センターコンソールコントロールパネルまたはリヤのタッチディスプレイ

- ▶ 該当する空調エリアのソフトキーを上方向 **▲** (強) または下方向 **▼** (弱) にタップまたはスワイプします。
- ▶ 選択された風速が、ディスプレイに白色のアーチで表示されます。アーチが長いほど、車室内の風速は強くなります。

ソフトキー **(AUTO)** をタップすると、オートモードに切り替わります。

エアコンディスプレイに **OFF** と表示されるころまですべての空調エリアの風量を少なくすると、外気導入による送風が停止し、エアコンシステムがOFFになります。

リヤでのOFFモードをフロントから無効にする

4ゾーンエアコンの場合、**OFF** モードはセントラルディスプレイで解除することができます。

▶ 68 ページの「リヤ空調エリアをフロントから設定する」の章を参照してください。


リヤでの **OFF** モードは、**SYNC** 機能では無効にされません。



警告

風量 OFF による視界の低下

送風量を **OFF** にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

- ▶ 風量を再び強くしたい場合、ソフトキー  を上方向にタップするか、オートモードを再度 ON にします。

リヤにエアイベントを設定する (装備により異なる)

知識


エアイベントを損傷する恐れがあります

- ▶ エアイベントに物 (携帯電話クレードルや差し込み式のエアフレッシュナーなど) を挟まないでください。
- ▶ 電動エアイベントは、タッチディスプレイでのみ調節できます。
- ▶ エアイベントの電動調節を妨害しないでください (スラットの動きを妨げるなど)。

リヤエアイベントの開閉

リヤのタッチディスプレイ

1. エアコン

- ▶ 調整可能なエアイベントは、リヤ助手席タッチスクリーンに白い  印で示されています。

2. 目的のエアイベントを選択します。


- ▶ エアイベントを調節するためのスライダが表示されます。
選択したエアイベントが青色に変わります。

3. スライダーを使用して、エアイベントの開き具合を調節します。

リヤの風向の変更

リヤのタッチディスプレイ

1. エアコン

- ▶ 調整可能なエアイベントは、リヤ助手席タッチスクリーンに白い  印で示されています。

2. 目的のエアイベントを選択します。

- ▶ 選択したエアイベントが青色に変わります。

3. エアイベントを希望の方向に調節します。

リヤの送風口の設定 (装備により異なります)

リヤのタッチディスプレイ

1. エアコン

2. 該当する空調エリアの送風口を選択してください。



中央のセントから送風を開始します。



フットウェルへの送風を開始します。

リヤのオートエアコンを設定する (装備により異なる)

リヤの空調エリアは、全体の室内温度とは別に、風量を個別に設定できます。

リヤのタッチディスプレイ

1. エアコン

2. 希望する空調エリアのオートエアコンの種類を選択します。

Eco モードの ON/OFF の切り替え

Eco モードが ON の場合、エアコンシステムは特に優れたエネルギー効率で作動します。リヤシートに人がいない場合、リヤのエアコンが OFF になります。残可走距離を伸ばすために、車両の快適性を低下させる場合があります (たとえば、車室内が暖まるまで、または冷えるまで時間がかかるなど)。走行プログラム RANGE が選択されていると、**ECO PLUS** モードを ON にできません。ECO PLUS モードでは車室内の送風は制限範囲内で作動します。電力消費を最適化するために、他のすべてのエアコン機能は大幅に低下するか OFF になり、選択することはできません。別の機能を選択すると **ECO PLUS** モードが終了し、**ECO** モードに切り替わります。構成された設定は保持されます。これによる RANGE 走行プログラムへの影響はありません。

▶ 107 ページの「走行モード」の章を参照してください。

▶ 218 ページの「ナビゲーション設定の変更」の章を参照してください。

セントラルディスプレイ

- ▶  ▶ エアコン  ▶ 送風 ▶ ECO




イオナイザーの ON/OFF の切り替え

適用対象：イオナイザー装備車。

イオン発生機は、空気が悪い地域 - 大都市などにおいて車室内の空気の状態を向上させることができます。

イオン発生機は無臭です。




セントラルディスプレイ

- ▶  ▶ エアコン  ▶ 空気の状態 
 - ▶ 機能が ON になると、アイコンが青色に変わります。

自動内気循環の ON/OFF の切り替え

自動内気循環モードでは、空気に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。外気温度が約 5 °C を下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的に停止します。

セントラルディスプレイ

- ▶  ▶ エアコン  ▶ 空気の状態 
 - ▶ 機能が ON になると、アイコンが青色に変わります。

内気循環モードの ON/OFF の手動切り替え



警告


手動内気循環モードでの視界の低下

手動内気循環モードを長時間 ON にすると、ウィンドウが曇る恐れがあります。外気が導入されないため、倦怠感を引き起こし、集中力が低下する恐れがあります。

- ▶ 手動内気循環モードは長時間 ON にしないでください。




手動で内気循環モードを ON にする

センター コンソールコントロールパネル

- ▶ ソフトキー  をタップします。
 - ▶ 機能を ON にすると、ソフトキーが青色に点灯します。

手動で内気循環モードを OFF にする

センター コンソールコントロールパネル

- ▶ ソフトキー  をタップします。
 - または -
 - ▶ ソフトキー  をタップします。
 - ▶ 機能を OFF にすると、ソフトキー  が白く点灯します。

車両全体のエアコン設定の調節 - SYNC モード

センター コンソールコントロールパネルでの SYNC モードの ON/OFF の切り替え

- ▶ ソフトキー **SYNC** をタップします。
 - ▶ SYNC モードがアクティブな場合、ソフトキー **SYNC** は青く点灯します。ドライバーディスプレイのみ表示され続けます。残りの空調エリアはドライバーの設定に変更されません。
 - ▶ もう一度ソフトキーをタップすると、**SYNC** モードが無効になります。

ドライバーが一人で乗車する場合の推奨エアコン設定

- ▶ 車室内の快適性を最大限に高めるには、SYNC モードをセンター コンソールコントロールパネルで有効にすることをお勧めいたします。
 - ▶ **SYNC** が青に点灯します：



エアコン設定の保存

選択したエアコン設定は、キーにアクティブに保存できます。

▶ 72 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

リヤ空調エリアをフロントから設定する

4 ゾーン オート エアコンでは、セントラルディスプレイを使用してリヤの空調エリアを調整できます。


1.  ▶ エアコン  ▶ リヤ
2. 必要に応じて設定を調節します。

フロントウィンドウデフロスター



図. 60 フロント ウィンドウデフロスター




デフロストモードをONにする

- ▶ ソフトキー  をタップします。
- ➔ ソフトキーがオレンジ色に点灯します。
フロント ウィンドウおよびフロント サイド
ウィンドウへの送風を開始します。
なるべく早くフロント ウィンドウの曇りま
たは霜を取ります。

曇りを取り除く効果を最大に発揮するため、エアがフロント ウィンドウに直接送られます。

4 ゾーンエアコン： リヤのエアコンコントロールパネルが無効です。

デフロストモードをOFFにする


1. ソフトキー  をタップします。
2. ソフトキー  をタップします。
➔ 機能をOFFにすると、ソフトキー  が白く点灯します。

リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターのON/OFFの切り替え




図. 61 リヤウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターのソフトキー

リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをONにする

- ▶  ソフトキーをタップします。
- ➔ ソフトキーがオレンジ色に点灯します。

外気温度に応じて、約5~20分後にリヤ ウィンドウヒーター/ドアミラーヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

リヤウィンドウヒーターおよびドアミラーヒーターをOFFにする

- ▶  ソフトキーをタップします。
- ➔ ソフトキーが白色に点灯します。

プレエアコンタイマーおよびプレクーリング/ヒーターの使用

- ✓ 高電圧バッテリーが十分に充電されている(25%以上)。
- ✓ 車両がOFFになっている。

プレエアコン機能により、風量と送風口が自動的に制御されます。温度は個別に調節できます。外気温に応じてプレクーリング/ヒーターを高度に制御することで、最大限に快適な車内環境を実現します。プレエアコンをタイマー、キー、アプリによって作動した場合も、セントラルディスプレイでプレクール機能を選択して作動した場合も、同じ機能を利用できます。プレエアコンは最大60分間機能します。プレエアコンがタイマーによって作動する場合、早い場合は出発時間の50分前から開始され、遅くとも出発時間の10分後までに終了します。

プレエアコン機能では、以下の装備に対する冷却/加熱が可能です(車両の装備により異なります)。

- 車内
- ドアミラー
- リヤウィンドウ

- シート
 - ステアリングホイール。
- また、この制御は充電プラグが接続されているかどうかに関わりなく行われます。
- プレエアコンをONにすると、走行可能距離が低下します。
- ▶ 261 ページの「充電」の章を参照してください。

① インフォメーション



タイマーを使用してプレエアコンのスイッチをONにした場合、気温が低下するとドアミラーとリヤウィンドウのヒーターが自動的にONになり、ウィンドウとミラーガラスを解氷します。

プレエアコンはアプリを使用してプログラミングすることや、ONにすることもできます。

▶ 220 ページの「ポルシェコネクト」の章を参照してください。

プレクーリング/ヒーターをONにする

セントラルディスプレイ

1.  ▶ エアコン  ▶ プレAC
2. プレエアコンをタップします。

車両の走行準備が整っているか、停車している場合、60分後にプレクーリング/ヒーターが自動的にOFFになります。

センターコンソールコントロールパネル



図. 62 プレクーリング/ヒーティングを ON にする

1. ソフトキー をタップします。
2. ソフトキー A (図. 62) をタップします。

プレコンディショニングには、最新のプレエアコン設定が使用されます。

インフォメーション

充電中にプレエアコンのスイッチが ON になっているか、プレコンディショニングが開始されると、充電電力に関係なく、最大出力でプレクーリング/ヒーティングが作動する場合があります。充電電力が非常に低い状態で充電しているときには、プレエアコンによって高電圧バッテリーが放電する恐れがあります。

プレクーリング/ヒーティングを OFF にする

セントラルディスプレイ

1. ▶ エアコン ▶ プレ AC
2. プレエアコンをタップします。

プレエアコンタイマーによって開始されたプレクーリング/ヒーティングも停止されます。

プレエアコンタイマーによるプレクーリング/ヒーティング機能のプログラミングおよび作動

プレエアコンタイマーを使用して、プレエアコンで車内を出発時刻までに適切な温度に調節しておくことができます。

タイマーは 1 回 (シングルタイマー) または定期的 (反復タイマー) のいずれかに設定可能です。

セントラルディスプレイ

1. ▶ エアコン ▶ プレ AC
2. シートコントロールを個別に調整します。
➔ 設定された内容は、すべてのタイマーに適用されます。
3. タイマーを管理をタップします。
4. タイマー設定で をタップし、プレエアコンを有効にします。
5. 日付 / 出発時間をタップし、希望する出発時間の曜日あるいは日付と時刻を設定します。
6. 日付 / 出発時間をタップし、次にタイマー設定をタップして閉じます。
7. タイマーで希望するタイマー入力を有効にします。

設定したエアコン作動時間が終了した後も、選択されたプレエアコン機能が最大 10 分間維持されます。オートモードは、作動待機が確立されると調整できます。

▶ 60 ページの「概要説明 - エアコン」の章を参照してください。

プレエアコンタイマーの停止

セントラルディスプレイ

1. ▶ エアコン ▶ プレ AC
2. タイマーを管理をタップします。

3. 希望のタイマーを無効にします。
-または-
 をタップし、プレエアコンを無効にします。

この操作を行っても、すでに開始されているプレクーリング/ヒーティングが停止されることはありません。

プレクーリング/ヒーティングを個別に設定する

セントラルディスプレイでエアコンの範囲を設定する

1. ▶ エアコン ▶ プレ AC
2. エアコンの範囲
3. 希望のエアコン設定を有効にします。

車両のシートは温められるか、換気されます (装備により異なる)。車両のシート設定は、外気温度により車両が自動的に制御します。運転席のシートヒーターが作動すると、ステアリングホイールのヒーターも作動します (車両の装備により異なります)。

セントラルディスプレイでの温度設定

1. ▶ エアコン ▶ プレ AC
2. 温度をタップします。
3. スライダーを使用して、希望する温度を設定します。
➔ プレクーリング/ヒーティングの際には、設定温度になるように室内温度が制御されます。

セントラルディスプレイでリモート解除時のエアコンを設定する

1. ▶ エアコン ▶ プレAC
2. リモート解除時のエアコンを有効にします。
 - ▶ 車両をリモートドア解除すると、5分間のブレーキリング/ヒーティングが開始されます。

車両をリモートドア解除するたびにこの機能が誤作動することを防ぐために、この機能が作動する回数は停車するごとに2回までとなっています。

ステアリング ホイール ステアリングホイールの調節

▲ 警告

運転中のステアリングホイールの調節

走行中にステアリングホイールを調節すると、ステアリングホイールが必要以上に移動する可能性があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中はステアリングホイールの調節を行わないでください。

ステアリングホイールの手動調節



図. 63 ステアリングホイール調節レバー

1. ドライバーから離して、レバーを下方に回転させてください。
2. ステアリングホイールを垂直および平行に動かし、ステアリングホイールの位置をバックレストの傾斜や着座位置に合わせます。

3. ステアリングホイールが確実に固定されるまで、レバーをドライバーに向かって元の位置まで戻してください。

ステアリングホイールの電動調節

▲ 注意

メモリー設定の予期せぬ呼び出し

ステアリングホイールの調節中に可動範囲に人や動物がいると、身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。



図. 64 ステアリングホイール調節用コントロールスイッチ

- ▶ ステアリングコラム下に取り付けられているコントロールスイッチを前後上下に動かして、ステアリングホイールを希望の位置に調節してください。

ステアリング ホイール設定の保存

メモリー パッケージ 装備車では、ステアリング ホイールの設定を運転席ドアやキーのメモリー ボタンに保存することができます。

▶ 72 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

マルチファンクションステアリング ホイールによるインストルメント クラスターの操作

インストルメント クラスターの操作に関する詳細なインフォメーション:

▶ 158 ページの「インストルメント パネル」の章を参照してください。

ステアリング ホイール ヒーターの ON/OFF の切り替え



図. 65 ステアリング ホイール ヒーター ボタン

- ✓ 作動待機が確立されました。
- ▶ **ステアリング ホイール ヒーター ON** または **ステアリング ホイール ヒーター OFF** のメッセージがインストルメント クラスターに短時間表示されるまで、中央のステアリング ホイールのボタンを押します。

パーソナル設定

機能

運転席ドアのメモリー ボタンを使って、手動で、人間工学に基づいた設定を保存して呼び出せます。さらに、人間工学に基づく設定およびコンフォート設定を自動的に保存して呼び出す個別のアカウントをセントラルディスプレイで登録できます。どちらの機能も、お互いに独立して使用できます。

パーソナル設定の保存と呼び出し

車両の電源を OFF にすると、その時点での設定が選択したアカウントに自動的に保存され、使用しているキーと関連付けられます。ドアのロックを解除したときに、その設定が自動的に読み込まれます。このプロセス中に、キーに関連付けられたアカウントが検出されません。複数の人が車両を使用する場合、各自で別個にアカウントとキーを使用することをお勧めします。必要であれば、アカウントを手動で変更できます。

人間工学に基づいた設定の機能: シート、ドア ミラーおよびステアリング ホイールの設定。

さらに、運転席ドアのメモリー ボタンにより、人間工学に基づいた設定を 3 件まで手動で保存して呼び出せます。

コンフォート設定 (一部の国で利用可能) は、以下のものに適用されます: 人間工学、エアコン、ライト、視界、アシスタンス システム、インストルメント クラスターおよびインフォテインメントの設定。

① インフォメーション

一部の機能はカスタマイズできません (充電タイマー、タイムゾーン、パーキング プレエアコンなど)。

▲ 注意

シート、ドアミラー、およびステアリングホイールの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫されたりする恐れがあります。

- ▶ お子様だけを車内に残さないでください。
- ▶ 必要なときにメモリーボタン、シート調節ボタン、セントラルディスプレイのいずれかを使って設定を変更すると、**人間工学に基づいた設定の自動呼び出し機能がキャンセル**されます。

コンフォート設定の保存と読み込み

いろいろなオプションが利用できるため、ここに説明されている機能はすべてのモデル、国別仕様、および装備仕様に対して利用可能なわけではありません。

コンフォート設定の保存

1. 車両を OFF にしてロックすると、以前に行った設定は**自動的に**アカウントに保存されます。
2. 作動中のアカウントから別のアカウントに切り替えた場合、コンフォート設定は上書きされます。人間工学に基づいた設定は上書きされません。

コンフォート設定の読み込み

オプション 1:

- ✓ 車両が停止している。
- 1. セントラルディスプレイでアカウントを切り替えます。
- 2. すべての設定が適用されるまで待ちます。

オプション 2:

- ▶ 車両をロック解除します。
 - ➔ アカウント設定が読み込まれます。

アカウントを管理する

セントラルディスプレイで最大 7 つのアカウントを登録および管理できます。1 つのゲストアカウントが利用可能です。これは削除できません。

ドライバーのパーソナル設定はアカウントに保存されず。

システムを初めて起動すると、**セットアップアシスタント**がセントラルディスプレイに表示されます。これにより、重要な設定手順が案内されます。最初のアカウントを正しく作成するために、**セットアップアシスタント**を完全に実行することをお勧めします。アカウントを設定して使用するには、**ポルシェ ID (ポルシェコネクトユーザー)**が必要です。▶ 220 ページの「ポルシェコネクト」の章を参照してください。

作動待機が確立されている場合、セントラルディスプレイを介していつでも登録済みアカウントを切り替えることができます。

キーを使用するとドライバーを自動的に検出します。キーは必ず作動中のアカウントに自動的に割り当てられます。

i インフォメーション

ポルシェコネクトに関する詳細な情報(ヘルプビデオ、ポルシェコネクト取扱説明書およびヘルプ)は、www.porsche.com/connect で入手できます。

アカウントはセントラルディスプレイで管理できます。

▶ 220 ページの「ポルシェコネクト」の章を参照してください。

有効になった個人設定が現在のドライバーと一致しない場合、別の登録済みアカウントに切り替えることをお勧めします。ご自身のアカウントを使用することをお勧めします。必要であれば、新しいアカウントを作成して車両設定を調整できます。これにより、最初に選択したアカウントの車両設定を不用意に調整を避けることができます。

人間工学に基づいた設定の保存と呼び出し

メモリーボタンへの人間工学に基づいた設定の保存



図. 66 運転席ドアメモリーボタン

1. **設定**ボタンを押してください。
 - ➔ ボタンの表記が点灯します。
 2. 10 秒以内に該当するメモリーボタン①、②または③を押してください。
 - ➔ 設定が保存されます。
- 保存されると確認音が鳴り(運転席ドアのみ)、設定ボタンのライトが消灯します。

メモリーボタンによる人間工学に基づいた設定の呼び出し

オプション 1:

- ▶ すべての設定が取得されるまで該当するメモリーボタン①、②または③を押し続けてください。

オプション2:

- ✓ 車両がOFFになっています。
- ✓ 運転席ドアが開いています。

1. 該当するメモリーボタン①、②または③を短く押してください。

➡ 設定が自動的に適用されます。

2. すべての設定が適用されるまで待ちます。

人間工学に基づいた設定の呼び出しの中止

- ▶ ドアのいずれかのメモリーボタンを押します。
-または-
シートのいずれかのコントロールを操作します。
-または-
セントラルディスプレイでシート調整をキャンセルをタップします [リバースカメラなど他の機能が作動中である場合は、使用できないこともあります]。

シートベルト

シートベルトの正しい使用方法



危険

シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していないと、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険が高まります。

- ▶ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用するよう義務付けられています。
- ▶ **1本のシートベルトを同時に2人で使うことは絶対に避けてください。**
- ▶ だぶついた衣服やかさばる衣服 (ジャケットなど) は、シートベルトを正しく装着できない上に動きが制限されるので、乗車時には脱ぐようにしてください。
- ▶ 堅い物や壊れやすい物 (眼鏡、ボールペン、携帯電話など) の上にシートベルトがかからないようにしてください。衝突の際に怪我をする危険性が高くなります。
- ▶ シートベルトがねじれていないか、ゆるんでいないかを確認してください。
- ▶ また、運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員の方に理解してもらってください。
- ▶ すべてのお子様に適切なチャイルドシートを使用してください。
- ▶ 身体の上半身と骨盤部が前方にスライドしないように、シートベルトを身体の上の正しい位置に着用する必要があります。シートベルトを正しい位置に着用しないと、事故の際に重傷を負う可能性があります。
- ▶ 肩のストラップは必ず上半身に当てる必要があります。肩のストラップは背中の後ろや腕の下にできるように着用しないでください。

- ▶ 最大限の効果を得るために、腰ベルトは腰の低い位置 (骨盤) に当てて着用します。
- ▶ 妊娠中の方の場合、シートベルトは骨盤の上のできるだけ低い位置に着用する必要があります。腹部の圧迫を避けるようにしてください。
- ▶ ベルトストラップの損傷を防ぐため、シートベルトが鋭利なものに擦れることがないようにしてください。



危険

損傷したシートベルトを使用した場合

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

シートベルトプリテンショナーシステムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

- ▶ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またシートベルトバックルと取り付け部が正常に機能することを確認してください。
- ▶ シートベルトは清潔に保つ必要があります。そうしないと、リトラクターローラーが正しく機能しない場合があります。
- ▶ シートベルトバックルは汚れないように保護し、清潔に保ってください。
- ▶ 損傷していたり、事故によって大きな負荷がかかったりしたシートベルト、および作動したシートベルトプリテンショナーシステムと挟み込み防止機能は、早急に交換してください。
- ▶ さらに、シートベルトのアンカー部分についても点検してください。

ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ シートベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。
- ▶ 清掃後は、シートベルトが乾くまでリトラクターに巻き取らないでください。
- ▶ シートベルトを染めたり漂白したりしないでください。

▶ 276 ページの「車内の清掃とお手入れ」の章を参照してください。

シートベルト プリテンショナー

シートベルト プリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

シートベルト プリテンショナーの作動条件：

- 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
- 側面から強い衝撃を受けた場合
- 車両が横転した場合

i インフォメーション

シートベルト プリテンショナーが作動すると、煙が発生する場合があります。しかし、この煙は必ずしも車両火災の兆候ではありません。

シートベルトの着用と取り外し シートベルトを着用する

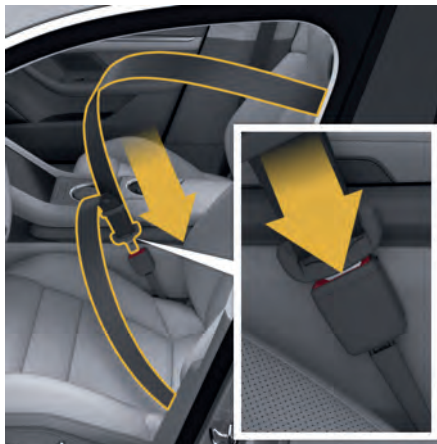


図. 67 シートベルトを着用する

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座します。
2. シートベルトが常に上半身に当たり肩の中央を横切るように、バックレストを調整します。

3. **i** インフォメーション

シートベルトは、次のような場合に引っかかる場合があります。

- 車両が傾いている。
- シートベルトが急激に引き出された場合。
- 加速時または減速時、コーナリング時または登坂時。

シートベルトのバックルプレートをつかみ、ゆっくり連続した動きでベルトを引き出し、胸と骨盤に回します。

4. シートベルトのバックルプレートを、シートの内側の適切なベルトバックルにカチッと音がするまで確実に差し込みます。
5. シートベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦れたりしないように注意してください。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置(骨盤)にぴったりとかかっていることを確認してください。そのため、シートベルトを装着した後、肩ベルトを上へ引っ張ってください。
妊娠中の方：腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて骨盤部を横切るように調整し、腹部の圧迫を避けるようにします。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトがゆるまないようにします。

ベルトバックルを解除してシートベルトを外す

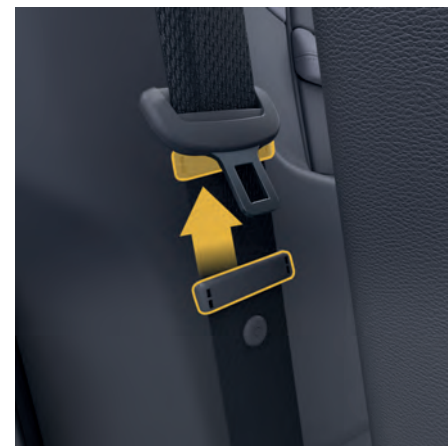


図. 68 シートベルトを外す

1. シートベルトのバックルプレートを手で持ちます。
2. シートベルトのバックルにある赤いボタンを押します。
3. シートベルトのバックルプレートをシートベルト引き出し口の約7 cm下の位置に持っていきます。フロントシートとセンターリヤシート(装備している場合)では、ストッパーボタンによってシートベルトのバックルプレートが停止位置に保持されます。
外側のリヤシートでは、プラスチックスライドによってシートベルトのバックルプレートが手の届きやすい位置に保たれています。
4. プラスチックスライドをシートベルトのバックルプレートの下に押し込みます。

シートベルトの調節



図. 69 ベルトの高さ調節

フロントシートのベルト アウトレットは、高さ調節が可能です。

- ▶ ベルトが首ではなく、肩の中央を横切るようにベルトアウトレットの高さを調節します。
 - 上げる - ベルト アウトレットを上方向に押し込みます。
 - 下げる - ロック ボタン A (図. 69) を押し、ベルト アウトレットを押し下げます。

シートベルト警告灯および警告メッセージの確認



図. 70 インストルメント クラスターのシートベルトステータス表示

- A 左リヤシート用のシートベルトステータス表示
- B センターリヤシートのシートベルトステータス表示(装備により異なる)
- C 右リヤシート用のシートベルトステータス表示
- D 警告灯: 運転席または助手席のシートベルトが着用されていない

フロントシート

赤色の警告灯 **D** (図. 70) がインストルメント クラスタで点灯し、運転席および助手席側(乗員が座っている場合)のシートベルトが着用されるまで点灯し続けます。

さらに、インストルメント クラスタに警告シンボルが表示されます。

運転席側および助手席側(乗員が座っている場合)のシートベルトが着用されていない場合、速度が約 24 km/h を超えると、警告音とともにインストルメント クラスタに警告メッセージが表示され、赤色の警告灯 **D** (図. 70) が点滅します。

リヤシート

作動待機が確立されると、インストルメント クラスタにリヤシートのベルトステータスインジケータが表示されます。ベルトステータスインジケータは、発進後約 60 秒で消灯します。

緑色のシンボル **A+B** (図. 70) は、該当するシートの乗員がシートベルトを着用していることを示します。

赤色のシンボルマーク **C** (図. 70) はそのシートの乗員がシートベルトを着用していないか、または誰もそのシートに座っていないことを示します。車両の走行中にリヤシートのシートベルトが着用されていない場合、警告音が鳴って該当するシンボルが赤色に変わり **C**、約 60 秒間点滅します。

シート

シートの調節

適切なシート位置の選択

正しいシート位置は、安全で疲れにくい運転に重要な要素です。運転席シート位置を個別に調節するには、以下の手順を実施してください。

1. 頭上の空間に十分余裕があり、周囲がよく見える高さにシートの高さを調節してください。
2. ペダルをいっばいに踏んだ時に足が伸び切らないように、かつ靴の裏がペダルの表面全体に接触するように、シートの前後位置を調節してください。
3. ステアリングホイールの上部を握ってください。バックレストの角度とステアリングホイールの位置は、肘が少し曲がる程度に調整してください。このとき、肩をバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要であればシートの前後位置を調節します。

警告

走行中のシート調節

走行中にシートを調節すると、シートが予期した以上に移動する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

事故が起きた場合、首に怪我を負うリスクを最小限に抑えるため、ドライバーを含むすべての乗員のシートバックレストが正しい位置に調節されてから運転するようにしてください。

- ▶ 走行中にはシートを調節しないでください。
- ▶ シートバックレストの角度を調節し、ヘッドレストが垂直になるようにします。
- ▶ ドライバーおよび他の乗員は背筋を伸ばしてシートの中央に座るようにします。

注意

シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の各部分が圧迫されたり挟まれたりする危険があります。

- ▶ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。
- ▶ 動く範囲に物があつたり人がいたりする場合はメモリーボタンを作動しないでください。
- ▶ シート調整ボタンを押して、自動設定プロセスを終了します。

知識

ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーなどを損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドレスト、ルーフ、またはサンバイザーとの間に十分なスペースを確保してからシート位置を調節してください。

ヘッドレスト

危険

取り外されたまたは未調節のヘッドレスト

ヘッドレストなし、ヘッドレストの調節が正しくない、またはヘッドレストが正しく取り付けられていない状態で走行すると、事故の際に重傷または死亡に至る可能性があります。

- ▶ ヘッドレストの上端が目線の位置になるように、ヘッドレストを調節してください。
- ▶ ヘッドレストを取り付けずに、またはヘッドレストを正しく調節せずに車両を走行させないでください。

車両には、フロントとリアシートのバックレストに取り付けられた合計5個のヘッドレストが装備されています(リアシート3席)。車両には、フロントとリアシートのバックレストに取り付けられた合計4個のヘッドレストが装備されています(リアシート2席)。運転席と助手席にはシートバックレスト一体型のヘッドレストがあります。フロントシートのヘッドレストは、前後位置の調節が可能です(シートデザインに応じて)。フロントシートのヘッドレストの高さは調節できません。リアシートのヘッドレストの高さは調節可能です。

電動シートの調節

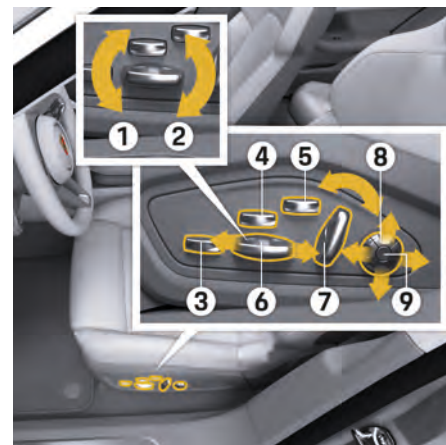


図. 71 電動シートの調節

- 1 シートの角度調節
- 2 シートの高さ調節
- 3 サイサポートの調節
- 4 シートクッションサイドボルスターの調節(装備により異なる)


- 5 シートバックレストサイド ポルスターの調節 (装備により異なる)
 - 6 シートの前後調節
 - 7 バックレストの角度調節
 - 8 ランパー サポートの調節
 - 9 マッサージ機能の ON/OFF を切り替える
- ▶ 各スイッチを矢印の方向に押し、希望のシート位置、または停止位置まで調節してください。

シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関する情報：

- ▶ 72 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

運転席からの助手席シート調整

1.  ▶ コンフォート ▶ 助手席シートを調整
2. 運転席のコントロールを使って助手席シート位置を設定します。

調整を終えるには：

- ▶ シート調整を停止を選択します。

リヤシートバックレストを前方に倒す

リヤシートバックレストは、ラゲッジコンパートメントをより広く使用するため、個別に前方に倒すことができます。

知識

リヤシートに置いた物によりリヤシートが損傷する恐れがあります。

- ▶ バックレストを倒すときは、シートに物を置かないでください。

① インフォメーション

左側と中央のリヤシートバックレストはつながっています。このため左側のバックレストを倒すと、中央のバックレストも一緒に前に倒れます。

中央のリヤシートバックレストは個別に前方に倒すことができます (取り付け具による)。

外側のリヤシートバックレストを前方に倒す

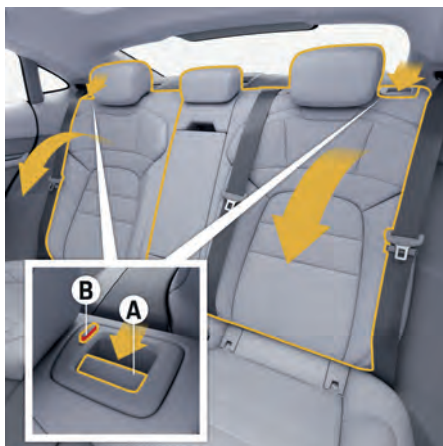


図. 72 外側のリヤシートバックレストを前方に倒す

1. ヘッドレストを押し下げてください。
▶ 79 ページの「ヘッドレストの調節」の章を参照してください。
2. リリース ボタン A (図. 72) を押し、バックレストを前方に倒します。

中央のリヤシートバックレストを前方に倒す

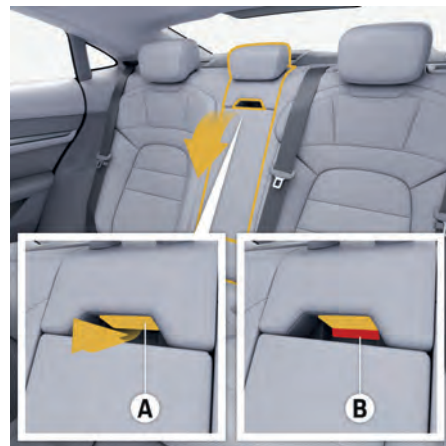


図. 73 中央のリヤシートバックレストを前方に倒す

適用対象：リヤシート 3 席装備車

- ▶ 解除レバー A (図. 73) を矢印の方向に操作しながらバックレストを前方に倒します。

リヤシートバックレストを垂直位置に戻す

⚠ 警告

シートバックレストが正しく固定されていない

リヤシートバックレストが正しく固定されていないと、走行中に意図せずに前に倒れてしまう場合があります。

赤いマーク B がまだ見える場合、シートバックレストは正しく固定されていません。

- ▶ シートバックレストを起こした後、赤いマーク B が見えなくなったことを確認してください。
- ▶ 必要に応じて、再度シートバックレストを倒してから、もう一度起こしてください。

- ▶ バックレストを接続音が聞こえるまで起こします。シートベルトを挟まないように注意してください。

ヘッドレストの調節

フロントシートのヘッドレストの調節

フロントシートのヘッドレストは、前後位置の調節が可能です。

- ▶ ヘッドレストがしっかり固定されていることを確認してください。

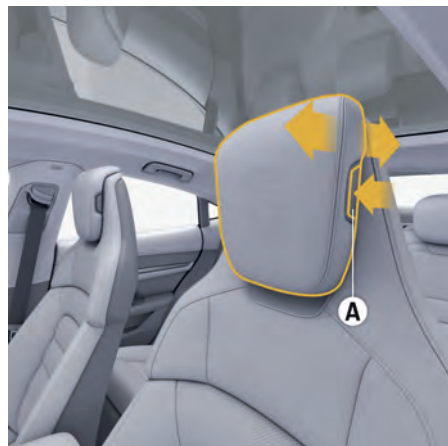


図. 74 フロントシートのヘッドレストの前後位置調節

前方向

- ▶ 希望の設定になるまでヘッドレストを両手で前方に引きながら、ボタンA(図. 74)を押します。

後ろ方向

- ▶ 希望の設定になるまでヘッドレストを両手で後方に押しながら、ボタンA(図. 74)を押します。

リヤシートのヘッドレストの調節



警告

リヤシート中央のヘッドレスト格納位置

ヘッドレストが正しく調節されていないと、事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ 中央のリヤシートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを格納位置から動かし、所定の位置にロックできる上部の位置に調節してください。

リヤシートのヘッドレストは、高さ調節が可能です。

- ▶ ヘッドレストの上端が目線の位置になるように、ヘッドレストの高さを調節してください。目の高さまで届かない場合、ヘッドレストの一番高い位置を選択します。
- ▶ ヘッドレストがしっかり固定されていることを確認してください。



図. 75 リヤシートのヘッドレストの高さ調節(例: リヤシート3席)

上昇

- ▶ ご希望の設定になるまでヘッドレストを押し上げてください。

ヘッドレストを下げる

- ▶ 希望の位置に達するまでヘッドレストを押し下げながらA(図. 75) ボタンを押します。

後方視界を確保するために、中央のリヤシートのヘッドレストの位置を格納位置まで通常より下げることができます。

リヤシートのヘッドレストの取り外しと取り付け

チャイルドシートを正しく取り付けるために、リヤシートのヘッドレストを取り外さなければならない場合があります。

▶ 55ページの「チャイルドシートの取り付け」の章を参照してください。



警告

リヤシートのヘッドレストが取り外されている、または正しく調節されていない

ヘッドレストが取り外されている、または正しく調節されていない場合、事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ リヤシートに乗員が座っている場合、ヘッドレストを取り付けてください。
- ▶ それぞれのヘッドレストの高さを、上端が目線より高くなる位置に、または最上部のロック位置になるように調節してください。
- ▶ ヘッドレストが正しく固定されていることを確認してください。

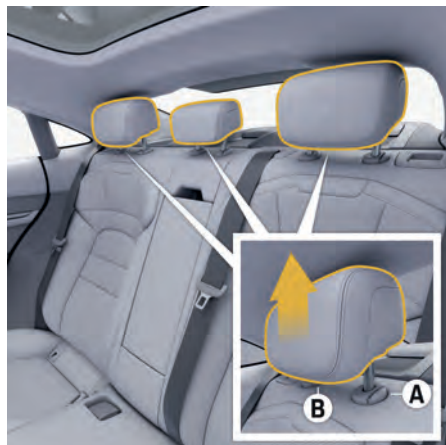


図. 76 リヤシートのヘッドレストの取り外しと取り付け

取り外し

1. ヘッドレストをいっばいに押し上げてください。
2. リヤシートバックレストを前方へおおよそ半分に折りたたんでください。
3. ボタン **B** が維持されるまでヘッドレストを押し上げながら、ボタン **A** および **B** (図. 76) を押してください。
4. ヘッドレストを取り外し、車内の安全な場所に収納してください。
5. 必要に応じてリヤシートのバックレストを起こして固定してください。



警告

ヘッドレストの取り違い

ヘッドレストは、それぞれのシートに合わせて特別に設計されています。ヘッドレストが再取り付け時に正しく装着されていないと事故の際に負傷する恐れが高まります。

- ▶ ヘッドレストが誤った位置に取り付けられていないか確認してください。

取り付け

1. リヤシートバックレストを前方へおおよそ半分に折りたたんでください。
2. ヘッドレストをガイドに挿入し、カチッと音がするまで押し下げてください。
3. ヘッドレストを完全に押し下げながら、ボタン **A** (図. 76) を押してください。この状態になるとヘッドレストを引いてもバックレストから外れません。
4. リヤシートのバックレストを起こして固定してください。

シートヒーター/シートベンチレーター のON/OFFの切り替え



図. 77 シートヒーター/シートベンチレーターのON/OFFの切り替え



図. 78 リヤシートヒーターのON/OFFの切り替え

シートヒーター/シートベンチレーターをONにする

- ✓ 車両の作動準備が整っています
- ▶ 必要に応じて、ソフトキー **A** (シートヒーター) または **B** (シートベンチレーター) (図. 77) を繰り返しタップします。
- ▶ ヒーターまたはベンチレーターの設定に応じた数のインジケータライトが点灯します。

シートヒーターは、シートとバックレストのヒーターのワイヤーを介してシートを暖めます。

シートベンチレーターは、シートとバックレストを通して冷気を車室内に送ることにより、シートを冷却します。

シートヒーター/シートベンチレーターをOFFにする

- ▶ インジケータライトがすべて消灯するまで、**A** (シートヒーター) または **B** (シートベンチレーター) (図. 77) のソフトキーを必要に応じて繰り返しタップします。

① インフォメーション


車内の温度が高いときはシートヒーターを使用できません。

室内の温度が 15℃ より低いときは、シートベンチレーターを使用できません。

バッテリー電圧が低すぎると、まずシートヒーター/シートベンチレーターの作動が制限され、その後 OFF になります。

フロントシートヒーター/シートベンチレーターの設定

フロントシートヒーターとシートベンチレーターに対し、シートとバックレストのバランスをセントラルディスプレイで設定できます。

1.  ▶ コンフォート ▶ 運転席/助手席 ▶ シートヒーターバランス/シートベンチレーターバランス
2. バランスを設定します。

リヤシートヒーターの設定

リヤシートヒーターの場合、シートとバックレストのバランスをリヤディスプレイで設定できます。

1. ... ▶ シートヒーターバランス左/シートヒーターバランス右
2. バランスを設定します。

イージーエントリー機能およびマッサージ機能の使用

イージーエントリー機能は、車両への乗り降りを容易にするための装備です。

▲ 注意

運転席シートの自動調節

運転席の後ろにいる人は、運転席が後ろに向かって自動的に調節された結果、座席に挟まれる可能性があります。

- ▶ 運転席の後ろに人がいる場合は、イージーエントリー機能を OFF にしてください。

知識

設定が呼び出されるときにリヤシートが折りたたまれていると、シートおよびリヤシートが損傷する危険があります。

- ▶ リヤシートが折りたたまれている場合は、イージーエントリー機能を OFF にしてください。

機能を作動させる

イージーエントリー機能は、セントラルディスプレイで有効にできます。

- ▶  ▶ コンフォート ▶ イージーエントリー をタップします

▶ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。

降車するとき

- ✓ 機能が作動している。
- ▶ 電源ボタンを押して車両を OFF にし、それから運転席のドアを開けます。
 - ➡ ステアリングホイールが上方に移動します。運転席が後方に移動します。

乗車するとき

- ✓ 機能が作動している。
- ✓ 運転席とステアリングホイールは、イージーエントリーで設定した位置にあります。
- ▶ 運転席のドアを閉め、電源ボタンを押して車両を ON にします。
 - ➡ 運転席シートとステアリングホイールが保存した位置まで戻ります。

① インフォメーション

キーを交換した場合、シートおよびステアリングホイールはそのキーに保存された位置に移動します。



① インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、イージーエントリー機能はキャンセルされます。

- ▶ ドライビングポジションを手動で調節してください。

フロントシートマッサージ機能の使用 (装備により異なる)


マッサージ機能を ON にする

- ✓ 車両の作動準備が整っている
- ▶ 該当するシートのボタン 8 (図. 71) を押します。
 - ➡ マッサージ機能が ON に切り替わります。マッサージプログラムを選択することができるメニューがセントラルディスプレイに短時間表示されます。
- ▶ マッサージ強度を選択するには、 アイコンをタップします。
- ▶ マッサージ機能の ON/OFF を切り替えるには、 アイコンをタップします。

マッサージ機能は 10 分後に自動的に OFF になりません。


セントラルディスプレイでのマッサージプログラムの設定

✓ 車両の作動準備が整っている

1.  ▶ コンフォート ▶ 運転席 / 助手席 ▶ マッサージプログラム
2. 希望のマッサージプログラムを選択してください。

セントラルディスプレイでのマッサージ強度の設定

- ✓ 車両の作動準備が整っている
- ✓ マッサージプログラムを選択している。

1.  ▶ コンフォート ▶ 運転席 / 助手席 ▶ マッサージの強さ
2. 希望のマッサージ強度を選択してください。

サンバイザー サンバイザーの使用 サンバイザーの調節



図. 79 サンバイザーの調節

- ▶ サンバイザーを手で下げて、正面方向からの直射日光を遮ってください。
—または—
横から眩しい光が入る場合は次のことを行ってください。内側のブラケットからサンバイザーを外して回転させ、サイドウィンドウ側にセットしてください。

バニティー ミラーを開く



図. 80 バニティー ミラーを開く

- ▶ サンバイザー内側にあるバニティー ミラーのスライドカバーを開きます。
➡ バニティー ミラーのライトが点灯します。

知識

バニティー ミラーのスライド式のカバーを損傷する危険があります。

- ▶ スライド式のカバーを停止位置から無理に開かないでください。

ミラー

ドアミラーの使用

▲ 警告

ドアミラーに周囲がゆがんで映るため、交通状況を正しく評価できないことがあります

凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。走行状況を正しく評価できず、事故につながる場合があります。

- ▶ 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、歪みを念頭に置いてください。
- ▶ 距離の判断はルームミラーと併用して行ってください。

▲ 注意

電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

知識

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

知識

洗車機で洗車を行う場合にドアミラーを損傷する恐れがあります。

- ▶ 洗車機を使用する前にドアミラーを格納してください。
- ▶ 電動格納式ドアミラーを手動で格納/復帰しないでください。

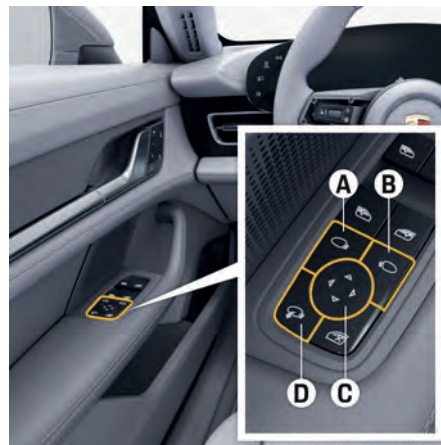


図. 81 ドアミラーの操作

- A 左ドアミラーの選択
- B 右ドアミラーの選択
- C ドアミラーの調節
- D ドアミラーの格納および復帰(装備により異なる)

ドアミラーの調節



図. 82 ドアミラーの調節

- ✓ 作動待機が確立されました。
 - ✓ 車両を OFF にして、運転席ドアまたは助手席ドアをまだ開けていない状態(最大 10 分)。
1. 左ドアミラーはボタン A(図. 82)、右ドアミラーはボタン B(図. 82)を押します。
 - ▶ 選択したボタンの シンボルが赤色に点灯している間は、該当するドアミラーの角度を調節できます。
 2. 調節ボタン C(図. 82)を操作して、ドアミラーの角度を希望の位置に調節してください。

電動機能が故障した場合

- ▶ ミラーの表面を押してミラーを調節します。

ドア ミラーの格納および復帰



図. 83 ドア ミラーの格納および復帰

ドア ミラーの手動格納

- ▶ ミラーハウジングを手でいっぱいまで上方に回転させてください。

ドア ミラーの手動復帰

- ▶ ミラーハウジングを手でいっぱいまで下方に回転させてください。

ドア ミラーの電動格納および復帰 (装備により異なる)

- ✓ 約 50 km/h の最高速度。
- ▶ ボタン **D** を押してください。
 - ➔ 両方のドアミラーが格納または復帰します。

電動格納機能が故障した場合

- ▶ ドアミラーを手で格納または復帰してください。

車外からのドアミラーの格納および復帰

車両がロックされるときに、ドアミラーを格納することが可能です。

- ▶ キーの **合** ボタンを少なくとも 1 秒間押し続けてください。

Komfortzugang 装備車の場合：運転席ドアハンドルの近接センサーに 1 秒以上触れてください。

- ➔ ドアミラーが格納します。

ドアミラーの自動復帰

- ▶ パワー ボタンを押して、車両を ON にします。
 - ➔ ドアミラーが自動的に復帰します。

ドアミラーの自動格納および復帰 (装備により異なる)

ドアミラーの自動格納および復帰機能はセントラルディスプレイで作動できます。

機能を作動させる

- ▶ ▶ ... ▶ 車両設定 ▶ 車両ロックシステム ▶ ロック時にドアミラーを格納する

ドアミラーの自動格納

▶ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。

- ✓ 機能が作動しています。
- ▶ 車両をロックします。
 - ➔ ドアミラーが格納します。

ドアミラーの自動復帰

- ✓ 機能が作動しています。

- ▶ ドアをロック解除します。
 - ➔ ドアミラーが復帰します。

i インフォメーション

ボタン **D** を使用して手動でドアミラーを格納した場合、イグニッションを ON にしてもドアミラーは自動的に復帰されません。

ドアミラー設定の保存

メモリーパッケージ装備車では、個々のドアミラーの設定を、そのとき使用しているキーや運転席ドアのメモリーボタンに保存することができます。

▶ 72 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

自動減光機能を使用する

ドアミラーの自動減光機能の ON/OFF

ルームミラーの自動減光機能の切り替えに合わせて、ドアミラーの防眩機能が作動します。

▶ 84 ページの「自動減光機能を使用する」の章を参照してください。

ルーム ミラーの手動減光



図. 84 ルーム ミラーの手動減光

ミラーを調節するときは、防眩機能のレバー A (図. 84) を車内側に向けてください。

- ▶ 通常位置 – レバーを車内側に向けます。
- ▶ 防眩位置 – レバーをフロント ウィンドウ側に向けます。

自動防眩ミラー機能の使用

明るい光がルーム ミラーに当たるとすぐに、ルーム ミラーおよびドア ミラーはそれぞれ自動的に減光機能が作動します。

リバース ギヤに入れた場合またはインテリア ライトが点灯している場合は、ミラーの自動減光機能は作動しません。

ルーム ミラーの、またはフロント ウィンドウを通過してフロント ライト センサーに照射される光をステッカー等で妨げないようにしてください。

- ▶ ルーム ミラーの前のフロントガラス、またはリヤ ウィンドウにはいかなるステッカーも添付しないでください。
- ▶ リヤ シェルフの上に荷物を置いて走行しないでください。

▲ 注意 電解液の流出

破損したミラーからは電解液が流出する可能性があります。この液体は皮膚や目の炎症を引き起こします。

- ▶ 電解液が皮膚や目にかかった場合、清潔な水で直ちに洗い流してください。
- ▶ 必要に応じて、医師の診察を受けてください。

知識

塗装、レザー、プラスチック、布を損傷する恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

- ▶ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

パーキング エイドとしてのミラー ガラスの下向き切り替え

メモリー パッケージ 装備車両においては、ギヤをリバース (後退) に入ると助手席側のミラーが少し下向きになり、縁石を視認しやすくなります。



図. 85 パーキング エイドとしてのミラー ガラスの下向き切り替え

ドア ミラーを自動で下向きにする

助手席側ミラー ガラスの下向き切り替えは、セントラル ディスプレイで有効にできます。


機能を作動させる

- ▶ ▶ ... ▶ 車両設定 ▶ ライトと視界 ▶ リバース オプション ▶ リバース時にミラー ガラスを下げる

- ✓ 車両が ON になっている。
- ✓ ギヤがリバース (後退) に入っている。
- ✓ 機能が作動している。

ドア ミラーを手動で下向きにする

メモリー パッケージ 装備車では、助手席側ドア ミラーを下向きにすることができます。

1. ギヤをリバース (後退) に入れてください。
 - ➔ 助手席側ドア ミラーの調整の  シンボルが点灯します。
2. ボタン **B** (図. 85) を押して右側のドア ミラーを調整します (右ハンドル車ではボタン **A**)。
 - ➔ 助手席のドア ミラーが下向きになります。

ドア ミラーの下向き角度の個別調整：

- ▶ 調節ボタン **C** (図. 85) を押して、ドア ミラーの角度を希望する位置に調節します。

車両設定の読み出しおよび保存に関するインフォメーション：

▷ 72 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

ドア ミラーを通常位置に戻す

次の場合、ミラー ガラスが通常的位置に戻ります：

- リバース (後退) 以外のギヤを選択してから一定時間が経過した後、または
- 速度が 15km/h 以上になったとき

助手席のミラー ガラスを手動で通常位置に戻す：

- ▶ 運転席ドア ミラーのボタン **A** (図. 85) を押してください。

運転 / ドライバーアシスタンス アダプティブクルーズコントロール (ACC)

一般的な安全に関する指示

▲ 警告 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは、システムが作動している場合でも安全な車間距離を保ち、適切な速度で走行するなどして安全運転に努めてください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ システムによる減速が不十分な場合には、フットブレーキを使用して直ちに車両を減速させます。
- ▶ 常に車両がコントロールできるか確認してください。

▲ 警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況

現在の交通状況では前走車との安全な距離を保って走行できない場合や一定の車速で走行できない場合、このシステムを使用すると事故を起こす危険があります。

車線の分岐点、高速道路の出口、または道路工事中のエリアを走行する場合、車両は設定速度まで加速できません。

- ▶ 道路工事が行われている交通量の多い場所、市街地、私道または野道、あるいは交通静音化対策地域では、システムを使用しないでください。
- ▶ 右左折専用レーン、高速道路の出口、または道路工事が行われている地域では、システムを一時的にOFFにしてください。

▲ 警告 覆われたレーダーセンサー

レーダーセンサーが覆われると、システムの機能に悪影響が及んだり、無効になったりする可能性があります。

- ▶ レーダーセンサーは常に汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。



図. 86 レーダーセンサーの取り付け位置

▲ 警告 レーダーセンサーへの損傷

駐車場の段差などで、バンパー、ホイールアーチ、アンダーボディに衝撃や損傷が発生すると、センサーが作動することがあります。これは、アダプティブクルーズコントロールの性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▲ 警告 アクセルペダルに足が置かれている

アクセルペダルに足が置かれている場合、システムが自動的にブレーキをかけることはありません。足をアクセルペダルに置くと、クルーズコントロールおよび車間距離制御が無効になることがあります。

- ▶ システムが作動している場合は、アクセルペダルから足を離してください。

▲ 警告 システムによる自動ブレーキ中の制動力不足

システムが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断された場合は警告音が鳴り、インストルメントパネルに警告シンボルが表示されます。この場合、システムのブレーキ制動力では衝突を回避するのに十分ではありません。

- ▶ この場合はすぐにブレーキをかけてください。

システム制限

▲ 警告

路面状態や天候が悪い状況

雨、雪、氷、霧、緩い砂利、水しぶきなどでレーダーセンサーの視界が妨げられる場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

氷、豪雨、ガードレール、トンネルの入り口などの反射物は、レーダーセンサーの機能に悪影響を及ぼす可能性があります。インストルメントパネルに、システムが使用できないことを示すメッセージが表示されます。

- ▶ このような状況ではシステムを使用しないでください。

▲ 警告

検出されない車両または物体

レーダーセンサーは、車両の前方の狭い円錐形の領域をカバーします。そのため、場合によっては、車両または物体がタイミングよく検出できなかったり、全く検出できないこともあります。

- ▶ 必要に応じて適切な運転をし、ブレーキをかけてください。
- ▶ 細心の注意を払って運転し、交通状況と車両の周囲に常に注意を払ってください。

▲ 警告

システムの電源がOFFになります

以下の状況が発生した場合は、システムの電源がOFFになります。

- ▶ PSMが無効になっている。
- ▶ 運転席ドアが開いている。
- ▶ 運転席シートベルトが着用されていない。
- ▶ トランスミッションレンジ **N** または **R** が選択されている。
- ▶ パーキングロックまたはパーキングブレーキが作動している。
- ▶ 私道および野道、または交通静音化対策の対象となっている場所 (住宅街など) を走行している場合。
- ▶ 車両がシステムによって明確に検出できない位置にある場合。
- ▶ 有効化の対象ではない国内。
- ▶ 制限速度が 30 km/h 未満である。

そのため、以下の場合、車両または物体がタイミングよく検出できなかったり、全く検出できないこともあります。

- 車線変更または割り込みをする車両
- 断面が小さな車両または幅の狭い車両
- カーブの入口 / 出口
- 停車中の車両
- オーバーハングの長い車両
- 歩行者、自転車、動物
- 路上の障害物
- 対向車および交差車両

車線変更または割り込みをする車両、および幅の狭い車両

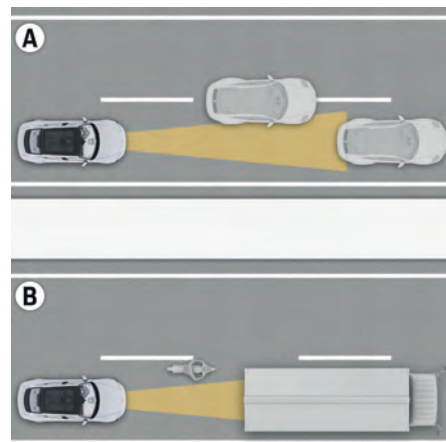


図. 87 車線変更や割り込みをする車両 (A) および幅の狭い車両 (B)

車線変更や割り込みをする車両は、完全に自分と同一走行車線に入るまで検出されません。

幅の狭い車両は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

コーナリングおよび停止中の車両

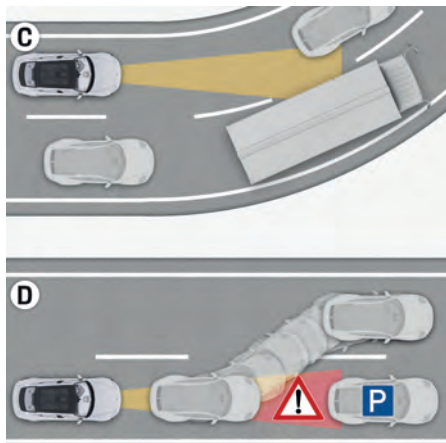


図. 88 コーナリング中の車両 (C) および停止中の車両 (D)

カーブに入るときやカーブから出るときは、前走車を検出できなかったり、検出するタイミングが遅すぎたりする場合があります。また、システムが隣の車線を走行する車両に反応する場合もあります。

前走車が車線変更した後や渋滞の終わりなど、レーダーセンサーの監視範囲に停止中の車両や障害物が突然現れても、アダプティブクルーズコントロール (ACC) は限定的にしか検出できません。

オーバーハングの長い車両



図. 89 オーバーハングの長い車両

木材運搬トラックなどのオーバーハングの長い前走車の場合、レーダーセンサーは車両の後部を検出することができなかったり、間違っ検出することがあります。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

1 アダプティブクルーズコントロール (ACCACC) を使用すると、前走車のいない道路を走行する場合に、アクセルペダルを踏まなくても、約 30 - 210 km/h の範囲で希望する速度と距離を維持したまま走行できます。設定した速度よりも遅い車両を同一車線上に検出すると、ACC は既定の車間距離を自動的に維持します。アダプティブクルーズコントロールは、前走車との車間距離が短くなるとブレーキをかけ、車間距離が長くなると加速します。

また ACC は、前の車両が停止すると自車両を減速して停止させ、前の車両が 15 秒以内に再び動き始めると自動的に運転を再開します。それ以外の場合は、ドライバーが自動速度制御と車間距離制御を再開できます。

アクセルペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。保存した希望の速度と車間距離が保持され、アクセルペダルを放すと復元されます。車両の速度はブレーキをかけることでいつでも減速できます。これにより、システムは停止状態に切り替わりやす。

表示部と制御部 各操作部



図. 90 ドライバーアシスタンスシステムのコントロールレバー

R システムの ON/OFF を切り替えてオプションメニューを開く

S オプションメニューを開く (システムが ON の場合)

1. 利用可否は国によって異なります

- 1 速度の設定 / 加速
- 2 速度の減速
- 3 再開：制御を再開し、速度を適用する
- 4 中断：制御のキャンセル

ディスプレイ



図. 91 ACC 表示

- A 自車の速度
- B 速度の設定
- C 前走車の速度
- D 前走車の検知
- E 前走車との目標車間距離
- F ステータス表示と目標速度

ステータス表示シンボル

シンボル	意味
	ACC は停止中です。

シンボル	意味
 50	ACC は設定目標速度で停止中です。
 50	ACC は設定目標速度で作動中です。
 50	目標速度が設定されている間に前方に車両が検出されました。スピードメーターシンボルの代わりに車両シンボルが表示されます。

操作ステータス

停止状態

スイッチを ON にした後、ブレーキペダルを踏んでから ACC を起動したときと、コントロールレバーを押し込んだとき (位置 4、キャンセル) に、このステータスが設定されます。

- ステータス表示 F はグレーです。
- 制御は行われません。
- 設定されている目標速度および目標車間距離は保持されます。

作動状態

速度を設定した後、制御を再開した後 (位置 3、再開)、およびアクセルペダルを踏んで一時的に制御を無効にした後に、このステータスが設定されます。

- ステータス表示 F は緑色です。
- 速度および前走車との車間距離が制御されます。

一時停止状態

このモードは、ACC が作動しているときにアクセルペダルを踏むと設定されます。

- インストルメントクラスターに ACC の作動が停止していることを示すメッセージが表示されます。
- ステータス表示 F はグレーです。
- 制御は行われません。
- 設定されている目標速度および目標車間距離は保持されます。
- アクセルペダルを放すと、制御が再び作動します。

ACC の ON/OFF の切り替え

常に、前回選択されたドライバーアシスタンスシステムが ON になります。ON になった時点では、ドライバーアシスタンスシステムは停止中になっています。コントロール機能を作動させるには、最初にシステムを起動する必要があります。

ACC を ON にする

- ✓ ドライバーアシスタンスシステムがまだ ON になっていません。

1. レバーの R ボタンを押してください。
 - ➔ ドライバーアシスタンスシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
2. ACC をまだ選択していない場合は、ステアリングホイールのロータリープッシュボタンを使用して ACC を選択し、ボタンを押して確定します。
 - ➔ ACC が ON になっていて、停止中。

既に作動中のドライバーアシスタンスシステムからACCへの切り替え

- レバーの **S** ボタンを押します。
 - ➡ ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
- ステアリングホイールのロータリープッシュボタンを使用して **ACC** を選択し、ボタンを押して確認します。
 - ➡ ACC が ON になっていて、**停止中**。

i インフォメーション

作動したドライバーアシスタンスシステムは、OFFにして作動待機が復元された後でも、再び作動します。

ACCをOFFにする

- ▶ レバーの **R** ボタンを押してください。
 - ➡ 設定速度目標が削除されます。
目標車間距離が保存されています。

ACCを有効にする

- ✓ ACC が ON になっています。
- アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
 - コントロールレバーを前方に短く押し (**位置1**)、アクセルペダルから足を放します。
 - ➡ ACC が **作動** しています。

現在の走行速度が目標速度として設定されます。

現在の目標速度はステータスディスプレイに緑色で表示され、より低速の車両が前方で検出されない限り自動的に維持されます。

ACCの操作

目標速度の変更

設定目標速度は、コントロールレバーを押して変更できます。

- ✓ ACC 作動中。

速度を上げる

- ▶ コントロールレバーを、前方 (**位置1**) に押しま
 - す。
 - 短く押す = 1 km/h 単位
 - 押し続ける = 10 km/h 単位

速度を下げる

- ▶ コントロールレバーを引きます (**位置2**)。
 - 短く引く = 1 km/h 単位
 - 引き続ける = 10 km/h 単位

設定目標速度は、スピードメーターの緑の外側の線で示され、ステータスディスプレイ **F** に青色で表示されます。設定目標速度に達すると、直ちにディスプレイが緑色に変わります。

目標車間距離の変更

前走車との目標車間距離は **5** 段階に設定できます。段階 **3** をお勧めします。実際の車間距離は速度に応じて変化します。車両が減速すると車間距離は短くなり、加速すると長くなります。



図. 92 目標車間距離の設定

i インフォメーション

システムディスプレイが作動していない場合、初めてロッカースイッチ **Z** (図. 92) を押すと、目標距離が変更されず、ドライバーアシスタンスシステムのメインメニューが表示されます。

目標車間距離を長くする

- ▶ ロッカースイッチ **Z** (図. 92) を上方向に短く押し
 - ます。
 - ➡ 設定車間距離表示 **E** に別のセグメントが表示されます。

目標車間距離を短くする

- ▶ ロッカースイッチ **Z** (図. 92) を下方向に短く押し
 - ます。
 - ➡ 設定車間距離表示 **E** からセグメントが消えます。

前走車との車間距離を表示する

記号	適した走行	120 km/h での車間 距離
	流れに乗った高速走行	約 33 m (△ 1 秒)
	少し進んで止まる交通状況での運転	約 47 m (△ 約 1.4 秒)
	「前走車との車間距離が 2 秒」相当	約 60 m (△ 約 1.8 秒)
	郊外道路での走行	約 73 m (△ 約 2.2 秒)
	交通量が少ない道路での走行	約 87 m (△ 約 2.6 秒)

速度および車間距離制御を一時的に無効にする

速度および車間距離制御は、アクセルペダルを踏むと一時的に無効にできます。これは、たとえば追い越しをするときに役立ちます。

✓ ACC 作動中。

1. アクセルペダルを踏み込んでください。
➔ アクセルペダルが踏まれている間、システムは**停止状態**になります。
2. アクセルペダルから足を離してください。
➔ システムが**作動**します。

速度および車間距離制御の中断と再開

この中断が原因で、システムは停止状態のスタンバイモードに切り替わるので、手動で再び作動させる必要があります。

制御のキャンセル

- ▶ ブレーキペダルを踏んでください。
- または -
コントロールレバーを下方向に押ししてください(位置 4, キャンセル)。
➔ システムが**停止**します。目標速度および目標車間距離の設定は保存され続けます。
ステータスディスプレイが緑色からグレーに変わります。

インフォメーション

停車時は、速度および車間距離制御はコントロールレバーを使用してのみキャンセルできます。

制御の再開

- ▶ コントロールレバーを軽く押し上げてください(位置 3, RESUME)。
➔ システムが**作動**します。目標速度および目標車間距離の設定が再度適用されます。
ステータスディスプレイがグレーから緑色に変わります。

インフォメーション

コントロールレバーを短く上に押すことにより、車両が停止中でも ACC を作動させることができます。

ブレーキによる車両停止と再発進

車間距離制御が作動している場合、前走車が停止すると、車両はシステムの制限内でブレーキをかけて停止します。

インフォメーション

車間距離制御の作動中、または車両が停止状態に維持されているとき、ブレーキペダルの感触が変化したり、油圧作動音が聞こえたりすることがあります。これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

自動再発進

 **警告** 障害物がある場合の発進

渋滞走行時、自車と前走車との間に障害物がある場合でも、車両は再発進する可能性があります。その結果、衝突する恐れがあります。

- ▶ この場合はすぐにブレーキをかけてください。

自動的にブレーキがかかり車両が停止した後、システムは 15 秒以内に自動的に再発進してドライバーを支援します。

インストールメント クラスターのメッセージは、車両の走行準備が完了していることを知らせてくれます。

手動発進

✓ 前方に検出された障害物なし。

1. コントロールレバーを押し上げてください(位置 3, RESUME)。
- または -
自動的にブレーキがかかって車両が停止した後に、走行準備が完了していることを示すメッセージが消える場合、アクセルを踏むことよって再発進することができます。
2. アクセルを短く踏んでください。

アクティブパーキングサポート 一般的な安全に関する指示

▲ 警告 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常にしかるべき注意を払ってください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じて、ご自分で車両を制御してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

▲ 警告 センサーの検出範囲の制限

センサーは周辺状況を完全には監視できません。このエリア内では、人、動物、障害物は検出されないか、限られた範囲でしか検出されない場合があります。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

▲ 注意 不利な環境条件

不利な環境条件の場合、システムは制限されるか、利用できません。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 適切な環境条件でのみシステムを使用してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルで運転してください。

知識

このシステムでは、縁石を越えて車両を誘導することがあるため、車両のタイヤとリムが損傷する恐れがあります。

- ▶ 必要に応じて、車両をご自身でコントロールするか、駐車操作を中止してください。

① インフォメーション

パーキングアシスタンスシステムの使用に関する各国の法律を遵守してください。

駐車操作中に反対側の車線が使用される場合があります。

- ▶ 130 ページの「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。
- ▶ 132 ページの「カメラの使用」の章を参照してください。

システム制限

下記の場合、システムは使用できません。

- バイクラックが後部に取り付けられている場合。
- シャーシ高が「リフト」の場合。
- 上り勾配が10%超の場合。
- 急カーブの場合。

下記の場合、限られた範囲でシステムを使用できます。

- 悪天候の場合(雨、雪または氷)。
- オフロード、舗装されていない道路、ゆるい砂利、傾斜した路面、またはわだちなどの通常と異なる路面の場合。

知識

- ▶ システムは次の物体および状況を検出できないことに注意してください。
 - 低い物体、細い物体、および突き出ている物体(トレーラーヒッチ、駐車しているトレーラーのドロワー、チェーンバリア、ポール、フェンスなど)。
 - 検出領域より上にある物体(駐車車両のバンパー、半開きのガレージドア、地面に接していない物体など)。
 - 音波を吸収する、または音波を反射する表面や構造を備えた物体(布、空の段ボール、好ましくない状況における立体駐車場のポールや支柱など)。
 - 検出領域にすばやく移動してくる物体(他の通行者など)。
 - 駐車場の盛り上がったスピードリミッター(スピードバンプなど)が障害物として検出される場合があります。
 - 崖および堤防。
- ▶ 必要に応じて、車両をご自身でコントロールするか、駐車操作を中止してください。

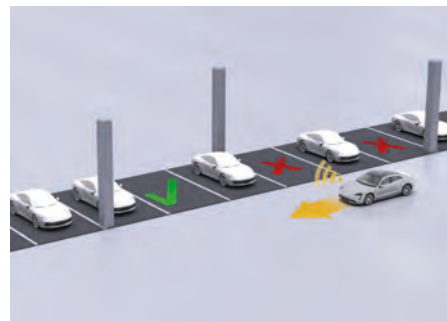


図. 93 立体駐車場の支柱や柱を避ける

- ▶ 立体駐車場で支柱や柱がある駐車エリアは選択しないでください。

機能

システムは、適切な駐車スペースの検索を支援します。システムは、駐車および発進の場合に必要なステアリングの動き、加速、およびブレーキの制御を想定しています。システムは、センサーを使用して車両の周囲を監視します。障害物またはルートを横切る通行者が検出された場合、システムがブレーキ介入を実行します。

駐車スペース検索

駐車スペース検索の作動条件：

- 前進している場合。
- 駐車している車両までの距離が最大約 1.5 m の場合。
- 速度が 40 km/h 以下の道路に並行する駐車スペースの場合。
- 道路に直角な駐車スペースで、速度が最大 20 km/h の場合。
- 駐車している 2 台の車両の間の駐車スペース。

駐車場

駐車機能の作動条件：

- 道路に並行する駐車スペースに後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに前進駐車する場合。車両の前部が既に駐車スペースにある場合でも、駐車操作を開始できます。

発進

発進機能は、車両よりも約 1 m 以上長い、道路に並行する駐車スペースから車両が前進する場合に機能します。

アクティブパーキングサポートの使用

駐車スペース検索

駐車スペース検索の開始

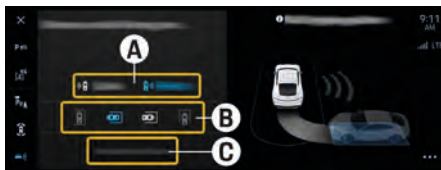


図. 94 アクティブパーキングサポート

- A** 駐車または発進する側を選択する
- B** 駐車方向を選択する
- C** 駐車操作の開始

要件が満たされるとすぐに、駐車スペースの検索がバックグラウンドで開始されます。駐車スペースを通り過ぎたからディスプレイを操作した場合でも、駐車スペースを選択できます。

1. センター コンソールコントロールパネルの をタップします。
- または -
セントラルディスプレイで をタップします。
▶ 駐車スペース検索が表示されます。
2. 駐車車両をゆっくり通過します。
3. センtralディスプレイの情報を確認します。
4. 駐車スペース検索は、最初は助手席側で作動します。
駐車する側を変更するには、対応する方向指示灯(左/右)を作動させます。
- または -
セントラルディスプレイの該当するシンボル **A** (図. 94) をタップします。

5. 目的の駐車スペースを確認したら、車両を停止します。
駐車スペースが見つかったら、セントラルディスプレイに青色のエリアで表示されます。駐車する方向が複数ある場合、それらも表示されます。
6. ディスプレイ上の車両の前に矢印が表示されたら、車両をさらに前進させます。
駐車操作は、駐車スペースへのルートが表示されないと開始できません。
7. 駐車スペースを選択するには、セントラルディスプレイに表示される目的の駐車方向での駐車スペースのシンボル **B** (図. 94) をタップします。
▶ がセンターコンソールコントロールパネルで青色に点滅します。

駐車スペース検索の中止

- ▶ センtralディスプレイで をタップします。



検索は次の場合に自動的に中止されます。

- 車速が 45 km/h を超える場合。
- トランスミッションレンジ **R** が選択された場合。
- 傾斜が 10% を超える場合。
- ドアを開けた場合。
- シャーシレベル「リフト」を有効にした場合。

駐車操作






駐車操作の開始

- ✓ 車両が停止している。
- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている。
- ✓ 駐車スペースがセントラルディスプレイで選択されている。

1. ステアリング ホイールから手を放し、ブレーキペダルを踏み続けます。
2. センター コンソールコントロールパネルの  をタップします。
 ➔ シンボルの色が青色に変わります。
 –または–
 セントラルディスプレイの **C**() ボタンをタップします。
3. ブレーキペダルを放します。
 ➔ 駐車操作が開始されます。
4. 交通状況と車両の周囲を確認します。
5. 障害物が現れたり、表示されたルートに障害物があったりする場合は、すぐに駐車手順を中断します。
 ➔ 車両が目標位置に達すると、メッセージが表示されます。
 坂道では、ホイールが縁石に向かって操縦されます。
 シフトポジション **P** が選択され、パーキングブレーキがかけられます。
6. 車両のコントロールを行ってください。
 ドライバーが車両のコントロールを行わない場合、メッセージが表示され、作動待機が OFF になります。

発進手順の開始


- ✓ 作動待機が確立されている。
- ✓ 車両がまだ動いていない。
- ✓ ブレーキペダルが踏み込まれている。
- ✓ シフトポジションが選択されている。

1. ステアリング ホイールから手を放し、ブレーキペダルを踏み続けます。
2. センター コンソールコントロールパネルの  をタップします。
 –または–
 セントラルディスプレイで  をタップします。
3. 発進する方向を変更するには、対応する方向指示灯(左 / 右) を作動させます。
 –または–
 セントラルディスプレイの該当するシンボルをタップします。
 ➔  がセンター コンソールコントロールパネルで青色に点滅します。
4. センター コンソールコントロールパネルの  をタップします。
 –または–
 セントラルディスプレイの **C**() ボタンをタップします。
5. ブレーキペダルを放します。
 ➔ 発進手順が開始します。
6. 交通状況と車両の周囲を確認します。
7. 障害物が現れたり、表示されたルートに障害物があったりする場合は、すぐに駐車手順を中断します。
 ➔ 車両が目標位置に達すると、メッセージが表示されます。
 衝突の恐れのない発進ができるよう、車両は駐車スペースから十分離れた場所まで走行します。
8. 車両のコントロールを行ってください。

ドライバーが車両のコントロールを行わない場合、メッセージが表示され、作動待機が OFF になります。

駐車手順のキャンセル



一時的に駐車を中止する場合：

- ▶ センター コンソールコントロールパネルの  をタップします。

–または–
 ブレーキペダルを踏み、車両を停止させます。

その後、駐車操作を続行できます。

✓ ブレーキペダルを踏んでいない。

1. 再びブレーキペダルを踏み続けてください。
2. センター コンソールコントロールパネルの  をタップします。
 –または–
 セントラルディスプレイの **C**() ボタンをタップします。
3. ブレーキペダルを放します。
 ➔ 駐車操作が再開されます。

以下の操作を行うと駐車操作は終了します。

- ▶ ステアリングを操作する。
 - または -
 - トランスミッション レンジを変更する。
 - または -
 - パーキング ブレーキをかける。
 - または -
 - ドアを開ける。
 - または -
 - アクセルペダルを踏み込む。
- ➔ 駐車操作を再度開始する必要があります。この場合、発進中に作動待機を OFF にしてから再び ON にします。

リモート パーキング

一般的な安全に関する指示



警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常にしかるべき注意を払ってください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。携帯電話でアクティブ パーキング サポートを操作する人は、車両の運転者と見なされ、有効な運転免許証を持っていなければなりません。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 車両までの適切な距離を確保してください。
- ▶ 駐車操作中に人や動物を車に乗せてはなりません。
- ▶ 必要に応じて、ご自分で車両を制御してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンス システム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

その他のアシスタンス システムに関する情報：

- ▶ 130 ページの「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。
- ▶ 132 ページの「カメラの使用」の章を参照してください。
- ▶ 93 ページの「アクティブ パーキング サポート」の章を参照してください。

インフォメーション

パーキング アシスタンス システムの使用に関する各国固有の法律を遵守してください。

システム制限

アクティブ パーキング サポートのシステム制限が適用されます。

- ▶ 93 ページの「システム制限」の章を参照してください。

さらに、次の条件が適用されます。

下記の場合、システムは使用できません。

携帯電話と車両間の Bluetooth® 接続が他のデバイスからの干渉の影響を受けた場合。

システムは下記を検出できません。

- ガレージ内の検出領域より上にある物体 (ガレージ ドア リンケージ、地面に接していない他の物体など)。
- 背が非常に低いか、地面に横たわっている物体。
- 非常に狭い、または突き出た障害物 (駐輪している自転車など)。
- ダブル ガレージ。

機能

リモート パーキングでは、アクティブ パーキング サポートの機能を車外にあるリモート コントロール機能を備えたアプリを介して制御できます。

- ▶ 93 ページの「アクティブ パーキング サポート」の章を参照してください。

パーキング

駐車機能の作動条件：

- 道路に並行する駐車スペースに後退駐車する場合。
- 駐車している 2 台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに後退駐車する場合。

- 駐車している2台の車両の間にある、道路に直角な駐車スペースに前進駐車する場合。車両の前面が既に駐車スペースにある場合でも、駐車操作を開始できます。
- 車両がシングルガレージの前でできるだけまっすぐの位置にあるとき、シングルガレージ内(最も狭いポイントでの最小幅2.60m)に前進する場合。

発進

発進機能：

- 車両よりも約1m以上長い、道路に並行する駐車スペースから車両が前進で発進する場合。
- 道路へ直角に左折または右折で前進する場合。
- 道路に直角にまっすぐバックで発進する場合。
- シングルガレージ(最も狭いポイントでの最小幅2.60m)からバックで発進する場合。

携帯電話を準備する

✓ 携帯電話にアプリがインストールされている。

リモートパーキングに携帯電話を使用するには、アクティブパーキングサポートとペアリングする必要があります。

1. セントラルディスプレイでアカウントマネージメントを呼び出します。
2. 新しいアカウントを作成します。
3. 携帯電話でアプリを開きます。
4. ユーザーアカウントを使用してアプリにログインします。
5. アプリでリモート駐車を選択します。
6. アプリの指示に従います。

▷ 車載の取扱説明書で「アプリ」の章を参照してください。

📘 インフォメーション

Porsche Connect に関する詳細情報(ヘルプビデオ、Porsche Connect 取扱説明書およびヘルプ)は、www.porsche.com/connect で入手できます。

駐車スペース検索



図. 95 リモートパーキング、駐車スペース検索

A 駐車または発進する側を選択する

B 駐車方向を選択する

C リモートパーキングを開始する

アクティブパーキングサポートで説明されている駐車スペース検索機能：

▷ 94 ページの「アクティブパーキングサポートの使用」の章を参照してください。




リモートパーキング操作の開始

📘 インフォメーション


キーと携帯電話は車から約3m離れていなければなりません。そうしないと、駐車操作が中断されます。

- ✓ 車両が停止している。
- ✓ セントラルディスプレイで駐車スペースまたはシングルガレージが選択されている。

1. セントラルディスプレイでボタンC(図. 95)をタップして該当する指示に従ってください。
 2. メッセージを確認して、リモートパーキングを有効にします。
 3. キーと携帯電話を持って、車両から離れます。
 4. ドアとリヤリッドを閉じる
 5. アプリを起動して📶を選択し、取扱説明書に従います。
 6. 携帯電話で駐車操作を開始します。
 7. 障害物が現れたらすぐに、携帯電話の📶ボタンを放します。
 - ➔ 駐車操作が中断されます。
 - ▷ 98 ページの「駐車操作の中断」の章を参照してください。
 8. 携帯電話の取扱説明書に従ってください。
 - ➔ 車両が駐車位置に達すると、メッセージが表示されます。
 - 到達した駐車位置は、携帯電話を使用して前後に修正できます。
- 駐車操作を正常に完了した後：
- スピードステップPが選択されている。
 - 作動準備がOFFになっている。
 - 車両がロックされている。
- ### リモート発進操作の開始
- ✓ 停車している。
 - ✓ 最大勾配：10%
 - ✓ 作動準備OFF。
 - ✓ 車内にキーがない。
 - ✓ キーと携帯電話が車両から約3m離れている。

1. 97 ページアプリを起動して  を選択し、取扱説明書に従います。
2. 携帯電話で作動待機を確立します。
3. 発進方向と発進側を選択し、発進操作を開始します。
4. 障害物が現れたらすぐに、携帯電話の  ボタンを放します。
 - ▶ 駐車操作が中断されます。
 - ▶ 98 ページの「駐車操作の中断」の章を参照してください。
5. 車両が目的の位置に到達したら、携帯電話の  ボタンを放して車両に近づきます。
6. 車両をロック解除します。
 - ▶ 38 ページの「概要 - 車外からのドアの開閉操作とロック」の章を参照してください。
7. ステアリング ホイールを使用せずに車両に乗り込み、ブレーキペダルを踏んで、走行の準備をします。
 - ▶ 110 ページの「作動原理」の章を参照してください。


駐車操作の中断

- ▶ 携帯電話の  ボタンを放します。駐車操作が中断されます。

以下の場合に駐車操作は自動的に中断されます。

- 車両の経路に障害物が検出された場合。
- キーまたは携帯電話が駐車操作の範囲外の場合。
- ドアまたはリヤリッドが開いている場合。
- アプリ 97 ページが着信や他のアプリによってバックグラウンドにプッシュされた場合。

原因が解消された後、駐車操作を続行できます。

- ▶ 携帯電話の  ボタンを押します。

以下の場合に駐車操作はキャンセルされます。

- キーのボタンが押された場合。
- 車室内で相互作用が検出された場合。
- 駐車操作の制限時間を超過した場合。
- 駐車操作の最大許容距離に達した場合。

車両は停止し、ドライビングポジション P に入り、パーキングプロセスが終了します。

インフォメーション

駐車操作が終了した場合、車両の制御を引き継ぐ必要があります。駐車スペース検索を再開して、車両を駐車してください。

操作アシスト

一般的な安全に関する指示

警告 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常にしかるべき注意を払ってください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じて、車両をご自分で制御してブレーキをかけてください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

▶ 93 ページの「アクティブパーキングサポート」の章を参照してください。

▶ 130 ページの「パークアシスト」の章を参照してください。


システム制限

- バイクラックが後部に取り付けられている場合、システムは使用できません。
- システムが走行経路内の障害物を検出するためには、障害物は高さ約 10 cm 以上で、静止している必要があります。
- アクティブパーキングサポートを使用している間、システムは利用できません。

作動原理

操作アシストは、センサーを使用して車両の後方および側面のエリアを監視します。静止している障害物が検出された場合、システムはブレーキをかけて車両を停止させることができます。

このシステムは以下の条件で利用できます。

- シフトポジション R が選択されている。
-  シンボルが画面上で有効になっている (シンボルが白色に点灯している)。
- 車両速度が最大 10 km/h である。

操作アシストによる自動ブレーキ操作後：


- ▶ ブレーキペダルまたはアクセルペダルを踏んで、車両のコントロールを行います。
 - ▶ 操作アシストは一時的に無効になりますが (シンボルはグレー)、ON の状態が保持されます。


操作アシストの ON/OFF の切り替え

▶  ▶ アシスタンス 

操作アシストが ON または OFF になります。

操作アシストを一時的に OFF にする

- ▶ リバースカメラのタッチディスプレイにある  ボタンをタップします。

リバースカメラタッチディスプレイの  ボタンが青色に点灯します。操作アシストが、現在の操作状況に対して OFF になります。

10 km/h の走行速度を超えるか、走行方向を変更すると、一時的なスイッチ OFF が終了します。システムは次の操作状況で再度 ON になります。

アクティブレーンキープ

一般的な安全に関する指示

アクティブレーン ガイダンスは一部の国で利用可能です。



警告

集中力の低下

アクティブレーン ガイダンスは、高速道路やよく整備された主要道路でのみ使用することを想定して設計されています。アクティブレーン ガイダンスを使うとより快適に運転できますが、無謀な運転は避けてください。車線を守ることおよび交通状況を常に正しく判断することは、ドライバー本人の責任です。

- ▶ 常にステアリング ホイールを保持し、いつでもハンドルを切れる状態でいてください。
- ▶ 常にドライバー本人が運転操作 (ステアリング操作、加速または減速) を引き継げる状態でいてください。インストルメントパネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。

次の状況が発生する可能性があります：

- 急ブレーキ時には、ステアリング介入による補正が行われない場合があります。
- ドライバーの積極的なハンドル操作中には、ステアリング介入による補助が制限されたり、まったく作動しなかったりする場合があります。
- システムは周辺状況を完全には検出できません。この場合、ステアリング介入が作動しないことがあります。

- システムは周辺状況を正確に解釈することができません。不必要なステアリング介入が生じる可能性があります。
- わだち、カーブの多い道、坂道または横風などがあると、ステアリング介入だけでは、車両を走行車線に保つには不十分な場合があります。これらの状況では、ドライバーが積極的にステアリングを行わなければなりません。
- 右左折専用レーン、高速道路の出口、道路工事または市街地といった不確実な道路状況においては、システムが想定通りに作動しない可能性があります。ステアリング介入が行われなかったり、意味をなさなかったりすることがあります。
- システムは、不必要なまたは予期せぬ状況で作動したままとったり、突然停止モードに切り替わったりする可能性があります。



警告

車両周辺の検出の制限

センサー (カメラ、レーダーなど) が検出できるエリアは、影響を及ぼすさまざまな要素 (降雨、降雪、凍結、激しい水しぶき、対向車両のヘッドライト、汚れ、損傷など) により制限される場合があります。この場合、ステアリング介入が作動しなくなったり、予期しないステアリング介入が行われたりすることがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ フロントカメラ レンズおよびフロントレーダーは定期的に洗浄し、付着した雪や氷は除去してください。
- ▶ センサーの視野を覆わないでください。
- ▶ カメラ レンズ前面のフロントウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

▲ 警告

予期しないシステムの挙動

ある状況では、ステアリング介入機能による補正だけでは車両を車線内に維持できません。さらに、機能は、いつでも作動中から停止中に切り替わることがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリング ホイールは、必ず両手で持つようにしてください。

▲ 警告

警告メッセージを伴うシステムの誤作動

システムエラーが発生した場合、アクティブレーン ガイダンスは自動的に OFF になることがあります。ステータス表示が消えて、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されます。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリング ホイールは、必ず両手で持つようにしてください。
- ▶ 常にドライバー本人が運転操作 (ステアリング操作、加速または減速) を引き継げる状態でいてください。
- ▶ インストルメントパネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。

システム制限

▲ 警告

事故につながる危険がある運転状況

システムがアクティブレーン ガイダンスを保証できない運転状況がいくつかあります。従って、システムを使用する際に事故が起きる危険があります!

これらには、以下の運転状況が含まれます。

- 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合
- スポーツ走行中
- 悪天候 (霧、雪、または豪雨など)
- 路面状態が悪い状況 (車線表示が消えているか不明瞭な道路を含む)
- 道路工事の近く
- 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合
- 市街地での走行
- ワインディングおよび細い道での走行
- 分岐点や料金所などの不安定な交通状況
- オフロード走行中や未舗装または滑りやすい道路を走行中の場合

システムは、常に、車両を車線の中央部分または前走車の後ろの中央位置に保持できるわけではありません。

アクティブレーン ガイダンスは、人や動物、車線を横切る車、または同じ車線の対向車には反応しません。センサーはこれらを障害物として検知しません。

- ▶ 上記の状況では、絶対にアクティブレーン ガイダンスを使用しないでください。
- ▶ アクティブレーン ガイダンスは、路上にある障害物を回避するよう車両を誘導する目的で使用しないでください。



インフォメーション

システムに不具合がある場合、またはアクティブレーン ガイダンスがこの章に記載のとおりには作動しない場合には、アシスト機能を使用しないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

アクティブレーン ガイダンスは、フロントカメラならびにフロントおよびリヤレーダーを使用して車両の周囲を連続的に監視し、車両が選択した車線に留まるようドライバーを支援します。

- システムが作動している場合、ドライバーは車線内での希望する位置を設定できます。ドライバーが車両を希望する位置に数秒間保持すると、システムは車線中央維持機能を終了し、選択した位置での走行を開始します。システムが停止するか OFF にされると (方向指示器を作動させる、車線変更、ブレーキ作動など)、位置の変更は再度リセットされます。
- システムは、他の物体 (車両など) よりも車線区分線を常に優先します。このため状況によっては、システムを作動させるのに、ドライバーが車両を車線の中央位置にしなければならない場合があります。ドライバーが、システム作動直後にステア

リングホイールの強い動きを感じることはないよう、車線中央以外の位置ではシステムが作動しないようになっています。

- ドライバーには、緊急車両のために路肩に移動して車線を空ける責任があります。このような状況では、ドライバーは、システムをOFFにするか、ステアリングホイールを使って停止させることができます。

方向指示器が作動したときの挙動

方向指示器を作動させると、ドライバーが車線変更しようとしていることをシステムに警告します。したがって、この場合、アクティブレーンガイダンスはステアリングに介入しません。

一方で、レーンチェンジアシストは、方向指示器が作動した場合の車線変更でもドライバーをアシストします。

▶ 147 ページの「レーンチェンジアシスト(LCA)」の章を参照してください。

ステアリングが操作されない場合の挙動

ドライバーのステアリング操作は、アクティブレーンガイダンスが作動している場合に監視されます。ステアリングが操作されない場合(ステアリングホイールを握っていない、または軽く手を置いているなど)、インストルメントパネルに警告メッセージが表示されません。システムは、ステアリング操作を行うようドライバーに促します。ドライバーがメッセージに応じて操作しない場合、システムは停止モードに切り替わります。緊急停止機能装備車では¹、ブレーキがかかり車両が停止する可能性があります。

1. 一部の国で利用可能です。

ディスプレイ









図. 96 アクティブレーンガイダンス表示

A 車線区分線の表示

B アクティブレーンガイダンスステータス表示

ステータス表示シンボル

記号	意味
表示なし	アクティブレーンガイダンスがOFFになっています。
	アクティブレーンガイダンスはONになっていますが、停止しています。
	アクティブレーンガイダンスはONになっており、作動しています。

記号	意味
	アクティブレーンガイダンスおよびレーンキープアシストはONになっていますが、両方とも停止しています。
	アクティブレーンガイダンスおよびレーンキープアシストはONになっており、両方とも作動しています。
	アクティブレーンガイダンスは作動しており、レーンキープアシストは停止しています。
	アクティブレーンガイダンスは停止しており、レーンキープアシストは作動しています(例: ACCステータスが「走行可能」の場合)。

アクティブレーンキープのON/OFFを切り替える

アクティブレーンキープは、アダプティブクルーズコントロール(ACC)またはボルシェイノドライブ(PID)が有効化されている場合にのみ利用できます。アクティブレーンキープは、ACCまたはPIDが有効化されているときにON/OFFを切り替えることができます。インストルメントクラスターのコントロールレバーやセントラルディスプレイを使用してON/OFFを切り替えることができます。



図. 97 ドライバー アシスタンス システムのコントロールレバー

アクティブレーンキープの選択と選択解除

1. コントロールレバーの **s** (図. 97) ボタンを押してください。
 - ➔ ドライバー アシスタンス システムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
2. ステアリング ホイールのロータリー ノブを使用して**アクティブレーンキープ**を選択し、ノブを押して確定します。

-または-




 ▶ アシスタンス ▶ アクティブレーンキープ

i インフォメーション

ブレーキを踏むかステアリングを操作して無効にすることで、いつでもアクティブレーンキープを停止できます。

追加情報

レーンキープアシストとアクティブレーン ガイダンスの比較

ポジション	レーンキープアシスト	アクティブレーンキープ	レーンキープアシスト+アクティブレーンガイダンス
ステータスアイコン			
車線中央維持機能	不可	可	可
車線逸脱警告	可	不可	可
ステアリング介入により車線逸脱を防止 (車道外側線ガイダンス)	可	不可	不可
速度範囲	約 65~250 km/h	約 0~210 km/h	詳しくは各機能の説明を参照
ACC による	不可	ACC が作動している場合のみ	詳しくは各機能の説明を参照

リヤクロストラフィックアラート

一般的な安全に関する指示



警告

不注意な操作または発進

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。発進の際に注意したり、障害物の有無を確認したりする責任は、依然としてドライバーにあります。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物または車両が操作エリア内にいないことを確認してください。
- ▶ 安全に関する指示を遵守し、アシスタンスシステム、センサー、カメラのシステム制限に留意してください。

その他のアシスタンスシステムに関する情報：

▶ 130 ページの「パークアシスト」の章を参照してください。

▶ 93 ページの「アクティブパーキングサポート」の章を参照してください。



警告

検知されない状況

システムの機能制限により、システムが反応しなかったり、誤った警報を発したりする場合があります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

作動原理

リヤクロストラフィックアラートは、車両の後方を監視し、車両の発進中に車両の後ろを横切る通行者(乗用車、オートバイ、自転車、歩行者など)についてドライバーに警告します。

作動モード **R** が選択されている場合、セントラルディスプレイに矢印が表示され、車両の経路を横切る他の道路利用者が近づいていることをドライバーに知らせます。危険な状況が発生する可能性があることを視覚と音により警告します。ドライバーが警告に反応しない場合、差し迫った衝突リスクについてドライバーに警告するために、システムがブレーキ振動による警告を実行します。



図. 98 リヤクロストラフィック アラート表示

このシステムは以下の条件で利用できます。

- ✓ リヤクロストラフィック アラートが ON になっている。
- ✓ ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が ON になっている。
- ✓ シフト ポジション **R** が選択されている。
- ✓ 車速が約 15 km/h 未満。

リヤクロストラフィック アラートの ON/OFF の切り替え

▶ ▶ アシスタンス リヤクロストラフィック アラート

車両を OFF にした後、システム ステータスが選択したアカウントに保存され、使用しているキーと関連付けられます。

▶ 72 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

降車警告

一般的な安全に関する指示

警告 降車の際の不注意

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。車両の乗員は、降車の際に障害物に十分な注意を払う責任があります。このシステムは、車両の乗員の注意力に代わるものではありません。

- ▶ 常に車両の周囲に気を配ってください。
- ▶ 降車の際には、後ろから他の道路利用者が近づいていないことを確認してください。

その他のアシスタンス システムに関する情報：

▶ 130 ページの「パークアシスト」の章を参照してください。

▶ 93 ページの「アクティブ パーキング サポート」の章を参照してください。

システム制限

次のような状況では、他の道路利用者を検知できない、またはタイミングよく検知できない場合があります。

- 他の道路利用者が非常にゆっくりと、または非常に速く接近している。
- 近くに駐車している車両によってセンサーが制限されている場合。
- センサーの視界がリヤバンパーの汚れによって制限されている場合。

機能

降車警告は、車両が停止しているときに後方から近づいてくる他の道路利用者（自動車、バイク、自転車など）に注意を喚起します。

ディスプレイ

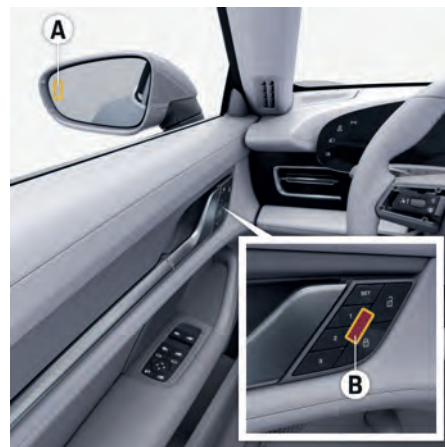


図. 99 降車警告インジケーター

A ドアミラーの警告インジケーター

B ドアパネルのインジケーター

ドアを開くとき、またはドアが既に開いているときは、車両の関連する側のドアミラーとドアパネルのインジケーターが点灯し、道路利用者が近づいていることを示します。

他の道路利用者が近づき、危険が検出されたときに車両の乗員がドアを開こうとすると、ドアは一時的に開かなくなります。ドアミラーのインジケーター **A** (図. 99) とドアパネルのインジケーター **B** が短く点灯します。

ドアが既に開いているときに他の道路利用者が近づき、危険が検出された場合、インジケーター **A** と **B** (図. 99) は危険がなくなるまで点灯します。

降車警告の作動および停止

▶ ▶ アシスタンス 降車警告

車両を OFF にした後、システム ステータスが選択したアカウントに保存され、使用しているキーと関連付けられます。

▶ 72 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。

システムの電源は、車両が OFF になった後、約 3 分でシャットダウンします。ドアパネルのインジケーター **B** が短時間点灯します。他の警告は出ません。

ブレーキ

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロア マットや正しく固定されていないフロア マットはペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキペダル操作の妨げとなったりする場合があります。これにより、予期しない加速が起きたりブレーキ操作が難しくなる場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロア マットのみを使用してください。
- ▶ フロア マットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロア マットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロア マットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けるようにしてください。

▲ 警告

ブレーキ ブースターの停止

ブレーキ ブースターは、ドライブの作動中のみ作動可能です。このため、ドライブが OFF のとき、またはブレーキ ブースターに不具合がある場合には、制動の際にペダルをより強く踏み込む必要があります。

- ▶ ブレーキが故障した車両はけん引しないでください。

▲ 警告

ブレーキ ディスクの水膜

大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ 前方車両からの距離を保ちながら、間隔を空けてブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

▲ 警告

制動力の低下

凍結防止剤 (塩分) が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長時間にわたって走行すると、ブレーキ ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキ性能も低下することがあります。車両を長期にわたって駐車した場合、ブレーキ ディスクの腐食は避けられません。その結果、ブレーキに「ジャダー」が発生しやすくなります。

- ▶ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキ液とブレーキ液レベルの点検に関する情報：

▶ 259 ページの「ブレーキフルード」の章を参照してください。

作動原理

ブレーキの慣らしおよび清掃

車両には、制動エネルギーの一部を高電圧バッテリーに戻す制動回生システムが搭載されています。ホイールブレーキを慣らすために、新車やブレーキパッドの交換後は回生システムが一時的に無効になり、これにより走行可能距離が短くなります。回生システムは、ブレーキの清掃をサポートするために、6時間以上の停止後、しばらくの間作動しなくなります。その後、回生システムは自動で再び作動します。

ブレーキパッドとブレーキディスク

ブレーキパッドやブレーキディスクなどのブレーキシステム関連部品の摩耗は、運転スタイルや使用状況によって異なるため、必ずしも実際の走行距離で表すことはできません。

特定の速度、制動力、車両を取り巻く環境(気温、湿度など)によってブレーキから異音が発生することがあります。

ボルシェが使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づきます。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

- ▶ 車両をサーキット走行などに使用する場合は、最新のガイドラインについてボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ポルシェ サーフェスコーテッド ブレーキ (PSCB)

PSCB ブレーキのブレーキディスク摩擦面の見た目は特徴的で、標準的なブレーキディスクとはまったく異なります。交通状況に合わせて普通に運転している場合、細かいひびで覆われた光るクロムのような摩擦面が現れます。このように車両を運転すると、摩耗、亀裂、光沢のある銀色の摩擦面の黒ずみが増加します。これらの外見の変化によってブレーキ機能が影響を受けることはなく、数千キロ走行した後は部分的に減少します。

PSCB はブレーキディスクがハードコーティングされているため、慣らし期間をより長く見積る必要があります。この間、技術的には問題のない摩擦音が発生する可能性があります。

サービスステータス

サービスステータスに関する詳細については、以下をご覧ください(一部の国で使用可能)。

▶ 223 ページの「スマート サービス」の章を参照してください。


緊急ブレーキ機能の作動

 **警告** 急激な減速


緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。後続の交通に危険な状態になったり、車両のコントロールを失ったりする恐れがあります。

- ▶ 緊急ブレーキ機能は緊急時にもみ使用してください。
- ▶ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

ブレーキが作動しない場合は、エレクトリックパーキングブレーキを使用してブレーキをかけ、車両を停車させることができます。

- ▶  ボタンを押し続けてください。
➔ ブレーキ警告灯が点滅します。

緊急ブレーキ機能の停止：

- ▶  ボタンを放してください。

警告メッセージへの対応

車両を ON にすると、ブレーキ機能の状態が自動的に確認されます。警告灯とインジケーターライトが短時間点灯した後、再び消灯します。ブレーキ警告灯が点灯し続ける場合は、故障があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキパッドの摩耗限界

ブレーキパッドが摩耗限界に達した場合、インストルメントクラスターに警告マークが表示されます。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。
- ▶ 直ちにブレーキパッドを交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

停車中にエレクトリックパーキングブレーキを完全に作動させることができない場合、Pボタンのインジケータライトおよびブレーキ警告灯が点滅します。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

走行モード 走行モードの概要

車両には、さまざまな要件と走行状況に対応する走行モードが用意されています。

砂利

舗装されていない道路 (砂利や泥など) のための走行モード。

RANGE

このコントロールシステムは、効率的かつ最適な燃費で走行できるように設計されています。

NORMAL

このコントロールシステムは、快適性を重視した日常での走行向けに設計されています。

SPORT

日常での走行中、コントロールシステムがより高いパフォーマンスとダイナミズムを重視して調整されます。

SPORT PLUS

レースサーキットのような運転で最高のパフォーマンスを発揮します。

INDIVIDUAL

個別調整のための走行モード。

走行モードの選択

インフォメーション

作動準備が整うと、「NORMAL」走行モードが自動的に有効になります。

セントラルディスプレイで走行モードを選択する

▶  ▶ 走行 ▶ 走行モード

センターコンソールコントロールパネルで「SPORT」走行モードを選択する

適用対象：スポーツクロノパッケージ非装備車。

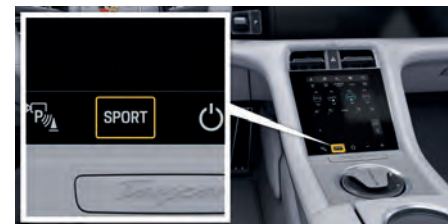


図. 100 「SPORT」走行モードのボタン

「SPORT」走行モードの作動

- ▶ **SPORT** ボタンを押してください。
 - ➔ 「SPORT」走行モードが有効になりました。対応するボタンが青く点灯します。

「SPORT」走行モードの停止

- ▶ 「SPORT」走行モードが有効の状態、**SPORT** ボタンをもう一度押します。
 - ➔ 「SPORT」走行モードが無効になり、「NORMAL」走行モードが有効になります。

モードスイッチによる走行モードの選択

適用対象：スポーツクロノパッケージ装備車。



図. 101 ステアリングホイールの走行モード

- ▶ モードスイッチを時計回りまたは反時計回りに回して、希望の走行モードを選択します。
 - ➔ 選択した走行モードがインストルメント クラスターに表示されます。

INDIVIDUAL 走行モードの設定

INDIVIDUAL 走行モードでは、既存の走行モードに基づいてシャーシシステムと E-Sound の設定を組み合わせることができます。保存した組み合わせは、モードスイッチを INDIVIDUAL に切り替えるか、セントラルディスプレイから再び呼び出すことができます。

INDIVIDUAL での設定の選択と保存

- ▶  ▶ 走行 ▶ ... ▶ 走行モード Individual の設定

RANGE 走行モードの設定

RANGE 走行モードでは、次の設定を変更できます。

エアコン

エアコンモードの設定：ECO または ECO PLUS。

- ▶ 60 ページの「高度なオート エアコンによるエアコンシステム (2-/4- ゾーンエアコン)」の章を参照してください。

速度制限

速度制限は 90 km/h～140 km/h の間の値に設定でき、インストルメント クラスターに表示されます。速度制限はキックダウンによって一時的に無効にできません。インストルメント クラスターのディスプレイがグレーに変わります。車両速度が設定値を下回ると、速度制限がもう一度作動します。

ルートに基づいた適応


ルート案内およびポルシェ インテリジェント レンジ マネージャー (PIRM) が作動している場合、エアコンと速度制限は現在のルートに応じて調整されます。変更は、現在のルートに対してのみ行われます。以前に RANGE 走行モードで選択した設定は引き続き保存されます。

PIRM が作動している場合、速度制限はメッセージ「Auto (自動)」と一緒にインストルメント クラスターに表示されます。

PIRM に関する詳細については以下をご覧ください。

- ▶ 215 ページの「ナビゲーションの使用」の章を参照してください。

RANGE での設定の選択と保存

- ▶  ▶ 走行 ▶ ... ▶ 走行モード Range の設定

- ➔ 選択した設定が保存されます。

インフォメーション

RANGE 走行モードが作動している場合、シャーシは調整できず、PSM SPORT および PSM OFF の設定は使用できません。

選択した走行モードの車両設定の概要

以下の表は、関連する走行モードの車両設定の一部を示しています。

走行モード	GRAVEL	RANGE	NORMAL	SPORT	SPORT PLUS
ローンチコントロール	使用不可	使用不可	使用不可	使用可能	使用可能
オーバーラン回生の基本設定	ON	OFF	OFF	ON/OFF ¹	ON
シャーシ高 ²	高 走行速度による	低	標準 走行速度による	標準 走行速度による	低
E-Sound (ポルシェ エレクトリック スポーツ サウンド)	ノーマル	ノーマル	ノーマル	ノーマル	スポーツ
エアコン	ノーマル	Eco または Eco Plus	ノーマル	ノーマル	ノーマル

- ▶ 個々の車両機能に関して詳しくは、該当するセクションを参照してください。

追加情報

走行可能距離

走行可能距離は、運転の仕方、天候、大量のエネルギーを消費する負荷の使用、および走行モードなどの選択された車両設定によって異なります。電力消費量に配慮した運転を心掛け、大量のエネルギーを消費する負荷の使用を控えると、走行可能距離が延びます。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

車両の始動、走行、駐車 一般的な安全に関する指示



警告

電気自動車の低減された運転音

法規に従って E-Sound を ON にした場合でも、電気自動車は運転音をほとんど発生させないため、他の道路利用者にはそれが聞こえない可能性があります。そのため、特に交通量が少ない地域では、操舵時や駐車時に事故の危険性があります。

- ▶ 運転中は特に注意してください。

1. Taycan のみ
2. 国によっては、選択した走行プログラムにかかわらずシャーシ高が標準レベルになります。

作動原理

作動準備 (スタンバイ) と走行準備は区別されています。両方が個別に作動します。

作動準備が整っています

車両に乗り込むと、持っているキーが車両によって検出され、**作動準備**が自動的に確立します。セントラルディスプレイなどの一部の電装品および電子回路が利用可能です。

- ▶ バッテリーを節約するため、車両をスタンバイ状態 (作動準備が整っている状態) にして作動中の電装品を使用するのは、必要不可欠な場合のみにしてください。

走行準備

トランスミッションレンジ **D**、**N**、または **R** を選択し、**走行準備**を確立します。走行準備が整ったため、車両を移動できます。


トランスミッションレンジ



図. 102 トランスミッションレンジ表示

次のトランスミッションレンジを利用できます。

- D**—**走行** 前進するためのトランスミッションレンジ **D**。
- R**—**リバース** リバースのためのトランスミッションレンジ **R**。
- シオンレンジ** 車両の停止中にブレーキをかけたときのみ締結します。
- N**—**ニュートラル** 自動洗車機を使用するときなどは、トランスミッションレンジを **N** にする必要があります。
- P**—**パーキング** 車両を駐車するためのトランスミッションレンジ **P**。

トランスミッションレンジ **D**、**R** および **N** はステアリングホイール右側のセレクターレバーを使用して選択し、トランスミッションレンジ **P** は  ボタンを押して選択します。

車両の始動と走行

作動準備の確立

- ✓ 高電圧バッテリーは十分に充電されています。
- ✓ 車両プラグが車両充電ポートから切り離されています。
- ✓ キーが車室内で検出されている。

自動

- ▶ 車両に乗り込み、運転席のドアを閉めます。
 - ➡ 作動準備が整っています。

手動



図. 103 電源ボタン

- ✓ 作動準備が OFF になりました。
- ✓ キーが車室内で検出されています。
- ▶ 電源ボタンを押してください。
 - ➡ 作動準備が整っています。

走行準備の確立と発進

✓ 作動待機が確立されました。

- ブレーキペダルを踏んでください。
- セレクターレバーでトランスミッションレンジ **D** または **R** を選択します。
 - ▶ パーキングロックおよびエレクトリックパーキングブレーキが自動的に解除されました。
- 発進するには、ブレーキペダルを放し、アクセルペダルをゆっくり踏みます。

走行可能距離は、走行スタイル、気象、大量のエネルギーを消費する負荷の使用、および走行モードなどの選択された車両設定によって異なります。

i インフォメーション

以下の状況では走行準備がOFFになります。

- エネルギーマネージメントシステムで特定の設定をした場合
- 車両が外部からロックされた場合
- トランスミッションレンジ **D** または **R** で運転席ドアを開き、運転席シートベルトを外すことによって
- **P** ボタンを押すことによって
- エラーが発生した場合に、トランスミッションレンジ **P** を自動的に選択したり、**P** の有効化をリクエストしたりする他のシステムによって

ローンチコントロール

▲ 警告

高加速での発進

高加速で発進すると、特定の状況(路面状態が悪いとき、集中力が低下したときなど)で車両が制御できなくなったり、他の通行者を危険にさらしたりする恐れがあります。

- ▶ 一般道での高加速の発進は、路面状況や周囲の交通状況から判断して安全が確保できる場合だけにしてください。
- ▶ 高加速で発進するときは、他の通行者に危険が及ばないようにしてください。

車両は通常の走行モードでも、高い加速で発進することができます。ローンチコントロールを使用すれば停車状態から最大加速で発進することができます。

ローンチコントロールを使用した発進

- ✓ 車両は停止しています。
 - ✓ 走行準備が確立されています。
 - ✓ ステアリングホイールが直進方向に向いている。
 - ✓ トランスミッションレンジ **D** が選択されています。
 - ✓ 走行モードのスポーツまたはスポーツプラスモードが有効になりました。
- 左足でブレーキペダルを踏んでください。
 - 素早くアクセルペダルをいっぱいに踏んで、そのまま保持してください。
 - ▶ インストルメントパネルにメッセージが表示されます。
 - 短時間でブレーキペダルを放します。
 - ▶ 車両は最大まで加速します。

i インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

エネルギー回収(回生)

▲ 警告

回生の不適切な使用

回生は、エネルギー回収のみに使用されるシステムです。ドライバーアシスタンスシステムとともに回生レベルを使用する場合、ドライバーアシスタンスシステムの制御動作が常に優先されます(表示に関係なく)。これはドライバーアシスタンスシステムではないため、ドライバーアシスタンスシステムのタスクを代行することはできません。

- ▶ 回生による減速効果を車間距離制御システムとして使用しないでください。
- ▶ 常にブレーキをかけられる状態にして、先行車両から安全な距離を保ってください。
- ▶ より大きな制動力を得る、または車両を停止状態まで制動するには、必要に応じてブレーキペダルを踏みます。

▲ 警告

自動オーバーラン回生が制限中または利用不可

最大オーバーラン回生は制限されています。

センサーの検出能力は、汚れ、悪天候(雨、雪、氷、霧、水煙)および好ましくない道路状況(ゆるい砂利、反射物)にある場合、損なわれる可能性があります。前方の車両が適切に検出されないか、まったく検出されない場合があります。

自動オーバーラン回生(自動設定)が使用できない場合(たとえば、センサーが汚れている場合)、この影響に関するメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

- ▶ 視界や道路状況が悪いときには、自動オーバーラン回生を使用しないでください。

作動原理

回生時、ドライブはほとんどの運動エネルギーを電気エネルギーに変換し、高電圧バッテリーに保存します。オーバーラン回生と制動回生は次のように区別されています。

- **オーバーラン回生**は、アクセルペダルから足を離すとすぐに起動し、車両を減速させます。オーバーラン回生の強度を設定できます。
- ブレーキを踏むと、**制動回生**により、回生されるエネルギーの量が最大まで増加します。その後、車両のホイールブレーキを使用して、より高いブレーキ要求が達成されます。

オーバーラン回生の設定

設定	表示	意味
OFF	表示なし	オーバーラン回生なし。車両の惰性走行。

設定	表示	意味
ON		車両の適度な減速を伴うオーバーラン回生。
自動		車両の周囲のデータに基づいたオーバーラン回生の可変的な適応。

ⓘ インフォメーション

たとえば、高電圧バッテリーの充電状態が高い場合、オーバーラン回生の減速効果を制限できます。

- ▶ 必要に応じてブレーキを踏み、オーバーラン回生の減少を補います。

オーバーラン回生レベルの選択

- ▶ 次のようにステアリングホイールの回生ボタンを押してください。
 - 短く押す = オーバーラン回生の ON/OFF を切り替える
 - 押し続ける = 自動オーバーラン回生(自動)の ON/OFF を切り替える
- または -

走行 ▶ 再生(アクセレーター)

- ➔ 選択した設定がインストルメントクラスターに表示されます。

ⓘ インフォメーション

自動オーバーラン回生は PSM が有効な場合のみ使用可能です。自動オーバーラン回生は「PSM SPORT」モードでは使用できません。

ⓘ インフォメーション

さまざまなオーバーラン回生設定が走行モードに割り当てられていますが、ドライバーが自由に選択することもできます。

設定は INDIVIDUAL 走行モードでカスタマイズできます。

惰性走行モードで走行する

惰性走行とは、オーバーラン回生のブレーキ効果のない走行を指して使用される用語です。この機能は、消費電力を削減することで効率を高めるように設計されています。惰性走行を開始するには、アクセルから足をゆっくりと完全に離します。アクセルを踏むと惰性走行が終了します。

- ✓ トランスミッションレンジ D での運転。
- ✓ PSM が作動している。
- ✓ ゆるやかな上り / 下り勾配
- ✓ 回生が OFF になっている。
- ▶ アクセルペダルからゆっくりと足を離します。

ⓘ インフォメーション

惰性走行モードは、「SPORT」および「SPORT PLUS」走行モードでも可能です。これらのモードを選択するときは、これらの走行モード時に標準で作動するオーバーラン回生設定を OFF にする必要があります。

車両の停止、駐車、降車

▲ 警告

パワー ステアリングおよびブレーキ ブースターの作動が停止します。

パワー ステアリングとブレーキ ブースターは、車両が作動準備状態になっている場合にのみ作動します。車両が作動準備状態になっていない場合、ステアリングやブレーキングに大きな力が必要です。

- ▶ 車両を OFF にするのは、車両が完全に停車してからにしてください。

▲ 警告

車両が動き出す危険

次の状況では、パーキング ブレーキが作動せず、車両が不意に動き出す恐れがあります。

シフト ポジションを **N** にして車両を離れる。

運転席のドアが開いており、ドライバーがシートベルトを着用していない場合、ブレーキペダルを踏みながらトランスミッションレンジを **D** または **R** に戻すと、パーキング ブレーキが解除される。

車両が不意に動き出すと、人に怪我を負わせたり、車両が損傷したりする恐れがあります。車両が動き出す危険に関する警告が、インストルメント クラスターに表示されます。

- ▶ 降車する前に、**P** ボタンを押してパーキング ブレーキをかけてください。

車両の停止

- ▶ 車両が停止するまでブレーキペダルを踏みます。

- 短時間の停車時には、ブレーキペダルを使って車両位置を維持し、セクターレバーをトランスミッションレンジ **D** の位置に保持します。

- ▶ 傾斜面では、**HOLD** 機能を使用して車両が自動的に停止状態を維持します。

駐車

P ボタンを押すと、車両が不意に動き出すことを防げます。

手動でトランスミッションレンジPを有効にする



図. 104 パーキング ロックおよび電動パーキングブレーキ ボタン

- ✓ ブレーキペダルを踏んで、車両の停止状態を維持します。
 - ▶ **P** ボタンを押してください。
 - ▶ パーキング ロックと電動パーキングブレーキが同時に作動します。
- インストルメント クラスターで、ブレーキ警告灯およびシフト ポジション **P** のインジケータ ライトが点灯する

自動でトランスミッションレンジPを有効にする

- ✓ ブレーキペダルを踏んで、車両の停止状態を維持します。
 - ✓ トランスミッションレンジ **D** または **R** が選択されている。
 - ▶ ドライバーのシートベルトを外し、運転席ドアを開く
 - ▶ パーキングロックとエレクトリックパーキングブレーキが自動的に作動します。
- インストルメント クラスターで、ブレーキ警告灯およびシフト ポジション **P** のインジケータ ライトが点灯する

- または -

パワー ボタンを使用して車両の電源を OFF にします。

- ▶ パーキングロックが自動的に作動します。
- トランスミッションレンジ **P** インジケータがインストルメント クラスターで点灯します。
- パーキングブレーキは、勾配率が8%を超える坂道や傾斜面に車両を駐車するときにも作動します。ブレーキ警告灯が点灯します。

▲ 警告

電動パーキングブレーキが作動しない

緩やかな坂道や傾斜面などでは、パワー ボタンを使用して車両の電源を OFF にしてもエレクトリックパーキングブレーキが作動しない場合があります。車両が不意に動き出す恐れがあります。

- ▶ 坂道や傾斜面でパーキングブレーキを作動させるには、車両を OFF にする前に必ず **P** ボタンを押してください。

電動パーキングブレーキを手動で作動または解除する。

エレクトリックパーキングブレーキは、トランスミッションレンジPの作動状態に関係なく、セントラルディスプレイで作動または解除できます。

▶  ▶ 車両の設定  車両 ▶ エレクトリックパーキングブレーキ

➡ ブレーキ警告灯が点灯または消灯します。

警告メッセージへの対応

車両が停車しているときにエレクトリックパーキングブレーキが十分に作動していない場合、ブレーキ警告灯が点滅します。

パーキングロックの作動に失敗した場合、インストールメントクラスターに警告が表示されます。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動準備を OFF にし、降車します。

- ✓ パーキングロックおよびパーキングブレーキが作動しています。
- ▶ 車両の外に出て、ドアをロックします。
 - ➡ 車両の作動待機が OFF になります。

インフォメーション

以下の状況になると、作動待機は自動的に OFF になります。

- 降車してから 30 分後
- 高電圧バッテリーが十分に充電されていない

追加情報

トランスミッションレンジNで降車する

トランスミッションレンジNでは、以下の状況で30秒後に走行準備がOFFになります。

- パーキングブレーキが作動していないとき
- 運転席のドアが開き、ドライバーがシートベルトを着用していないとき
- ブレーキペダルが踏まれていないとき

スピードリミッター

一般的な安全に関する指示



警告

集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは、システムが作動している場合でも安全な車間距離を保ち、適切な速度で走行するなどして安全運転に努めてください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ システムによる減速が不十分な場合には、フットブレーキを使用して直ちに車両を減速させます。
- ▶ 常に車両がコントロールできるか確認してください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

システム制限



警告

システムは制限付きで利用可能

特定の状況では、アダプティブスピードリミッターによるアシストは保証されません。

考えられる被害：

- 速度制限が正しく検出または適用されない。
- 車両が設定された最高速度で走行する。
- インstrument クラスタにインフォメーションメッセージが表示される。
- 以下の状況では、アダプティブスピードリミッターを使用しないでください。
 - 悪天候 (降雪や凍結など)
 - 路面状態が悪い (道路のくぼみ、汚れた路面、わだち、不明瞭な道路標示、ゆるい砂利など)
 - 交通量の多い地域
 - 危険な交通状況 (高速道路のスリップロードでの運転、短時間での加速)
 - システムが車両位置を明確に検出できない
 - 交通標識が隠れている、または損傷している
 - フロントカメラレンズが破損している、または覆われている
 - ナビゲーションデータが古い

作動原理

スピードリミッターを使用すると、ご自身が設定した特定の速度を上回らないように維持することができます。

アダプティブスピードリミッター (一部の国で利用可能)

アダプティブスピードリミッターは、ナビゲーションとカメラのデータを使用して、システム制限の範囲内で速度制限を自動的に検出し、それに応じて最高速度を変更します。

事前に検出された速度制限がインストルメントクラスタに表示され、車両の速度が適切なタイミングで低下します。速度制限が事前に検出されていない場合、車両が検出された交通標識を通過するまで速度は低下しません。

① インフォメーション

ルート案内とともにナビゲーションを使用する場合、アダプティブスピードリミッターは常に提案されたルートに適応します。ルート案内が作動していない場合は、最も信頼性の高いルートに適応します。

表示部と制御部 各操作部






図. 105 ドライバーアシスタンスシステムのコントロールレバー

- R システムの ON/OFF を切り替えてオプションメニューを開く
- S オプションメニューを開く (システムが ON の場合)
- 1 速度制限を設定する / 上げる
- 2 速度制限を下げる
- 3 再開：制御を再開し、速度を適用する
- 4 中断：制御のキャンセル

ディスプレイ

ステータス表示シンボル

記号	意味
	スピードリミッターが停止します。

記号	意味
	スピードリミッターは無効で、最高速度が設定されています。
	スピードリミッターは作動中で、最高速度が設定されています。
	スピードリミッターは作動中で、前方に速度制限が検出されました。車両が速度制限ゾーンの開始地点に達すると、表示速度が青色から緑色に変わります。

スピードリミッターのON/OFFの切り替え

常に、前回選択されたシステムがONになります。ONになった時点では、システムは停止中になっています。コントロール機能を作動させるには、最初にシステムを起動する必要があります。

スピードリミッターをONにする

- ✓ ドライバーアシスタンスシステムがまだONになっていない。
 - 1. コントロールレバーの**R**ボタンを押してください。
 - ➔ ドライバーアシスタンスシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
 - 2. LIMをまだ選択していない場合は、ステアリングホイールのロータリープッシュボタンを使用して**LIM**を選択し、ボタンを押して確定します。
- スピードリミッターがONで**停止中**になっている。

既に作動しているドライバーアシスタンスシステムからスピードリミッターへの切り替え

1. コントロールレバーの**S**ボタンを押します。
 - ➔ ドライバーアシスタンスシステムのオプションメニューがインストルメントクラスターに表示されます。
 2. ステアリングホイールのロータリープッシュボタンを使用して**LIM**を選択し、ボタンを押して確定します。
 - ➔ スピードリミッターがONで**停止中**になっている。
- ステータスディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。アダプティブスピードリミッターが作動中の場合、現在検出されている速度制限もグレーで表示されます。

インフォメーション

作動したドライバーアシスタンスシステムは、OFFにして作動待機が復元された後でも、再び作動します。

スピードリミッターをOFFにする

- ▶ コントロールレバーの**R**ボタンを押してください。
 - ➔ 設定目標最高速度が削除されます。

インフォメーション

システムエラーによりスピードリミッターが自動でOFFになった場合、アクセルペダルを離すか、**R**ボタンを押してシステムをOFFにするかした場合にのみ、完全にOFFになります。

スピードリミッターの有効化

現在の走行速度を最高速度に設定する

- ▶ レバーを前方**(1)**の位置に短く押します。
 - ➔ スピードリミッターが**作動している**。

現在の走行速度が最高速度として設定され、ステータスディスプレイに緑色で表示されます。

検出された速度制限を最高速度に設定する

- ✓ アダプティブスピードリミッターが**作動している**
 - ▶ コントロールレバーを上を押してください (RESUME)。
 - ➔ スピードリミッターが**作動している**。
- 検出された速度制限が最高速度として設定され、ステータスディスプレイに緑色で表示されます。

スピードリミッターの操作 最高速度の変更

設定最高速度または検出された制限速度は、コントロールレバーを押すことで変更できます。

- ✓ スピードリミッターが**作動している**。

速度を上げる

- ▶ コントロールレバーを前方**(位置 1)**に押します。
 - 短く押す = 1 km/h 単位
 - 押し続ける = 10 km/h 単位

速度を下げる

- ▶ コントロールレバーを引きます**(位置 2)**。
 - 短く引く = 1 km/h 単位
 - 引き続ける = 10 km/h 単位

スピードリミッターの中断と再開

中断するとシステムが停止状態のスタンバイモードに切り替わり、手動で再び作動させるまでスタンバイ状態のままになります。

制御のキャンセル

- ▶ コントロールレバーを下に押してください (CANCEL) :
 - ➡ スピードリミッターが停止します。
- 中断する前に検出された最高速度設定または速度制限がグレーで表示されます。

制御の再開

- ✓ 走行速度が設定された最高速度よりも遅い。
 - ▶ コントロールレバーを上方向に **1回** 押します (RESUME)。
 - ➡ スピードリミッターが作動します。
 - ✓ 走行速度が設定された最高速度よりも速い。
 - 1. コントロールレバーを上方向に **1回** 押します (RESUME)。
 - 2. アクセルから足を離すか、ブレーキペダルを踏んで、車両の速度が表示されている最高速度を下回るようにします。
- または–
- コントロールレバーをもう一度上方向に押します (RESUME)。
- ➡ 設定された最高速度または現在検出されている速度制限を再度超えるまで、車両は制動されます。スピードリミッターが作動します。

インフォメーション

別のドライバーアシスタンスシステムを選択すると、スピードリミッターは中断されます。以前に設定された最高速度は保持され、スピードリミッターを再度作動すると再び適用されます。アダプティブスピードリミッターが作動中の場合、現在検出されている速度制限が適用されます。

スピードリミッターを一時的に無効にする


速度制限はキックダウンによって一時的に無効にできません。これは、たとえば追い越しをするときに役立ちます。

- ✓ スピードリミッターが作動している。
 - ▶ アクセルペダルが完全に踏み込まれている。
 - ➡ システムが一時停止状態。
- 警告音が鳴ります。
- インストルメントクラスターで、設定最高速度とスピードリミッターのシンボルマークが点滅します。

制御を再開するには：

- ▶ コントロールレバーを押し上げます (再開)。
 - ➡ 現在の走行速度が設定最高速度を超えている場合は、車両が設定最高速度に再び達するまで減速されます。
- または–
- アクセルから足を離すか、ブレーキペダルを踏んで、車両の速度が表示されている最高速度を下回るようにします。
- ➡ スピードリミッターが作動します。以前に設定された最高速度または現在検出されている速度制限が再び適用されます。


アダプティブスピードリミッターの作動および停止

- ▶  ▶ アシスタンス ▶ ... ▶ アシスタンスシステム設定 ▶ アダプティブスピードリミッター ▶ 速度制限を考慮する
- ➡ 現在検出されている速度制限が最高速度として設定されます。

最高速度の設定

速度制限のない道路、または速度制限が検出されていない道路では、設定されている最高速度が使用されます。

最高速度の設定


- ▶  ▶ アシスタンス ▶ ... ▶ アシスタンスシステム設定 ▶ アダプティブスピードリミッター ▶ 最高速度
- ➡ ドライバーが変わったり車両が再始動したりしても、設定されている最高速度設定はリセットされるまで作動中のままになります。

カスタム速度制限の利用

カスタム速度制限機能を使用すると、独自の制限速度を設定できます。警告メッセージが表示され、制限を超えると警告音が鳴ります。この機能は、装着しているタイヤに許容される最高速度の注意喚起のためなどに利用できます。

カスタム速度制限の設定と作動

制限速度は3つ設定できますが、一度に作動できるのは1つだけです。

- ▶  ▶ アシスタンス ▶ ... ▶ アシスタンスシステム設定 ▶ カスタム速度制限

リヤスポイラー

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

展開式リヤスポイラーの故障

高速走行時にリヤアクスルが浮き気味になるために走行安定性が妨げられます。

- ▶ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で故障を修理してください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

リヤスポイラーを損傷する危険があります。

- ▶ リヤスポイラーを持って車両を動かさないでください。
- ▶ 自動洗車機を使用する前に、リヤスポイラーを格納してください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

リヤスポイラーは高速走行時の走行安定性を向上させます。車両速度および選択した走行モードに応じて、リヤスポイラーは自動的に展開または格納されます。

リヤスポイラーを清掃位置に動かす

▲ 注意

リヤスポイラーの展開 / 格納

停車中にリヤスポイラーを手動で展開 / 格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分の間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

- ▶ リヤスポイラーが稼働する範囲に人や物がないことを確認してください。

リヤスポイラーは、セントラルディスプレイから手動で清掃位置に動かすことができます。

リヤスポイラーを清掃位置に動かす

- ✓ 作動待機が確立されました。
- ✓ パーキングロックおよびパーキングブレーキが作動しています。

- ▶  ▶  ▶  車両 ▶  スポイラー清掃ポジション

HOLD 機能

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

車両コントロールの喪失

HOLD 機能を使用している場合でも、勾配での停止および始動の責任はドライバーにあります。滑りやすい路面（凍結している、またはぬかるんだ路面など）での停止および始動時には、HOLD 機能によるアシストは保証されません。この場合、発進時に車両がスリップする恐れがあります。

- ▶ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフットブレーキを使用してください。HOLD 機能が作動しない場合、ドライバーは坂道での発進時にアシストを受けられなくなります。
- ▶ フットブレーキをかけて車両位置を保持してください。

▲ 警告

上り坂での僅かな後退

フットブレーキを使用せずに急な上り坂で停車する場合、HOLD 機能が作動する前に車両がわずかに後退する恐れがあります。このような状況では、フットブレーキを踏むことにより後退を抑制することができます。

- ▶ 停止をサポートするために、フットブレーキですらに制動力を上げます。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

HOLD 機能は、上り坂での停車時や発進時にドライバーをアシストします。この機能により、車両が進行方向に対して後退するのを自動的に防ぎます。

HOLD 機能が作動すると、インストルメントクラスターのインジケーターライト **HOLD** が点灯します。

アダプティブクルーズコントロール (ACC) が正常に機能している場合、HOLD 機能は自動ブレーキ後に車両を停車状態に維持します。

HOLD 機能の作動中にドライバーがシートベルトを外し、運転席ドアを開いた場合、パーキングロックとパーキングブレーキが自動的に作動します。

車両が上り坂で保持されている場合は、通常の運転操作で発車できます。

HOLD 機能の作動

- ✓ トランスミッションレンジ **D** または **R** が選択されている。
- ▶ 車両が停止するまでブレーキペダルを踏みます。
- ➔ HOLD 機能が作動しています。ブレーキペダルを踏まなくても、車両は停止状態を保ちます。

i インフォメーション

また、車両が停止中にブレーキペダルを素早くいっばいまで踏み込むと、勾配に関係なく HOLD 機能を作動させることができます。この場合、トランスミッションレンジを変更しても HOLD 機能は無効化されません。

i インフォメーション

HOLD 機能作動時に、ドライバーはブレーキペダルで違いを感じ、油圧作動音が聞こえることがあります。これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

インターセクションアシスト

一般的な安全に関する指示

▲ 警告 車両周辺の検出の制限

センサー (カメラ、レーダーなど) が検出できるエリアは、影響を及ぼささまざまな要素 (降雨、降雪、凍結、激しい水しぶき、対向車両のヘッドライト、汚れ、損傷など) により制限される場合があります。その結果、警告が発せられないことがあります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ フロントカメラレンズおよびフロントレーダーは定期的に洗浄し、付着した雪や氷は除去してください。
- ▶ センサーの視野を覆わないでください。
- ▶ カメラレンズ前面のフロントウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

▲ 警告 ブレーキ振動がない

PSM が OFF になっている場合、衝突の危険に先立ってブレーキ振動が発せられることはありません。この場合、システムから表示と警告音のみにより、ドライバーに警告します。

- ▶ 道路状況に応じた適切な運転と走行スタイルを心がけてください。

システム制限

▲ 警告 システムの使用には制限があります

特定の状況では、システムによるアシストは保証されません。以下のような状況が含まれます。

歩行者や動物は検出されません。

自転車は検出されない場合があります。

高速で接近してくる車両、またはゆっくり接近してくる車両もタイミングよく検出できない場合があります。

周囲の反射物 (鉄橋、鉄製のすりなど) により、誤警告を発したり、警告が全く発信されなかったりする恐れがあります。

横断する物体により加速や走行スタイルの変更 (急な方向転換など) が求められた場合には、誤った警告が発せられたり、警告が全く発せられないことがあります。

脇道に入るときなど、車両が走行車線の方向を向いていない (走行車線に対して斜め、直角になっている、あるいは鋭角に上方向または下方向を向いている) 場合は、接近する車両を検出できないか、タイミングよく検出できない可能性があります。

車両が停車位置から発車するときに、場合によっては、脇道に入ろうとしていることが検出されないか、遅れて検出される場合があります。システムが直進走行を想定していたことにより、誤った衝突警告が発せられる可能性があります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

インターセクションアシストにより、交差点やスリップロードで車両の前方と左右の状況を監視します。この監視機能は、車両に組み込まれたカメラとレーダーセンサーが担います。

衝突の可能性がある場合、インストルメントパネルとセントラルディスプレイに警告を表示し、警告音を鳴らすことでドライバーに警告します。状況によっては短いブレーキ振動で警告を行います。

ディスプレイ



図. 106 インストルメントクラスターのインターセクションアシストディスプレイ

システムが衝突の危険を検知した場合、警告音を発し、インストルメントクラスターに警告を表示してドライバーに注意を促します。

衝突の危険がある場合、交差車両が接近している方向が赤い矢印で表示されます。

- これは、パークアシストが作動している場合にのみセントラルディスプレイに表示されます。
- ACCメインメニューが起動している場合に限り、インストルメントクラスターのディスプレイに表示されます。

インターセクションアシストのON/OFFの切り替え

交差点アシストは、セントラルディスプレイでON/OFFを切り替えることができます。

- ✓ トランスミッションレンジ **D** が選択されています。
- ✓ 約 30 km/h 以下の速度で走行しています。
- ✓ ポルシェスタビリティマネージメント (PSM) が ON になっています。

▶  ▶ アシスタンス ▶ インターセクションアシスト

インフォメーション

この機能は、作動待機が確立されると自動的に有効になります。

ライト

概要 - ライト

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

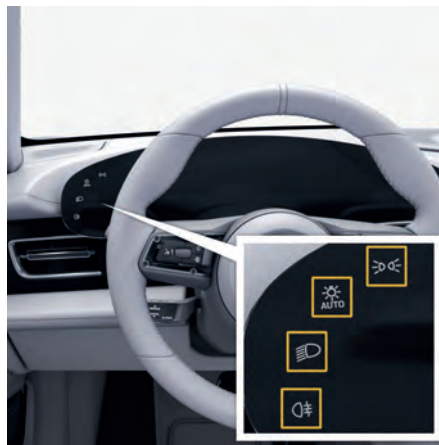






図. 107 ライト コントロール パネル

希望する操作	操作方法	操作箇所
オートマチックヘッドライトを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ☀ ボタンを押してください。 ボタンが緑色に点灯します。インジケーター ライト  が点灯します。 オートマチックヘッドライトとボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus、装備仕様により異なる) が ON になります。	▶ 122 ページ
パーキングライトを ON にする	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ボタンを押してください。 ライセンスプレートライト、インストルメント照明、および車幅灯が ON になります。	-
ロービームを手動で ON にする	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 作動待機が確立されました。 ▶  ボタンを押してください。 ボタンが緑色に点灯します。インジケーター ライト  が消灯します。 ロービームが ON になります。オートマチックヘッドライト、デイトタイムドライビングライト、およびボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus、装備仕様により異なる) が OFF になります。	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
リヤフォグライトを ON にする	▶ (F) ボタンを押してください。	—
エクステリアライトを完全に OFF にする	▶ (OFF) ボタンを約 2 秒間押してください。 ※ ボタンの緑色のライトが消灯します。すべてのエクステリアライトは、速度が 10 km/h または距離が 100 m を超えるまでは消灯したままです。	▶ 122 ページ

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

ライトが点灯していない状態での走行

ライトを点灯しないで走行すると、ドライバーの視界が大幅に制限されるばかりでなく、他の道路利用者の視認性を大きく妨げることになります。

- ▶ オートマチックライトの作動状況を常に監視して、必要に応じてロービームを手動で ON にしてください。
- ▶ 特定の国では、ロービームヘッドライトを使用した走行に関する法律を遵守してください。

▲ 警告

ダイナミックハイビームまたはハイビームアシストを使用して走行するときの注意の欠如

ダイナミックハイビームまたはハイビームアシストを過信せず、走行時はたとえば周囲の明るさ、視界、交通状況などに応じてハイビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムはあくまでも補助的な機能のため、運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ 必要に応じて、ハイビームを照明、視界、交通状況に手動で合わせてください。

次のような場合には手動での設定が必要になることがあります：

- 雨、霧、雪、氷、多量の水しぶきなどの悪天候時
- 高速道路など、対向車が確認しづらい道路
- 自転車など、ライトが暗い道路利用者がいる場合
- 狭いカーブ、急な傾斜路の頂上や山道
- 明かりが少ない市街地
- 道路標識などの強い反射がある場合
- カメラ部分のフロントウインドウが曇っている、汚れている、凍結している、あるいはステッカーで塞がれている場合

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

オートマチックヘッドライト / エクステリアライトの ON/OFF の切り替え

オートマチックヘッドライトを ON にする

- ▶ (AUTO) ボタンを押してください。
▶ ボタンが緑色に点灯します。インジケーターライト (A) が点灯します。

次のような状況では、ロービームが自動的に ON になります。

- 夕暮れ時
- 夜間
- トンネル内走行時
- 雨天時



ロービームが自動的に ON になると、(OFF) ボタンが緑色に点灯します。インジケーターライト (A) が点灯します。

① インフォメーション

霧は検出されません。

- ▶ 霧の場合には、ロービームとリヤフォグライトのスイッチを手動で入れてください。

エクステリアライトを完全に OFF にする

- ▶  ボタンを約 2 秒間押してください。
 ▶  ボタンの緑色のライトが消灯します。

次のような状況では、自動ライトは再度 ON になります¹

- 10 km/h 以上の速度
- エクステリアライトを OFF にした後 100 m 以上走行した場合

① インフォメーション

気温と湿度によっては、車両のエクステリアライトが曇ることがあります。この曇りは十分な距離を走行すると乾燥して消えます。

ライト機能の使用

オートマチックカミングホームライトの調整

- ✓ オートマチックヘッドライトが ON になっている。

乗降時に車両のライトを ON にすることができます。

車両の最後のドアが閉じられる、または車両のロック解除後、以下のライトが ON になります：

- デイタイムドライビングライト
- ロービームカーテシー
- フロントおよびリヤの車幅灯
- ライセンスプレートライト

作動待機が ON、またはオートマチックヘッドライトが OFF になると、これらは再度 OFF になります。

1. 一部の国で利用可能です

遅延消灯の持続時間は、セントラルディスプレイで設定できます。

- ▶  ▶ 車両の設定  車両 ▶ ライトと視界 ▶ エクステリアライト ▶ 遅延消灯

LEDヘッドライト搭載のボルシェダイナミックライトシステムプラス (PDLs Plus)

- ✓ オートマチックヘッドライトが ON になっている。

ダイナミックコーナリングライト

速度が約 5 km/h を超えている場合、車両速度とステアリングホイールの角度に応じて、コーナーに向けてロービームまたはハイビームヘッドライトの向きが変わります。

状況に応じたライト配光

状況に応じたライト配光 (一部の国で利用可能) により、ロービームおよびハイビームヘッドライトの配光が市街地、郊外道路、または高速道路の走行に適應されます。

悪天候のライト

速度が約 60 km/h 未満でリヤフォグライトが点灯している場合、ロービームの配光特性が変化します。ライトは眩しさを抑えるように照射され、照射エリアが広がります。

ダイナミックハイビーム



図. 108 フロントウィンドウカメラ

ルームミラー付近のカメラ A (図. 108) は、他の道路利用者や街灯からの光源を検出できます。

他の道路利用者が検出された場合、ドライビングライトの明 / 暗境界線がロービームライトとハイビームライトの間に設けられたいくつかの段階に連続調整されません。検出された他の車両がドライビングライトの明 / 暗境界線を認識できるような段階に調整されます。

カメラが街路灯を検出すると、ハイビームからロービームに切り替わります。

ダイナミックハイビームは、車速 30 km/h から 60 km/h の間でナビゲーションデータに応じて ON または OFF にされます。

ダイナミックハイビームは、セントラルディスプレイで操作することで作動または停止させることができます：

- ▶  ▶ 車両の設定  車両 ▶ ライトと視界 ▶ エクステリアライト ▶ ダイナミックハイビーム

① インフォメーション

検出挙動を妨害しないようにするには：

- ▶ ルーム ミラーのカメラの視界をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

LED マトリックスヘッドライト搭載のポルシェダイナミックライトシステム プラス (PDLs Plus)

- ✓ オートマチックヘッドライトがONになっている。

PDLs Plus LED マトリックスヘッドライトはPDLs Plusの機能も備えています。

ダイナミックマトリックスハイビーム



図. 109 フロント ウィンドウ カメラ

カメラ A (図. 109) が他の道路利用者や街灯の光源を検出します。他の車両の位置、スピードおよび他の環境や交通状況に応じて、ハイビームヘッドライトの各LEDセグメントが点灯または消灯します。車両の前方領域はロービームになり、残りは完全に点灯したままです。これにより、他の道路利用者を眩惑させることなく確実に周囲を照らすことができます。カメラが街路灯を検出すると、ハイビームからロービームに切り替わります。

ダイナミックハイビームは、車速30 km/hから60 km/hの間でナビゲーションデータに応じてONまたはOFFにされます。

ダイナミックハイビームは、セントラルディスプレイで操作することで作動または停止させることができます：

- ▶ ▶ 車両の設定 車両 ▶ ライトと視界 ▶ エクステリアライト ▶ 車両が認識された場合のハイビーム調整

① インフォメーション

検出挙動を妨害しないようにするには：

- ▶ ルーム ミラーのカメラの視界をステッカーなどで遮らないでください。
- ▶ カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などが付着していない状態を保ってください。

パッシングライト

- ✓ 対向車なし。
- ✓ 前走車。
- ▶ 運転中に追い越し場合、方向指示灯を作動させてください。
 - ➡ 前走車の隣の領域が明るく照らされます。
 方向指示灯が解除された場合、または対向車が検出された場合、パッシングライトは自動で消灯します。

検知ライト

- ✓ 前走車なし。
- ✓ ヘッドライトを点灯した対向車の検出。

走行中のレーンが明るく照らされるように、配光特性が素早く変わります。こうすることで、視線が走行中のレーンに向くようにします。対向車によるドライバーの眩惑を軽減します。

標識の眩しさの軽減

- ✓ ダイナミックハイビームがONになっている。

交通標識や道路標識からの眩しい反射光によって、ドライバーが眩惑する場合があります。

標識の眩しさ軽減機能は、素早く車両のローまたはハイビームヘッドライトの各LEDセグメントを適切に調整します。反射式の交通標識や他の標識による、ドライバーの眩惑を軽減します。

オートマチックヘッドライト較正

- ✓ 壁などの照射対象面に対して、可能な限り正対する位置に車両を配置します (距離5 m以上)。
- ✓ 較正中にヘッドライトの影響を受ける可能性のある物体を視界範囲内から排除します。
- ✓ ロービームをONにします。

ヘッドライトの較正は、適切な条件下 (周囲の照明と投影面の状態による) でロービームが作動すると自動的に開始されます。較正中、ヘッドライトのLEDセグメントは右から左の順に自動的に点灯と消灯を繰り返し、その状態をカメラ A (図. 109) が検出します。

較正はヘッドライトアライメントを確認するために使用され、ヘッドライトの手動調整に代わるものではありません。

方向指示灯 / ハイビームレバーの操作



図. 110 方向指示灯、ハイビーム、およびヘッドライトパッシングの操作

- 1 方向指示灯 / 左側パーキングライト
- 2 方向指示灯 / 右側パーキングライト
- 3 ハイビームヘッドライト
- 4 ヘッドライトパッシング

方向指示灯の操作

- ▶ 抵抗を感じる位置 1 または 2 (図. 110) を超えるまでレバーを押してください。方向指示灯は、レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリングホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。


コンフォート方向指示の有効化

1. 抵抗を感じる位置 1 または 2 (図. 110) までレバーを 1 度押してください。
➡ 方向指示灯が 3 回点滅します。
2. コンフォート方向指示を中断するには、反対方向に操作レバーを押します。


ハイビームの ON/OFF の切り替え

- ✓ ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) 非装備車
–または–
ダイナミック ハイビームが停止している。

ON にする

- ▶ レバーを 3 (図. 110) の位置に 1 度押します。
➡ インジケーター ライト  が点灯します。



OFF にする

- ▶ レバーを 4 (図. 110) の位置に 1 度引きます。
➡ インジケーター ライト  が消灯します。


ダイナミックハイビームの ON/OFF の切り替え

- ✓ ポルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) 非装備車
- ✓ オートマチックヘッドライトが ON になっている。
- ✓ ダイナミック ハイビームが作動している。

ON にする


- ▶ レバーを 3 (図. 110) の位置に 1 度押します。
➡ インジケーター ライト  が点灯します。
ハイビームヘッドライトが作動している場合、インジケーター ライト  が点灯します。

OFF にする


- ▶ レバーを 4 (図. 110) の位置に 1 度引きます。
➡ インジケーター ライト  が点灯しているときのみダイナミックハイビームを解除できます。

手動で ON にする


ダイナミックハイビームを停止した場合、または作動条件が満たされなかった場合、手動でハイビームの点灯 / 消灯を切り替えることができます。

- ▶ レバーを 3 (図. 110) の位置に 2 度押します。
➡ インジケーター ライト  が点灯します。

手動で OFF にする

- ▶ レバーを 4 (図. 110) の位置に 1 度引きます。
➡ インジケーター ライト  が消灯します。

ヘッドライトパッシングの操作

- ▶ レバーを 4 (図. 110) の位置に 1 度短く引きます。
➡ インジケーター ライト  が短時間点灯します。

パーキングライトの ON/OFF の切り替え

- ✓ 作動待機が OFF になっている。
- ▶ 抵抗を感じる位置 2 または 1 (図. 110) を過ぎるまで操作レバーを押して、右または左のパーキングライトを点灯させます。
➡ パーキングライト点灯中にドアを開けると、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

ハザードライトの ON/OFF



危険

衝突の危険

危険な場所で停止すると衝突の危険があります。

- ▶ 安全かつ適切な場所で停車してください。
- ▶ 車両から離れてください。
- ▶ ハザードライトをオンにして、停止表示板を設置します。



図. 111 ハザードライトのON/OFF

ハザードライトのON/OFF

- ▶ センターコンソールのボタンを押してください。
➡ すべての方向指示器とボタンが点滅します。

緊急ブレーキ後のハザードライトの解除

約 70 km/h 以上の速度で走行中、停車するために急ブレーキをかけるとハザードライトが自動的に作動します。ブレーキ中にブレーキライトが点滅します。

- ▶ センターコンソールのボタンを押して、ハザードライトを停止させてください。車両が動き出すと、ハザードライトが自動的に停止します。

事故後のハザードライト

エアバッグが作動する事故が起きた場合、ハザードライトが自動的に作動します。

トラベルモード作動

車両通行帯 (右側通行または左側通行) が異なる国で走行する場合は、ヘッドライトの配光を調整する必要があります。

配光の適応は、通常、ナビゲーションデータに基づいて自動的に行われます。

変更後は、作動準備が整うたびにインストルメントクラスターに通知が表示されます。

変更が自動的に行われない場合は、セントラルディスプレイで手動で実行することもできます。

- ▶ ▶ 車両の設定 車両 ▶ ライトと視界 ▶ エクステリアライト ▶ ロービームの反転設定

バルブの交換

車両のエクステリアライトおよびインテリアライトにはLEDが取り付けられています。LEDは個別に交換できません。

ライトの取り外しおよび取り付けには、大きな労力を必要とします。

- ▶ 壊れたバルブとライトの交換または修理は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

摩耗と過剰な温度により、ヘッドライトが損傷する可能性があります。

- ▶ ヘッドライトにカバー (ストーンガードやフィルムなど) を装着しないでください。

① インフォメーション

LEDマトリックスヘッドライトを備えた車両では、ロービームの設定を確認するにはボンネットを開ける必要があります。

- ▶ ヘッドライト調整は、必ず専用の調整装置を使用しているポルシェ正規販売店で実施してください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ナイトビューアシスト

一般的な安全に関する指示

▲ 警告

集中力の低下、およびナイトビューアシストにより障害物が検出されない

ナイトビューアシストはサポートシステムであり、あらゆる状況下で衝突が差し迫っていることを警告するものではありません。事故を起こす恐れがあります

適時ブレーキをかけること、および状況に適した車両ライトの点灯は、常にドライバーの責任です。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

▲ 注意

ナイトビューアシストの制限または使用不可

パーキング分路などによるバンパーへの衝撃や損傷により、センサー位置がずれる場合があります。これは、システムの性能を損なう可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

システム制限

▲ 警告

システムは制限付きで利用可能

特定の状況では、システムによるアシストは保証されません。以下のような状況が含まれます。

人物や動物をいつも検出できるわけではありません。

外気温が 28 °C を超える場合、システムは自動的に無効になります。外気温が 25 °C よりも下がると、再び自動的に有効になります。

豪雨、降雪、凍結など、悪天候によって、カメラの動作に支障をきたし、結果として衝突リスクの検出能力が低下する場合があります。

システムの内部制限により、複雑な走行状況では、人物および動物警告が不意に作動することがあります。

- ▶ 進行方向と周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

フロントバンパーのサーマルイメージングカメラが周囲のサーマルイメージを捉えて、インストルメントクラスターに表示します。システムはヘッドライトにより照らされたエリアを超えて人および動物を検知し、カメラ画像内で対象物をハイライトします。

周囲がかなり暗く、外気温が 28 °C 未満で、速度範囲が 250 km/h 以下の場合、ナイトビューアシストが人および動物を検知します。

カメラの画像は、人間の目で知覚できる映像とは大きく異なります。

歩行者警告

システムが人物との衝突の可能性を検知した場合、警告音とインストルメントクラスターの表示によりドライバーに注意を促します。カメラ画像は人を赤色で表示します。

歩行者警告は、歩行者が走行車線内で立ち止まっているか、走行車線内に入ってくる場合に行われます。

LED マトリックスヘッドライト装備車では、危険にさらされた人が危険を認識できるよう、点滅による警告が行われます。この警告が発生しても、ドライバーは、ステアリング回避や急ブレーキにより衝突を防止できる可能性があります。交通状況とドライバーの運転方法で、警告のタイミングが違ってきます。

動物警告

システムが市街地の外で大型の野生動物(シカなど)との衝突の可能性を検知した場合、警告音とインストルメントクラスターの表示によりドライバーに注意を促します。カメラ画像は動物を赤色で表示します。

動物警告は、走行車線内かそのすぐ近くに動物がいる場合に作動します。

市街地走行中、動物警告は自動的に無効になり、リードにつながれた犬などによる警告の誤作動を防止します。


ディスプレイ




図. 112 ナイトビューアシスト

- 1 歩行者および動物警告
- 2 サーマルイメージングディスプレイ

シンボル

記号	意味
	カメラ画像が表示されている場合、車外の状況(外気温度や明るさ)が原因でシステムが人や動物を確実に検出できないことを示しています。この場合、警告機能は使用できません。このシンボルは、システムをOFFにしても表示されます。


ナイトビューアシストのON/OFFの切り替え

- ▶  ▶ アシスタンス ▶ ベーシックアシスト ▶ ナイトビューアシスト

インフォメーション

無効化すると、警告機能ならびに歩行者および野生動物のマーキングのみが無効になります。インストールメントクラスターに画像を表示することは引き続き可能です。

警告時間の設定

- ▶  ▶ アシスタンス ▶ ... ▶ アシスタンスシステム設定 ▶ ナイトビューアシスト

ナイトビューアシストカメラの清掃

✓ ロー/ハイビームが作動している。

車両の作動準備が整うと、フロントウィンドウウォッシャーシステムが1回および10回作動するごとに、カメラが自動的に清掃されます。

▶ 141ページの「フロントワイパーの操作」の章を参照してください。

インフォメーション

システムには、一定の温度を下回ると自動的にカメラを加熱して、氷結を防止または溶かすヒーターが内蔵されています。

緊急停止機能

一般的な安全に関する指示

警告

集中力の低下および障害物が検出されない

このシステムは、システムの制限内でのみドライバーを支援できますが、ドライバーの代わりになるものではありません。システムの支援を過信した無謀な運転は避けてください。

このシステムはすべての状況下で事故を防ぐことはできません。ドライバーは常に適切な対応をする責任を負っています。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

このシステムは以下の状況を検出できません。

- 人、自転車、動物
- 路上の障害物
- 対向車および交差車両

システム制限

以下のような状況では、機能が制限されたり、応答しなくなったり、自動的に停止したりする場合があります。

- ドライバーがアクセルペダル、ブレーキまたはステアリングを操作した場合。
- レーンキープアシスト、アクティブレーンガイダンス、ACC、PIDなどの走行システムが制限されている場合。
- レーダーセンサーまたはカメラ前面のフロントウィンドウが損傷しているか、汚れている場合。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

このシステムはドライバーのステアリング、アクセルペダル、ブレーキペダルの操作をモニターし、0 km/h から約 210 km/h～250 km/h の速度範囲内で操作を支援します¹。

緊急停止機能が作動すると、視覚、音、または触知での警告が段階的に開始され、車両が停止するまでブレーキがかかります。

緊急停止機能が ON になっているとき、次の条件が満たされた場合に緊急停止が作動します。

0 km/h ～65 km/h の速度範囲内。

- アクティブレーンキープが作動しており、アクティブレーンキープから運転を引き継ぐよう促されてもドライバーが反応しない。

65 km/h ～210 km/h の速度範囲内。

- アクティブレーンキープが作動しており、アクティブレーンキープから運転を引き継ぐよう促されてもドライバーが反応しない。
- アクティブレーンキープが OFF でレーンキープアシストが作動しており、レーンキープアシストから運転を引き継ぐよう促されてもドライバーが反応しない。
- アクティブレーンキープおよびレーンキープアシストが OFF になっており、ステアリング、アクセルペダル、ブレーキペダルの操作が一切検出されない。

210 km/h ～250 km/h の速度範囲内。

- レーンキープアシストが作動しており、レーンキープアシストから運転を引き継ぐよう促されてもドライバーが反応しない。
- レーンキープアシストが OFF になっており、ステアリング、アクセルペダル、ブレーキペダルの操作が一切検出されない。

65 km/h 未満の速度でアクティブレーンキープが無効になっている場合、緊急停止機能は作動しません。

これらの警告は、以下の方法でドライバーに車両を制御するよう促します。

- インストルメントクラスターのドライバーへの指示
- 警告シグナル
- PCM ミュート
- ベルトを急に引く動作
- ブレーキ振動およびゆるやかなブレーキ

ドライバーがそれでも反応しない場合、緊急停止機能が以下のように緊急停止を実行します。

- ハザードライトを点灯させます。
- シートベルトに張力がかかります。
- ウィンドウが閉じます。
- シートサイドボルスターが膨張します (装備仕様により異なる)。
- 車両は走行車線内で停止するまで制動されます。同時にさらにブレーキ振動が加えられます。

車両の停止後、パーキングロックとパーキングブレーキが作動し、ドアのロックが解除され、インテリアライトが作動し、緊急電話²も作動します。

- ▶ 再発進するには、トランスミッションレンジ **D** または **R** を選択します。

緊急停止機能を無効にする

緊急停止機能は運転中に無効にできません。これにより、システムは一時的に無効化されます。またドライバーが知らずに操作する場合でも無効になります。緊急停止機能は、下記の操作により無効になります。

- ▶ ステアリングホイールを動かす
 - または -
 - ブレーキペダルを踏む
 - または -
 - アクセルペダルを強く踏む。

緊急停止機能の ON/OFF の切り替え

- ▶  アシスタンス ▶ 標準アシスタンス ▶ 緊急停止機能

1. 指定の速度範囲は、駆動力、タイヤ、負荷、路面、上り坂と下り坂の勾配などのさまざまな要因によって変動します。
2. 国別仕様および装備による

① インフォメーション

この機能は、作動待機が確立されると自動的に有効になります。

パークアシスト

一般的な安全に関する指示

▲ 警告 集中力の低下

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。ドライバーは常にしかるべき注意を払ってください。このシステムは、ドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

- ▶ 人や動物、障害物が取り回しの範囲内にないことを確認してください。
- ▶ 操作中、赤色部分に人または動物がいる場合は、車両を停止してください。

▲ 警告 センサーの検出範囲の制限

センサーは周辺状況を完全には監視できません。このエリア内では、人、動物、障害物は検出されないか、限られた範囲でしか検出されない場合があります。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。

▲ 注意 不利な環境条件

不利な環境条件の場合、システムは制限されるか、利用できません。怪我や損傷の危険があります。

- ▶ 適切な環境条件でのみシステムを使用してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルで運転してください。

システム制限

システムは以下を検出できません。

- 音波を吸収する障害物 (冬場の滑りやすい路面、粉雪などの雪、布地や毛皮の衣類など)。
- 音波を反射する障害物 (ガラス面やなめらかな塗装面など)。
- 非常に細い障害物 (細い支柱など)。
- その他の超音波を発する機器 (他車のエアブレイキ、掃除機、削岩機など) が障害物の検出に干渉する場合があります。
- 障害物がある、センサーやカメラが非常に汚れている、ほこり、汚れ、雪や氷などに覆われている場合など。

機能

ドライバーが車庫入れ操作をしているとき、パーキングアシスタントは車両と障害物の間の距離を視覚的および音響的に示します。

パークアシストはPCMに視覚的に表示されます。車両前後の障害物が色別にフィールド表示されます。このフィールドにより障害物の位置や車両との距離が分かります。

距離測定



図. 113 距離測定用超音波センサー

フロントおよびリヤバンパーの超音波センサー A (図. 113) が、最も近くにある障害物からの距離を測定します。障害物を検出すると、警告音が断続的に鳴ります。車両が障害物に近づくにつれて警告音の断続間隔は短くなります。障害物との距離が約 30 cm 以下になると、警告音が連続して鳴ります。

センサーの上および下にある障害物は検知できません。警告音の音量は PCM で設定できます。

▶ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。

パークアシストの作動および停止

パークアシストの作動

自動

- ✓ 作動待機が ON になっている。
- ✓ 車速が約 15 km/h 未満。

- ✓ リバースギヤが選択されている。
 - または -
 - 前方の距離が約 80 cm 以下。
 - または -
 - 車両の後退を検出している。

手動

▶ ▶ アシスタンス ▶ パークアシスト

セントラルディスプレイに表示されます。



図. 114 パークアシストの表示

色	フロント側の距離	リヤ側の距離
白色	車両の経路にない障害物との距離。	
オレンジ	< 120 cm	< 180 cm

色	フロント側の距離	リヤ側の距離
赤色	< 40 cm	< 40 cm
赤色と連続音	< 30 cm	< 30 cm

記号	意味
	現在の駐車操作に対してパークアシストを無効にします。15 km/h の速度を超えるか、シフトポジション R を再度選択した場合、無効化はキャンセルされません。

P オーディオ再生を OFF にします。

セントラルディスプレイの操作に関する情報：

▶ 173 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

パークアシストを無効にする

- ▶ セントラルディスプレイで、 をタップします。
 - または -
 - トランスミッションレンジ P を選択します。

パーキングアシスタントの設定

▶ ▶ アシスタンス ▶ ... ▶ アシスタンス システム設定 ▶ パークアシスト

カメラの使用

リバース カメラ

一般的な安全に関する指示



警告

ゆがんだ表示による怪我の危険

カメラが映す物体はゆがんで見えます。リバース カメラ画像には車両の後方全体が映っているわけではありません。

- ▶ 常に車両周囲全体を確認してください。
- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内にあることを確認してください。

システム制限

カメラがひどく汚れている場合、またはほこり、汚れ、雪、氷などで覆われている場合、このシステムは使用できないか、使用範囲が限定されます。

機能

リバース カメラは駐車操作時の車両後方エリアのモニタリングを容易にします。リバース カメラ画像はセントラルディスプレイに表示されます。

リバース カメラの作動

自動

- ✓ 作動待機が確立されており、シフト ポジションは R を選択している。
 - または -
 - 車両の後退を検出している。

手動

セントラルディスプレイ内：

- ▶  ▶ アシスタンス パーキング アシスタント

インフォメーション

カメラ画像に加え、リヤ カメラ ビューにはガイド ラインも重ねて表示されます。


これらのガイド ラインは、ステアリング ホイールが現在位置にあるときに車両が進むことのできる方向を示しています。ガイド ラインは前輪の位置の変更に応じて変わります。

リバース カメラの停止

自動

- ✓ 速度が 15 km/h を超過。


手動

- ▶  ボタンを押してください。

リバース カメラの清掃

ボルシェ Taycan Cross Turismo モデル：リヤ ウィンドウの清掃時にリバース カメラが清掃されます。

ボルシェ Taycan セダン モデル

- ▶ カメラディスプレイ上の車両後部にある  ボタンを一度タップします。

インフォメーション

- ▶ フロント ウィンドウが非常に汚れている場合は、洗浄プロセスを繰り返します。
- ▶ 頑固な汚れ (昆虫の死骸など) は定期的に清掃してください。

サラウンド ビュー

一般的な安全に関する指示



警告

ゆがんだ表示による怪我の危険

カメラが検出した物体はゆがんで見えます。スクリーン ウィンドウの多くには、車両周囲全体が映っているわけではありません。

- ▶ 常に車両周囲全体を確認してください。
- ▶ 人や動物、障害物が操作エリア内にあることを確認してください。

システム制限

カメラがひどく汚れている場合、またはほこり、汚れ、雪、氷などで覆われている場合、このシステムは使用できないか、使用範囲が限定されます。

機能

サラウンド ビューは車両を上から見た映像で、車両周囲のエリアを映し出したものです。複数のカメラで障害物や路面標識を、車両の正確な位置とともに検出します。サラウンド ビューとロー ビームが作動しているときは、明るさを確保するためカーテシー ライトのスイッチが ON になります。



図. 115 サラウンドビューカメラの位置

- A フロントバンパーのセンターにあるカメラ
- B 両方のドアミラーのカメラ
- C ライセンスプレートライト間のカメラ

Surround View (サラウンドビュー) を有効にする

自動

- ✓ パークアシストがアクティブになっている。

手動

1. ▶ アシスタンスパークアシスト
 2. 希望するビューを選択します。
- ▶ 作動中のビューのシンボルが青色でハイライト表示されます。

記号	意味
	駐車場 フロントまたはリアカメラシンボルをタップして、ビューを切り替えます。
	パノラマ フロントまたはリアカメラシンボルをタップして、ビューを切り替えます。
	サイド (装備仕様により異なる) フロントまたはリアカメラシンボルをタップして、ビューを切り替えます。
	3Dビュー (装備仕様により異なる) <ul style="list-style-type: none"> - サイドカメラシンボルのいずれかをタップして、視点を切り替えます。 - 画面下部にあるカメラシンボルをタップして、オールラウンドビューを選択します。カメラ画像をスワイプして視点を360°回転させることができます。
	✓ Taycan <ul style="list-style-type: none"> ▶ シンボルをタップしてカメラを清掃します。
	✓ Taycan Cross Turismo <ul style="list-style-type: none"> ▶ 140ページの「フロントウィンドウワイパー」の章を参照してください。

① インフォメーション

カメラ画像に加え、フロントおよびリアカメラのビューにはガイドラインが重ねて表示されます。これらのガイドラインは、ステアリングホイールが現在位置にあるときに車両が進むことのできる方向を示しています。ガイドラインは前輪の位置の変更に応じて変わります。

サラウンドビューを無効にする

- ▶ パークアシストを無効にする。

一般的な安全に関する指示

⚠ 警告

システムが使用できないか、使用が制限されています

システムはその制限内でドライバーをサポートしますが、すべての状況で事故を防ぐことはできません。

事故を回避するために適切な運転を心がけるのは、常にドライバーの責任です。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ システムを利用できない、または期待どおりに機能しない場合、ドライバーは常に車両を制御できるように備えていなければなりません。

ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)

一般的な安全に関する指示

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

PASM システムは、シャーシ ダイナミクスを能動的に調整します。車両には、次のいずれかのバージョンが装備されている場合があります。

- スチール サスペンションを備えた PASM
- 切り替え可能なエア サスペンションとレベリング システムを備えた PASM

アジャスタブル シャーシ システムは、路面状況などに基づき、各ホイールの減衰力を適切な力に調整します。

3 種類のシャーシ設定を選択できます：

- **標準**：コンフォート設定
- **スポーツ**：スポーティーに走行できる設定
- **スポーツ プラス**：サーキットでの走行などに適した非常にスポーティーな設定。

切り替え可能なエア サスペンションとレベリング システムを備えた PASM

エア サスペンションを備えたレベリング システムは、負荷変動を自動的に補正し、一定の車高を保ちます。次のシャーシ高を選択できます。

標準

- 「標準」および「スポーツ」シャーシ設定における標準の高さ
- 「スポーツ プラス」シャーシ設定の場合、高さを手動で選択可能

リフト

- 「標準」の高さと比べて地上高が約 20 mm 高い。
- 速度が約 30 km/h 以下の場合に選択可能で、この速度を超えると自動的に解除される。
- 障害物の上を走行する場合に使用。

降下

- 「標準」の高さと比べて地上高が約 10 mm 低い。
- 手動で選択可能。

低

- 「標準」の高さと比べて地上高が約 22 mm 低い。
- スポーティーな走行に使用。
- 手動で選択可能。
- 「スポーツ プラス」シャーシ設定または RANGE 走行モードが有効な場合、自動的に選択される。

RANGE 走行モードが有効な場合、レンジ走行に最適なシャーシ設定が選択され、高さは「低」に設定されます。RANGE 走行モードでは、シャーシ設定選択がロックされます。

PASM の設定

シャーシ設定の選択

ボタンを使用したシャーシ設定の選択



図. 116 PASM ボタン

- ✓ 作動待機が確立されている。
- ▶ ボタンを (繰り返し) 押します。

セントラルディスプレイでのシャーシ設定の選択

- ✓ 作動待機が確立されている。
- ▶ ▶ 走行 ▶ シャーシ
- ➡ 最後に選択されたシャーシ設定がインストルメントクラスターに表示されます。車両の作動準備が整っていない状態でも有効のままです。

表示	シャーシ設定
なし	Normal
SPORT	Sport
SPORT PLUS	Sport Plus

シャーシ高の選択

適用対象：エアサスペンションおよびレベリングシステム付きボルシェアクティブサスペンションマネージメント (PASM)

セントラルディスプレイでのシャーシ高の選択

✓ 作動待機が確立されている。

▶  ▶ 走行 ▶ シャーシレベル

ボタンを使用したシャーシ高「リフト」の選択

シャーシ高「リフト」は、インストルメントクラスターのボタンを用いて選択できる高さで、選択すると地上高を迅速に高くすることができます。

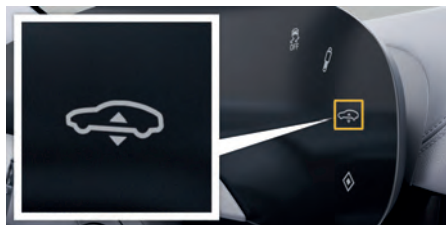


図. 117 リフトボタン

✓ 作動待機が確立されている。

▶ ボタンを押してください。

選択されたシャーシ高がインストルメントクラスターに表示されます。

最後に選択したシャーシ高がインストルメントクラスターに表示されます。これは、車両がOFFになった後も保持されます。

表示	シャーシ高
なし	標準
	リフト
	降下
	低

インフォメーション

ドアが開いている場合、車両は下がりません。ドアが閉じた後に、選択したレベルが設定されます。

インフォメーション

レベルを何度も切り替えると、コンプレッサーがオーバーヒートすることがあります。この場合、コンプレッサーが冷えるまで数分間待ってから、レベリングシステムを再度正常に機能させてください。コンプレッサーの冷却が終わると、車両が、選択した高さまで自動的に調整します。

レベリングシステムをOFFにする



警告

車両のリフトアップ

PASM 警告メッセージ、または車両が高温になっているという警告メッセージが表示されている場合、車高を上げると怪我や車両損傷の恐れがあります。

- ▶ 必ず車両がクールダウンした状態で車高を上げてください。
- ▶ PASM からの警告メッセージが表示されている状況では、お客様ご自身でシャーシに関する作業を行わないでください。ボルシェ正規販売店にご連絡ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。





警告

レベリングシステムのコントロール作動

レベリングシステムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両の高さを上げる際には、事前に車両の高さを「標準」に設定し、レベリングシステムをOFFにします。

▶ 294 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。

- ▶  ▶ 車両の設定  車両 ▶ 追加のシャーシ設定
 - ▶ ジャッキの使用のためにシャーシの適応を無効にする

① インフォメーション

車速が約7 km/hを超えると、レベリングシステムは自動的にONになります。

自動リフト機能

自動リフト機能により、シャーシ高「リフト」を場所ごとに設定できます。

- ✓ エアサスペンション装備車。
- ✓ データ接続が正常に確立されている。
- ✓ ポルシェコネク트가有効になっている。

知識

システムがドライバーの安全を危険にさらすよう誘導することがあってはなりません。適切な速度で走行するなどの安全運転に努めるのはドライバーの責任です。自動リフト機能はドライバーの集中力の代わりになるものではありません。

シャーシ高が「リフト」の場合でも、走行速度が不適切な場合には障害物との接触を防ぐことができません。

保存された場所が認識されず、自動リフト機能が実施されない状況が発生する可能性があります。

エアサスペンションシステムが故障している場合、自動リフト機能は実行できません。

- ▶ 登録された場所に近づいたときに、シャーシ高「リフト」が設定されていることを確認してください。
- ▶ 適切な速度で障害物を乗り越えてください。

機能の有効化と保存した場所の管理

自動リフト機能はセントラルディスプレイで有効/無効を切り替えることができます。保存した場所を名前を変更したり削除したりできます。

- ✓ 走行準備が確立されている。

▶ 車両の設定 ▶ 車両 ▶ スマートリフト

自動リフト機能の登録

障害物に初めて近づくときは、シャーシ高「リフト」を手動で設定し、場所を保存する必要があります。

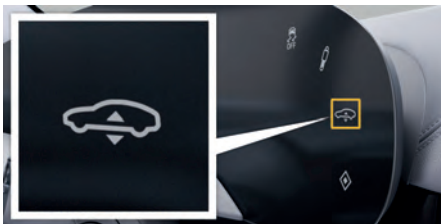


図. 118 リフト ボタン

- ✓ 走行準備が確立されている。
- ✓ 自動リフト機能が作動している。
- ✓ 速度がシステム制限内。

1. インストルメントクラスター上の [リフト] ボタンを押します。

2. セントラルディスプレイで保存をタップします。
 - ▶ 保存プロセスを確認するメッセージがセントラルディスプレイに表示されます。

① インフォメーション

往路と復路など、障害物への接近経路が複数ある場合は、すべての接近経路で障害物に接近して場所を保存する必要があります。

- 自動リフト位置は、車両のすべてのユーザープロフィールに保存されるため、すべての車両ユーザーが確認できます (個人のユーザープロフィールにはリンクしません)。
- 車両を販売する前には、保存したリフト位置を削除してください。

自動リフト機能の実行

シャーシ高「リフト」の自動設定

保存された位置に近づくと、シャーシ高「リフト」が自動的に設定されます。セントラルディスプレイにメッセージが表示されます。

- ✓ 作動待機が確立されている。
- ✓ 自動リフト機能が作動している。
- ✓ 自動リフト機能に場所が登録されている。
- ✓ 速度がシステム制限内。

自動リフト機能の中断

自動リフト機能は、インストルメントクラスターのボタンで中断できます。

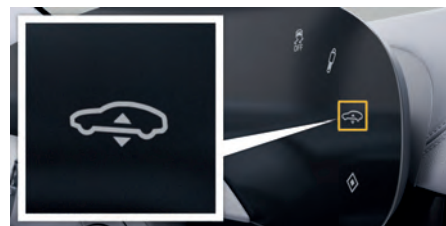


図. 119 リフト ボタン

- ✓ 作動待機が確立されている。
- ✓ 自動リフト機能が作動している。
- ✓ 自動リフト機能に場所が登録されている。
- ✓ 速度がシステム制限内。

- ▶ ボタンを押してください。
 ▶ 自動リフト機能が中断されます。

① インフォメーション

現在の位置を削除するためのメッセージがセントラルディスプレイに表示されます。

追加情報

長期間の未使用による車高の低下

数週間使用しないでいると、車両レベルが低下する場合があります。作動待機が確立されると、低くなった車高は自動的に補正されます。このプロセスは、車両によっては数分かかります。このとき、地上高が減少します。

適用対象：エアサスペンションおよびレベリングシステム付きボルシェ アクティブサスペンション マネージメント (PASM)

車両駐車後のレベリング

車両を駐車すると、車両重量のバランスを保つため車高が自動的に調整されることがあります。

適用対象：エアサスペンションおよびレベリングシステム付きボルシェ アクティブサスペンション マネージメント (PASM)

ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)

一般的な安全に関する指示



警告

車両コントロールの喪失

PSM は、不適切な走行速度による事故の危険性を減少させるものではありません。

走行安全性は向上しますが、だからといって無謀な運転は避けてください。PSM が装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ PSM の有無にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) は、極端な条件での運転時に車両を安定させるためのアクティブコントロールシステムです。作動待機が確立されると、自動的に有効になります。

PSM システムの主要構成部品は、オートマチック ブレーキ ディファレンシャル (ABD) システム、アンチスリップコントロール (ASR) システム、ドライブドラッグトルクコントロールシステム、およびアンチロック ブレーキシステム (ABS) です。

PSM コントロールは、以下によって示されます。

- インストルメント クラスターの PSM 警告灯が点滅します
- 油圧作動音が聞こえることがあります
- 車両が減速し、ステアリング ホイール力が PSM のブレーキコントロールに伴って変化します
- 駆動力が低下します
- ブレーキペダルが振動し、ペダルの位置が変化します

オートマチック ブレーキ ディファレンシャル

駆動中のアクスルの一方のホイールがスピンし始めると、そのホイールにブレーキがかかり、同一アクスルのもう一方のホイールが駆動できるようになります。

アンチスリップコントロール

アンチスリップコントロールシステムは、駆動力を調整することでホイールのスピンを防止し、確実なレーン維持性および走行安定性を実現します。

ドライブドラッグトルクコントロール

極度に滑りやすい状況で加速した際に、ドライブドラッグトルクコントロールシステムがすべての駆動輪のロックを防ぎます。

アンチロック ブレーキ システム (ABS)

アンチロック ブレーキシステムは、フルブレーキをかけた時にホイールがロックするのを防ぎます。

- ▶ 138 ページの「PSM とブレーキ」の章を参照してください。

ステアリングトルクパルス

ステアリングトルクパルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリングアシストを行います。また、ターゲットパルスはカウンターステアリング中にドライバーを支援します。

PSMの操作

PSMをOFFにする



警告

PSMアシストの停止

PSMをOFFにすると、ABS制御の範囲外になるような過酷な走行状況でPSMサポートが行われません。

- ▶ 「通常」走行では、常にPSMスポーツを必ずOFFにしておいてください。
- ▶ スペアホイールを装着して走行している場合は、絶対にPSMをOFFにしないでください。



図. 120 PSM OFF ボタン

- ▶ PSM OFF ボタンを2秒以上押します。
 - ➔ ボタンが黄色に点灯し、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

① インフォメーション

ABSコントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSMがOFFの状態でも車両は安定性を維持します。片方の駆動輪が空転すると、PSMをOFFにしている場合でも空転を抑制します。

以下の例外的な状況では、PSMを一時的にOFFにすることが有効な場合があります。

- ぬかるみ
- 深い雪道
- 「ぬかるみなどからの脱出」時

① インフォメーション

PSMスポーツモードの作動中は、PSMが事前に作動していた場合のみPSM OFFモードに切り替えることができます。

PSMをONにする

- ▶ PSM OFF ボタンを押します。
 - ➔ ボタンが白色に点灯します。
- インストルメントクラスターのPSM SPORT またはPSM OFFの表示が閉じます。

PSMスポーツの作動



警告

PSMサポートの制限

PSMスポーツモードの場合、ABS制御範囲外の過酷な走行状況ではPSMサポートが制限されます。

- ▶ 「通常」走行ではPSMスポーツモードを必ずOFFにしてください。
- ▶ スペアホイールを装着して走行する場合は、絶対にPSMスポーツモードを有効にしないでください。

適用対象：スポーツクロノパッケージ装備車。

PSMスポーツモードにすると、システムはスポーティなモードに切り替わります。

- ▶ PSM OFF ボタンを短く押します。
 - ➔ ボタンが黄色に点灯し、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

警告メッセージへの対応

PSM警告灯に関する情報：

▶ 184ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

PSMとブレーキ

ABS ブレーキシステム(アンチロック ブレーキシステム)



警告

車両コントロールの喪失

ABSは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

走行安全性は向上しますが、だからといって無謀な運転は避けてください。アンチロックブレーキシステムが装備されていても、物理的限界を超えて車両を制御することはできません。

- ▶ アンチロックブレーキシステムの有無にかかわらず、ドライバーには路面、天候、周囲の交通状況に応じた適切な運転に努める責任があります。

作動原理

アンチロックブレーキシステム(ABS)は、フルブレーキをかけた時にホイールがロックするのを防ぎます。これにより、危険な状況での車両の走行安定性と操縦性が向上します。

ホイールが1本でもロックしそうな場合は、ABSが適切に制御し始めます。

このブレーキコントロールは、非常に小刻みなポンピングブレーキをかけるのと似た状態です。ブレーキペダルの脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整するようにという警告の役目をします。

ABS を使用してフル ブレーキをかける

フル ブレーキをかける必要がある場合：

- ▶ ブレーキをかける際、ブレーキペダルが小刻みに動いても、ブレーキペダルをいっばいに踏み込みます。ブレーキ圧力を低下させないようにしてください。

マルチ コリジョン ブレーキング

事故の際、マルチコリジョン ブレーキングにより自動的にブレーキが作動し、ドライバーは横滑りや二次衝突の危険性を低減させることができます。

前提条件

マルチコリジョン ブレーキングが作動するのは、以下の場合のみです。

- 車両の前方、横方向および後ろからの衝突時
- 事故の際に、エアバッグコントロールユニットが該当する作動しきい値を検出したとき
- 車速約 10 km/h 以上で走行しているときに事故に遭った場合

① インフォメーション

事故後に PSM や電気系統に損傷がなく、作動可能な場合、PSM が自動的に油圧ブレーキを作動させます。

例外的な状況

事故時の自動ブレーキは、以下の場合に抑制されます：

- ドライバーがアクセルペダルをはっきりと踏んだ場合。
- ドライバーがブレーキペダルを踏み込んだ際のブレーキ圧力が、システムによって加えられるブレーキ圧力よりも大きい場合。

付属品およびシステムの初回アクティベーション

PVTS は、ポルシェ正規販売店によってテストされ、車両オーナーと一緒に起動されます。

起動後には、最寄りのセキュリティ オペレーティングセンター (SOC) および担当サービス プロバイダーの電話番号といった重要な詳細が車両オーナーに伝えられます。

システムのアクティベーションに関するさらに詳しい情報は www.porsche.com/connect またはポルシェ正規販売店から入手できます。

ドライバー カードによる / ドライバー カードなしでの PVTS の操作

ドライバー カードなしでの PVTS 操作

PVTS が正常に機能している場合、ドライバーが操作する必要はありません。

ドライバー カードによる PVTS プラスの操作

ドライバー カードを使用して PVTS プラスを自動的に作動および停止することができます。



図. 121 PVTS プラス ドライバー カード

ドライバー カードによる PVTS プラスの作動

- ▶ 車両から離れるときは作動待機を OFF にし、ドライバー カードを持って降りてください。
 - ➔ ドライバー カードが車両から一定距離以上離れると、PVTS プラスが約 70 秒後に作動します。車両の盗難を検知できます。

ドライバー カードによる PVTS プラスの停止

- ▶ 車両のセンターコンソールにドライバー カードを保管するか、または常に携帯してください。
 - ➔ ドライバー カードが車内にあると、PVTS プラスが無効になります。

① インフォメーション

- ラゲッジコンパートメントやドライブコンパートメント、または金属 (コインなど) や携帯電話のすぐ近くにはドライバー カードを置かないでください。
- 盗まれたキーが使用されて車両が盗難されることがあります。ドライバー カードをキーに固定しないでください。

① インフォメーション

PVTS プラスは、1 車両につき最大 7 個のドライバー カードを検出できます。車両にはドライバー カードを 1 枚のみ置いてください。ドライバー カードを追加、消去、または交換する場合：

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ドライバー カードの不具合

特別な状況下では (電波干渉を受けるなど)、ドライバー カードを検出できないことがあります。インストールメント クラスタに警告メッセージが表示されます。

ドライバー カードの緊急停止

- ▶ ドライバー カードを使用して PVTS プラスを無効化できない場合 (ドライバー カードの電池が消耗している、またはドライバー カードを紛失した場合など) は、セキュリティ オペレーティング センター (SOC) のスタッフにシステムを無効化してもらうか、アプリまたは www.porsche.com/connect で「警戒解除モード」を有効にします。

輸送

車両を (フェリーなどで) 輸送する場合、輸送モードを ON にする必要があります。

車両を輸送モードで輸送しなかった場合、警報システムが誤作動することがあります。その場合、支払いが発生することもあります (詳細については、www.porsche.com/connect を参照してください)。

輸送モードの作動および停止

- ▶ 車両の輸送前および輸送完了後には、セキュリティ オペレーティング センター (SOC) にご連絡ください。
 – または –
 車両の輸送前および車両の輸送完了時に、ポルシェ コネクト スマートフォン アプリ、Car Connect または www.porsche.com/connect を使用してください。

サービス

以下の状況では、PVTS を車両サービス モードに設定することが必要です。

- カスタマー サービス中 (定期点検など)
- 車両バッテリーを切り離す場合

車両のメンテナンス時に車両サービス モードにしないと、警報システムの誤作動が引き起こされる可能性があります。この場合、請求が発生する場合があります (詳しい情報は www.porsche.com/connect を参照してください)。

車両サービス モードの作動 / 停止

1. 車両サービスの実施前後には、セキュリティ オペレーティング センター (SOC) にご連絡ください。
2. サービス点検時は、PVTS が装備されていることをポルシェ正規販売店にお知らせください。

インフォメーション

車両装備が PVTS プラスの場合には、担当者がサービス中に PVTS プラスを無効化できるよう、ドライバー カードとキーをカスタマー サービス担当者にお渡しください。

フロント ウィンドウ ワイパー 一般的な安全に関する指示



警告

ワイパーの不意の作動

フロント ウィンドウ 清掃時に怪我をする恐れがあります。レイン センサー モードでは、フロント ウィンドウ に水滴を検出すると自動的にワイブ作動を行います。

- ▶ フロント ウィンドウ ワイパーを OFF にしてからフロント ウィンドウを清掃してください。

知識

ボンネット、フロント ウィンドウ、およびワイパー システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ フロント ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
- ▶ ワイパー ブレードが凍結した場合は、走行前に慎重にフロント ウィンドウから剥がしてください。
- ▶ (レイン センサー機能により) 不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント ウィンドウ ワイパーを OFF にしてください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

各操作部

フロント ウィンドウワイパー



図. 122 フロント ウィンドウワイパー レバー

- 0 フロント ウィンドウ ワイパー OFF
- 1 レインセンサー作動
- 2 ワイパーのスロー作動
- 3 ワイパーの高速作動
- 4 ワイパーのワンタッチ機能
- 5 スプレーおよびワイパー作動

リヤワイパー

適用対象：Porsche Taycan Cross Turismo モデル

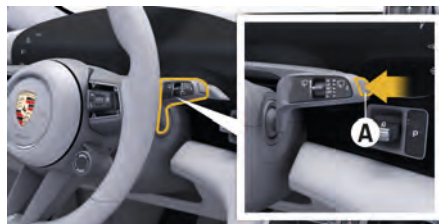


図. 123 リヤワイパーを ON または OFF にします。

A リヤワイパーを ON または OFF にします。

フロント ワイパーの操作

レインセンサーの作動を ON にする

レインセンサーモードでは、フロント ウィンドウ上で測定された雨水の量に応じてフロント ウィンドウワイパーの速度が設定されます。

- ▶ ワイパー レバーを押し上げて、1 番目の位置 (位置 1) にします。
 - ➔ レインセンサーが作動中です。

レインセンサーの感度を調整する

4 段階で感度を調整して、次にワイパーが作動を開始する基準となるフロント ウィンドウ上の雨水の量を指定できます。



図. 124 レインセンサー / 間欠作動の切り替えスイッチ

高感度 (高頻度でのワイパー作動)

- ▶ スイッチ A (図. 124) を上方向に押ししてください。
 - ➔ フロント ウィンドウワイパーが 1 回ワイパー作動を行い、設定が切り替わったことを知らせます。

低感度 (低頻度でのワイパー操作)

- ▶ スイッチ A (図. 124) を下方向に押ししてください。

ワイパーの連続作動を ON にする

ワイパーのスロー作動

- ▶ ワイパー レバーを 2 番目の位置 (位置 2) まで上方向に動かします。

ワイパーの高速作動

- ▶ ワイパー レバーを 3 番目の位置 (位置 3) まで上方向に動かします。

ワイパーのワンタッチ機能

1 回だけのワイパー作動

- ▶ ワイパー レバーを下方向に短く押します (位置 4)。

複数回のワイパー作動

- ▶ ワイパー レバーを下方向に長押しします (位置 4)。

フロント ウィンドウのスプレーおよびワイパー作動

- ▶ ワイパー レバーをステアリング ホイールに向かって引きます (5)。
 - ➔ ワイパー レバーを保持している間、スプレー ノズルおよびフロント ウィンドウワイパーが作動します。

ワイパー レバーを放した後、フロント ウィンドウワイパーは数回作動します。繰り返し作動させると、ナイト ビュー アシスト カメラは自動的に清掃されます。

フロント ワイパーを OFF にする

- ▶ ワイパー レバーを **0** の位置に動かします。

リヤワイパー

適用対象 : Porsche Taycan Cross Turismo モデル

リヤワイパーの間欠作動を ON または OFF にする

- ▶ ボタン **A** (図. 123) を押してください。

リヤウィンドウのスプレーおよびワイパー作動

- ▶ ワイパー レバーを前方に押します。
 - ➔ ワイパー レバーを前方に押ししている間、ウォッシャー システムとワイパーが作動します。レバーを放すと、拭き取りのためワイパーが数回作動します。
- リバース カメラが清掃されます。

リバース機能を ON にする

雨天時やフロント ウィンドウ ワイパー作動中にリバース ギヤを選択した場合、リヤワイパーが自動的に作動するようにセントラルディスプレイで設定することができます。

リバース機能を ON にする

▶  ▶ 設定 ▶ 車両 ▶ ライトと視界 ▶ リバース。

ワイパー ブレードの交換



注意

正しく取り付けられていないワイパー ブレード

交換が正しく行われていないと、ワイパー ブレードが走行中に外れる可能性があります。

- ▶ ワイパー ブレードはワイパー アームに適切に固定する必要があります。
- ▶ ワイパー ブレードが確実に固定されていることを確認します。

知識

ワイパー アームが意図せずに折れたたまるることにより、損傷が起こる恐れがあります。

- ▶ ワイパー ブレードを交換する場合は、ワイパー アームをしっかりと保持してください。

ワイパー ブレードが完全な状態になっていて、明瞭な視界が確保できるようになっていることは重要です。ワイパー ブレードは年に 2 回 (寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

フロント ウィンドウワイパー ブレードの交換

ワイパー ブレードを交換したり、その下に氷や太陽から保護カバーを取り付けたりするには、フロント ワイパーを展開する必要があります。

フロント ワイパーの展開

✓ 作動準備が OFF になりました。

1. ワイパー レバーを下方向に 1 回押します (4 の位置)。
 - ➔ フロント ワイパーが上方に約 90° 移動します。
 2. メーカーの取扱説明書 (別冊) に従い、ワイパー ブレードを交換してください。
- ワイパー ブレードの長さが異なるので注意してください。**

フロント ワイパーの格納

✓ 作動待機が ON になっている。

- ▶ ワイパー レバーを下方向に 2 秒以上押してください (4 の位置)。
 - ➔ ワイパー アームが初期位置に移動します。



インフォメーション

必要な場合は、ポルシェ正規販売店で交換作業を行ってください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

リヤウィンドウワイパー ブレードの交換

適用対象： Porsche Taycan Cross Turismo モデル

知識

ワイパー アームを損傷する恐れがあります。リヤワイパー アームはウィンドウから完全に上げることはできません。

- ▶ ワイパー アームを最大 15° ウィンドウから持ち上げます。

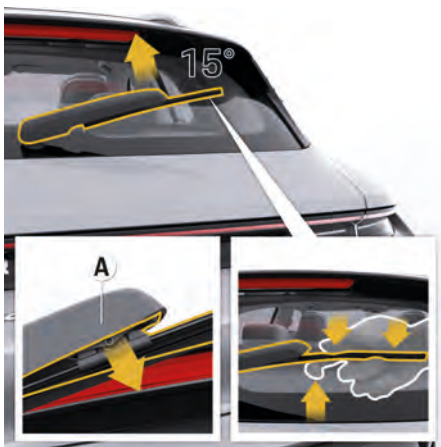


図. 125 リヤワイパー ブレードの交換

ワイパー ブレードの取り外し

1. ワイパー アームを約 15° ウィンドウから持ち上げます。
2. ワイパー ブレードを手で支えます。
3. マウント A の後ろに人差し指を置き、ワイパー ブレードを少し押し上げます。
4. 両手の親指と親指の腹を使ってマウント A からワイパー ブレードを持ち上げます。

ワイパー ブレードの取り付け

1. マウント A にワイパー ブレードを位置決めします。
 - ▶ スポイラー側が外側に面していることを確認してください。
2. ワイパー ブレードがマウント A にしっかりと合はまるまで押し込んでください。

サービスステータス

サービスステータスについての詳細情報

- ▶ 223 ページの「スマート サービス」の章を参照してください。

リバースカメラの清掃

- ▶ 130 ページの「パークアシスト」の章を参照してください。

追加情報

作動待機が確立されたときのワイパーの動作

- ワイパー レバーが **1** の位置にある： レインセンサーは 4 km/h から作動します。
- ワイパー レバーが **2** または **3** の位置にある： フロントウィンドウワイパーは、ワイパー レバーを作動するまで OFF のままです。

これにより、たとえばフロントウィンドウが氷で覆われている場合に、作動待機が確立されるとすぐにフロントウィンドウワイパーが作動するのを防ぎます。

速度が変化したときのワイパーの動作

- ✓ ワイパー・レバーが **2** または **3** の位置にある。

- 速度が時速 4 km 未満である： ワイパーはレインセンサー作動状態に切り替わります。
- 速度が 12 km/h を超える： ワイパーは選択した設定に切り替わります。

応用例： 信号でブレーキをかけると、ワイパーはレインセンサー作動に切り替わります。加速し、12 km/h を超えると、ワイパーは選択した設定に切り替わります。

i インフォメーション

ボンネットが開くと、ワイパーは停止します。

- ▶ 再度フロントワイパーを ON にするには、フロントワイパー レバーを上方向/下方向に動かしてください。

レーンキープアシスト

一般的な安全に関する指示

レーンキープアシストは一部の国でのみ利用可能です。

警告

集中力の低下

システムは、その制限内で、車両が走行車線に留まるようにドライバーをサポートしますが、代わりに運転するわけではありません。ドライバーは、たとえレーンキープアシストが作動中であっても、走行車線内に留まるようにするなど、常に安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

- ▶ 慎重に運転し、いつでもハンドル操作できるように常にステアリングホイールを握ってください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ インストルメントパネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。
- ▶ 道路状況と天候に応じて適したスピードで運転してください。
- ▶ ステアリングホイールには物を取り付けしないでください。

警告

ステアリング介入がない、またはほとんどない

急ブレーキ時には、ステアリング介入による補正が行われない場合があります。同様に、ドライバーが積極的にハンドル操作を行っている場合は、ステアリング介入による補正が低減されるか、または行われないことがあります。

- ▶ 慎重に運転し、いつでもハンドル操作できるように常にステアリングホイールを握ってください。
- ▶ 交通状況と車両の周囲には常に注意を払ってください。
- ▶ インストルメントパネルに警告メッセージが表示された場合は、ドライバー本人が直ちに車両のコントロールを行ってください。

警告

ステアリング介入による補正が不十分

わだち、カーブの多い道、坂道、または横風がある場合など、ステアリング介入による補正だけでは車両が走行車線に保つには不十分な場合があります。

- ▶ そのような状況では、積極的なステアリング操作によりアシストしてください。
- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ステアリングホイールは、必ず両手で持つようにしてください。



インフォメーション

- ▶ システムの故障またはレーンキープアシストの機能不全がこの章の記載どおりに発生する場合、レーンキープアシストを使用しないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

システム制限

警告

物理的な限界とシステム制限

状況によっては、システムが車線を適切に検出できず、ステアリング介入による補正が不十分で車両を車線内に維持できなかったり、機能ステータスが作動中から停止中に突然変わったりすることがあります。事故を起こす恐れがあります！

- ▶ これらの状況ではシステムを使用しないでください。

以下のような状況が含まれます。

- 通常よりもドライバーの注意が必要とされる場合
- スポーツ走行中
- 悪天候 (霧、雪、または豪雨など)
- 路面状態が悪い状況 (路面状態、道路のくぼみ、汚れた路面を含む)
- 道路工事区間
- 起伏の激しい路面や坂道に近づいている場合
- 市街地での走行
- カーブの多い道および細い郊外の道での走行

▲ 警告

カメラの視界の低下

カメラの視界は、雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライト、損傷などさまざまな要因によって低下します。一定の条件下では、カメラが車線区分線を検出できない、または正しく検出できない場合があります。この場合、ステアリング介入が行われなかったり、予期しないステアリング介入が行われたりすることがあります。ステアリング介入は、車線区分線が検出された側に対してのみ発動します。その他の道路構造物や障害物なども、車線区分線と誤って認識される場合があります。これにより、ステアリング介入や警告音が予期せぬ形で発動、または発動しない場合があります。

- ▶ 十分注意して運転してください。
- ▶ ハンドルをしっかり持ち、車線区分線に常に注意を払ってください。
- ▶ カメラレンズは定期的に洗浄し、雪や氷が付着したときは取り除いてください。
- ▶ カメラレンズを覆わないでください。
- ▶ カメラレンズ前面のフロントウィンドウに損傷がないかを定期的に確認してください。

システムの使用には制限があります

以下の状況では、システムが停止状態になる場合があります。

- 車両がシステム動作速度である約 65 km/h 未満の速度で走行している。
- 走行車線の車線区分線が検出されない。(雪、泥、路面の濡れ、対向車のヘッドライトまたは前走車が近いなどの場合)。
- 車線区分線の状態が良好ではないために、レーンキープアシストが起動できない。
- カーブの半径が小さすぎる。
- 一番近い車線区分線までの距離が遠すぎる。

- 車線区分線が車両に近すぎる。
- 稼働中、一時的に極めて激しい運転が行われている。
- 方向指示灯が作動中。
- システムにより、ドライバーがステアリングホイールを握っていないことが検出された。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

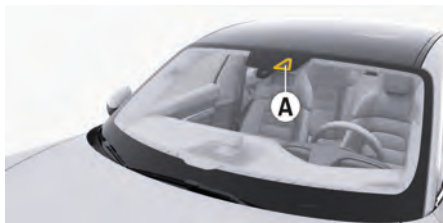


図. 126 フロントウィンドウカメラ

レーンキープアシストは、ドライバーが車両を車線内に維持するのをアシストする機能です。そのために、システムはフロントカメラ (A[図. 126]) を使用し、車線区分線に基づいて前方の道路のコースを検出します。さらに、車両が検出された車線区分線に接近して車線を逸脱する危険がある場合、ステアリング補正介入を開始して車両を車線内に維持します。ドライバーはいつでもステアリング介入を無効にできます。

方向指示灯を使用せずに車両が車線区分線を横切る場合、システムがドライバーに警告音を発するよう設定することができます。このためには、セントラルディスプレイで警告音を有効にする必要があります。車線変

更前にドライバーが方向指示灯を使用すれば、システムは警告やステアリング補正を行いません。こうした状況では、システムは車線変更が意図的なものであると解釈します。

このシステムは高速道路やよく整備された郊外道路での走行を想定して設計されており、約 65 km/h - 250 km/h の速度範囲で作動します。

レーンチェンジアシスト装備車

車両がレーンチェンジアシストを装備している場合、危険な状況の可能性のある車線変更を行おうとすると、作動しているシステムがステアリング補正介入を行うことでドライバーに警告します。該当する方向に方向指示灯を出す場合も、ステアリング介入が行われます。ステアリング介入がドライバーにより無効にされた場合は、さらに警告音による警告が行われます (作動している場合)。

ステアリングが操作されない場合の挙動

レーンキープアシストが ON で有効になっている間、ドライバーのステアリング操作は監視されています。ステアリングが操作されない場合 (ステアリングホイールを握っていない、または軽く手を置いているなど)、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。システムは、ステアリング操作を行うようドライバーに促します。ドライバーがメッセージに応じず操作しない場合、システムは停止状態に切り替わります。

表示部と制御部 各操作部



図. 127 ドライバーアシスタンスシステムのコントロールレバー

- R ドライバーアシスタンスシステムのON/OFFの切り替え
- S ドライバーアシスタンスシステムを選択

ディスプレイ

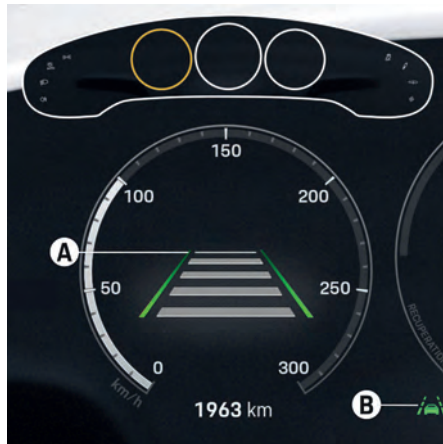


図. 128 レーンキープアシスト表示

- A 車線区分線表示 (アダプティブクルーズコントロール (ACC) 装備車両のみ)
- B ステータス表示

システムステータスアイコン

レーンキープアシスト表示	ステータス表示	意味
		レーンキープアシストはONで停止しています。
		レーンキープアシストは両側ともONで作動しています。

レーンキープアシスト表示	ステータス表示	意味
		車線区分線は片側でも検出されます。
		レーンキープアシストは、ステアリング介入による補正を実施します (右の例を参照)。

レーンキープアシストのONおよびOFFの切り替え

1. レバーの **R** ボタンを押してください。
 - ➡ ドライバーアシスタンスシステムがONになります。
2. レバーの **S** ボタンを押します。
 - ➡ ドライバーアシスタンスシステムの状況がインストルメントクラスターに表示されます。
3. ステアリングホイールのロータリープッシュボタンを使用してレーンキープアシストを選択し、ボタンを押して確定します。

警告音の設定

警告音はON/OFFを切り替えることができます。警告音の音量も選択できます。

▶ ▶ アシスタンス ... ▶ アシスタンスシステム設定 ▶ 車線逸脱警告

レーンチェンジアシスト (LCA)

一般的な安全に関する指示

▲ 警告 集中力の低下

レーンチェンジアシストおよびリヤターンアシストが装備されていても、走行中は周囲の状況に注意し、責任ある運転を心がけてください。車線変更の際は、特に注意を払ってください。

- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

▲ 警告 車両が検出されない

- ▶ ハンドルをしっかりと持ち、周囲の交通状況に常に注意を払ってください。

以下のような状況で、システムはタイミングよく車両を検知できない場合があります。

- レーダーセンサーの視界は、悪天候(雨、雪、氷、強い水しぶき)、急カーブ、急勾配への接近時に低下することがあります。
- レーンチェンジアシストは、速度が約 15 km/h 以上の場合のみ、接近する車両または死角エリアの車両について警告します。
- 高速で後方から接近する車両や遠ざかる車両。
- 車両が道をそれて、道路に対して斜めまたは直角になっている場合、レーダーセンサーは接近する車両を検出できなくなります。
- 自分の車両と移動または静止している物体の速度差が少ないと、リヤターンアシストが低速走行車両の検出に失敗したり、逆に固定されている物体(車止めポールなど)で警告が発生したりする場合があります。
- リヤターンアシストは発進時に作動します。したがって、すでに移動するか発進している車両を検出できなかったり、遅れて検出したりする場合があります。

ります。同様に、既に車両のすぐ隣にあり、センサーの検出範囲外にある車両を検出することはできません。

- リヤ衝突警告は、交差車両、断面が小さな車両、幅の狭い車両、および車両として認識されない物体には反応しません。

システム制限

- 15 km/h 未満で使用できるのは、リヤターンアシストのみです。そのため、発進時にドライバーをサポートするのは、方向指示器が作動した側の車両後方範囲の監視のみとなります。
- レーダーセンサーが覆われていることをシステムが検出した場合には、レーンチェンジアシストとリヤターンアシストは利用できません。
- レーンチェンジアシストに不具合がある場合、リヤ衝突警告がOFFになることがあります。
- レーダーセンサーは左右の隣接する車線を検出します。他の車線は検出しません。
- レーダーセンサーは、車両以外の他の障害物(高いまたは隆起した中央分離帯など)を検出する場合があります。

① インフォメーション

たとえば、レーダーセンサーの位置が事故によって変わった場合などは、レーンチェンジアシストの機能が損なわれる可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

① インフォメーション

レーンチェンジアシストを適切に機能させるには：

- ▶ リヤバンパーのレーダーセンサー部をステッカーなどで覆わないでください。また、この周囲から汚れや雪、氷を取り除いてください。
- ▶ ドアミラーの警告インジケーターをステッカーなどで覆わないでください。
- ▶ バンパーに上塗りすると、塗料の厚みが増すことにより、センサーの反応が悪くなる可能性があります。新しい塗料の電気的な特性も、承認された塗料の特性とは異なる場合があります。



図. 129 リヤバンパーのレーダーセンサー

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

レーンチェンジアシスト (LCA) は、後方から接近する車両や死角にある車両をドライバーに警告します。これは他車を追い越すときにも、追い越されるときにも作動します。

リヤバンパー内に組み込まれたレーダー センサーを使用して、レーンチェンジアシストは、検出した車両と自車との距離および速度差を測定します。レーダー センサーは後方 70 m までの範囲および死角をカバーします。

車線変更が危険とみなされる場合に方向指示器が作動するとすぐに、左右のドア ミラーの警告インジケーターが明るく、短く数回点滅します。このように、このシステムは車両の両側で個別にアシストを行います。

他車をゆっくり (速度差約 15 km/h 未満) と追い越す場合、他車が死角エリアに入ったことをレーンチェンジアシストが検出すると、直ちに警告インジケーターが点灯します。速度差がそれ以上の場合、ドア ミラーには表示されません。

リヤターンアシストとレーンチェンジアシストは常に自動でスタンバイ状態に切り替わります。発進後、レーンチェンジアシストの速度範囲に到達するまで、ドライバーはリヤターンアシストによってサポートされます。

方向指示灯が作動すると、リヤターンアシストは車両の側方および後方の物体を検出しますが、インジケーターが作動している側に対してのみ作動します。危険の可能性を検知すると、ドア ミラーの各警告インジケーターが点灯します。自車の計算された運転経路が、インジケーターが作動した車両側で検出された車両の経路を横切る場合、ドア ミラーの該当する警告インジケーターが明るく、短く数回点滅します。

リヤ衝突警告

車両後方のレーダー センサーにより、後方を走行する車両が検出されると、システムが後方からの衝突の確率を計算します。

衝突の危険が検出されると、ハザード ライトが ON になり、後方の車両のドライバーに差し迫った危険を警告します。

この場合、ハザード ライトは手動で ON にした通常時より速く点滅する場合があります。

ディスプレイ

レーンチェンジアシストは、方向指示器を操作しているかどうかに応じて有効になる、情報ステージと警告ステージの 2 つのインジケーター ステージで情報を提供します。

情報ステージ

ドライバーが方向指示灯を操作していない場合、レーンチェンジアシストは、車線変更する場合に検出した車両が危険であると判断すると、ドライバーに知らせます。該当するミラーの警告インジケーターがうっすらと点灯します。

警告ステージ

方向指示器が ON で、レーンチェンジアシストが危険とみなされる側で車両を検出した場合、検出した側のドア ミラーの警告インジケーターが数回明るく短く点滅します。ドア ミラーを見たり、肩越しに確認したりして、再度周囲の交通状況を確認してください。




図. 130 ドア ミラーの警告インジケーター

レーンチェンジアシストの ON/OFF の切り替え


レーンチェンジアシストは、セントラルディスプレイで ON/OFF を切り替えることができます。

▶ ▶ アシスタンスレーンチェンジアシスト

- ➡ レーンチェンジアシストが作動中の場合、 シンボルがインストルメント パネルに表示されます。

レーンチェンジアシスト画面の明るさの設定

ドア ミラーの表示の明るさは、周囲の明るさに応じて自動的に調節されます。基本的な明るさも調節できます。

- ▶  ▶ アシスタンス … ▶ アシスタンスシステム設定 ▶ レーンチェンジアシスト ▶ LEDの明るさ

運転状況

起こりうるケースとそれに関連するレーンチェンジアシストおよびリヤターンアシストの警告インジケータを一を、運転状況に応じて以下に説明します。

急速に接近する車両

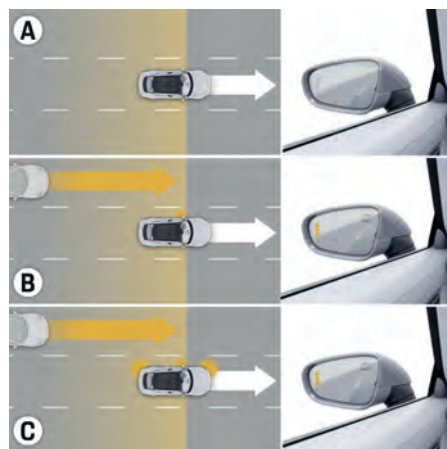


図. 131 急速に接近する車両

- A - ドアミラーの警告インジケータは点灯しない
センサーは車両を検出しません。ドアミラーの警告インジケータは点灯しません。
- B - 警告インジケータが情報ステージで点灯する

高速で接近する車両 - 図の例は左車線を示す - を検出しました。車両との距離はまだ離れていますが、著しい速度差があるため、既に車速変更を行うには危険であると判断されます。ドアミラーの警告インジケータが点灯します。

C - 警告インジケータが警告ステージで点滅する

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケータが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

ゆっくりと接近する車両

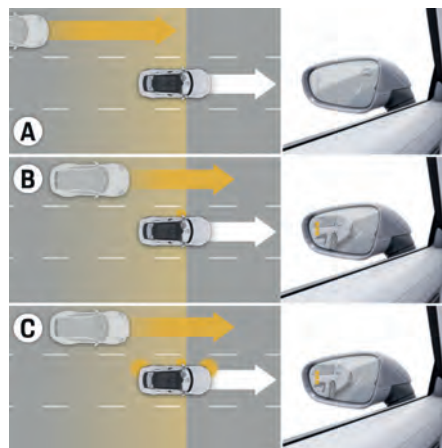


図. 132 ゆっくりと接近する車両

- A - ドアミラーの警告インジケータは点灯しない
ゆっくりと接近する車両 - 図の例は左車線を示す - を検出しました。速度差が小さくて車間距離が大いため、ドアミラーの警告インジケータは点灯しません。
- B - 警告インジケータが情報ステージで点灯する

車両がゆっくりと接近してきています。ドアミラーの警告インジケータが点灯します。レーンチェンジアシストが速度差および距離から車線変更は危険と判断する場合、ドアミラーの警告インジケータが点灯します。レーンチェンジアシストによって検出されたすべての車両は、遅くとも死角に入るまでにドライバーに警告されます。

C - 警告インジケータが警告ステージで点滅する

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケータが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

ゆっくりと後ろに遠ざかる車両

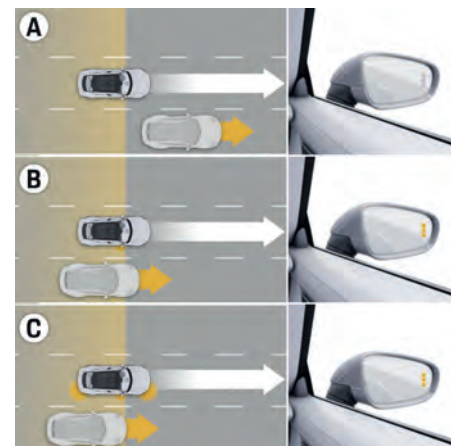


図. 133 ゆっくりと後ろに遠ざかる車両

- A - ドアミラーの警告インジケータは点灯しない
追い越される車両はまだ検出されません。ドアミラーの警告インジケータは点灯しません。
- B - 警告インジケータが情報ステージで点灯する

ゆっくりと後方へ遠ざかる右側の車両 (速度差約 -15 km/h - 未満、例では右側車線) を検出しました。ドアミラーの警告インジケーターが点灯します。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作すると、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅します。レーンチェンジアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

急速に後ろに遠ざかる車両

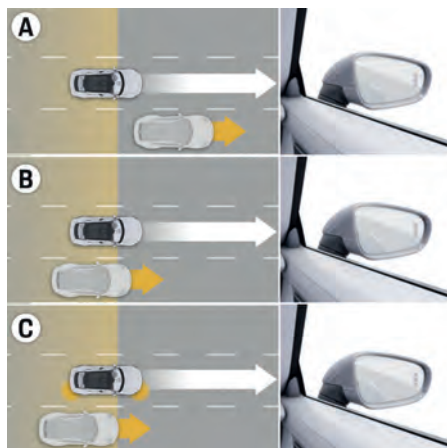


図. 134 急速に後ろに遠ざかる車両

A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない

追い越される車両はまだ検出されません。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない

急速に後ろに遠ざかる右側の車両 (速度差約 -15 km/h - 以上、例では右側車線) を検出しましたが、急速に後ろに遠ざかっているため車線変更を行う際の危険とはみなされません。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

C - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない

運転状況 B でドライバーが方向指示灯を操作しても、ドアミラーの警告インジケーターは作動しません。

車両が脇道に入る

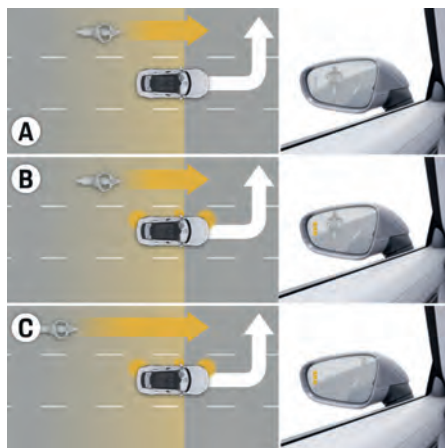


図. 135 車両が脇道に入る

A - ドアミラーの警告インジケーターは点灯しない

方向指示灯が ON にならなかったため、脇道に入った後にリヤターンアシストは作動しておらず、死角のバイクは検出されません。同様に、高速で接近する車両が検出されない場合があります。ドアミラーの警告インジケーターは点灯しません。

B - 警告インジケーターが情報ステージで点灯する

運転状況 A で該当する方向指示灯のスイッチを ON にした場合、ドアミラーの警告インジケーターが点灯します。リヤターンアシストは、車両を見落としていた可能性があることを警告します。

C - 警告インジケーターが警告ステージで点滅する

運転状況 B の場合、ドライバーは脇道に入るために片側へステアリング操作を行った結果、検出された車両の計算された運転経路を横切ることになり、ドアミラーの警告インジケーターが数回明るく点滅し、点灯します。これにより、見落とした可能性のある車両との衝突の可能性を警告します。

コーナリング

コーナリング時に、レーンチェンジアシストは1つ離れたレーンを走行する車両に反応し、ドアミラーの警告インジケーターを点灯することがあります。

レーンチェンジアシストは急カーブ上では車両を検出できません。

- ▶ レーンの幅が異なるカーブを走行するときは十分に注意してください。

車線幅

狭い車線を走行する場合、検出範囲にはより多くの車線が含まれます (特に車線の端を走行している場合)。このような状況では2つ離れたレーンを走行する車両が検出されることがあり、レーンチェンジアシストが情報ステージまたは警告ステージに切り替わる可能性があります。

同様に、とても幅広い車線を走行している場合、隣接車線の車両が検出範囲外にあるために検出されないことがあります。

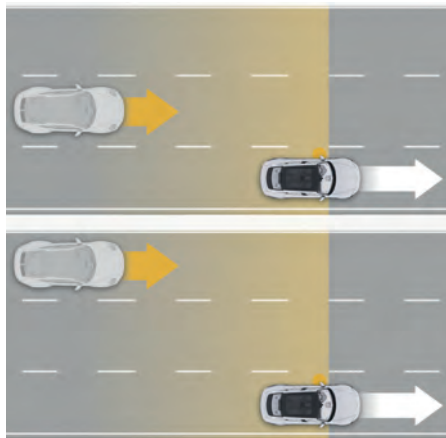


図. 136 車線幅および検出範囲

クルーズコントロール 一般的な安全に関する指示

▲ 警告

危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

現在の交通状況で前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合、クルーズコントロールを使用すると事故を起こす危険があります。

- ▶ 渋滞、カーブの多い道、悪い路面状態（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）ではクルーズコントロールを使用しないでください。

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理

クルーズコントロールを使用すると、約 30 km/h – 240 km/h の範囲でアクセルペダルを踏まずに、希望する速度を維持したまま走行できます。

表示部と制御部 各操作部




図. 137 ドライバーアシスタンスシステムのコントロールレバー

- R システムの ON/OFF を切り替えてオプションメニューを開く
- S オプションメニューを開く（システムが ON の場合）
- 1 速度を設定する / 上げる
- 2 速度を下げる
- 3 再開：制御を再開する
- 4 中断：制御のキャンセル

ディスプレイ

ステータス表示シンボル

シンボル	意味
	クルーズコントロールが停止中です。
	クルーズコントロールが停止中です。コントロールがキャンセルされ、目標速度が表示されます。
	クルーズコントロールは、設定目標速度で有効になります。

クルーズコントロールのON/OFFの切り替え

常に、前回選択されたシステムがONになります。ONになった時点では、システムは停止中になっています。コントロール機能を作動させるには、最初にシステムを起動する必要があります。

クルーズコントロールをONにする

- ✓ ドライバーアシスタンスシステムがまだONになっていません。

- レバーの **R** ボタンを押してください。
 - ➡ ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストールメントクラスターに表示されます。
- クルーズコントロールがまだ選択されていない場合は、ステアリングホイールのロータリーノブを使用して**クルーズコントロール**を選択し、ノブを押して確定します。
 - ➡ アダプティブクルーズコントロールがONで、なおかつ**停止中**になります。

すでに有効化されたドライバーアシスタンスシステムからACCへの切り替え

- レバーの **S** ボタンを押します。
 - ➡ ドライバーアシストシステムのオプションメニューがインストールメントクラスターに表示されます。
 - ステアリングホイールのロータリーノブを使用して**クルーズコントロール**を選択し、ノブを押して確定します。
 - ➡ アダプティブクルーズコントロールがONで、なおかつ**停止中**になります。
- ステータスディスプレイに動作ステータスがグレーで表示されます。速度は保存されていません。

インフォメーション

最後に選択したドライバーアシスタンスシステムは、OFFにして再度ONにした場合でもONのままになります。

クルーズコントロールをOFFにする

- ▶ レバーの **R** ボタンを押してください。
 - ➡ メモリーが消去され、スタンバイのシンボルマークが消灯します。

クルーズコントロールの作動

- ✓ クルーズコントロールがONになっています。
 - ✓ 速度が30 km/hを超過しています。
- アクセルペダルの操作で目標速度まで加速または減速します。
 - レバーを前方(1の位置)に短く押します。
 - ➡ クルーズコントロールが**作動**します。
- ➡ 現在の速度はステータスディスプレイに緑色で表示され、自動的に維持されます。

クルーズコントロールの使用

目標速度の変更

- ✓ クルーズコントロールが作動している。

速度を上げる

- ▶ コントロールレバーを前方(位置1)に押します。
 - 短く押す = 1 km/h 単位
 - 押し続ける = 10 km/h 単位で速くなる

速度を下げる

- ▶ コントロールレバーを引きます(位置2)。
 - 短く引く = 1 km/h 単位
 - 引き続ける = 10 km/h 単位で遅くなる

インフォメーション

アクセルペダルを使用して加速することができます。こうしても保存された値は変更されません。アクセルペダルから足を離すと、保存された値はリセットされません。

クルーズコントロールのキャンセルと再開

キャンセルすると、クルーズコントロールはスタンバイモードに切り替わります。手で再度作動するまで、スタンバイ状態のままになります。

制御のキャンセル

- ▶ コントロールレバーを下方に押し下す (CANCEL)。
 - または -
 - ブレーキペダルを踏みます。
 - または -
 - トランスミッションレンジ **N** を選択します。
 - ➔ クルーズコントロールが停止します。目標速度の設定値は保存されたままです。ステータス表示が緑色からグレーに変わります。

次のような状況では、クルーズコントロールは自動的にキャンセルされます。

- 車両が設定速度を超える速度、または設定速度未満の速度で一定時間走行している。
- ポルシェスタビリティマネージメント (PSM) が作動している。

制御の再開

- ▶ コントロールレバーを上方に押し下す (RESUME)。
 - ➔ クルーズコントロールは、設定速度になるまで加速するかブレーキをかけます。

ディスプレイ



図. 138 インstrument クラスターの交通標識表示

- A 主要交通標識
- B 補助標識
- C 前方カーブあり警告

Instrument クラスターに、補助標識 (B) を含む主要交通標識 (A) を最大 3 個まで表示することができます。最も優先度の高い交通標識が左側に表示されません。

前方カーブありの警告 (C) はカーブの約 150 m 手前で表示され、カーブを通過するまで続きます。

制限速度表示

作動待機が確立されると、最後に有効だった制限速度が Instrument クラスターに表示されます。制限速度が検出されなかった場合、または交通標識検知が利用できない場合は、Instrument クラスターにメッセージが表示されます。

i インフォメーション

- 交通静音化対策地域または住宅街では、「5 km/h」と表示されます。
- 交通標識のない高速道路や (中央分離帯のある) 幹線道路の入口 / 出口では、郊外道路の該当する制限速度が表示されます。

制限速度警告表示

- 制限速度を超えた場合、最初は標識が一度点滅します。
- 標識の周りに赤いフレームが表示され、10 秒間点滅します。
- それからフレームが常に点灯した状態になります。

警告およびブレーキアシストシステム制限

システムは、その制限内において、正面衝突しそうなになると警告を発し、適切なブレーキ操作 (国別仕様による) またはステアリングアシスト (装備による) を開始します。すべての通行人および危険な状況を正確に素早く認識できるわけではありません。

車両の横および後方は監視されていません。

複雑な走行状況では、システムが不適切な警告を発したり、予期せぬブレーキ介入を行ったりする可能性があります。

危険な状態に応じて、すべての警告とブレーキアシストの保護措置を起動できるわけではありません。

システムは歩く速度よりも早ければ利用でき、歩行者または速度が 85 km/h までの自転車に反応できます。速度が 250 km/h までの車両に反応できます。

システムは、動物や交差車両のほか、支柱、フェンス、列車などの障害物には反応しません。

ターンアシストを装備した車両のシステムは、対向車両にも反応します。

次の場合、機能は使用できません。

- 後退時
- ブレーキライトが故障している場合
- PSM が作動不良で OFF になっている場合
- エアバッグコントロールユニットが故障している場合

次の場合は、機能は制限されるか、使用できない可能性があります。

- 作動準備が確立してから、最大 10 秒間
- シートベルトを着用していない場合
- 急カーブ
- ガードレールやトンネルの入り口などの反射物がある場合
- 豪雨、雪、霧、氷の場合
- フロントウィンドウが損傷している場合
- パンパーが破損している場合 (駐車場で小さな衝突などにより)
- レーダーセンサーが損傷しているか汚れている場合
- アダプティブクルーズコントロール (ACC) が作動不良の場合

警告メッセージへの対応

車両に表示される警告および情報メッセージには常に注意を払ってください。

▷ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

作動原理および機能

警告とブレーキアシスト (WBA) は、特定の危険な状況で、乗員および他の通行者を保護するための措置を開始できます。

警告とブレーキアシスト (WBA) には、国によって次の機能が含まれます：

- 距離警告 (装備仕様により異なる)
- 衝突警告
- ブレーキの振動

- 自動ブレーキおよびブレーキアシスタンス
- ステアリング回避アシスト (装備による)
- ターンアシスト (装備による)
- 予防的乗員保護機能 (装備仕様により異なる)

フロントウィンドウの後ろのカメラとアダプティブクルーズコントロールのレーダーセンサー (ACC) (装備によって異なる) が、車両前方のエリアをカバーします。他の道路利用者 (車両、歩行者、自転車) と正面衝突しそうな状況を検出できます。

📘 インフォメーション

- ▶ 特に、走行、車間距離、速度などに関して、該当する国固有の規制を遵守してください。ドライバーは常に、各国で適用される関連規制を遵守する責任があります。
- ▶ 警告およびブレーキアシストを OFF にするための指示に従ってください。
- ▶ 機能設定に関する情報を遵守してください。

▷ 156 ページの「警告およびブレーキアシストの ON/OFF を切り替える」の章を参照してください。

距離警告

前走車両に接近しすぎているために警告およびブレーキアシスト (WBA) が危険を検知した場合、インストルメントクラスターの 🚨 の表示によりドライバーに警告します。¹

速度が約 65 km/h – 250 km/h の場合に検知できません。

1. 一部の国で利用可能です。

衝突警告¹



図. 139 インストルメント クラスターの衝突警告

システムが衝突の危険を検知した場合、警告音を発し、インストルメント クラスターに警告を表示してドライバーに注意を促します。

ブレーキの振動¹

ドライバーが衝突警告に対応しない場合、警告音およびインストルメント クラスターの表示に加えて、ブレーキ振動で警告します。ブレーキ振動により、衝突の危険が高まっていることに注意を喚起します。

この警告が発生しても、ドライバーは、ステアリング回避や急ブレーキにより衝突を防止できる可能性があります。

自動ブレーキおよびブレーキアシスタンス¹

ドライバーが緊急警告に反応しない、またはブレーキを十分にかけていない場合、警告およびブレーキアシストは徐々にブレーキを強めていき、ドライバーのブレーキングをサポートしたり、車両を停止させることができます。

さらに、警告音が発せられ、インストルメント クラスターにシンボルマークが表示されます。

車両を減速させることにより、事故の被害を軽減することができます。

① インフォメーション

自動ブレーキ介入は、次のようにキャンセルできます。

- ▶ ブレーキペダルを踏む
- ▶ アクセルペダルをいっぱいまで踏み込む
- ▶ ステアリングを操作する

① インフォメーション

車両が停止しても、それ以降、ブレーキがそのままずっとかけられるわけではありません。

- ▶ 必要であれば、ブレーキを踏み、車両のコントロールを再開してください。

ステアリング回避アシスト

ステアリング回避アシストは、危険な状態で車両が障害物を回避することを支援します。

システムが危険な状況を検出し、緊急警告後にドライバーが障害物を積極的に回避しようとする場合に、ステアリング回避アシストがホイールを選択して個別にブレーキをかけ、わずかにステアリングを動かしてステアリン

グ角度を修正することでドライバーをサポートします。ステアリング回避アシストが作動中の場合、自動ブレーキおよびブレーキアシストは中断されます。

システム制限

ステアリング回避アシストは、時速 50 km/h から 150 km/h の速度で利用できます。

ターンアシスト

ターンアシストは発進時や低速走行時、左折する際に² 対向車と衝突しないようにブレーキをかけてドライバーをサポートします。ブレーキ介入により、車両は走行車線に維持されます。

システム制限

ターンアシストは、方向指示器が使用され、かつ最高速度が 10 km/h までの場合にのみ利用することができます。

予防的乗員保護機能

シートベルトシステム最適化

発進すると、フロントシートベルトは徐々に締め付けられます。

走行速度が約 30 km/h に達したとき、またはシートベルトを再装着したときに、この機能が作動します。

1. 一部の国で利用可能です。

2. 国別仕様による：ターンアシストは、右側通行の国では左折時のみ、左側通行の国では右折時のみ利用できます。

シートベルトおよび車内のプレコンディショニング

危険な状態になると、予防的乗員保護システムの効果を高めるために、衝突に備える保護措置が開始されます。状況に応じて、フロントのシートベルトにプリテンションがかけられ、開いていたウィンドウが閉じられ、フロントシートのサイドボルスターが膨張します (装備している場合)。

次の状況において、システムの制限内で予防的乗員保護措置を作動できます。

- ドライバーによる約 30 km/h の速度からの緊急停止中
- 車両による自動ブレーキ介入の作動中

衝突の危険がなくなり、運転の状況が安定すると、プレコンディショニング措置は終了し、シートベルト張力はもう一度緩められます。

システム制限

- 繰り返し作動させると (安全運転トレーニングなどにおいて)、ベルト張力は徐々に強くなっていき、ベルト張力を正しく解除できなくなることがあります。この場合、シートベルトを外して再度着用するか、警告およびブレーキアシストを無効にします。
- リバーシブルシートベルト プリテンショナーが故障している場合、予防的乗員保護機能は限られた範囲でのみ使用可能です。
- 事故後、シートベルト プリテンショナーは損傷している可能性があります。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- PSM の機能が制限されているか OFF になっていると、警告およびブレーキアシストの予防的乗員保護機能も無効になります。

警告およびブレーキアシストの ON/OFF を切り替える

知識

- ▶ 次の状況では、警告およびブレーキアシストを OFF にしてください。
 - 公道以外を走行する場合
 - 復旧車両、車両輸送専用車、電車、船舶などでの輸送中

▶ ▶ アシスタンス ▶ ベーシックアシスト ▶ 警告およびブレーキアシスト

- ➔ 警告およびブレーキアシストが制限されているか OFF になっている場合、それを示すアイコンがインストルメントクラスターに表示されます。

▶ 158 ページの「インストルメントパネル」の章を参照してください。

インフォメーション

この機能は、作動待機が確立されると自動的に有効になります。

警告およびブレーキアシスト機能の設定

▶ ▶ アシスタンス ▶ ベーシックアシスト ▶ 警告およびブレーキアシスト

以下の機能の ON/OFF を切り替えることができます。

- ▶ 距離警告
 - ➔ 警告時間も設定できます。

- ▶ 衝突警告
 - ➔ 警告時間も設定できます。

▶ ターンアシスト

▶ ステアリング回避アシスト

表示および入力

ヘッドアップディスプレイ

ヘッドアップディスプレイの概要



図. 140 ヘッドアップディスプレイエリア

- A メイン表示エリア
- B ステータスエリア
- C 一時的なコンテンツ

ヘッドアップディスプレイ (HUD) は、重要なメッセージや選別された情報をフロント ウィンドウのドライバーが見える場所に投影します。これにより、ドライバーは道路から目を離すことなく、情報 (速度、トランスミッションレンジ、ナビゲーションなど) を読み取ることができます。情報はカスタマイズできます。

ヘッドアップディスプレイは3つのエリアに分かれています。

- メイン表示エリア。ドライバーは3つのビューから選択できます。
 - ナビゲーション
 - パワーメーター
 - カスタマイズ
- 現在の速度やドライバー アシスタンス システムのシンボルなどを表示するステータスエリア。
- 一時的なコンテンツ (通話 / ボイスコントロールなど) を表示するエリア。

ヘッドアップディスプレイは、インストルメント クラスタの補助ディスプレイです。

知識

ガラス カバーの傷により損傷する恐れがあります。

- ▶ ヘッドアップディスプレイのガラス カバーの上に物を置かないでください。

① インフォメーション

ヘッドアップディスプレイに表示された情報のドライバー ビューは、以下の要因に影響されます。

- 特定の偏光フィルター付きサングラス。
- 濡れた路面。
- 望ましくない照明条件。
- ガラス カバー上の荷物。

- ▶ ヘッドアップディスプレイが適切な位置にセットされ、高さが正しく調節されていることを確認してください。

ヘッドアップディスプレイの調節

ヘッドアップディスプレイの投影位置は、ドライバーの身長とシート位置に適合させることができます。これらの人間工学に基づくディスプレイ設定 (高さ、明るさ、回転) と作動中のビューは、ヘッドアップディスプレイで直接設定できます。

- ▶ ヘッドアップディスプレイが選択されるまで、マルチファンクションステアリングホイールのⓐ ボタンを数回押してください。ヘッドアップディスプレイは、マルチファンクションステアリングホイールを使用して調整できます。ページの「」の章を参照してください。

ヘッドアップディスプレイはセントラルディスプレイで設定できます。たとえば、「カスタマイズビュー」の表示項目を設定したり、ヘッドアップディスプレイのON/OFFを切り替えたりできます。

▶ 176 ページの「セントラルディスプレイ」の章を参照してください。

▶ ▶ 車両の設定 ▶ 表示 ▶ ヘッドアップ表示

インストルメント パネル

概要 - インストルメント クラスタ

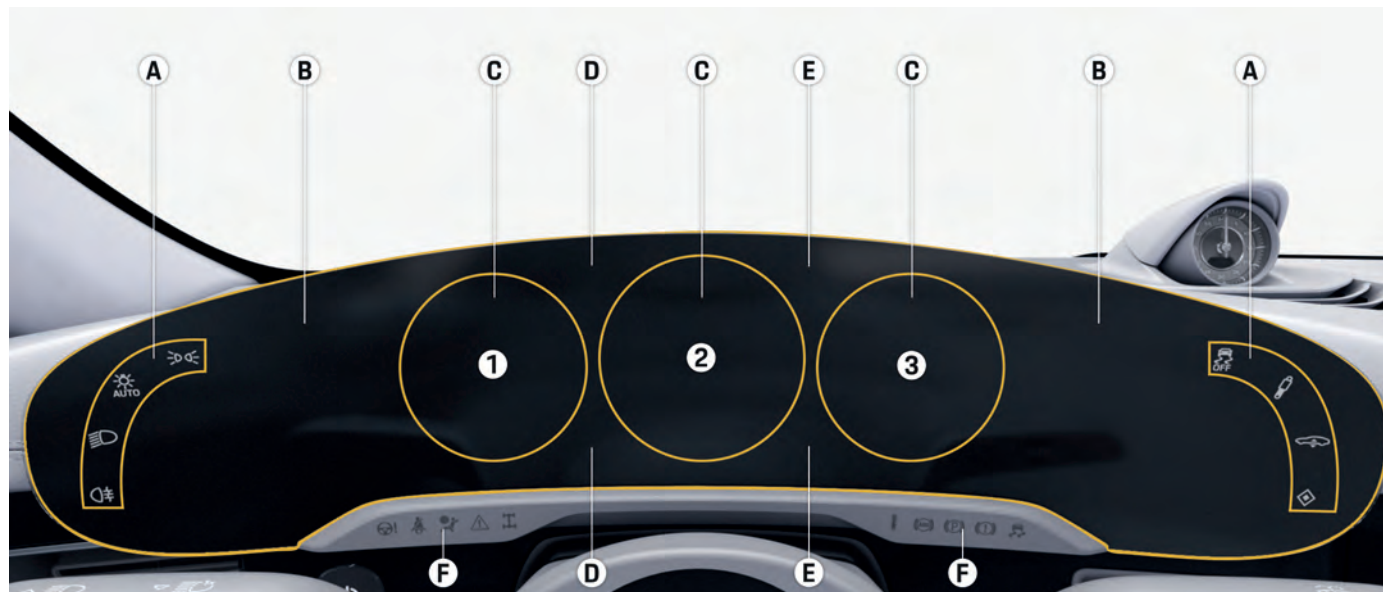


図. 141 インストルメント パネル

完全にデジタル化されているインストルメント クラスタは3つのチューブC(図. 141)に分かれており、外端部に静電容量式タッチ ボタンA(図. 141) [ライト ボタン、車両設定ボタン、◇ ボタン]を装備しています。温度、時刻および日付は、外側のチューブと静電容量式タッチ ボタンB(図. 141)の間に表示できます。インストルメント クラスタの下端部にはさまざまな警告灯およびインジケーター ライトF(図. 141)があります。追加の警告灯およびインジケーター ライトは、エリアD(図. 141) (アシストおよびシステム)ならびにエリアE(図. 141) (運転およびエンタメ)にあります。

チューブメニューの使用

マルチファンクションステアリング ホイールを使用し、チューブを切り替えてメニュー オプションを選択することができます。

▶ 159 ページの「インストルメント クラスタとヘッドアップディスプレイの操作」の章を参照してください。

リスト項目は以下の色で表示されます。

- 白色： 選択できるリスト項目
- 青色： 選択済みのリスト項目
- 灰色： 選択できないリスト項目

チューブ1 - 速度&アシスト機能表示

左側のチューブ1(図. 141)には、アシスタンスシステムおよび車両に関する情報が表示されます。

チューブ2-パワーメーター

セントラルチューブ2(図. 141)には、駆動力、速度、バッテリー充電レベル、およびナビゲーションに関する情報が表示されます。下記に関する情報が表示される場合、このチューブの表示は変更され、チューブ1および3(図. 141)まで拡大されることがあります。

- パワーメーター(カスタマイズおよびコンフィギュレーション可能)
- ナイトビューアシスト
- 地図
- 拡大マップ(3チューブの全域に表示されるフルHDマップ)
- 縮小表示

現在の走行用電力(「12時」から「6時」の位置)および現在の回生容量(「12時」から「9時」の位置まで反時計回り)がパワーメーター内に表示されます。この表示は有効化および無効化できます。

▶ 161ページの「インストルメントクラスターの表示項目」の章を参照してください。

チューブ3-車両&情報表示

右側のチューブ3(図. 141)には、ナビゲーション、走行プログラム、メディアに関する情報やメッセージが表示されます。着信もこのチューブに表示できます。

情報エリアのコンフィギュレーション

チューブ3に表示できる多くの車両情報の中から4つを選択できます。

セントラルディスプレイ

- ▶ ▶ 車両の設定 ▶ 表示 ▶ インストルメントクラスター ▶ 情報表示設定

- 現在の高電圧充電状態
- 高電圧バッテリー 温度
- システム電圧 12V

- GPS 高度
- コンパス
- 横加速度
- 縦加速度
- 減速
- 日付
- 電話
- 放送局/トラック
- 到着時刻
- 走行時間と走行距離

これにより、インストルメントクラスターの情報表示設定を選択できます。

残りの距離



案内中のルート案内なしでの残りの距離の表示



案内中のルート案内での残りの距離の表示

インストルメントクラスターとヘッドアップディスプレイの操作



警告

運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限ってコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中のみ詳細な操作や設定を行ってください。

インストルメントクラスターとヘッドアップディスプレイは、作動待機が確立されているときのみ有効です。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。

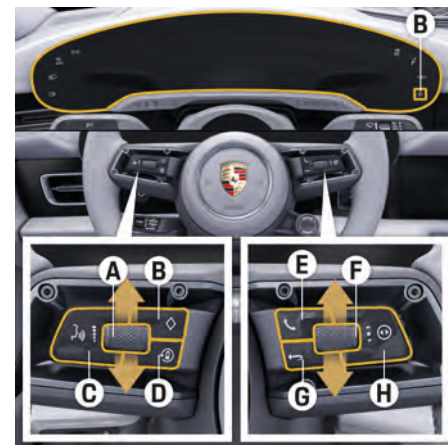


図. 142 マルチファンクションステアリングホイールによるインストルメントクラスターとヘッドアップディスプレイの操作

A-音量の調節またはオーディオソースのミュート

- ▶ 音量調節：ロータリーノブA(図. 142)を上方向または下方向に回します。
- ▶ ミュート：ロータリーノブA(図. 142)を押します。

B-保存した機能を有効にする

クイック アクセス ボタンを割り当てる

ステアリング ホイールおよびインストルメント クラスターのボタンは個別に割り当てることができます。

- ▶ ボタン **B** (図. 142) (◇ ボタン) を長押しして、センทรัลディスプレイの設定を調整します。
 - ▶ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。

C – ボイスコントロールを有効にする

- ▶ ボタン **C** (図. 142) を押します。
 - ▶ 181 ページの「ボイスコントロール」の章を参照してください。

D – 回生ボタン

- ▶ ボタン **D** (図. 142) を押して、回生モードを徐々に調整します。
 - または –
 - ボタン **D** (図. 142) を長押しして、自動回生を ON にします。
 - ▶ 111 ページの「エネルギー回収 (回生)」の章を参照してください。
- ▶ 111 ページの「エネルギー回収 (回生)」の章を参照してください。

E – 通話への応答または通話の終了

- ▶ ボタン **E** (図. 142) を押してください。終了するには、**E** (図. 142) ボタンを長押ししてください。
 - ▶ 227 ページの「電話」の章を参照してください。

F – チューブおよびヘッドアップディスプレイでメニューと機能をスクロールして選択する

- ▶ スクロール：スクロールするには、ロータリー ノブ **F** (図. 142) を上下に回し、それぞれのチューブのメニューをスクロールします。
- ▶ 選択 / 入力：ロータリー ノブ **F** (図. 142) を押ししてください。

G – メニュー選択で1つ以上前の選択レベルに戻り、通知を確認する

- ▶ バック ボタン **G** (図. 142) を押ししてください。
- ▶ 196 ページの「通知」の章を参照してください。

H – チューブおよびヘッドアップディスプレイの切り替え

- ▶ ボタン **H** (図. 142) を押ししてください。

オプションの選択および機能の有効化

手前のシンボル マークは、オプションが選択されているかどうか、または機能が有効な状態であるかどうかを示します。

複数のオプションから1つを選択する

- オプションが選択されている。
- オプションが選択されていない。

機能の有効化および無効化

- 機能が有効になっている。
- 機能が無効になっている。

インストルメント クラスターでの調整ビュー

表示されるコンテンツは次のように設定できます。

- ▶ ▶ 車両の設定 ディスプレイ ▶ インストルメント クラスター

インストルメント クラスターの表示項目

一部のディスプレイ表示は停車中のみ利用できます。

すべての機能に関する詳細がこの取扱説明書で説明されているわけではありません。例は機能を明確に説明し、メニュー構成を説明するために記載されています。最初のレベルでは、ロータリーノブを上下に回してメニューを表示します。2番目のレベルでは、ロータリーノブを押してメニューをスクロールします。バックボタンを押して、2番目のレベルを終了し、表示内容を表示します。



図. 143 インストルメント クラスターの表示項目

チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作箇所
1	▶ アシスタンス システム	レーン キープ アシスト (アクティブレーン ガイダンス) を有効にして表示します。	▶ 145 ページ ▶ 99 ページ
		アダプティブ クルーズ コントロール (ACC) とスピード リミッター (LIM) を選択して表示します。	▶ 87 ページ ▶ 114 ページ
1	▶ G-Force	現在の最大の縦方向の加速度および横方向の加速度を円グラフで表示し、リセットします。	—
1	▶ タイヤ情報	現在のタイヤ空気圧および圧力差を表示します。	▶ 278 ページ
1	▶ PDCC	ロール抑制のステータスを表示します。	—
1	▶ 走行距離	オドメーターを表示します。	—
2	▶ 走行可能距離表示	残りの走行可能距離を表示します。 また、高電圧バッテリーの充電レベルもシンボルで示されます。意味： - 白色のシンボル：充電レベルが 15% を超えています - 黄色のシンボル：充電レベルが 15% 未満です - 赤色のシンボル：バッテリーは、ほぼ完全に放電されます	▶ 215 ページ
2	▶ スピードメーター	スピードメーターを表示します。	—

チューブ	表示	行える操作 / 表示される内容	操作箇所
2	▶ パワーメーター / 地図画面 / ナイトビューアシスト	<p>インストルメント クラスターの表示ビューは、ディスプレイを使用して変更および拡大することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - パワーメーターの表示 (標準ビュー) - 熱画像検出機能付きのナイトビューアシストの表示 - 地図画面を表示および調整する - 拡大マップ (フルHD マップ) を表示および調整する - 縮小表示にする 	▶ 163 ページ
3	▶ ナビゲーション	ナビゲーション情報を表示し、選択します (分岐点の指示など)。	▶ 213 ページ
3	▶ トリップ	走行データ (平均燃費、走行可能距離、走行時間など) を表示およびリセットします。	-
3	▶ メディア	現在のメディア (ラジオなど) を表示します。	▶ 209 ページ
3	▶ インフォメーション	カスタム ディスプレイを呼び出します。	▶ 158 ページ
3	▶ スポーツクロノ	ストップウォッチで時間を計測します。	▶ 224 ページ
3	▶ 走行モード	選択した走行プログラムを表示します。	▶ 107 ページ
3	▶ 電話	電話が接続されている場合、着信などが表示されます。	▶ 227 ページ

警告灯およびインジケーター ライト

知識

不具合は警告灯により示されます。不具合の原因が解消した場合に限り、該当する警告灯が消灯します。
 次の場合は、必ずポルシェ正規販売店にご相談ください。

- ▶ 車両の作動準備が整っているときや走行中に、警告灯が点灯または点滅した場合。
- ▶ ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

警告灯が表示されると、警告音も鳴ります。

特定のイベントが発生したとき、ドライバーにとって優先度が高いメッセージや、情報を提供するメッセージがインストルメントパネルに表示されます。このメッセージに了解すると、チューブメニューを開けるようになります。

▶ 159 ページの「インストルメント クラスタとヘッドアップディスプレイの操作」の章を参照してください。

▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

車両の装備に応じて、次の警告灯とインジケーターライトが表示されます。



ステアリングが操作されていない場合に表示される警告灯

- ▶ ドライバー自身が運転操作を行ってください。
 - ▶ 99 ページの「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。
 - ▶ 100 ページの「作動原理」の章を参照してください。



クーラント温度警告灯

クーラント温度が高すぎます。

- ▶ 運転を続けしないでください。適切な場所で安全に停車してください。
- ▶ 車両を OFF にして、クールダウンしてください。
- ▶ ラジエーターおよび車体周辺の空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。クーラント レベルを点検してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
 - ▶ 260 ページの「クーラント」の章を参照してください。



ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) 警告灯

ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM) 機能が故障している可能性があります。

慎重に走行してください。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
 - ▶ 134 ページの「ポルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM)」の章を参照してください。



エアバッグ警告灯

エアバッグ システムが故障している可能性があります。

- ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
 - ▶ 46 ページの「エアバッグ」の章を参照してください。



シートベルト警告灯

シートベルトが着用されていないか、正しく着用されていません。

- ▶ シートベルトを正しく着用してください。
 - ▶ 74 ページの「シートベルト」の章を参照してください。



ブレーキシステム警告灯

警告灯が点灯し続ける：パーキング ブレーキがかかっているか、ブレーキシステムが故障しています。ブレーキフルードレベルが低すぎる可能性があります。

警告灯が点滅する：パーキング ブレーキが故障しています。

- ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
 - ▶ 105 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。
 - ▶ 259 ページの「ブレーキフルード」の章を参照してください。

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**ブレーキシステム警告灯**

警告灯が点灯し続ける：パーキングブレーキがかかっているか、ブレーキシステムが故障しています。ブレーキフルードレベルが低すぎる可能性があります。

警告灯が点滅する：パーキングブレーキが故障しています。

- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
- ▶ 105 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。
- ▶ 259 ページの「ブレーキフルード」の章を参照してください。

**充電レベル異常低下の警告灯**

高電圧バッテリーがほぼ完全に上がっていません。

慎重に走行してください。

- ▶ 適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。
- ▶ 直ちに高電圧バッテリーを充電するか、故障サービスに連絡して必要であれば車両をけん引してもらってください。
- ▶ 261 ページの「充電」の章を参照してください。

**充電レベル警告灯**

高電圧バッテリーの充電レベルが 15% 未満になっています。

- ▶ 残りの距離を確認し、高電圧バッテリーの充電を計画してください。
- ▶ 261 ページの「充電」の章を参照してください。

**高電圧バッテリーの重大な不具合を示す警告灯**

高電圧バッテリーで重大な不具合が検出されました。

- ▶ 直ちに適切な場所で停車してください。
- ▶ 運転を続けしないでください。適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。
- ▶ 故障サービスに連絡し、必要であれば車両をけん引してください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹

**高電圧バッテリーの不具合を示す警告灯**

高電圧バッテリーで不具合が検出されました。

慎重に走行してください。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

**走行システムまたは充電システムの重大な不具合を示す警告灯**

車両の走行システムまたは充電システムに重大な不具合が検出されました。

- ▶ 直ちに適切な場所で停車してください。
- ▶ 運転を続けしないでください。適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。
- ▶ 故障サービスに連絡し、必要であれば車両をけん引してください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹

**走行システムまたは充電システムの不具合を示す警告灯**

車両の走行システムまたは充電システムに不具合が検出されました。

慎重に走行してください。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

**セントラル警告灯**

少なくとも 1 つの警告メッセージが表示または保存されています。

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

**ブレーキパッド摩耗警告灯**

ブレーキパッドが摩耗しています。

慎重に走行してください。

- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店でブレーキパッドを交換してください。¹

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ 105 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

(P) **エレクトリックパーキングブレーキ警告灯**
警告灯が点灯し続ける：パーキングブレーキが故障しています。

警告灯が点滅する：ブレーキシステムが故障しています。

- ▶ この故障が繰り返し発生するか継続している場合は、直ちにボルシェ正規販売店で修理してください。¹
- ▶ 137 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。
- ▶ 105 ページの「ブレーキ」の章を参照してください。

(ABS) **アンチロックブレーキシステム警告灯**
アンチロックブレーキシステム (ABS) またはボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。ブレーキブースターが故障している可能性があります。

慎重に走行してください。

- ▶ 急ブレーキは可能な限り避けてください。制動距離が長くなることを考慮してください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
- ▶ 137 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。



ボルシェ スタビリティ マネージメント警告灯
警告灯が点滅する：ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) の制御作動です。137 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。

警告灯が点灯し続ける：ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が故障しています。慎重に走行してください。

- ▶ 過酷な走行条件下では、急加速、急ブレーキ、急ハンドルを避けてください。
- ▶ この故障が繰り返し発生するか継続している場合は、直ちにボルシェ正規販売店で修理してください。¹
- ▶ 137 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。



PSM OFF 警告灯
ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) が無効になっています。

慎重に走行してください。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ 137 ページの「ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM)」の章を参照してください。



ステアリングシステム警告灯
ステアリングシステムが故障している可能性があります。

慎重に走行してください。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹



4 輪駆動システム警告灯
車両の 4 輪駆動システムで故障が検出されました。

慎重に走行してください。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹



駆動力低下の警告灯
駆動力が低下しています。高電圧バッテリーが十分に充電されていないか、屋外の気温が極端に低いなど作動温度の限界に達しています。

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**タイヤ空気圧警告灯**

ホイールまたはタイヤや新しく取り付けられた空気圧センサーの登録プロセス中に、1つまたは複数のタイヤの圧力が低下した場合、またはタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障や一時的な不具合が生じた場合、警告灯が点滅または点灯することがあります。

- ▶ 道路状況に合わせた速度と運転を心がけてください。急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
- ▶ 適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。該当するタイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてシーラントを追加してください。次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ この故障が繰り返し発生するか継続している場合は、直ちにボルシェ正規販売店で修理してください。¹

**OFF E サウンド警告灯**

E-Sound が OFF になっています。

- ▶ 電動モーターでの走行中、他の道路利用者があなたの車両の音に気付かない可能性があるため、細心の注意を払って走行してください。
- ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
 - ▶ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。

**距離警告灯**

前方の車両に接近しすぎているという危険を知らせます。

- ▶ 154 ページの「作動原理および機能」の章を参照してください。

**警告およびブレーキアシスト警告灯**

警告とブレーキアシストの動作が制限されています。

慎重に走行してください。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ この故障が繰り返し発生するか継続している場合は、直ちにボルシェ正規販売店で修理してください。¹
 - ▶ 154 ページの「作動原理および機能」の章を参照してください。

**ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) 警告灯**

ボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus) が故障しています。

慎重に走行してください。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ この故障が繰り返し発生するか継続している場合は、直ちにボルシェ正規販売店で修理してください。¹

**ライト警告灯**

車両のライトが故障している可能性があります。

慎重に走行してください。

- ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

**レーンチェンジアシストのインジケータライト**

レーンチェンジアシストが作動しています。

- ▶ 147 ページの「レーンチェンジアシスト (LCA)」の章を参照してください。

**ナイトビューアシストインジケータライト**

ナイトビューアシストが作動しています。

- ▶ 127 ページの「ナイトビューアシスト」の章を参照してください。

**インジケータライトのプレコンディショニング**

プレコンディショニングが作動しています。

- ▶ 69 ページの「プレエアコンタイマーおよびブレーキング/ヒーティングの使用」の章を参照してください。

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

**電動充電ポートリッドインジケータライトの故障**

電動充電ポートリッドが故障しています。

- ▶ 261ページの「充電」の章を参照してください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

**機械式充電ポートリッドインジケータライトの故障**

機械式充電ポートリッドが故障しています。

- ▶ 261ページの「充電」の章を参照してください。
- ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹

HOLD HOLD機能インジケータライト

HOLD機能が作動しています。車両は、自動的に停止状態を保ちます。

- ▶ 118ページの「一般的な安全に関する指示」の章を参照してください。

READY 作動待機インジケータライト

車両の走行準備が整っています。

- ▶ 109ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。

**パーキングライトインジケータライト**

パーキングライト(装備によっては、サイドマーカーライト、パーキングライトなど)がONになっています。

**ロービームインジケータライト**

ロービームヘッドライトがONになっています。

**ダイナミックハイビームアシストインジケータライト**

ダイナミックハイビームアシストがONになっています。

交通状況に応じて自動的にハイビームヘッドライトのONとOFFが切り替わります。

- ▶ 121ページの「ライト」の章を参照してください。

**ハイビームインジケータライト**

ハイビームヘッドライトがONになっています。

- ▶ 121ページの「ライト」の章を参照してください。

**リヤフォグライトインジケータライト**

リヤフォグライトがONになっています。

- ▶ 121ページの「ライト」の章を参照してください。



方向指示灯、左



方向指示灯、右

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

センター コンソールコントロールパネル

センター コンソールコントロールパネルの概要

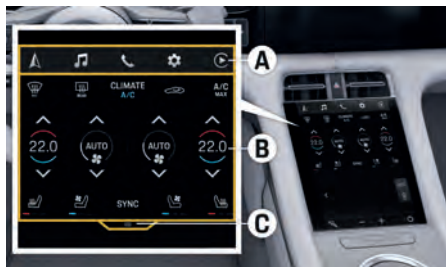


図. 144 センター コンソールコントロールパネル上部



図. 145 センター コンソールコントロールパネル下部

この概要は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

希望する操作	操作方法	操作箇所
メニューバーの表示または非表示	<ul style="list-style-type: none"> ▶ メニューバー (A (図. 144) を参照) の表示と非表示を切り替えるには、センター コンソールコントロールユニットで下にスワイプします。 ☰ (C (図. 144) を参照) をタップします。 	-
セントラルディスプレイにクイックフィルター (ナビゲーション、メディア、電話、設定、Apple CarPlay など) を表示する	<ul style="list-style-type: none"> ✓ メニューバーが表示されている。 ▶ 目的のクイックフィルター (例: 電話 ☎) をタップして選択します。 <p>選択したクイックフィルターがセントラルディスプレイに表示されます。</p>	-
エアコンシステムを操作する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ センター コンソールコントロールパネルのコントロールパネルの使用 (B (図. 144) を参照)。 	▶ 60 ページ
戻る	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 手書き文字パネルで、< (D (図. 145) を参照) をタップしてセントラルディスプレイに戻ります。 	-
リモートコントロールを使用する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ジェスチャーを使用して、セントラルディスプレイで手書き文字パネル (E (図. 145) を参照) を操作します。 	▶ 171 ページ

希望する操作	操作方法	操作箇所
テキストまたは文字を入力する	<ul style="list-style-type: none"> ✓ キーボードまたは入力フィールドがセントラルディスプレイに表示されている。 ▶ 手書き文字パネルに希望のテキストまたは文字を入力します (E (図. 145) を参照)。 	▶ 171 ページ
リッドスクリーンを表示する	▶ F (図. 145) を使用します。	▶ 33 ページ ▶ 35 ページ
充電スクリーンを表示する	▶ G (図. 145) を使用します。	▶ 261 ページ
音量を調節する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ メニューバーで +/- をタップするか、手書き文字パネルで2本の指を使って下にスワイプします。 ミュート: — を長押しします。 	—
パーキングアシスタントを開く	<ul style="list-style-type: none"> ▶ メニューバー (H (図. 145) を参照) で、🅂 をタップします。 <p>パーキングアシスタントがセントラルディスプレイに表示されている。</p>	▶ 130 ページ
ディスプレイをOFFにする、またはPCMをシャットダウンする	<ul style="list-style-type: none"> ▶ メニューバー (H (図. 145) を参照) で、🔌 をタップします。 <p>セントラルディスプレイでは、次のオプションを使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> - セントラルディスプレイをOFFにする - PCMをシャットダウンする - フロント助手席ディスプレイのスタンバイモードをONにする - フロント助手席ディスプレイをOFFにする - ヘッドアップディスプレイの停止 	—

希望する操作	操作方法	操作箇所
センターコンソールコントロールパネルを設定する	<p>セントラルディスプレイ内：</p> <p>▶ 車の設定 センターコンソールコントロールパネルをタップします。</p>	-

センターコンソールコントロールパネルの操作

セントラルディスプレイは、センターコンソールコントロールパネルで操作できます。センターコンソールキーパッドは、操作中に触知フィードバックを返しません。

知識

センターコンソールコントロールパネルに物を置くと、損傷する恐れがあります。

- センターコンソールコントロールパネルには物を置かないでください。
- この指示で説明されている収納オプションのみを使用してください。

▶ 232 ページの「収納スペース」の章を参照してください。

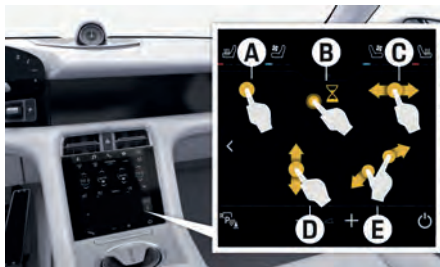


図. 146 センターコンソールコントロールパネルの操作

A タップ (選択)

センターコンソールコントロールパネルまたは手書き文字パネルに指 1 本で軽くタッチします。例：機能をタップするか、ボックスのチェックを ON または OFF にします。

B 長押し

センターコンソールコントロールパネルまたは手書き文字パネルに指 1 本で押し続けます。

C 左右にスワイプ

手書き文字パネルに指 1 本で左右にスワイプします。例：セントラルディスプレイのリストを横方向にスクロールします。

D 上下にスワイプ (スクロールとスイッチ)

手書き文字パネルに指 1 本で上下にスワイプします。例：セントラルディスプレイのリストを縦方向にスクロールします。

E ズーム

手書き文字パネルにタッチしている 2 本の指を広げて、セントラルディスプレイのマップビューのセクションを拡大します。

文字の入力



図. 147 手書き入力

- ✓ キーボードまたは入力フィールドがセントラルディスプレイに表示されている。

1. 目的のテキストまたは文字を指で直接書きます (手書き認識)。
 - スペースを挿入するには、左から右に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。
 - 削除するには、右から左に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。
2. センター コンソールコントロールパネルでくをタップし、入力を確認して結果のリストに移動します。
3. セントラル ディスプレイのセンター コンソールコントロールパネルを使用して、リモートコントロールでカーソルを自由に移動できるようになりました。
 - ➡ 結果やその他の機能を選択できます。

ポルシェ コミュニケーション マネジメ ント システム (PCM)

概要 - PCM

この概要は、本項に記載された詳細な説明に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

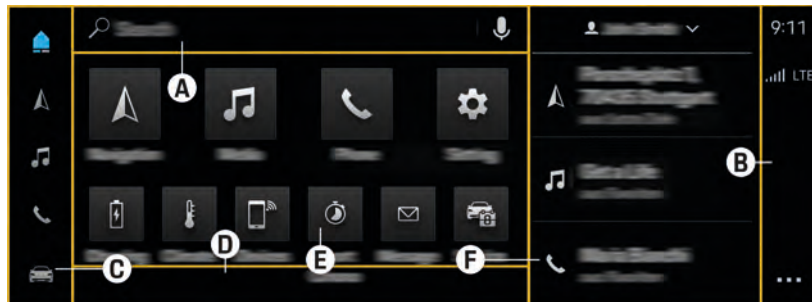
















図. 148 ディスプレイ エリア

希望する操作	操作方法	操作箇所
PCMをONにする	▶ 車両の電源をONにしてください。	-
PCMをシャットダウンし、セントラルディスプレイと助手席ディスプレイのOFFとONを切り替えます	▶ センターコンソールコントロールパネルの  をタップします。	-
フロント助手席ディスプレイをスタンバイモードから開始する	▶ フロント助手席ディスプレイをタップします。	▶ 179 ページ
音量を調節する	▶ マルチファンクションステアリングホイールのボリュームスイッチ (ロータリーノブ) を回します。 - または - メニューバーの  をタップします。 - または - 手書き文字パネルを2本の指で上下にスワイプします。 ミュート: マルチファンクションステアリングホイールのボリュームスイッチ (ロータリーノブ) を短く押すか、  を長押しします。	▶ 159 ページ
セントラルディスプレイをリモートで操作する	▶ ジェスチャーを使用して、セントラルディスプレイで手書き文字パネルを操作します。	▶ 169 ページ

希望する操作	操作方法	操作箇所
グローバル検索を使用する	▶ 検索エリア A (図. 148) 検索テキストを入力するか、音声入力を使用します。	—
時間、接続、ステータス シンボルを表示し、オプションを使用する	▶ ステータス エリア B (図. 148) を使用します。 ステータス シンボルを選択して、該当する設定 (イオナイザーなど) を直接開くことができます。	▶ 177 ページ
アプリの並び順を変更する	✓  が選択されている。 ▶ ステータス エリア B (図. 148) ... ▶ で、 アプリの並び順を変更するをタッチしてください。	▶ 208 ページ
個人画面を開く	▶ ホーム画面  で左にスワイプします。 — または — メイン メニュー C (図. 148) の  をタップします。 個人画面  が表示されます。	▶ 208 ページ
個人画面を設定する	✓ 個人画面  が表示されます。 ▶ ステータス エリア B (図. 148) ... ▶ で、 個人画面設定をタップします。	▶ 208 ページ
メイン メニューおよびサブメニューの内容を使用する	▶ メイン メニュー C (図. 148) およびコンテンツとインタラクション エリア E (図. 148) を使用します。	▶ 177 ページ
メッセージを開く	▶ メッセージ エリア D (図. 148) にメッセージを打ち込みます。	▶ 196 ページ
コンテキスト依存の表示エリア	▶ 展開表示エリア F (図. 148) を使用します。	—

希望する操作	操作方法	操作箇所
セットアップアシスタントを開く	PCM の初回起動時には セットアップアシスタント が表示され、PCM 設定のための重要なステップが案内されます。 セットアップアシスタントを手動で開く： -  ▶ 車両の設定  セットアップアシスタント	-
プライベートモードを有効/無効にする(一部の国で利用可能)	▶  ▶ 車両の設定  ポルシェコネクト設定 ▶ プライベートモード をタップします。	▶ 220 ページ
サービス間隔を表示する	▶  ▶ [サービス] をタップします  をタップします。 次回のサービス時期が表示されます。	-
システムおよび車両設定を変更する	▶  ▶ 車両の設定  ▶ システム/車両 をタップします。	▶ 197 ページ
車両情報を表示する	▶  (C (図. 148) を参照) 走行 をタップします。	-
通知を表示する	▶ メインメニュー C (図. 148) の  をタップします。	▶ 196 ページ

セントラルディスプレイ セントラルディスプレイ

A – ホーム画面 & 個人画面

▶ 208 ページの「ホーム画面および個人画面」の章を参照してください。

B – メインメニュー (メイン操作エリア)

メインメニューは次の6つのエリアに分かれています。

- 🏠 ホーム画面 / 👤 個人画面
- 📶 ナビゲーション
- 🎵 メディア
- 📞 電話
- 🚗 車両
- 📢 通知

アイコンを並べ替える

1. メイン操作エリアのいずれかのアイコンを押し続けます。
 ▶ タップすると**並べ替えモード**を選択できます。
2. 必要に応じてアイコンを並べ替えます。
3. **閉じる**をタップして並べ替えモードを終了します。

▶ 177 ページの「セントラルディスプレイとフロント助手席ディスプレイの使用」の章を参照してください。

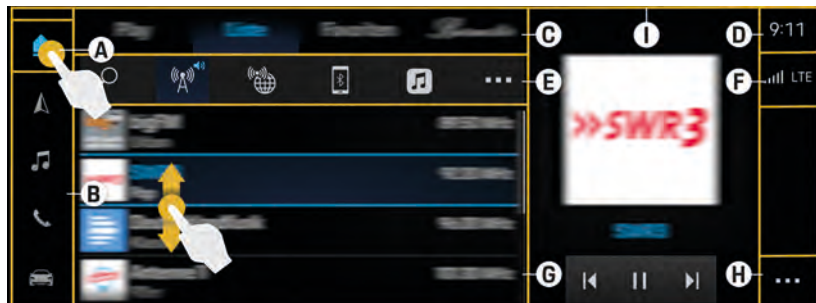


図. 149 セントラルディスプレイのコントロール要素

C – クイックフィルターバー / グローバル検索 (サブ操作エリア)

選択したメニューに応じて、このエリア (クイックフィルターバー) にメニュー項目が追加されたメニューバーが表示されます。ホーム画面のここにグローバル検索が表示されます。

D – 時刻 / 温度

▶ 177 ページの「セントラルディスプレイとフロント助手席ディスプレイの使用」の章を参照してください。

E – フィルターバー

選択したメニューに応じて、フィルターバーが表示されます。

F – 接続およびステータス シンボル

▶ 206 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

G – コンテンツおよびインタラクティブエリア

H – コンテンツとインタラクティブエリアに応じたオプションおよび最も重要な設定

オプションから、各ディスプレイのコンテキストに応じた設定を画面ごとに行うことができます。

I – 詳細エリア

詳細エリアには、コンテンツ エリアに関する追加情報が表示されます。

操作に関する重要なインフォメーション

ボルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM) はセントラルコントロールユニットです。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。



警告

運転中の使用および操作

マルチファンクションステアリングホイールやインフォテインメントシステムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限ってコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中のみ詳細な操作や設定を行ってください。

セントラルディスプレイとフロント助手席ディスプレイの使用

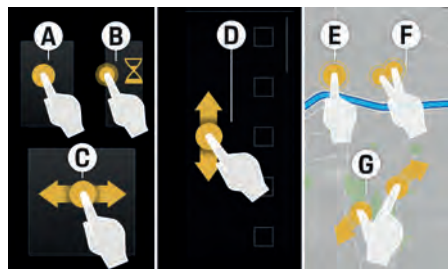


図. 150 セントラルディスプレイとフロント助手席ディスプレイの使用

A タップ(選択)

セントラルディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを1本の指で軽くタッチします。
例：機能をタップするか、ボックスのチェックをONまたはOFFにします。

B 長押し

セントラルディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを1本の指で長めにタッチします。例：地図上の目的地を確認します(ナビゲーション)。

C 左右にスワイプ

セントラルディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを1本の指で左右にスワイプします。例：リストを横方向にスクロールします。

D 上下にスワイプ(スクロールとスイッチ)

セントラルディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを1本の指で上下にスワイプします。例：コンテンツを縦方向にスクロールします。

ズーム

E セントラルディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを短く2回タップすると、そのセクションが拡大されます。

F セントラルディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを短く2回タップすると、そのセクションが縮小されます。

G セントラルディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイに2本の指を触れたまま広げると、そのセクションが拡大されます。

メニューを開く

メインメニューを開く

- ▶ メイン操作エリアのメニュー(例：)をタップします。

サブメニューの呼び出し

- ▶ クイックフィルターバーのメニュー項目(例：**連絡先**)をタップします。

各メニュー項目の設定を開く

- ✓ 希望のメニューが選択されました。
- ▶ オプション...をタップします。
 - ➡ それぞれのコンテンツまたはインタラクティブエリアの設定およびその他の機能が表示されます。

時刻または温度ディスプレイの設定

- ▶ ステータスエリアで、時刻9:11または温度をタップして、表示を調整できます。

セントラルディスプレイまたはフロント助手席ディスプレイを設定するには：

- ▶ ▶ 車両の設定 ディスプレイ設定

テキストおよび文字を入力する

ナビゲーション目的地や検索語句の入力など、テキストや文字を入力する必要がある場合はすぐに、入力フィールドが表示されます。検索結果をタップすると、検索結果リストが拡大表示されます。

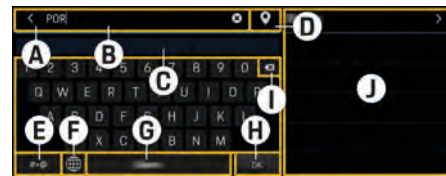


図. 151 ディスプレイ キーボード

A 戻る

B 現在のカーソル位置

- C 自動訂正と提案された検索結果
- D 検索エリア (一部の国で利用可能)
- E 文字 / 数字と特殊文字の入力切り替え
- F キーボード言語の変更
- G スペースを挿入する
- H 検索結果リストの拡大
- I 入力データを削除する
- J 結果リスト

テキストや文字の入力には様々なオプションがあります：

キーボードによる入力

1. 入力フィールドをタップします。
➡ キーボードが表示されます。
2. 希望のテキストまたは文字を入力してください。
3. アクセントやウムラウトなどを入力するには、希望の文字を長押ししてください。
➡ アクセントやウムラウトが表示されたウィンドウが開きます。

手書き文字パネルを使用した入力



図. 152 センター コンソール コントロール パネルの手書き入力

センター コンソール コントロール パネルの手書き文字パネルには手書き文字認識機能があり、指で直接テキストや文字を書くことができます。

- ✓ キーボードまたは入力フィールドがセントラルディスプレイに表示されます。

- ▶ テキストまたは文字を指で直接書きます (手書き文字認識)。

手動入力に関する情報：

▶ 169 ページの「センター コンソール コントロール パネル」の章を参照してください。

音声入力による入力

ボイス コントロール を使用して、テキストや数字を入力することも可能です (例：電話番号をダイヤルするときや、ナビゲーション目的地を入力するときなど)。

ボイス コントロール の使用に関する情報：

▶ 181 ページの「ボイス コントロール」の章を参照してください。

手書き文字パネルによるセントラルディスプレイの操作

センター コンソール コントロール パネルの手書き文字パネルでは、ジェスチャーでセントラルディスプレイの画面を操作できます。

センター コンソール コントロール パネルの使用に関するインフォメーション：

▶ 169 ページの「センター コンソール コントロール パネル」の章を参照してください。

セントラルディスプレイで取扱説明書を開く

- ✓ 車両が停止している。

▶ 🏠 ▶ 取扱説明書

フロント助手席ディスプレイ

フロント助手席ディスプレイのコンテンツ

① インフォメーション

- フロント助手席シートに乗員が座っている場合、システムが始動するときのフロント助手席ディスプレイは前回選択した状態 (ON、OFF またはスタンバイ) になっています。
- フロント助手席シートに乗員が座っている場合、またはシフトポジションが **P** に入っている場合、フロント助手席ディスプレイはいつでもタッチコマンドに反応します。
- フロント助手席シートに乗員が座っていない場合、シフトポジションが **D**、**R** または **N** にあるときのフロント助手席ディスプレイは、タッチコマンドに反応しません。

現在の走行データをフロント助手席ディスプレイに表示できます。車両のハンドリングに影響する設定や、フロント助手席ディスプレイに関係しないシステム設定はできません。

フロント助手席ディスプレイでは、セントラルディスプレイから独立してコンテンツを表示および使用できます。

A - ホーム画面 & 個人画面

▶ 208 ページの「ホーム画面および個人画面」の章を参照してください。

B - クイックフィルターバー / グローバル検索 (サブ操作エリア)

選択したメニューに応じて、このエリア (クイックフィルターバー) にメニュー項目が追加されたメニューバーが表示されます。ホーム画面のここにグローバル検索が表示されます。

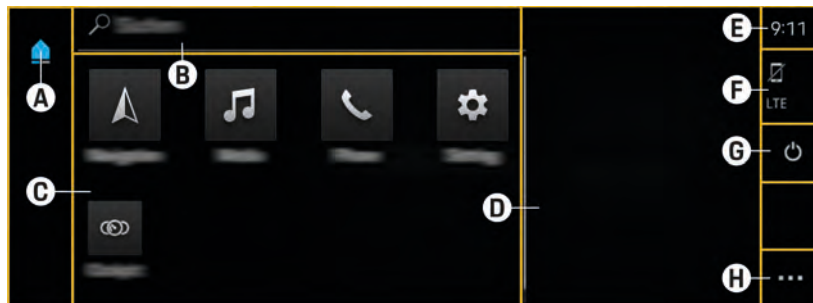


図. 153 フロント助手席ディスプレイのコントロール

C - コンテンツおよびインタラクティブエリア

D - 詳細エリア

詳細エリアには、コンテンツエリアに関する追加情報が表示されます。

E - 時間 / 温度

▶ 177 ページの「セントラルディスプレイとフロント助手席ディスプレイの使用」の章を参照してください。

F - 接続およびステータス シンボル

▶ 206 ページの「デバイスマネージャー」の章を参照してください。

G - フロント助手席ディスプレイの ON/OFF を切り替える

フロント助手席ディスプレイを ON にする

- ▶ センターコンソールコントロールパネルの **⏻** をタップします。セントラルディスプレイの助手席ディスプレイを有効にします。

フロント助手席ディスプレイを OFF にする

- ▶ フロント助手席ディスプレイの **⏻** をタップします。フロント助手席ディスプレイの助手席ディスプレイを有効にします。

- または -

センターコンソールコントロールパネルの **⏻** をタップします。セントラルディスプレイの助手席ディスプレイを無効にします。


フロント助手席ディスプレイのスタンバイモードを ON にする

- ▶ フロント助手席ディスプレイの **⏻** をタップします。フロント助手席ディスプレイのスタンバイモードの助手席ディスプレイを有効にします。

- または -

センターコンソールコントロールパネルの **⏻** をタップします。セントラルディスプレイの助手席ディスプレイスタンバイモードを有効にします。

フロント助手席ディスプレイのスタンバイモードをOFFにする

- ▶ フロント助手席ディスプレイをタップします。
–または–
センターコンソールコントロールパネルの  をタップします。セントラルディスプレイの**助手席ディスプレイスタンバイモード**を無効にします。

H-コンテンツとインタラクティブエリアに応じたオプションおよび最も重要な設定

オプションから、各ディスプレイのコンテキストに応じた設定を画面ごとに行うことができます。

フロント助手席ディスプレイの操作

フロント助手席ディスプレイの操作に関する情報：

- ▶ 177 ページの「セントラルディスプレイとフロント助手席ディスプレイの使用」の章を参照してください。

フロント助手席ディスプレイでメニューを開く

メニューを開く操作に関する情報：

- ▶ 177 ページの「セントラルディスプレイとフロント助手席ディスプレイの使用」の章を参照してください。

フロント助手席ディスプレイの時刻または温度の設定

時刻または温度の設定に関する情報：

- ▶ 177 ページの「セントラルディスプレイとフロント助手席ディスプレイの使用」の章を参照してください。

フロント助手席ディスプレイによるテキストおよび文字の入力

キーボードによる入力

- ▶ テキストおよび文字の入力に関する情報：
 - ▶ 177 ページの「セントラルディスプレイとフロント助手席ディスプレイの使用」の章を参照してください。

手書き入力による入力 (国別仕様による)

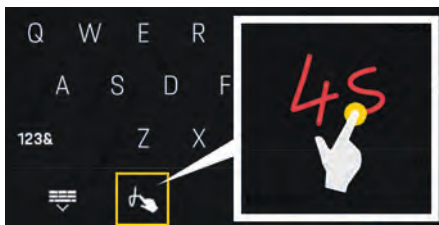



図. 154 フロント助手席ディスプレイでの手書き入力

手書き入力では、手書き文字認識機能により指で文字や記号を書くことができます。

1.  を選択して手書き入力を開きます。
2. 指で入力したい文字を書き込みます。
3. スペースを挿入するには、左から右に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。
4. 削除するには、右から左に指でスワイプします (メニュー言語の文字方向が右から左の場合、書く方向に注意してください)。

ボイスコントロール

概要説明 – ボイス コントロール

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関して詳しくは以下を参照してください：

▶ 173 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

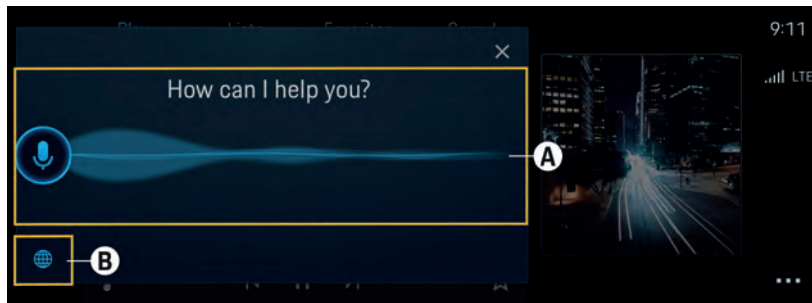





図. 155 ボイス コントロールの使用

希望する操作	操作方法	操作箇所
ボイスコントロールを起動する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押します。 ▶ 「Hey Porsche」と発話します (機能を有効にする必要がある)。 ▶ センtralディスプレイで、 をタップします。 <p>信号音が鳴り、センtralディスプレイにウィンドウ (A (図. 155) を参照) が表示されます。</p>	▶ 182 ページ
ボイスコントロール設定を開く	<ul style="list-style-type: none"> ▶ センtralディスプレイで  (B (図. 155) を参照) をタップします。 	▶ 184 ページ

さまざまなオプションが利用できますが、ここに説明されている機能はすべてのモデル、国別仕様、および装備仕様で利用可能な訳ではありません。

警告

正常に機能しない音声認識

声はストレスの多い状況で変化することがあります。特定の状況では、これにより電話接続に失敗したり、接続に時間を要してしまうおそれがあります。

- ▶ 緊急時はボイス コントロールを使用しないでください。
- ▶ センtralディスプレイを使用して緊急電話番号を入力してください。

ボイス コントロール システムはドライバーの指示を聞き取って、車両機能の利用や運転中のさまざまな操作をアシストします。

ボイス コントロール システムは頼りになるパートナーであり、インタラクティブに利用できます。ボイス コントロールは、音声入力に対して反応し、提案を行い、ドライバーからの質問に応じて検索を実行し、さらに環境データを取り込みます。

選択したプレイアコン機能、人間工学に基づいた機能、メディア機能、ナビゲーション機能、電話機能を、簡単な音声コマンドによって手軽に利用できます。ボイスコントロールはヘルプ機能も提供します。


ボイスコントロールの使用

- ✓ 車両の作動準備が整っている
- ✓ リバースギヤが選択されていない。
- ✓ 通話中ではない。
- ✓ パークアシストが作動していない。



ステアリングホイールでボイスコントロールを開始する



図. 156 ボイスコントロールボタンを備えたステアリングホイール



1. ステアリングホイールの  ボタンを押します。
➔ 信号音が鳴り、ウィンドウがセントラルディスプレイに表示されます。
2. ボイスコマンドを発話してください。

セントラルディスプレイでボイスコントロールを開始する


1. セントラルディスプレイで、  をタップします。
➔ 入力リクエストの音が鳴り、ウィンドウがセントラルディスプレイに表示されます。
2. ボイスコマンドを発話してください。

検索結果は、現在選択されているクイックフィルターバーのみに限定されます。たとえば、クイックフィルターバーのメディアが選択されている場合、このクイックフィルターバーの検索結果のみが表示されます。



「Hey Porsche」と発話してボイスコントロールを開始する

1.  ▶ 車両の設定  ▶ ボイスコントロール ▶ 「Hey Porsche」と発話して作動する
2. 「Hey Porsche」と言って、目的のボイスコマンドを発話します。

ボイスコントロールの一時停止


- ✓ ボイスコントロールが作動していて、ボイスコマンドを待機している。
 - ▶ セントラルディスプレイで  をタップします。
➔ 会話が一時停止し、もう一度タップすると再開できます。

ボイスコントロールの終了

- ✓ ボイスコントロールが作動していて、ボイスコマンドを待機している。
 - ▶ ステアリングホイールの  ボタンを押します。
–または–
中断と発話します。
–または–
ウィンドウの外側をタップします。
–または–
セントラルディスプレイで  をタップします。
➔ 終了音が鳴ります。



ボタンによるボイスコントロールの中断

ボイスコントロールの音声出力は、会話中に中断される場合があります。

- ▶ ステアリングホイールの  ボタンを短く押しします。

音声入力によるボイスコマンドの中断


ボイスコントロールのボイスコマンドは会話中でも中断できます。これにより、他のボイスコマンドを発話したり、すぐに実行したりできます。セントラルディスプレイで、機能を有効にします。

- ▶  ▶ 車両の設定  ボイスコントロール ▶ ボイスコントロールの割込みを有効にするをタップします。

外部ボイスコントロールの起動 (Siri や Google アシスタントなど)

- ▶ 193 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。


- ▶ 192 ページの「Android Auto」の章を参照してください。

1. ステアリングホイールの  ボタンを長押しします。
2. 希望のボイスコマンドを発話します。

外部ボイスコントロールの終了 (Siri や Google アシスタントなど)

- ▶ 193 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。

- ▶ 192 ページの「Android Auto」の章を参照してください。

- ▶ ステアリングホイールの  ボタンを押します。
➔ 終了音が鳴ります。

ボイスコントロールを使用するコミュニケーション時の注意

ボイスコントロールを使用する際は、以下の点を守ってください。

- 普通の声量で、はっきりと発話してください。
- 発話中に長い間を置かず、むらなくボイスコマンドを強調してください。
- ドア、ウィンドウ、スライディングルーフを閉じるなどして、混乱の原因となる雑音を低減してください。
- ボイスコントロールはドライバーのために最適化されています。

自然なボイスコマンドを使用する

ボイスコントロールは、自然なボイスコマンドを使用して操作でき、さまざまな種類の発話コマンドに対応します。

- 「エアコンを 22 °C に設定して」、「指圧マッサージを ON にして」、「ロンドンのパラメントストリートまで連れて行って」など、自然な会話による指示を使用できます。
- 「寒い」、「充電ステーションに行きたい」、「おなかですいた」など、必要とすることを伝えることができます。
- 「高速道路を避ける」、「ルート沿いでパン屋を検索する」など、状況に関連するボイスコマンドを使用できます。
- 「走行可能距離は?」、「ロンドンの天気はどう?」など、情報を求めることができます。
- 「メディアエリアでは何ができるの?」、「音声認識ってどういう仕組み?」など、一般的な質問をして検索することができます。

- 「マップを表示したい」、「連絡先を表示して」など、主要な機能を使用することができます。
- 地図からの目的地入力：希望する目的地を長押しして、「Hey Porsche、ここに連れて行って」と言います。

一般ボイスコマンド

以下の音声コマンドは会話中にいつでも発話することが可能です。

- 訂正
- 一時停止
- 中断
- ヘルプ

ボイスコントロールによるリストの使用

リストをブラウズする

- ✓ ボイスコントロールが作動している。
- ▶ 次のページ / 前のページと発話します。

リストから項目を選択する

セントラルディスプレイに青色で表示されている行番号とリスト項目を発話により選択できます。

- ✓ ボイスコントロールが作動している。
- ▶ 1行目と発話します。
- または -
- リスト項目を発話します。

マルチモーダル マップ



マルチモーダルマップにより、ナビゲーション中のボイスコントロールとマップ間のインタラクションが可能になります。これにより、ボイスコントロールによる目的地検索がより早く、より多様になります。▶ 181 ページ

ボイスコントロールを使用したマルチモーダルマップの作動

ボイスコントロールを介して有効にする際、PCM でのメニューを開くかは関係ありません。

- ✓ ボイスコントロールが作動している。
- ▶ マップ上に書き込みたいと発話してください。
- または -
- マルチモーダルマップを表示してと発話してください。
- ➡ マップが表示され、青いフレームがあります。

マルチモーダルマップの手動有効化

1.   ナビゲーション
2. ボイスコントロールを起動します。▶ 182 ページの「ボイスコントロールの使用」の章を参照してください。
- ➡ マップには青いフレームがあります。

コマンドの例

これらのリストはすべてを網羅するものではなく、ボイスコントロールシステムが対応可能な自然なボイスコマンドと指示の一部のみを示しています。適切なデータ接続を確保することで、検索結果が改善され、所要時間が短縮されます。

エアコンシステム / コンフォート機能

- シートヒーターをレベル 2 に設定して。
- フロントガラスが曇っている。

- マッサージをして欲しい。
- アンビエント ライトを赤に変更して。
- 後部の温度を 24 °C に設定して。
- 助手席側のシート ベンチレーターをレベル 2 に設定して。

ナビゲーション / 運転中 / ファインダー

- ポルシェ ミュージアムに連れて行って。
- 充電が必要になるのはいつ頃?
- ルート沿い / 目的地のレストランを探す。
- どれくらい時間がかかる?
- 駐車スペースを見つけて。
- 職場まで連れて行って。
- 私は最近どこまで運転した?
- ロンドンのパーラメント ストリートまで連れて行って。

メディア

- 例 : Porsche Sounds で「Get a Life」を再生して。
- Michael Jackson のアルバム「Bad」を再生して。
- 今聴いているのは何の曲?
- 音楽を検索したい。
- Apple Music で Nelly Furtado を再生。
- クラシック FM を再生。
- 次のトラック。
- 別のソースを選択したい。

電話

- ✓ 通話中ではない。
- John Doe に電話して。
- 例 : 020 911 をダイヤルして。
- Andrew Forbes に電話をかけ直して。
- 通話履歴を見せて。
- 新しい電話を接続したい。

過去の会話に対応する

- ✓ ボイス コントロールが作動している。
- その他のボイス コマンドを使用して、メイン機能 (電話 など) の過去の会話に対応することができます。

- John Doe にもう一度電話して

マルチモーダル マップ

- ✓ 目的地が選択されている (地図上にピンが設定されている)。
- そこに連れて行って。
- 近くのレストランを探して。
- 近くのパン屋を探して。
- そこで郵便局を探して。

ボイスコントロールのヘルプ

システムはさまざまな方法でのアシストが可能で、質問をしたり、特定の問題について報告したりすることができます。

- (一般的な) ヘルプが必要
- ボイス コントロールの仕組み
- ナビゲーション エリアで行える操作
- 何ができるか


ボイスコントロール設定の変更

- ▶  ▶ 車両の設定  ボイスコントロール 希望の設定を選択します。


オンライン モード

- ✓ クラウドへのデータ転送が許可されている。
- ✓ データ接続が十分である。
- ✓ ボイス コントロールが作動している。

オンライン モードでは、オンライン検索など、ボイス コントロール機能の全範囲にアクセスできます。

オンライン モードはセントラルディスプレイの  シンボルで示されます。

データ接続が不十分な場合、PCM は自動的にオフライン モードに切り替わります。オフライン モードでは、一部のボイス コントロール機能を限られた範囲でのみ使用できます。


ボイス コントロールがオフライン モードになっている場合、セントラルディスプレイに  シンボルが表示されます。

警告および情報メッセージ

警告メッセージが表示された場合は、このマニュアルの該当する章をお読みください。警告メッセージは、すべての測定条件が揃っていないと表示されません。そのため、定期的にすべてのフルード レベルを確認してください。メッセージは、一定時間が経過するか、了解すると消えます。

警告灯が表示された場合は、このマニュアルの該当する章をお読みください。

▶ 158 ページの「インストールメント パネル」の章を参照してください。

重要なメッセージは、セントラルディスプレイの  のメインメニューに通知として保存されます。メッセージによってその表示が異なり、グラフィック、シンボル、ボタンなどと共に使用して、プロンプトを了解または確認できます。メッセージを選択すると、セントラルディスプレイに指示を表示したり、近くのポルシェ正規販売店を検索したりするなどの詳細機能が利用できます。

▶ 196 ページの「通知」の章を参照してください。

一般的なメッセージの構成

次の表に、各種メッセージとその意味を示します。

色	メッセージの構成	例	緊急時	意味および必要な措置
赤色	<p>原因：例：コンポーネントの故障 / コンポーネントの欠陥 / コンポーネントの不具合</p> <hr/> <p>アクション：安全に駐車する</p> <hr/> <p>必要に応じての、さらなるアクション</p>	<p>火災の危険があります。</p> <hr/> <p>安全に駐車する [...]</p> <hr/> <p>[...] (車両) から離れてください</p>	<p>損傷の危険性が高い</p>	<p>直ちに適切な場所で停車してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転を続けしないでください。適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。 ▶ 表示された警告メッセージに従って、または安全を確保できない場合は、車両から離れてください。 ▶ ロードサイド アシスタンスに連絡し、必要に応じて車両をけん引してもらいます。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 256 ページの「けん引」の章を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
黄色	<p>原因：例：コンポーネントの故障 / コンポーネントの欠陥 / コンポーネントの不具合 / コンポーネントへの過負荷 / コンポーネントの制限 / コンポーネントが使用不可</p> <hr/> <p>アクションと、必要に応じての、さらなるアクション：例：要サービス / 要整備 / コンポーネントを点検する / (慎重に) 走行可能 / 速度を調整するか下げる / 負荷を軽減</p>	<p>シャーシの故障</p> <hr/> <p>要整備</p> <hr/> <p>慎重に走行してください</p>	<p>損傷の危険性が高い</p>	<p>慎重に走行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 負荷を軽減してください。 ▶ この故障が繰り返し発生するか継続している場合は、ポルシェ正規販売店で修理してください。¹
白色	<p>原因：例：コンポーネントの故障 / コンポーネントの制限 / コンポーネントが (これ以上) 使用不可</p>	<p>カメラ システムが使用不可</p>	<p>損傷の危険性が低い</p>	<p>慎重に走行してください。</p>

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

色	メッセージの構成	例	緊急時	意味および必要な措置
	説明：例：一時的な状態 必要に応じての、さらなるアクション：例： 要整備 / 走行可能 / 負荷を軽減する / 適切な 走行を心がける	一時的な状態 走行可能		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 一時的な状態。運転中または車両の再始動後に、標準の状態に自動的に復元されます。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ この故障が繰り返し発生するか継続している場合は、ボルシェ正規販売店で修理してください。¹

このマニュアルに詳細情報が記載されているメッセージ

インストルメントクラスターまたはセントラルディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
<p>アクティブパーキングサポート使用可能 ▶ センサー制限あり。取扱説明書を確認してください —または—</p> <p>アクティブパーキングサポート使用不可 ▶ レーザー スキャナーの不具合。取扱説明書を確認してください</p>	<p>アクティブパーキングサポートが制限されているか、故障しています。 慎重に走行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
<p>ファンクション オンデマンドが作動中です。一部のディスプレイ、コントロールユニット、安全に関わる可能性のある機能、および特定のドライバーアシスタンスシステムが利用できない場合があります。現在、車両を始動できません。詳細情報については、取扱説明書を参照してください。 —または—</p> <p>オンラインソフトウェアアップデートが進行中です。一部のディスプレイ、コントロールユニット、安全に関わる可能性のある機能、および特定のドライバーアシスタンスシステムが利用できない場合があります。現在、車両を始動できません。詳細情報については、取扱説明書を参照してください。</p>	<p>アップデートのインストール中か、ファンクション オンデマンド (FoD) が作動しています。作動準備がブロックされています。ディスプレイと車両機能 (コンフォート機能や盗難防止機能など) が一時的に無効になる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ すべての乗員が降車するなど、セントラルディスプレイの要求に従ってください。 ▶ アップデートのインストール中またはファンクション オンデマンド (FoD) が作動している間は、車両を使用しないでください。 <p>▶ 218 ページの「オンラインソフトウェアアップデート」の章を参照してください。</p>

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメントクラスターまたはセントラルディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
<p style="text-align: center;">緑石警告機能 使用不可 センサー制限あり。取扱説明書を確認してください</p>	<p>カーブ警告に制限があるか、故障しています。 慎重に走行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店で故障を修理してください。¹
<p style="text-align: center;">ブレーキパッド摩耗 ブレーキパッドを交換してください、走行可能</p>	<p>ブレーキパッドが摩耗しています。 慎重に走行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ できるだけ早くボルシェ正規販売店でブレーキパッドを交換してください。¹
<p style="text-align: center;">パワー ブレーキ故障 — または — パワー ブレーキ エラー</p>	<p>パワー ブレーキが故障したか、不具合があります。 直ちに適切な場所で停車してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転を続けしないでください。適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。 ▶ ロードサイドアシスタンスに連絡し、必要に応じて車両をけん引してもらいます。 ▷ 256 ページの「けん引」の章を参照してください。 ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
<p>オンラインソフトウェアアップデートを実行できませんでした。そのため、機能が制限される場合があります。警告および情報の点灯、および取扱説明書に従ってください。アップデートを完全に実行するには、ボルシェ正規販売店にご相談ください。</p>	<p>アップデートに失敗しました。発生した故障の重大度によっては、車両の作動準備がブロックされる場合があります。表示および車両機能が正常に動作しません。発生した故障の重大度とその結果は、セントラルディスプレイに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両の作動準備が整っている場合：状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 車両の作動準備が整っていない場合：ロードサイドアシスタンスに連絡し、車両をけん引して移動してください。 ▷ 256 ページの「けん引」の章を参照してください。 ▶ ボルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹

1. ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメントクラスターまたはセントラルディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
<p>介入がキャンセルされました ▶ 取扱説明書をお読みください</p>	<p>ドライバー アシスタンス システムの介入が中断されました。 慎重に走行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両のコントロールを行ってください。 ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 <p>▶ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。</p>
<p style="text-align: center;">シャーシシステム故障</p> <p>慎重に走行してください。取扱説明書をお読みください。</p> <p style="text-align: center;">– または –</p> <p style="text-align: center;">シャーシの故障</p> <p>慎重に走行してください。取扱説明書をお読みください。</p>	<p>シャーシが故障しているか、不具合があります。 慎重に走行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 負荷を軽減してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
<p style="text-align: center;">左充電ポートが損傷しています</p> <p>充電ポートを確認してください。取扱説明書を確認してください</p> <p style="text-align: center;">– または –</p> <p style="text-align: center;">右充電ポートが損傷しています</p> <p>充電ポートを確認してください。取扱説明書を確認してください</p> <p style="text-align: center;">– または –</p> <p style="text-align: center;">充電ポートが損傷しています</p> <p>充電ポートを確認してください。取扱説明書を確認してください</p>	<p>一方または両方の充電ポート リッドの機能が制限されているか、故障しています。 ▶ 265 ページの「充電プロセスの開始と終了」の章を参照してください。 慎重に走行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 次の機会に充電ポート リッドを点検してください。 必要に応じて、充電ポート リッドの緊急解除を実施してください。 ▶ 270 ページの「緊急ロック解除」の章を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
<p style="text-align: center;">車両が動いている間はドアを開けることができません</p> <p style="text-align: center;">取扱説明書を確認してください</p>	<p>ドアは、約 15 km/h の速度を超えると自動的にロックされ、開けることができなくなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ ドア ロック オプションを設定してください。 <p>▶ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。</p>

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストールメントクラスターまたはセントラルディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
<p>サービスモードのパーキングブレーキ</p>	<p>パーキングブレーキがサービスモードになっています。 慎重に走行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
<p>レイン/ライトセンサー故障 要整備</p>	<p>レイン/ライトセンサーが故障しています。 慎重に走行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ フロントワイパーおよびライトを手動でONにしてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
<p>タイヤ空気圧モニター故障 要整備</p>	<p>タイヤ空気圧モニタリングが制限されているか、故障しています。 慎重に走行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 次の機会にタイヤの空気圧を点検し、必要に応じて正しい空気圧を設定してください。 ▶ 278ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
<p>タイヤ空気圧が低すぎます 減速してください</p>	<p>設定したタイヤ空気圧の最高速度を超過しています。 慎重に走行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 速度を落としてください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 ▶ 278ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストルメントクラスターまたはセントラルディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
<p style="text-align: center;">タイヤを点検する</p>	<p>1つ以上のタイヤで空気圧が著しく不足しています。</p> <p>車両を安全に駐車します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 運転を続けしないでください。適切な場所で安全に停車し、車両を OFF にしてください。 ▶ 該当するタイヤに損傷がないか点検してください。 ▶ 必要に応じてシーラントを追加してください。 ▶ 次の機会に正しいタイヤ空気圧に調整してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 278 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。 ▷ 287 ページの「パンク」の章を参照してください。 ▶ 必要に応じて、ロードサイド アシスタンスに連絡するか、車両をけん引して移動してください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 256 ページの「けん引」の章を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
<p>キーが検知できません ▶ 小物入れにキーを置いてください。取扱説明書を確認してください</p>	<p>キーの信号に不具合があります。キーの場所が不適切か、キーの電池が切れているため、キーが検知されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ キーをセンター コンソールのリヤドリンクホルダーに置きます。 ▶ 電池を交換してください。 ▶ 干渉源となっている可能性のあるもののスイッチを OFF にしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ▷ 29 ページの「キー」の章を参照してください。
<p style="text-align: center;">スマートリフト故障 取扱説明書を確認してください</p>	<p>スマートリフト故障。</p> <p>慎重に走行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 - 負荷を軽減してください。 - ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インストールメント クラスターまたはセントラルディスプレイのメッセージ	意味および必要な措置
<p style="text-align: center;">更新失敗 車両機能制限あり。取扱説明書を確認してください</p>	<p>アップデートに失敗しました。発生した故障の重大度によっては、車両の作動準備がブロックされる場合があります。表示および車両機能が正常に動作しません。発生した故障の重大度とその結果は、セントラルディスプレイに表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両の作動準備が整っている場合：状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ 車両の作動準備が整っていない場合：ロードサイドアシスタンスに連絡し、車両をけん引して移動してください。 ▷ 256 ページの「けん引」の章を参照してください。 ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹
<p style="text-align: center;">アップデートを実行中... 車両は準備ができていません。取扱説明書を確認してください</p>	<p>アップデートをインストールしています。作動準備がブロックされています。ディスプレイと車両機能 (コンフォート機能や盗難防止機能など) が一時的に無効になる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ アップデートのインストール中は車両を使用しないでください。 ▷ 218 ページの「オンラインソフトウェアアップデート」の章を参照してください。
<p style="text-align: center;">警告およびブレーキアシスト制限あり 取扱説明書を確認してください</p>	<p>警告とブレーキアシストに制限があるか、故障しています。 慎重に走行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 状況に応じた適切な運転を心がけてください。 ▶ ポルシェ正規販売店で直ちに故障を修理してください。¹

1. ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

操作および使用

Android Auto

Android Auto を開く



図. 157 アームレスト内のインターフェイス

① インフォメーション

接続済みデバイスの充電には、バッテリーのシンボル付き USB ポートを使用してください。

ID のない、または USB シンボルマークが付いた USB ポートは、データ転送や接続済みデバイスの充電に使用してください。

- ✓ Android 6 以降。
- ✓ 電話に Android Auto がインストールされている。Android 10 以降、Android Auto は既に内蔵されています。
- ✓ 電話のモバイルデータ接続が有効になっている。
- ✓ 設定で Google アシスタントと Android Auto が有効になっている。
- ✓ トラブルなく使用するために、損傷のない電話メーカーの純正ケーブルを USB アダプターなしで使用します。
- ✓ Android Auto ホームページの最新の要件に注意します。

1. 電話をアームレスト内の USB インターフェイス (タイプ C) A▶ (図. 157) に接続します。
2. Android Auto が使用されているというメッセージを確認します。
▶ Android Auto が開き、利用できるアプリが表示されます。
3. 電話の指示に従ってください。

- ▶ 他のメニュー項目から Android Auto に切り替えるには、▶ Android Auto▶ を選択します。

② インフォメーション

- 最新バージョンの Android をインストールすることをお勧めします。
- Android Auto が対応している電話のアプリのみ表示することができます。Android Auto で利用できるアプリは Google Play ストアで確認できます。
- この機能は、Google が対応している国でのみ利用できます。対応している国に関する情報は、Android Auto のホームページをご覧ください。
- Android Auto 機能の表示コンテンツおよび機能は、接続している電話からのみ提供されます。
- Android Auto の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (テレフォニー用、メディア再生用、ニュース用など) はすべて自動的に解除されます。
- Android Auto を使用するには、有効なデータ接続が必要です。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に国外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データプランのご利用をお勧めします。



セントラルディスプレイの操作に関する情報：

- ▶ 176 ページの「セントラルディスプレイ」の章を参照してください。

Android Auto の操作

セントラルディスプレイでの Android Auto の操作

利用可能なアプリはすべてセントラルディスプレイから操作できます。

- ▶ **Android Auto** でメインメニューを開くには、セントラルディスプレイのホーム ボタン  を押します。
- ▶ PCM のメイン機能に切り替えるには、**Android Auto** ▶ **Porsche** を選択します。
- または -
いずれかの機能 (例: ) を選択します。


Google アシスタント音声認識を介した Android Auto の操作




図. 158 ボイスコントロールボタンを備えたステアリングホイール

Google アシスタントの起動

- ✓ 電話の設定で Google アシスタントが有効になっている。
- ✓ 走行準備が確立されている。
- ✓ 通話中ではない。

- ✓ パーキング アシスタントが作動していない。
 - ✓ ボイス コントロールが作動していない。
1. ステアリング ホイールの  ボタンを長押しします。
 2. 希望のボイス コマンドを発話します。

Google アシスタントの終了

- ✓ Google アシスタントが作動していて、ボイス コマンドを待機している。
- ▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押します。
 - ➡ 終了音が鳴ります。

ボイス コントロールに関する情報：

- ▶ 181 ページの「ボイス コントロール」の章を参照してください。

Apple CarPlay

Apple CarPlay を開く

インフォメーション


初めて接続する際に Apple CarPlay を必ず選択します。そうすると、望むとおりに iPod と Apple CarPlay を切り替えることができます。


- ▶ 194 ページの「Apple CarPlay の操作」の章を参照してください。



図. 159 リヤ アームレスト内の USB インターフェース (Type-C)

インフォメーション

接続済みデバイスの充電には、バッテリーのシンボル  付き USB ポートを使用してください。

データ転送や接続済みデバイスの充電には、ID のない、または USB シンボル マークが付いた USB ポート  を使用してください。

- ✓ iPhone 7 以降、iOS 14 以上。
- ✓ 使用する iPhone の設定で Siri および Apple CarPlay が有効になっている。
- ✓ トラブルなく使用するため、損傷のない Apple 純正ケーブルを USB アダプターなしで使用してください。

1. iPhone をアームレスト内の USB ポート A (図. 159) に接続してください。
2. Apple CarPlay が使用されていることを確認します。
 - ➡ Apple CarPlay が開き、利用できるアプリが表示されます。

- ▶ 他のメニュー項目から Apple CarPlay に切り替えるには、 ▶ **Apple CarPlay**  を選択します。

インフォメーション


- 最新バージョンの iOS をインストールすることをお勧めします。
- Apple CarPlay に対応している iPhone アプリのみが表示されます。アプリの入手可能性についての情報：Apple のウェブサイトを参照してください。
- この機能は、Apple が対応している国でのみ提供されます。国別の入手可能性についての情報：Apple のウェブサイトを参照してください。
- Apple CarPlay 機能の表示コンテンツおよび機能は、接続している iPhone からのみ提供されます。
- Apple CarPlay の使用中は、有効な Bluetooth® 接続 (テレフォニー、メディア再生またはニュースのためのものなど) はすべて自動的に解除されます。
- 一部のアプリは、有効なデータ接続を必要とします。お使いの携帯電話の料金体系に応じ、また特に国外で使用する場合、追加費用が発生する場合があります。定額データ プランのご利用をお勧めします。

ポルシェ コミュニケーション マネージメントシステム (PCM) の操作に関するインフォメーション：

- ▶ 173 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネージメントシステム (PCM)」の章を参照してください。

Apple CarPlay の操作

利用可能なアプリはすべてセントラル ディスプレイから操作できます。

- ▶ **Apple CarPlay** でメイン メニューを開くには、セントラル ディスプレイのホーム ボタン  を押します。

- ▶ PCM のメイン機能に切り替えるには、**Apple CarPlay**  **Porsche**  を選択します。
- または -
いずれかの機能 ( など) を選択します。


Siri 音声認識機能で Apple CarPlay を操作する

Siri の起動


- ✓ 使用している iPhone の設定で Siri が有効になっている。
- ✓ 通話中ではない。
- ✓ パークアシストが作動していない。
- ✓ ボイス コントロールは無効です。



図. 160 ボイス コントロール ボタンを備えたステアリング ホイール

1. ステアリング ホイールの  ボタンを長押しします。
2. 希望のボイス コマンドを発話します。

Siri の終了






- ✓ Siri が有効で、ボイス コマンドを待機しています。
- ▶ ステアリング ホイールの  ボタンを押します。
➔ 終了音が鳴ります。

ボイス コントロールに関する情報：

- ▶ 181 ページの「ボイス コントロール」の章を参照してください。

Apple CarPlay と iPhone の iPod としての使用の切り替え

iPhone が USB 経由で接続されている場合、デバイス マネージャーを使用して、iPhone を iPod として使用するか、または Apple CarPlay を使用するかを切り替えることができます。

1. デバイス マネージャーを開くには、接続ステータスに応じて、ステータス エリアの  または  のいずれかを選択します。
- または -
 ▶ **デバイスをタップ** .
2. 使用している iPhone の **Apple CarPlay**  アイコンを選択します。
- または -



iPhone の **iPod**  シンボルを選択します。

- ▶ 206 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。
- ➔ アイコンまたは現在アクティブな iPhone アプリケーションが色で強調表示され、現在の接続 (**Apple CarPlay** または **iPod** のいずれか) が表示されます。

ワイヤレス Apple CarPlay を開く (装備および国別仕様による)

ワイヤレス CarPlay により、ケーブルなしで Apple CarPlay を使用できます。ワイヤレス CarPlay は、一度に 1 つのアクティブな携帯電話にのみ対応します。


- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が作動している、他のデバイスから探索可能な状態になっている。
- ✓ 携帯電話で WiFi が有効になっている。
- ✓ **ワイヤレス CarPlay** が携帯電話で作動している。

1.  または  ステータス エリア (接続ステータスによる) および接続マネージャーメニューで、**Apple CarPlay** ▶ **検索** を選択します。

- または -

デバイスをタップ  ▶ **Apple CarPlay** 




- または -

検索が始まるまで、ステアリング ホイールの  ボタンを長押しします。




2. リストからデバイスを選択してください。
3. Apple CarPlay が使用されていることを確認します。
➔ Apple CarPlay が開きます。利用可能なアプリが表示されます。

iPhone を一度接続すると、車両に乗るたびに Apple CarPlay が自動的に作動します。携帯電話は、たとえばバッグやズボンのポケットに入れたままにしておけます (Bluetooth® と WiFi を有効にする必要があります)。



または、以下の手順で **ワイヤレス CarPlay** を再接続できます。

1.  ▶ **デバイスをタップ** 
2. iPhone の  シンボルを選択します。

他のメニュー項目から Apple CarPlay に切り替える方法：

- ▶  ▶ Apple CarPlay .
- または –
- ステータス エリアの Apple CarPlay  を選択します。

保存した iPhone をデバイス リストから削除する

1.  ▶ デバイスをタップ .
2. 削除するデバイスの行を右から左にスワイプします。
 - ➔ デバイスがデバイス リストから削除されます。

ワイヤレス CarPlay の終了

1.  ▶ デバイスをタップ .
2. iPhone の  シンボルを選択します。
 - ➔ ワイヤレス CarPlay が終了します。

通知

概要 - 通知

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関して詳しくは以下を参照してください：

▶ 173 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

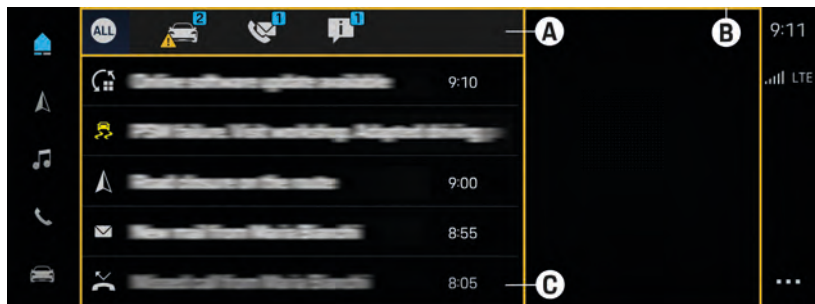


図. 161 通知のメインメニューの領域

希望する操作	操作方法
通知を表示する	▶ メインメニューの ■ をタップします。
通知をフィルタリングする	▶ メインメニューの ■ で、クイックフィルターバーの車両 (A (図. 161) を参照) などをタップします。
通知を開く	▶ メインメニューの ■ で、すべて (A (図. 161) を参照) 通知 (C (図. 161) を参照) などを選択します。 通知は詳細エリアに表示されます (B (図. 161) を参照)。
表示項目を設定する	▶ メインメニューの ■ ▶ ...

通知を開く

- ▶ メインメニューの ■ をタップします。

通知のフィルタリング

通知はクイックフィルターバーでフィルタリングできます (A を参照)。コンテンツは次の領域に分かれています：

- 📞 既存のすべての通知の表示。
- 🚗 車両の通知の表示。
- 📶 接続されている携帯電話の通知が表示されます。
- 📄 情報の通知の表示。

通知設定の変更

- ▶ 🏠 ▶ 車両の設定 ⚙️ 通知センター ▶ 希望の設定を選択します。

車両設定



車両設定の概要

モデル、国別仕様および装備仕様に応じて、さまざまな車両設定を行えます。ここで説明する車両機能は、すべてのモデル、国別仕様および装備仕様で利用可能なわけではありません。安全のため、一部の機能は停車中しか利用できません。



車両設定は車両を OFF にしても引き続き保存されません。

▶ 72 ページの「パーソナル設定」の章を参照してください。



システム設定

希望する操作	選択するもの	操作箇所
一般的なシステム設定 (言語、時間、単位など) のコンフィギュレーション	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ 車両の設定  ▶ システムをタップします。 - 言語 / キーボード - 日付と時刻 - 単位 - システムを工場設定にリセット 	-



ディスプレイ設定

希望する操作	選択するもの	操作箇所
一般的なディスプレイ設定 (明るさ、タッチ操作音など)	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ 車両の設定  ▶ ディ스플레이をタップします。 - セントラルディスプレイ - フロント助手席ディスプレイ - ヘッドアップディスプレイ - タッチコントロールパネル - インストルメントパネル - その他の機器 	-



音量設定

希望する操作	選択するもの	操作箇所
音量の設定 (ナビゲーション案内、パークアシストなど)	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ 車両の設定  ▶ 音量をタップします。 - ナビゲーション案内 - パークアシスト - パークアシスト作動中の音量低減 - 車速に応じて音量を調節 - 車線逸脱警告 - 着信音 - メッセージの受信音 - 通話中のナビゲーションのミュート 	-



サウンド設定

希望する操作	選択するもの	操作箇所
サウンドの設定 (トレブル/バス、バランス/フェーダー)	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ 車両の設定  ▶ サウンドをタップします。 - バス/トレブル - バランス/フェーダー 	-



ボイスコントロール設定

希望する操作	選択するもの	操作箇所
ボイスコントロール設定の実行	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ 車両の設定  ▶ ボイスコントロールをタップします。 - 「ハイボルシェ」と発話して作動 - ショートダイアログ - ボイスコントロールを中断する - オンライン音声認識 	▶ 181 ページ

車両設定



希望する操作	選択するもの	操作箇所
車両設定の実行 / 車両機能の使用 (車両接近時のロック解除、ミラーの折り畳み、タイヤ選択、ダイナミックハイビームの有効化など)	▶  ▶ 車両の設定  ▶ 車両をタップします。	
	スポイラー清掃ポジション	▶ 118 ページ
	エレクトリックパーキングブレーキ	▶ 105 ページ
	ショートカット ボタン	▶ 159 ページ
	ボンネット、リヤリッドおよび充電ポートリッド	▶ 33 ページ
	車両ロック システム	▶ 38 ページ
	タイヤ空気圧監視システム	▶ 278 ページ
	ライトと視界	▶ 121 ページ

アシスタンス システム設定



希望する操作	選択するもの	操作箇所
アシスタンス システム設定の変更 (警告音量、警告時間設定など)	▶  ▶ 車両の設定  ▶ アシスタンス システムをタップします。	
	パーク アシスト	▶ 130 ページ
	警告およびブレーキ アシスト	▶ 154 ページ
	アダプティブスピードリミッター	▶ 114 ページ
	車線逸脱警告	▶ 144 ページ

希望する操作	選択するもの	操作箇所
	レーンチェンジアシスト	▷ 147 ページ
	ナイトビューアシスト	▷ 127 ページ
	カスタム速度制限	▷ 114 ページ
	危険な状況	—



通知センター

希望する操作	選択するもの	操作箇所
通知設定の実行	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ 車両の設定  ▶ 通知センターをタップします。 – 通知の許可 – 通知音 	▷ 196 ページ



ラジオ設定

希望する操作	選択するもの	操作箇所
ラジオ設定の実行	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ 車両の設定  ▶ メディアをタップします。 – 電波が不安定な状態での放送局の自動トラック 	—



ポルシェ コネクト設定

希望する操作	選択するもの	操作箇所
ポルシェ コネクトの設定 (プライバシーなど)、法的通知およびデータ保護通知の表示	▶  ▶ 車両の設定  ▶ プライバシーおよびポルシェ コネクト 設定をタップします。	



設定アシスタント

希望する操作	選択するもの	操作箇所
<p>セットアップアシスタントを開く</p> <p>PCMの初回起動時にはセットアップアシスタントが表示され、PCM設定のための重要なステップが案内されます。</p> <p>セットアップアシスタントは手動でアクセスすることもできます。</p>	<p>▶  ▶ 車両の設定  ▶ セットアップアシスタントをタップします。</p>	▶ 72 ページ

ソフトウェア情報



希望する操作	選択するもの	操作箇所
ソフトウェア情報の表示 (バージョン、構成部品)	▶  ▶ 車両の設定  ▶ ソフトウェア情報をタップします。	-

ドライブ


希望する操作	選択するもの	操作箇所
車両設定の調整 (走行モード、シャーシなど)	▶  ▶ ドライブをタップします。	
	走行モード	▶ 107 ページ
	シャーシ	▶ 134 ページ
	シャーシ高	▶ 134 ページ
	アクセレーター回生	▶ 109 ページ
	E-Sound (ボルシェ エレクトリック スポーツ サウンド)	▶ 107 ページ
走行モードの設定	▶  ▶ ドライブ ▶ ...をタップします。	

希望する操作	選択するもの	操作箇所
	走行モード Individual の設定	▷ 107 ページ
	走行モード Range の設定	▷ 107 ページ


アシスタンス

希望する操作	選択するもの	操作箇所
基本アシスタンス システムを ON にする 基本アシスタンス システムは安全のために設計されており、スイッチを常に ON にする必要があります。	▶  ▶ アシスタンス ▶ 標準アシストをタップします。	
	警告およびブレーキアシスト	▷ 154 ページ
	ナイトビューアシスト	▷ 127 ページ
アシスタンス システムを ON にする	▶  ▶ アシスタンスをタップします。	
	パークアシスト	▷ 130 ページ
	レーンキープアシスト	▷ 144 ページ
	アクティブレーンキープ	▷ 99 ページ
	操作アシスト	—
	リヤクロストラフィックアラート	▷ 103 ページ
	インターセクションアシスト	▷ 119 ページ
	レーンチェンジアシスト	▷ 147 ページ

トリップ

希望する操作	選択するもの	操作箇所
走行データ (平均消費量、走行可能距離、走行時間など) の表示、走行データ表示の設定、走行データのリセット	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ トリップをタップします。 - パーソナルトリップ - トリップデータのリセット 	-

コンフォート

希望する操作	選択するもの	操作箇所
アンビエントライト (明るさ、色) と運転席 / 助手席 (マッサージ機能、シート暖房 / シート換気のバランス) のコンフォート設定の調整、イージー エントリー機能を ON に切り替え、運転席からの助手席の調整	<ul style="list-style-type: none"> ▶  ▶ コンフォートをタップします。 	-
	アンビエントライト	-
	運転席 / 助手席	▶ 77 ページ
	ポルシェ エントリー & ドライブ	▶ 81 ページ
	助手席シート調整	▶ 77 ページ

インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細な情報 (ヘルプビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、www.porsche.com/connect で入手できます。

ファンクション オンデマンド (FoD) の使用

ファンクション オンデマンド (FoD) の購入

- ✓ ポルシェ コネクトおよび、該当する場合は My Porsche で有効になっている個々のサービス。
- ▶ ポルシェ コネクトストアで希望する FoD サービスを購入します。

ファンクション オンデマンド (FoD) のダウンロード


FoD サービスはバックグラウンドで自動的にダウンロードされます。すべての PCM 機能および車両機能は、ダウンロード中も完全に使用可能です。ダウンロードは、車両を OFF にすると一時停止し、ON にすると自動的に再開されます。ダウンロード時間は接続品質によって異なります。ダウンロードの完了後、アクティベーションを開始できます。

- ✓ ポルシェ コネクトおよび、該当する場合は My Porsche で有効になっている個々のサービス。
- ✓ データ接続が正常に確立されている。
- ✓ プライベート モードが無効になっている。

- ▶ 221 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

ファンクションオンデマンド (FoD) の有効化

購入後、メッセージが 1 回だけセントラルディスプレイに表示され、PCM は毎回再起動します。通知で、いつでもメッセージを表示でき、アクティベーションを開始できます。アクティベーションを行う前に、故障診断用ソケットに外部デバイスが接続されていないことを確認してください。

- ▶ FoD サービスの詳細については、ホーム画面の更新  をタップします。

知識

アクティベーション中の使用制限。

作動準備がブロックされています。ディスプレイと車両機能 (コンフォート機能や盗難防止機能など) が一時的に無効になる場合があります。

- ▶ 車両を安全に駐車します。
- ▶ すべての乗員が降車するなど、セントラルディスプレイの要求に従ってください。
- ▶ アクティベーション中は、車両を使用しないでください。
- ▶ 車両はアクティベーション後にものみ使用してください。

1 つのアクティベーション プロセスのみ開始できます。このアクティベーション プロセスは中断できません。アクティベーション時間は FoD サービスによって異なります。

- ✓ FoD サービスが正常にダウンロードされている。
- ✓ 車両が OFF になっている。
- ✓ パーキングロックおよびパーキングブレーキが作動している。

- ✓ バッテリーが十分に充電されている。
- ✓ さらなる条件が必要になる場合があります (ドアが閉まっている、車両がロックされている)。これらの条件はセントラルディスプレイに表示されます。

- ▶ はいを選択して、FoD サービスのアクティベーションを確定します。
 - ➔ アクティベーションの進行状況がセントラルディスプレイに表示されます。

アクティベーションが正常に完了すると、メッセージが 1 度限りセントラルディスプレイに表示されます。車両を再びフル活用することができます。

ファンクションオンデマンド (FoD) の無効化

- ✓ データ接続が正常に確立されている。
- ✓ ポルシェ コネクトおよび、該当する場合は My Porsche で有効になっている個々のサービス。
- ✓ FoD サービスを購入しており、車両で有効になっている。
- ✓ プライベート モードが無効になっている。
 - ▶ 221 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

- ▶ 希望する FoD サービスを My Porsche で無効にします。
 - ➔ 無効化が完了すると、1 回限りのメッセージがセントラルディスプレイに表示されます。FoD サービスに関する通知も表示されます。

ファンクションオンデマンド (FoD) のアクティベーションの失敗

アクティベーション プロセス中に故障が発生する場合があります。故障が発生した場合は、以下の手順を実施してください。

1. 車両の電源を OFF にしてロックします。
2. 10 分間待ちます。
3. 車両の電源を ON にします。
4. 車両を離れてロックすることにより、アクティベーション プロセスを再開します。

発生した故障の重大度とその結果は、セントラルディスプレイに表示されます。

知識

アップデートの失敗による損傷と使用制限。

発生した故障の重大度によっては、車両の作動準備がブロックされる場合があります。表示および車両機能が正常に機能しない。

- ▶ 車両の作動準備が整っている場合：状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ 車両の作動準備が整っていない場合：ロードサイドアシスタンスに連絡し、車両をけん引して移動してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エラーが継続する場合：

- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。



デバイス マネージャー

デバイス マネージャーを開く

デバイス マネージャーを開くと、使用可能な機器や各機器の接続ステータスの概要を確認できます。

▶ デバイスをタップ

– または –





(接続ステータスに応じて) ステータス エリアの  または  をタップします。

接続ステータスの表示



シンボルの色と意味

- 青色のシンボル：接続が有効。
- 白色のシンボル：接続は可能だが、有効になっていない。
- シンボルなし：接続不可。

選択できる機能：



-  **電話**：Bluetooth® 経由で接続された携帯電話。
 - ▶ 227 ページの「電話」の章を参照してください。
-  **音楽**：外部メディア ソースが Bluetooth® で接続されている。
 - ▶ 209 ページの「メディア」の章を参照してください。
-  **データ**：アクセス ポイント経由でデータ接続が確立されている。
 - ▶ 220 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。
-  **WiFi**：WiFi デバイスが PCM WiFi ホットスポットに接続されている。
 - ▶ 220 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

- メッセージ：Bluetooth® を介したメッセージ受信の ON と OFF を切り替えます。
-  **Apple CarPlay**：iPhone が USB 接続または無線で接続され、Apple CarPlay にアクセスしている。
 - ▶ 193 ページの「Apple CarPlay」の章を参照してください。
-  **Android Auto**：Android 電話が USB 接続で接続され、Android Auto にアクセスしている。
 - ▶ 192 ページの「Android Auto」の章を参照してください。

▶ 接続マネージャーは、デバイスまたはメディア ソースに接続するためのアシスタンスを提供します。  ▶ デバイスをタップ  ▶ コネクション マネージャー

外部デバイスの接続

新しいデバイスを Bluetooth® 経由で接続する

1.  ▶ デバイスをタップ  ▶ コネクション マネージャー ▶ 新しい電話を接続 / 新しいオーディオ プレーヤーを接続をタップします。
2. リストからデバイスを選択してください。
 - ➔ 6桁の Bluetooth® コードが生成され、セントラル ディスプレイとデバイスに表示されます。
3. セントラル ディスプレイとデバイスの Bluetooth® コードを比較します。
4. PCM とデバイスの Bluetooth® コードが一致する場合、確定します。
 - ➔ 携帯電話は、接続に成功するとデバイス リストに表示されます。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関して詳しくは以下を参照してください：

▶ 173 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」の章を参照してください。

デバイス リストからデバイスを削除する

▶ ▶ デバイスをタップ

削除するデバイスの行を右から左にスワイプします。
 ▶ デバイスがデバイス リストから削除されます。

デバイス マネージャーの設定

▶ ▶ デバイスをタップ ... をタップします。

次の設定が利用可能です (国によって異なります)。

- **電話設定**：227 ページの「電話」の章を参照してください。
- **Bluetooth 設定**：
 - Bluetooth の ON/OFF を切り替えます。
 - PCM の Bluetooth 名を調整します。
- **WiFi 設定**：
 - WiFi の ON/OFF を切り替えます。
 - インターネット アクセスを有効にする：PCM の WiFi ホットスポットを有効にし、WiFi デバイスのデータ接続を有効にします。

- インターネットアクセスを有効にする：PCMのWiFiアクセスデータを表示し、設定します。このデータはデバイス(携帯電話など)をWiFi経由でPCMに接続したり、WiFiホットスポットを使用したりするために必要です。
- 該当データパッケージは www.porsche.com/connect で購入する必要があります。
- **データ接続設定：**
 - オンラインデータの使用を表示する
 - オンラインデータの使用をリセットする

インターフェース

USBインターフェース(タイプC)は、フロントアームレストとリヤにあります。リヤのUSBインターフェース(タイプC)は、充電目的のみ使用できます。



図. 162 リヤのUSB充電ポート

USBを介した外部機器の接続



図. 163 アームレスト内のインターフェース

1. アームレストを開きます。
2. 外部機器(iPod、USBメモリーなど)をUSBインターフェース(タイプC)A(図. 163)に接続します。
3. **メディア** **再生**で希望のメディアソースを選択します。
▷ 209ページの「メディア」の章を参照してください。
4. 外部機器およびセントラルディスプレイの音量を必要に応じて調節します。

インターフェースおよび外部接続機器に関する注意事項

- 記憶媒体にファイル、フォルダーまたはプレイリストが多数格納されている場合、媒体のトラックを最初に読み込むのに時間がかかる場合があります。
- オーディオファイルの再生時は、記録された追加情報(アーティスト、タイトル、アルバムカバーなど)が自動的に表示されます。該当する情報が媒体に記録されていない場合は、利用可能なインターネットのデータベースが利用されます。それでも特定の追加情報が表示されない場合があります。

- USB延長ケーブルまたはアダプターを使用しないでください。性能が損なわれる原因になります。
- USBハブには対応していません。
- ポルシェ社は、ファイルやメディアの損傷や紛失に対していかなる責任も負いかねます。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカルデータ：

▷ 296ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

ホーム画面および個人画面

ホーム画面および個人画面の設定

ホーム画面の設定

1. **🏠 ▶ … ▶ 並び順を変更する**
2. 希望するタイルを選択して、ドラッグ&ドロップで任意の場所に移動します。
3. **確定**をタップします。

主なアプリ (ナビゲーション、メディア、電話、設定および **Apple CarPlay**) は移動できません。

マイスクリーン設定

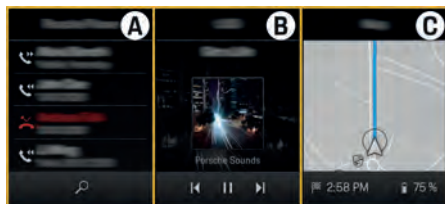


図. 164 MyScreen の領域

ホーム画面の 2 ページ目 (個人画面) のさまざまな領域をカスタマイズできます。

1. ホーム画面 **🏠** で左にスワイプします。
➡ 個人画面 **👤** が表示されます。
2. **… ▶ マイスクリーンの設定**
3. 希望するカテゴリーを選択し、ドラッグ&ドロップで任意の領域に移動します (A、B、C (図. 164) を参照)。
4. タイルは別のタイルと交換することで削除できます。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関して詳しくは以下を参照してください：

▶ 173 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」の章を参照してください。

メディア

概要 - メディア

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関して詳しくは以下を参照してください：

▶ 173 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

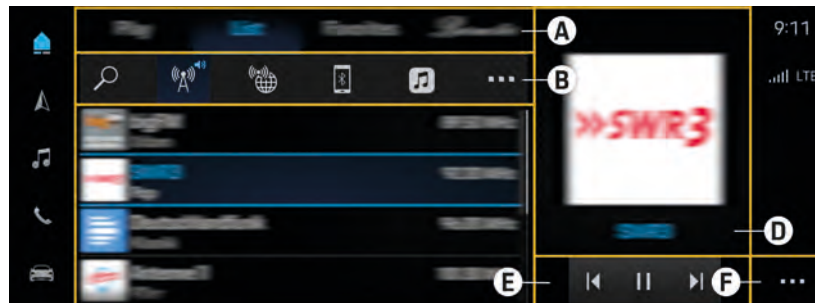


図. 165 メディアを再生する

希望する操作	操作方法	操作箇所
メディアソースを接続する	<ul style="list-style-type: none"> - Bluetooth® を介して外部機器を接続します。 - USB を介して外部機器を接続します。 	▷ 206 ページ
メディアを再生する	▶ クイック フィルターバー (A (図. 165) を参照) で希望のメニュー オプションを開き、 希望の放送局 / トラック を選択します。	-
メディアソースを選択する	▶ フィルターバー (B (図. 165) を参照) で、 希望のメディアソース を選択します。	-
放送局 / トラック / アルバムの検索 (検索結果は利用可能なすべてのメディアソースに関連したものです)	▶  ▶ メディア  (フィルターバー内)  (B (図. 165) を参照) 希望の放送局 / トラック を入力します。	-
メディアソース / 受信範囲を選択する	▶  ▶ メディア  再生 (A (図. 165) を参照) (フィルターバー内) (B (図. 165) を参照) メディアソース ( ラジオなど) を選択します。	-
メディアソース / 受信コンテンツを表示する	▶  ▶ メディア  リスト (A (図. 165) を参照) (フィルターバー内) (B (図. 165) を参照) メディアソース ( ラジオなど) を選択します。	-
音楽を再生 / 一時停止する	▶  ▶ メディア  再生 (A (図. 165) を参照) ▶ または  (E (図. 165) を参照) をタップします。	-
次 / 前の放送局 / トラックを再生する	▶  ▶ メディア  再生 (A (図. 165) を参照)  または  (E (図. 165) を参照) をタップします。	-
お気に入りの放送局を保存する	▶ 希望の放送局を長押しし、 ☆ をタップします。 - または -  ▶ メディア  再生 (A (図. 165) を参照)、 ☆ をタップします。	▷ 211 ページ

希望する操作	操作方法	操作箇所
放送局 / トラックのリストを表示する	▶ ▶ ▶ ▶ リスト (A (図. 165) を参照) 選択したメディアソースに応じて、プレイリストやアーティストなどのサブフォルダーを利用できます。	-
オンラインステーショントラッキングを起動する	▶ ▶ ▶ ... (F (図. 165) を参照) オンラインステーショントラッキング ¹ 受信状態が悪い場合、放送局は自動的にオンラインで受信され、放送局名の隣にオンラインと表示されません。	-

メディアを再生する

利用できるラジオおよびメディアソース

ラジオはFM および AM (国による) 周波数帯をサポートしています。

車両の装備仕様により、次のメディアソースが利用可能です：USB または Bluetooth® 経由の外部デバイス、オンラインメディアサービス。

対応するメディアおよびファイル形式に関するテクニカルデータ：

▶ 296 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

メディア再生中の他の機能

✓ ▶ ▶ ▶ 再生 が選択されています。

概要説明の機能に加え、以下の機能が利用可能です。

- 現在の再生リストを表示する：
- ランダム再生を有効にする：
- トラックをリピートする：

お気に入りの保存および編集

お気に入りの保存

- ▶ ▶ ▶ ▶ リスト ▶ 希望の放送局を長押しします ☆ をタップします。
- または -
 ▶ ▶ ▶ 再生 ▶ ☆ をタップします。

お気に入りの整理

1. ▶ ▶ ▶ お気に入り ▶ ... ▶ お気に入りの並び順を変更する
2. をタップして編集モードに入ります。

お気に入りの削除

1. ▶ ▶ ▶ お気に入り
2. 希望の放送局を長押しします。
➔ 削除マークが表示されません。
3. 削除マークをタップします。

メディア設定の変更

- ▶ ▶ ▶ ... ▶ 希望の設定を選択する。

1. 必要条件：データ接続が確立されている。ポルシェコネクトサービスが有効になっている。

メッセージ

メッセージの表示






テキストメッセージを読んだり、それらを読み上げさせたり、メッセージに含まれている電話番号に電話をかけることができます。携帯電話がすべての機能をサポートしているわけではありません。この設定に関する詳しい情報は、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。

メッセージアプリケーションは、携帯電話が接続されると通知センターに表示されます。

インフォメーション

- 携帯電話がデバイスのメモリーに保存されているテキストメッセージしか表示できない場合、車両で受信したテキストメッセージは携帯電話のメッセージリストに表示されない場合があります。そうでなければ、受信したテキストメッセージはSIMカードに保存されます。
- PCM はマルチメディアメッセージングサービス (MMS) に対応していません。

テキストメッセージの表示

1.     
 2. リスト内の希望するテキストメッセージをタップします。
- ➡ テキストメッセージはPCMに表示されます。

ナビゲーション

概要 - ナビゲーション

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。操作する際は、この概要のみでなく「安全指示」および「警告」を必ずお読みください。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関して詳しくは以下を参照してください：

▶ 173 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)」の章を参照してください。

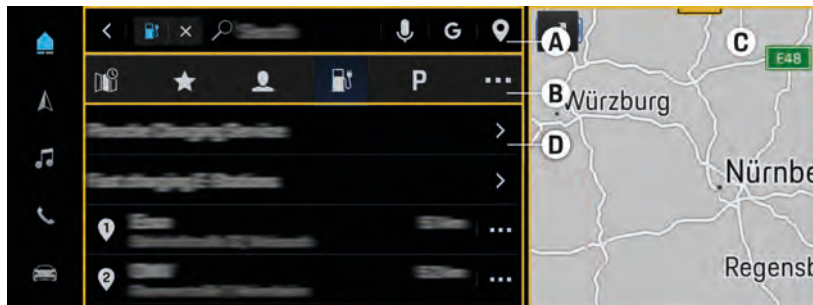












図. 166 目的地の入力 / 検索

希望する操作	操作方法	操作箇所
目的地の検索 / 目的地の住所の入力	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ▶ ナビゲーション <p>コンテンツとインタラクションエリアに候補が表示されます (D [図. 166] を参照)。</p> <p>入力オプション (A を参照) [図. 166]</p> <ul style="list-style-type: none"> - 検索エリア：ルート沿いまたは付近を検索する - 検索 (国によってはご利用いただけない場合があります)¹⁾：インターネット検索 	-
目的地履歴から選択する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ フィルターバー (B [図. 166] を参照) で、 を選択します。 	-
連絡先から目的地を選択する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ フィルターバー (B [図. 166] を参照) で、 を選択します。 	-

1. 必要条件：データ接続が確立されている。ポルシェ コネクト サービスおよびオンラインナビゲーションサービスが有効になっている。

希望する操作	操作方法	操作箇所
検索結果を絞り込む	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 検索結果はフィルターバーで絞り込むことができます (B (図. 166) を参照)。 - 前回の目的地 - お気に入り - 連絡先 - Eステーション - 駐車場 <p>追加のフィルター (施設情報など) は、フィルターバーのオプション... (B (図. 166) を参照) の下に表示できます。</p>	-
GPS 座標の入力	▶  ▶ ナビゲーション  ▶ ... オプション GPS 座標を入力	-
マップビューを開く	▶  ▶ ナビゲーション 	-
ルート オプションを表示する (代替ルートなど)	▶  ▶ ナビゲーション  ▶  ルート オプション	-
ルート案内を開始	▶  ▶ ナビゲーション  ▶  目的地を入力ルート案内を開始をタップします。	-
ルート案内を停止	▶  ▶ ナビゲーション  地図画面で 停止 をタップします。	-
交通情報を表示する	<ul style="list-style-type: none"> ✓ ルート案内を開始している。 ▶  ▶ ナビゲーション  	-
オンラインナビゲーションを有効にする	▶  ▶ 車両の設定  ポルシェ コネクト 設定 ▶ ポルシェ コネクト サービスを選択します。購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。	-

希望する操作	操作方法	操作箇所
ポルシェ コネクト サービスを利用する (オンラインマップアップデートなど)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ データ接続が確立されている。ポルシェ コネクト サービスが有効になっている。ポルシェ コネクト に関する詳細は、以下を参照してください。 ▶ www.porsche.com/connect 	▶ 220 ページ
ETC の表示	▶  ▶  ▶ ETC	▶ 218 ページ

ナビゲーションの使用

▲ 警告

道路交通法を無視することによる事故の危険性。

案内されたルートが該当する道路交通法と反する場合は、いつでも国固有の交通規則が適用されます。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に周囲の交通状況に注意してください。
- ▶ 視界、天候、路面、および交通状況に合わせたドライビングスタイルと速度で走行してください。



▲ 警告

システム関連の不正確さおよび不具合による事故の危険性

人工衛星に基づくナビゲーション中は、不適切な指示や不具合の可能性を排除することができません。ドライバーは常に安全運転に努める責任があります。

- ▶ 常に路面状態に注意してください。

地図からの目的地入力

1.  ▶  を選択します。
2. 地図上で目的地をタッチして長押しします。

3. 表示された住所をタッチして、ルートナビゲーションを開始します。

代替ルート

マップビューには最大3つのルートが表示されます。充電プランナー (国によってはご利用いただけない場合があります) を搭載した車両の場合、NORMAL および RANGE 走行モードでは代替ルートが計算されます。







1. マップビューで... ▶ **代替ルート**を選択します。
2. 利用可能な代替ルートが表示されます。
3. 代替ルートをタップして選択します。
➡ 選択したルートが強調表示されます。
4. **開始**をタップして、ルートナビゲーションを開始します。

▶ 107 ページの「走行モードの概要」の章を参照してください。

ツアーを計画する (経由地の入力)

ツアーは、1つの目的地と最大8箇所の経由地からなります。


ツアーの入力および開始

1.  ▶  ▶  ▶ **目的地を入力** ▶ **開始**。
2.  ▶  ▶  ▶ **経由地を入力** または **選択** ▶ ... ▶ **経由地として追加**。
3. **ツアーの開始**。




ツアーの編集

経由地の順番は後で変更できます。

✓ ツアーが開始されています。

- ▶ オプション ... ▶ **ルートの編集** から、該当する経由地のシンボル  を押したまま希望の位置に移動させてください (ドラッグ & ドロップ)。

地図コンテンツの設定

1.  ▶  ▶  (サイドバーの左)
2. 地図コンテンツの起動 / 停止 (国別仕様による) :
 - **ノースアップ** : 常に地図の上方が北になります。
 - **3D マップ** : 3D マップビュー (と 2D ビュー) の表示または非表示を切り替えます。

- **サテライトマップ** 地図のサテライトビューの表示または非表示を切り替えます。
- **走行可能距離**：地図上の走行可能距離の表示と非表示を切り替えます。

地図設定の変更

1. ▶ ナビゲーション ▶ ... ▶ ナビゲーション設定 ▶ マップ設定

2. 地図コンテンツの起動 / 停止 (国別仕様による) :

- **オートズーム**：地図の自動ズーム機能の有効と無効を切り替えます。
- **施設情報の表示**：地図上の施設情報の表示と非表示を切り替えます。
- **3D建築物**：3D マップビュー (と 2D ビュー) の表示または非表示を切り替えます。
- **速度制限を表示** (装備仕様による)：制限速度をマップ上で表示または非表示にします。
- **デイビュー / ナイトビュー**：マップ上のビューを選択します。

交通情報を表示する

地図上での交通情報の表示¹

地図上に、現在地または選択したルートに関する以下の交通情報を表示することができます。

- **色付き警告シンボル**：選択したルート上に差し迫った交通渋滞。ルート案内が有効でない場合は、現在の交通渋滞がカラー表示されます。
- **グレー表示の警告シンボル**：選択したルート上ではない交通渋滞。

以下の交通量情報が表示されます。

- 緑線：円滑に流れる交通状態
- 黄線：少し進んでは止まる交通状況
- オレンジの線：動きの遅い交通状態
- 赤線：交通渋滞
- 濃い赤線：交通渋滞と封鎖されている道路

加えて、道路工事、事故、事故多発地点などに関する通知も地図上に表示されます。

交通渋滞の回避

ルート案内内で交通渋滞を自動的に回避または表示することができます。

▶ ▶ ナビゲーション ▶ ... ▶ ルートオプション ▶ 動的ルート変更 / 道路交通案内の通知を有効にします。

道路交通案内は、ラジオ放送局またはオンラインコンテンツプロバイダーから発信されます。そのため、この情報の完全性および正確性に関してポルシェは責任を負い兼ねます。

トリップ概要



図. 167 トリップ概要の情報

ルートナビゲーションの作動時に、エリア **A** をタッチするとトリップ概要を開くことができます。以下の現在のルート案内に関する情報が表示されます：


- 到着時刻と目的地における充電状態 (**A** を参照)
- 交通渋滞などによる遅延。遅延の度合いも表示されます (**B** を参照)
- 経由地 (**C** を参照)
- 充電ステーションと充電時間² (**D** を参照)

以下の交通量情報が表示されます。

- 青色：円滑に流れる交通状態
- 黄色：動きの遅い交通状態
- 赤色：交通渋滞

1. 必要条件：データ接続が確立されている。ポルシェコネクトサービスが有効になっている。
2. 必要条件：充電プランナー (国によってはご利用いただけない場合があります) が有効であること。

追加情報の表示

- ▶ 地図またはトリップ概要内の  B (図. 167) を使用して、情報 (渋滞による遅延など) を選択します。
- ▶ このメッセージに関する追加情報が、セントラルディスプレイの詳細エリアに表示されます。

充電プランナー (国によってはご利用いただけない場合があります)

範囲外の目的地が入力された場合、音とインフォメーションテキストによりドライバーに知らせます。充電プランナーは、必要な充電ステーションを自動的にルートに追加します。走行時間と充電時間を考慮して、充電電力 50 kW 以上の充電ステーションが選択されます。代替ルートが選択されている場合、充電プランナーはルートに合わせて走行モード (NORMAL または RANGE) を自動的に調整し、対応する情報テキストがモニターに表示されます。

▶ 215 ページの「代替ルート」の章を参照してください。

充電ステーションと付随する充電時間がルートモニターに表示されます。

高電圧バッテリーは、最適な充電電力を得られるようあらかじめ調整されています。

充電プランナーはアプリで表示することもでき、データを携帯電話から PCM に転送することができます。

▶ 220 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

充電ステーションの詳細を表示する

- ▶  ▶ ナビゲーション  ▶ ... ▶ ルートを編集

個別の充電ステーションに関する以下の詳細は常に更新されており、表示することができます：

- 充電ステーションの名前
- 充電ステーションに到着したときのバッテリーの充電状態
- 充電ステーションへの到着時間
- 充電ステーションまでの距離
- 充電時間
- 目的地に到着したときのバッテリーの充電状態

充電ステーションを手動で追加する



充電ステーションは、手動で経由地および最終目的地として追加できます。

▶ 215 ページの「ツアーを計画する (経由地の入力)」の章を参照してください。

手動で追加された充電ステーションの充電時間が計算され、自動的に追加された充電ステーションが調整されません。高電圧バッテリーは、最適な充電電力を得られるようあらかじめ調整されています。

手動で追加された充電ステーションは、マップビューに青色のフラグで表示され、自動的に追加された充電ステーションは白色のフラグで表示されます。

充電プランナーの作動 / 停止

- ▶  ▶ ナビゲーション  ▶ ... ▶ ルート オプション ▶ 充電プランナー

高電圧バッテリーは、最適な充電電力を得られるようあらかじめ調整されています。

Porsche インテリジェント レンジ マネージャー (PIRM) (装備によって利用できない場合があります)

- ✓ 充電プランナーが作動している。
- ✓ データ接続が確立されている。
- ✓ ポルシェ コネクト サービスで PIRM が有効になっている。

Porsche インテリジェント レンジ マネージャー (PIRM) は、走行モード RANGE に対応する充電プランナーの拡張機能です。

RANGE 以外の走行モードでルート案内が選択されている場合、PIRM は RANGE 走行モードでのルートより速い代替ルートを検索します。PIRM が適切なルートを見つけると、モニターにメッセージが表示されます。

RANGE 走行モードでのルートが選択されている場合、PIRM はそのルートに合わせて RANGE の設定を調整します。

▶ 107 ページの「走行モードの選択」の章を参照してください。

マップビューおよびナビゲーション情報をインストールメント クラスターに表示する

インストールメント クラスターの操作に関する情報は、以下をご覧ください。

▶ 159 ページの「インストールメント クラスターとヘッドアップディスプレイの操作」の章を参照してください。

地図画面の表示および設定

1. インストルメント クラスタ(パワーメーター)上でマップビューを選択します。
 - ▶ 158 ページの「概要 - インストルメント クラスタ」の章を参照してください。
2. マルチファンクション ステアリング ホイールから希望のビュー オプションを選択してください：
 - マニュアルズーム：地図の縮尺を地図画面に合わせて調節します。
 - オートズーム：地図の縮尺は自動調節されます。
 - 3Dマップ：3次元地図を表示します。
 - ノースアップ：常に地図の上方が北になります。
 - マップ情報：インストルメント クラスタ上の「車両 & 情報」ディスプレイでマップビューが選択されていない場合、地図はナビゲーション使用時に自動的に表示されます。
 - 矢印情報：インストルメント クラスタの「速度 & アシト機能」ディスプレイでナビゲーションメニューが選択されていない場合、ナビゲーション使用時にメニューが自動的に表示されます。

インストルメント クラスタ上でのナビゲーション情報の表示

- ▶ インストルメント クラスタの「速度 & アシト機能」ディスプレイにあるナビゲーションメニューを選択します。
 - ▶ 158 ページの「概要 - インストルメント クラスタ」の章を参照してください。

ナビゲーション設定の変更

- ▶ **ナビゲーション** ▶ ナビゲーション設定 ▶ 希望の設定を選択します。

オンラインソフトウェアアップデートの実行

- オンラインソフトウェアアップデートの詳細については、以下をご覧ください：
- ▶ 218 ページの「オンラインソフトウェアアップデート」の章を参照してください。

道路通行料自動収受システム (ETC) の使用

ETC カードの挿入および取り出し



図. 168 グローブボックス内の ETC カードリーダー

1. 有効な ETC カードをカチッと音がするまでカードリーダーに差し込んでください。
2. ETC カードを取り出すには、**△** を押してください
 - ➔ ヘッドラインに表示される **△** は、カードがないこと、またはカードエラーを示します。

ETC 設定

- ✓ ETC カードの詰まり

▶ **車両** ▶ ETC ▶ 支払い方法

- 通行料の表示
- 通行料の警告
- カード抜き忘れ警告

オンラインソフトウェアアップデート

オンラインソフトウェアアップデートのダウンロード

オンラインソフトウェアアップデート機能(一部の国で利用可能)により、PCM および車両をアップデートできます。

オンラインソフトウェアアップデートはバックグラウンドで自動的にダウンロードされます。すべての PCM 機能および車両機能は、ダウンロード中も完全に使用可能です。

- ✓ ポルシェ コネクト ストアでポルシェ コネクト パッケージまたはポルシェ コネクト ケアが購入されている。
- ✓ My Porsche のオンラインソフトウェアアップデートが有効
- ✓ データ接続が正常に確立されています。
- ✓ プライベートモードが無効です。

- ▶ 220 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

ダウンロードは、車両を OFF にすると一時停止し、ON にすると自動的に再開されます。ダウンロード時間は接続品質によって異なります。ダウンロードの完了後、インストールを開始できます。

オンラインソフトウェアアップデートのインストール

インストールの準備ができると、PCM が再起動するたびに、利用可能なオンラインソフトウェアアップデートに関するメッセージが 1 回表示されます。通知で、いつでもメッセージを表示できます。

オンラインソフトウェアアップデート中は、ハードウェアを故障診断用ソケットに接続することはできません。

- ▶ オンラインソフトウェアアップデートの詳細については、ホーム画面で **アップデート** を選択してください。

知識

オンラインソフトウェアアップデート中の使用制限。

作動準備がブロックされています。 ディスプレイと車両機能 (コンフォート機能および充電機能または盗難防止機能など) が一時的に無効になる場合があります。

- ▶ 車両を安全に駐車します。
- ▶ すべての乗員が降車するなど、セントラルディスプレイの要求に従ってください。
- ▶ オンラインソフトウェアアップデート中は、車両を使用しないでください。
- ▶ 車両はインストール後のみ使用してください。

1つのインストールプロセスのみ開始できます。このインストールプロセスは中断できません。インストール時間は、オンラインソフトウェアアップデートの内容によって異なります。インストールすると、オンラインソフトウェアアップデートを元に戻すことはできません。

- ✓ オンラインソフトウェアアップデートが正常にダウンロードされている。
- ✓ 車両がOFFになっています。
- ✓ パーキングロックおよびパーキングブレーキが作動しています。
- ✓ バッテリーは十分に充電されています。

- ✓ 車両から離れて、ロックしている。
- ✓ 他の条件が必要になる場合があります (アクティブ充電のプロセス中ではないなど)。これらの前提条件はセントラルディスプレイに表示されます。

- ▶ **インストール**でオンラインソフトウェアアップデートのインストールを確認します。

作動待機に戻すと、セントラルディスプレイに通知が1度表示されます。車両を再びフル活用することができます。

ⓘ インフォメーション

インストールが確認されていない場合、または後で通知するを使用した場合、インストール時間は自動的に延期されます。

オンラインソフトウェアアップデートの失敗

オンラインソフトウェアアップデートの実行中に故障が発生する場合があります。発生した故障の重大度とその結果は、PCMに表示されます。

故障が発生した場合、セントラルディスプレイ上の関連情報を確認してください。

知識

オンラインソフトウェアアップデートの失敗による損傷と使用制限。

表示および車両機能が正常に機能しません。

- ▶ 車両の作動準備が整っている場合：状況に応じた適切な運転を心がけてください。
- ▶ 車両の作動準備が整っていない場合：ロードサイドアシスタンスに連絡し、車両をけん引して移動してください。
- ▶ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ コネクト

可用性

モデル、国、機器によって異なる使用方法が可能です。そのため、ここに説明されている内容は、すべてのモデル、国別仕様、および装備仕様で利用可能なわけではありません。

国によっては、内蔵 SIM カードまたは外部 WiFi ホットスポット経由でデータ接続を確認することができます。現在有効なデータ接続は、セントラルディスプレイのステータスエリアおよびデバイスマネージャーに表示されます。

▶ 173 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

▶ 206 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

登録および有効化

Porsche ID アカウント (Porsche Connect ユーザー) および Porsche Connect サービスの有効化

✓ Porsche ID アカウントの有効化に関する E メールを受け取っている。

1. Eメールの [Porsche ID アカウントを有効にする] ボタンをクリックして、確認コードを入力します (保存されている携帯電話番号に送信されます)。
2. Porsche ID アカウントのパスワードとセキュリティコードを設定します。
3. プロファイル情報を入力し、Porsche Connect の無料利用期間 (利用可能性は国により異なります) を有効にします。 (国によっては、自動的にバックグラウンドで作動します)

① インフォメーション

Porsche ID を有効化するための E メールが届かない場合、担当のポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

セキュリティコード

Porsche ID で車両に正常にログインし、アプリまたは My Porsche 経由で特定のリモート サービスを使用するにはセキュリティコードが必要です。

1. My Porsche を開きます。 (ポルシェ ウェブサイトの左上からアクセスしますが、国によって異なります。)
2. お客様の個人アクセス データ (Porsche ID およびパスワード) を使ってログインします。
3. セキュリティコードの設定、変更、またはリセットはユーザー設定で行えます。

以下のサービスを使用する場合など、国に応じてセキュリティコードを発行する必要があります。

- 乗車後の Porsche ID のロック解除 (「セキュリティコードでログイン」が設定されている場合)
- 車両のログイン設定の変更 (例: 「セキュリティコードなしでログイン」)
- ポルシェ車両追跡システム (PVTS) の停止
- サブユーザーのためのリモート機能の有効化

My Porsche 経由での追加サービスの有効化

✓ Porsche ID アカウントが有効になっている。

1. My Porsche を開きます。 (ポルシェ ウェブサイトの左上からアクセスしますが、国によって異なります。)
2. お客様の個人アクセス データ (Porsche ID およびパスワード) を使ってログインします。

3. サービス タブを選択します。
➔ 利用可能なサービスが表示されます。
4. ご希望のサービスを選択します。
5. 有効化と設定を実施します。

▶ 218 ページの「オンライン ソフトウェア アップデート」の章を参照してください。

① インフォメーション

- Porsche Connect サービス パッケージは、無料利用期間中、幅広い Porsche Connect サービスを無料で提供します。その期間はサービスと国ごとに期間が異なる場合があります。無料利用期間についての詳細な情報、それ以降の費用と利用可能な各サービスについての情報は、www.porsche.com/connect または担当のポルシェ正規販売店から入手できます。
- 国によっては、Porsche Connect サービスを内蔵 SIM カードまたは外部の WiFi ホットスポット経由で利用できます (ロシアでのみ利用可能)。
- お使いの携帯電話の料金体系によっては (また海外で使用する場合は)、インターネットからデータ パッケージを受信する際に追加料金が発生する場合があります。定額データ プランのご利用をお勧めいたします。サービスの利用可否、範囲およびプロバイダーは国、年式、機器および使用料金によって異なる場合があります。

Porsche ID (Porsche Connect ユーザー) で車両にログインする

一部の Porsche Connect サービスを使用するには、Porsche ID で車両にログインする必要があります。ログインすると、車両で個人の My Porsche の設定にアクセスできます。

- ✓ Porsche Connect ユーザー (Porsche ID) が My Porsche に登録されている。
- ✓ Porsche ID セキュリティ コード (p. 220 ページを参照) が My Porsche で作成され設定されている。

1. **設定** **アカウント** **アカウントを設定**
2. Porsche ID、E メール アドレス、My Porsche パスワードを入力し、**ログイン**で確定します。

ナビゲーションおよびボイスコントロールシステムのサービスの使用

- ナビゲーション目的地の入力およびポータル POI および My Porsche のその他の POI カテゴリーの読み込みのためのオンライン検索機能
- 追加の地図画面。
- リアルタイム交通情報は、インターネット経由で事故、道路工事、渋滞情報およびその他の事象に関する情報が提供されます。
- オンライン音声検索。

データ接続の確立

内蔵 SIM カード経由でデータ接続を確立する

国によっては、内蔵 SIM カード経由によるデータ接続の確立が可能です。

- ✓ プライベート モードが無効になっている。

▷ 221 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

データ接続は、作動待機が確立されると自動的に確立されます。

① インフォメーション

データ接続を確立できない場合は、以下を確認してください。

- プライベート モードが無効になっている。
 - 車両がネットワークからの電波を十分受信できる場所 (電波の届かない場所ではない) にある。
-
- ▷ 必要に応じて PCM を再起動してください。



外部 WiFi ホットスポットを介したデータ接続の確立

外部 WiFi ホットスポットを介したデータ接続の確立は、現在ロシアでのみ利用可能です。

① インフォメーション

外部 WiFi ホットスポットを介したデータ接続には、(データローミングなどによる) 追加のコストが発生する場合があります。

- ✓ 携帯電話 WiFi ホットスポットまたは公衆ホットスポットが利用可能。

1. ステータス エリア  または  において (接続ステータスによって異なる)、... **WiFi 設定**

- ▷ **外部ホットスポットを検索**を選択します。
- ➔ WiFi ネットワークが検索され、表示されます。

2. WiFi ホットスポット (公衆ホットスポットまたは携帯電話の個人ホットスポットなど) を選択し、PCM に WiFi アクセス データを入力します。データ入力時は、大文字 / 小文字に注意してください。
- ➔ 外部 WiFi ホットスポットへの接続が確立します。

PCM WiFi ホットスポットの作動

車両ホットスポットに接続できる WiFi デバイスは最大 8 台です。

1. PCM の WiFi アクセスデータを呼び出す: **設定** **コネクション マネージャー** **PCM ホットスポットに接続**
 - ➔ PCM デバイス名と WiFi パスワードがセントラル ディスプレイに表示されます。
2. デバイスの WiFi 設定に PCM の WiFi アクセスデータを入力するか、デバイスを使用して PCM に表示された QR コードをスキャンします。
 - ➔ PCM のワイヤレス インターネット アクセスへの接続が確立されます。

管理と設定

Porsche ID (ポルシェ コネクト ユーザー) の管理

- ✓ Porsche ID (ポルシェ コネクト ユーザー) がログインしている。

- ▷ **設定** **アカウント** **アカウントを選択...** **アクションを実行する:**

- **セキュリティコードでログイン:** 作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID およびセキュリティ コードを確定する必要があります。
- **セキュリティコードなしでログイン:** 作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID の確定のみが必要になります。
- **自動ログイン:** 作動待機が確立されるか、アカウントが変更されたときに、Porsche ID の再確認を必要とせずに自動的にログインします。

- アカウントの削除：Porsche ID は車両から削除されます。
- アカウントの登録解除：Porsche ID は車両からログアウトされます。ゲストアカウントが有効になります。

サービス概要を表示

- ▶ **設定** ▶ プライバシーおよびポルシェコネクスト設定 ▶ すべてのポルシェコネクストサービスの概要を選択します。
 - ▶ 購入したサービスおよび契約期間に関する情報が表示されます。

リモートアクセス権限の付与

車両で My Porsche または ポルシェ コネクスト アプリ (利用可否は国によって異なる) のサービス制御プログラムを使用するには、リモートアクセス認証が必要です。リモートアクセス認証は、メインユーザーが初めて車両にログインするとすぐに自動付与されます。

- ✓ メインユーザーが少なくとも 1 回車両にログインしている。

- ▶ 以下で登録済みユーザーを確認します： **設定** ▶ アカウント

アプリ

国によって利用可能なアプリは異なります (Apple App Store または Google Play ストアからダウンロード可能)。



警告 運転中の使用および操作

運転中にアプリの設定や操作を行うと、交通状況から注意がそらされる危険があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ アプリを使用および操作するのは車両が完全に停止している場合だけにしてください。

ポルシェ コネクスト アプリ ▶ 222 ページ

このアプリで、車両と携帯電話を接続することが可能になります。たとえば、次の機能を使用できます：個人的に設定した POI (施設情報)、アドレス帳から選んだ目的地、カレンダー入力を携帯電話から PCM に転送することができます。国によっては、必要なアプリをインストールしてアカウントを作成すれば、音楽ストリーミング機能を使用して曲にアクセスできます。

My Porsche アプリ ▶ 222 ページ

このアプリで、車両と携帯電話を接続することが可能になります。たとえば、次の機能を使用できます：車両のロック / ロック解除や補助ヒーターの作動 / 停止、現在の車両データ (走行可能距離など) の取得、目的地のお気に入りとしての保存および車両へのそれらの送信、ルートの計画および車両へのそれらの送信、充電ステーションの検索などのリモート機能やその他の機能。

WiFi 経由でアプリを PCM に接続し、PCM でアプリを起動する

- ✓ アプリが携帯電話にインストールされている (Apple App Store または Google Play ストアからダウンロード)。
- ✓ アプリが起動している。
- ✓ 携帯電話で WiFi が有効になっている。
- ✓ PCM の WiFi 機能が作動している。

1. **デバイス**をタップします **WiFi 設定** ▶ **インターネットアクセスを有効にする**をタップします。

2. PCM の WiFi アクセスデータを呼び出す： **デバイス**をタップします **コネクションマネージャー** ▶ **PCM ホットスポットに接続**します。
▶ PCM のデバイス名および WiFi パスワードが表示されます。

3. デバイス WiFi 設定に表示された PCM WiFi アクセスデータを入力するか、表示された QR コードを携帯電話でスキャンします。
▶ PCM のワイヤレスインターネットアクセスへの接続が確立されます。

車両とアプリ間の通信を無効にすることができます。

▶ 221 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

📘 インフォメーション

アプリを使用して車両固有データおよびその他の機能にアクセスできるため、このデータを保護し、第三者による不正なアクセスを防ぐようお勧めします。このアプリを使用すると、携帯電話ネットワーク経由でデータが送信されるため、ご利用のサービスプロバイダーから追加料金を請求される場合があります。

スマート サービス

一般的な安全に関する指示



警告

運転中の使用および操作

マルチファンクション ステアリング ホイールやインフォテインメント システムなどの設定や操作を行うと、交通状況に対する注意がそらされる危険があります。車両のコントロールを失う恐れがあります。

- ▶ 運転中は、周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限ってコンポーネントを操作してください。
- ▶ 安全にできるか分からない場合は、車両を安全な場所に停車し、車両停車中のみ詳細な操作や設定を行ってください。

機能

車両の一部のコンポーネントは、定期的なメンテナンスまたは交換を必要としています。スマート サービス (国別仕様による) を使用すると、メンテナンスおよび修理データを呼び出して更新できます。コンポーネントのメンテナンスまたは修理が必要な場合、セントラルディスプレイにメッセージが表示されます。

スマート サービスの作動

コネクスト ストアのコネクスト カー パッケージの一部としてアクティベーションが行われます。その後、この機能は自動的に車両で利用できるようになります。

▶ 220 ページの「ポルシェ コネクスト」の章を参照してください。

インフォメーション

ポルシェ コネクストに関する詳細な情報 (ヘルプビデオ、ポルシェ コネクスト取扱説明書およびヘルプ) は、www.porsche.com/connect で入手できます。

スマート サービスの使用

作動後、現在のスマート サービス データをセントラルディスプレイで確認できます。

スマート サービスを開く

- ▶ スマート サービス をタップします。
- ▶ スマート サービス データを含む概要は、次のコンポーネントに関して表示されます。例：
 - ブレーキパッド
 - ブレーキフルード
 - キャビンフィルター

コンポーネントの機能の呼び出し

✓ スマート サービスが開いている。

1. 希望するコンポーネントをタップします。
2. 希望の機能を選択します。

選択したコンポーネントに応じて、以下の機能が利用可能です。

- 手順を開きます。
- 最寄りの修理工場をセントラルディスプレイに表示します。
- コンポーネントをリセットします。
- 新しい有効期限を入力してください。

コンポーネントの停止または作動

✓ スマート サービスが開いている。

1. 希望するコンポーネント...を選択します。
2. コンポーネントを停止 / 作動します。
 - ▶ 停止したコンポーネントに関する必要なメンテナンスまたは修理の通知は表示されません。

必要なメンテナンスまたは修理の通知の表示

- ▶ 次の機会にコンポーネントをメンテナンスまたは修理してください。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

以下の機能を利用できます。

- メッセージを読み上げます。
- 最寄りの修理工場をセントラルディスプレイに表示します。
- メッセージを閉じます。メッセージはPCMを再起動すると再び表示されます。

コンポーネントのメンテナンスおよび修理に関する詳細情報は、My Porsche で開くことができます。

▶ 220 ページの「登録および有効化」の章を参照してください。

スマート サービスの停止

- ▶ プライベート モードを有効にして、スマート サービス (国により利用可能) を無効にします。
 - ▶ 221 ページの「管理と設定」の章を参照してください。

インフォメーション

個々のサービスは、My Porsche のコネクスト設定から無効にすることができます。

スポーツクロノストップウォッチ機能

スポーツクロノストップウォッチを使用して、インストルメントクラスター上で時間を停止、評価、表示できます。

以下の情報を記録し、評価することができます。

- ラップ回数
- 完了したラップ距離
- ラップタイム
- オプション：その他の各種データ（車両位置や速度など）

記録中、以下を表示します。

- 現在のラップ数
- 現在のラップタイムと最速ラップタイムの色分けでの比較
- 基準ラップに対して完了したラップの割合
- 現在のラップタイムが以前の最速ラップまたは選択したラップより速いか、遅いか、同じかを表示するカラーレート
- 残りの記録時間

10 時間まで記録および表示できます。

スポーツクロノストップウォッチの操作 ダッシュボードのストップウォッチ



図. 169 スポーツクロノストップウォッチ

ダッシュボードのストップウォッチに合計時間が表示されます。

アナログポインターは秒を表示します。デジタル表示は最初の 1 分までは 1/100 秒で表示します。その後、表示は 2 番目のステップに進みます。

ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示 およびライトの設定

▶ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。

セントラルディスプレイのストップウォッチ

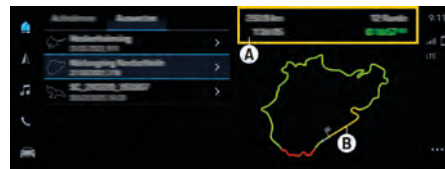


図. 170 セントラルディスプレイのストップウォッチ

- A 全長、合計時間、ラップ数、有効な最速ラップなど記録に関する情報。
- B トラック進捗状況またはラップカウンター付きのサークルダイアグラム：現在のラップと有効な最速ラップとの、カバーされた距離における時間の比較。現在のラップタイムがこれまでの最速ラップより速い（緑色）、同じ（黄色）、または遅い（赤色）のいずれであるかを示すカラーレート。

計時の開始

- ▶ ▶ Sport Chrono ▶ 開始
 - ➔ データの記録が開始されます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されました。

- ▶ ▶ Sport Chrono 停止

計時の継続


- ✓ 計時が停止されました。

- ▶ ▶ Sport Chrono 続行

ラップの停止 / 新しいラップの開始


1回の記録で最大 99 ラップを保存することができます。

✓ 計時が開始されました。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ 新しいラップ
 - ➔ ラップ カウンターの値が 1 ずつ増えます。走行した最速ラップのタイムは、距離の差が設定した差に収まっていれば、最速ラップタイムとして記録されます。


GPS 位置を使用して新しいラップを開始

✓ データ接続が正常に確立されています。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 設定
 - ▶ GPS 位置経由で新ラップを開始
 - ➔ 基準ラップがロードされているかどうかに関係なく、記録が開始されるとすぐに、GPS を介して新しいラップ (2 周め以降) がトリガーされます。


中間タイムの保存

✓ 計時が開始されました。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ 中間タイム
 - ➔ 中間タイムは短時間表示され、保存されません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

ストップウォッチタイムのリセット


✓ 計時が停止されました。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ 記録終了
 - ➔ すべてのストップウォッチ タイム表示は 0 にリセットされ、現在の記録は停止されません。

基準ラップの読み込み


- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ラップ読込

基準ラップの保存


- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 表示
 - ▶ 評価 希望の記録を選択 基準ラップとして保存

記録の表示と編集および統計の記録

1回の記録で最大 99 ラップを記録することができます。基準ラップがすでに読み込まれている場合を除き、記録の中の最初のラップが基準ラップとして使用されます。最大で 10 時間の記録が可能です。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 表示
 - ▶ 評価

記録および基準ラップの名前変更、削除、インポートおよびエクスポート


- ✓ オプション  のクロノ評価が選択されている。
- ✓ インポート / エクスポート用に接続された USB データバンク。データは、記憶媒体の「SportChrono」フォルダーに保存されています。データバンクは FAT32 または exFat (Windows または Linux) 形式にフォーマットされています。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ...

スポーツクロノの設定

展開されたデータ記録の有効化とトラック進捗の表示

ラップの長さおよびラップタイムに加えて、他の走行データ (速度など) を 1/10 秒間隔で記録することができます。トラック進捗も地図に表示させることが可能です。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 設定
 - ▶ 展開されたデータ記録

許可されたルート偏差の設定

基準ラップの長さや任意のラップの長さがどのくらい異なるかを表示します。長さの逸脱が大きいラップは評価に含まれません。


- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 設定
 - ▶ 許可されたルート偏差

評価用の最大タイムの逸脱の設定

記録時に速度が同じ (黄色マーク) と評価されるラップの最大の時間差を示します。

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 設定
 - ▶ 評価用の最大時間差

最速ラップ (ゴーストカー) の車両位置の表示

- ▶  ▶ Sport Chrono ▶ ... ▶ Sport Chrono 設定
 - ▶ 最速ラップの表示位置

インストールメント パネルのストップウォッチ

ストップウォッチが「車両 & 情報」ディスプレイに表示されます。



図. 171 インstrument パネルのストップウォッチ

- A ラップカウンター
- B サークルディスプレイ：基準ラップと比較して既に完了したラップの割合。
- C コントロールコマンド
- D 現在のラップタイム
- E 現時点で最速の有効ラップのラップタイム
- F 選択されたラップタイム

計時の開始

- ▶ **Sport Chrono ▶ 開始**
 - ➔ データの記録が開始されます。基準ラップがまだ読み込まれていない場合は、最初のラップが基準ラップとして使用されます。

計時の停止

- ✓ 計時が開始されました。

- ▶ **Sport Chrono ▶ 停止**

計時の継続

- ✓ 計時が停止されました。

- ▶ **Sport Chrono ▶ 続行**

ラップの停止 / 新しいラップの開始

現在のストップウォッチタイムはラップタイムとして保存されますが、ストップウォッチは停止しません。

- ✓ 計時が開始されました。

- ▶ **Sport Chrono ▶ ラップ**

- ➔ ラップカウンター A (図. 171) が 1 ラップずつ増えます。最速で終了したラップのタイムが最速ラップタイムとして保存されます。

中間タイムの保存

- ✓ 計時が開始されました。

- ▶ **Sport Chrono ▶ 中間タイム**

- ➔ 中間タイムは短時間表示され、保存されません。時間測定はバックグラウンドで継続しています。

サークルダイアグラムの F (図. 171) の部分に、設定されているすべての中間タイムが表示されます。

ストップウォッチタイムのリセット

- ✓ 計時が停止されました。

- ▶ **Sport Chrono ▶ リセット**

- ➔ すべてのストップウォッチタイム表示は 0 にリセットされます。

電話

概要説明 – 電話

この概要説明は包括的な説明に代わるものではありません。特に、安全指示および警告に代わるものではありません。

ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM) の操作に関して詳しくは以下を参照してください：

▶ 173 ページの「ポルシェ コミュニケーション マネジメント システム (PCM)」の章を参照してください。

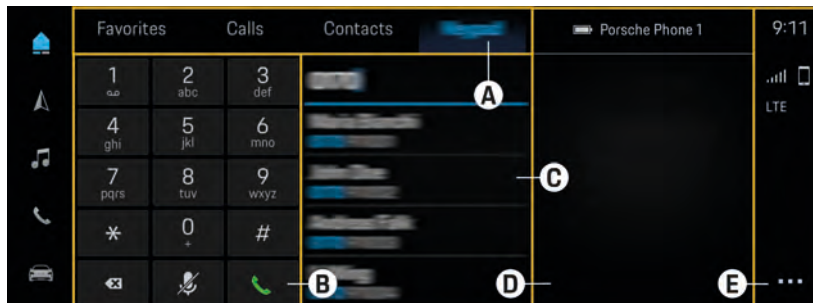


図. 172 電話番号の入力 (キーパッド)

希望する操作	操作方法	操作箇所
Bluetooth® を介した電話の接続	▶ ▶ 電話 既知デバイスを選択または新規検索 ▶ 検索開始をタップします。	▶ 228 ページ
接続された 2 つの携帯電話を切り替える	▶ ステータスエリア (D (図. 172) を参照) で現在接続されている携帯電話を選択します。既に接続している 2 つのデバイスが表示されます。希望する携帯電話を選択してください。 – または – ▶ ステータスエリア (E (図. 172) を参照) で をタップします。	–
携帯電話をお気に入り設定	▶ ▶ デバイスをタップします ☆ をタップします。	–
デバイス リストから携帯電話を削除する	▶ ▶ デバイスをタップします をタップします。 削除する携帯電話の行を右から左にスワイプします。 デバイス リストから携帯電話が削除されます。	–
ダイヤル	▶ ▶ 電話 ▶ キー (B (図. 172) を参照) をタップします。	–
連絡先をお気に入りに登録する	▶ ▶ 電話 ▶ お気に入り (A (図. 172) を参照) + お気に入りに追加 ▶ 希望する連絡先をリストから選択します ▶ ☆ をタップします。	▶ 229 ページ

希望する操作	操作方法	操作箇所
通話履歴を表示する	▶ ▶ 電話 ▶ 通話 (A (図. 172) を参照) - または - マルチファンクションステアリングホイールの ボタンを押します。 通話履歴のリストがインストールメントクラスターとヘッドアップディスプレイに表示されます。	-
連絡先を表示する	▶ ▶ 電話 ▶ 連絡先 (A (図. 172) を参照)	-
メッセージを表示する	▶ ▶ 通知 をタップします。	▶ 212 ページ
ボイスメールを聞く	▶ ▶ 電話 ▶ キー (B (図. 172) を参照) ボタン1 を長押しします。	-
着信に応答する / 拒否する	▶ 応答 または 拒否 をタップします。	-
通話を終了する	▶ キー (B (図. 172) を参照) またはステータスエリア (C (図. 172) を参照) の 拒否 をタップします。 - または - マルチファンクションステアリングホイールの ボタンを押します。	-

モデル、国、機器によって異なる使用方法が可能です。そのため、ここに説明されている内容は、すべてのモデル、国別仕様、および装備仕様で利用可能なわけではありません。

警告 携帯電話を使用することによる事故の危険

走行中に携帯電話を使用すると、交通状況に対する注意力が低下します。運転操作を誤る恐れがあります。

▶ 必ずハンズフリー機器を使用してください。

Bluetooth® 経由で携帯電話を接続する

警告 ケガをする恐れがあります。

ガソリンスタンド、燃料貯蔵所、化学工場、または爆破作業を行っている近くなど、危険な場所では携帯電話の電源を切ってください。携帯電話は機器設備と電波干渉を起こすことがあります。

▶ 常に法律および各地域の規定、および取扱説明書に従ってください。

新しい携帯電話を接続する

▶ 206 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が作動していて、他のデバイスから探索可能な状態になっている。
- ✓ PCM の Bluetooth® 機能が有効になっている。

1. ▶ デバイスをタップします ▶ コネクションマネージャー ▶ 新しい電話を接続 / 新しいオーディオプレーヤーを接続をタップします。
2. リストからデバイスを選択してください。
➔ 6桁の Bluetooth® コードが生成され、セントラルディスプレイとデバイスに表示されます。
3. セントラルディスプレイとデバイスの Bluetooth® コードを比較します。
4. PCM とデバイスの Bluetooth® コードが一致する場合、確認します。
➔ 携帯電話は、接続に成功するとデバイス リストに表示されます。

インフォメーション

- 携帯電話の Bluetooth® の機能によっては、電話帳、通話履歴、およびメッセージの内容にアクセスすることができます。
- 携帯電話が転送機能をサポートしていれば、駐車後、現在の通話を中断することなく携帯電話に転送できます。

登録済みの携帯電話に接続する

- ✓ 携帯電話の Bluetooth® 機能が有効になっています。
- ✓ PCM の Bluetooth® 機能が有効になっている。
▶ 206 ページの「デバイス マネージャー」の章を参照してください。

1. ▶ デバイスをタップします
- または -
(接続ステータスに応じて) ステータス エリアの または LTE をタップします (E を参照)。
➔ 登録されている携帯電話のリストが最大 20 件表示されます。
2. リストから携帯電話を選択してください。
➔ 携帯電話が Bluetooth® 経由で接続されます。

別の携帯電話の接続と使用

- ✓ 携帯電話が既に PCM に接続されている。

1. ▶ デバイスをタップします
- または -
(接続ステータスに応じて) ステータス エリアの または LTE をタップします (E を参照)。
2. リストから携帯電話を選択するか、新しい携帯電話を接続してください (▶ 228 ページを参照)。
➔ 接続された携帯電話は両方とも着信可能ですが、発信は有効な携帯電話のみ行うことができます。
携帯電話が有効な電話として接続される場合、お気に入りとして設定できます (▶ 227 ページの「概要説明 - 電話」の章を参照してください。)

3. 接続された 2 つの携帯電話を切り替えるには、ステータス エリアの右の を選択します (E を参照)。
- または -
電話 ... ▶ 電話設定 ▶ 目的のデバイスを選択します。
➔ 既に接続している 2 つのデバイスが表示されます。

携帯電話の機能

接続ステータスの表示

モデル、国別仕様および装備仕様によっては、以下のようにステータス エリアに表示されることがあります：

- 電話が接続されていない。
- 電話が接続されている。
- 車両データ接続は使用できません (考えられる原因：接続が確立されていない、ネットワーク通信接続不良、または音声接続中のデータ接続中断)。
- LTE LTE 携帯電話ネットワークを介した車両データ接続。
- 接続済みで通話中の電話の携帯電話ネットワークの受信電界強度。
- 外部 WiFi ホットスポットによる車両データ接続。

お気に入りの保存および編集

お気に入りの保存

1. ▶ 電話 お気に入り
2. お気に入りに追加します。
3. 連絡先を選択します。

お気に入りの整理

1. ▶ **電話** ▶ お気に入り
2. 希望する連絡先 ▶ **移動** を選択するために長押しします。

お気に入りの削除

1. ▶ **電話** ▶ お気に入り
2. 希望する連絡先を選択し、 をタップします。
- または -
希望する連絡先を長押しして、 をタップします。

通話中の各種機能

- ✓ ▶ **電話** ▶ キーパッドが選択されています。

マイクのミュート

- ✓ 通話中である。
- ▶ マイクをミュートするには、 をタップします。

通話の保留

- ✓ 通話中である。
- 1. をタップします。
- 2. 通話を再開するには、 をタップします。

電話会議を開始する

- ✓ 通話中である。
- 1. ▶ **新しい通話の追加** (電話番号の入力または連絡先の選択)
- 2. 会議を開始するには、 を選択します。
- 3. 電話会議を停止するには、 を選択します。

2つの会話間の切り替え(スワッピング)

- ✓ 1つ目の通話で通話している。
- ✓ 2つ目の通話が保留になっている。
- ▶ をタップすると、保留中の通話が有効になり、代わりにそれまで有効だった通話が保留になります。

インストルメントクラスター内の電話情報の表示

- ▶ インストルメントクラスターの「車両 & 情報」ディスプレイで希望の機能を選択してください。
 - ▶ 161 ページの「インストルメントクラスターの表示項目」の章を参照してください。
- **着信**：ステアリングホイールの電話ボタンを使用して、着信の**応答**または**拒否**を操作します。
- **通話履歴**：ステアリングホイールの電話ボタンやロータリーノブを使用して、最近ダイヤルした電話番号のリストを表示します。
- **会議**：ステアリングホイールのロータリーノブや電話ボタンを使用して、通話中に別の電話をかけたり、会議通話の参加者を追加したりできます。

インストルメントクラスターの操作に関する情報は、以下をご覧ください。

- ▶ 159 ページの「インストルメントクラスターとヘッドアップディスプレイの操作」の章を参照してください。

携帯電話の収納と充電

携帯電話の収納(国別仕様による)



図. 173 アームレストのスマートフォントレイ

アームレストのスマートフォンシェルフには携帯電話の充電およびPCMへの接続用のUSBインターフェイス(タイプC)があります。

- ✓ 携帯電話のキーパッド/コードロックが有効になっている。
- ▶ 携帯電話の背面がサイドウォール側になるように、携帯電話をスマートフォンホルダーに入れてください。
- ▶ 206 ページの「外部デバイスの接続」の章を参照してください。

携帯電話のワイヤレス充電(国によってはご利用いただけません)

ワイヤレス充電機能はセントラルディスプレイで有効にすることができます。

注意

スマートフォントレイ内の金属の物品

携帯電話のワイヤレス充電中、電話と充電パッドの間に金属の物があると非常に高温になり、怪我や物品の破損が起きる可能性があります。

- ▶ 携帯電話と充電パッドの間に物を置かないでください。

▲ 注意

ワイヤレス充電中の熱の発生

ワイヤレス充電中、携帯電話が非常に熱くなる場合があります。


- ▶ 携帯電話を取り外すときは、温度に注意してください。

✓ 機能が作動しています

- ▶ **☰ ▶ 電話 ☎ ▶ … ▶ 電話設定 ▶ 一般設定 ▶ ワイヤレス充電。**

✓ 携帯電話でサポートされる Qi 規格に準拠したワイヤレス充電。

- ▶ 携帯電話の背面がサイドウォール側になるように、携帯電話をスマートフォンホルダーに入れてください。

- ▶  シンボルがセントラルディスプレイのステータスエリアに表示されます。

充電パフォーマンスは、携帯電話によって異なります。

i インフォメーション

携帯電話または車両が高温になると、携帯電話の充電機能が制限されたり、機能が実行されなくなったりする場合があります。使用されている携帯電話のケースと作動中のアプリが充電機能に影響を与える可能性があります。

i インフォメーション

ワイヤレス充電には交番電磁場が使用されます。感覚器官の炎症、作動中の体内埋め込み機器（ペースメーカー、注入ポンプ、神経刺激装置など）の故障、電源のない体内埋め物（人工ジョイントなど）との干渉などの反応が生じる可能性があります。

- ▶ 充電パッドから常に 10 cm 以上離してください。この距離は、ICNIRP1998 に基づく連続暴露限界に準拠します。
- ▶ インプラントを使用されている方の場合、ご質問は専門医にお問い合わせください。

電話設定の変更**一般設定**

- ▶ **☰ ▶ 電話 ☎ … ▶ 電話設定 ▶ 希望の設定を選択します。**

連絡先の編集

- ▶ **☰ ▶ 電話 ☎ ▶ 連絡先 ▶ … ▶ 希望の設定を選択します。**

荷物および運搬

収納スペース

荷物の収納

▲ 警告

固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

固定されていない荷物、あるいは積載位置が正しくない荷物は、急ブレーキ、進路変更、または事故の際に、位置がずれたり飛び出したりして乗員を危険にさらす可能性があります。

- ▶ この指示で説明されている収納オプションのみを使用してください。
- ▶ 可能な場合は、必ず荷物をロック可能な小物入れに入れて運んでください。
- ▶ センターコンソール(センターコンソールコントロールパネルなど)の開いた表面を荷物の収納に使用しないでください。
- ▶ 前述の状況で荷物が滑ったり投げ出されたりしないように収納します。
- ▶ 荷物が小物入れやラゲッジネットからはみ出していないことを必ず確認してください。
- ▶ 小物入れやトレイを開けた状態で、重い、尖った、鋭利または壊れやすい荷物を輸送しないでください。
- ▶ 走行中はロック可能な小物入れを閉じてください。

車両には以下の収納オプションがあります。

- グローブボックス
- フロントおよびリヤドリンクホルダー
- Bピラーとリヤグラブハンドルの衣類フック
- リヤラゲッジコンパートメントのフロア下の小物入れ
- フロントアームレストの小物入れ

- フロントおよびリヤドアパネルの小物入れとボトルホルダー
- ラゲッジコンパートメントの左右の小物入れを開く
- リヤシートの間的小物入れを開く(リヤシートが2つある車両)

装備によっては、他にも次のような収納オプションがあります。

- センターコンソールコントロールパネルの下の、側面の仕切りがある収納トレイ
- リヤシートの前にあるセンタートンネルの収納トレイ
- リヤラゲッジコンパートメントの収納ネット
- リヤラゲッジコンパートメントのバッグフック

小物入れの開閉

グローブボックスの開閉

グローブボックスを開く



図. 174 グローブボックスを開く

- ▶ ハンドルを引いてください。
➡ グローブボックスは自動的に開きます。

グローブボックスを閉じる

- ▶ カバーを押して閉じてください。

グローブボックスは、エマージェンシーキーを用いてロックやロックの解除ができます。

- ▶ 29ページの「キー」の章を参照してください。

アームレストの小物入れを開く

フロントアームレストの小物入れを開く



図. 175 フロントアームレストの小物入れを開く

- ▶ アームレストの運転席側のボタンを押してください。
 - ➡ リッドが自動的に開きます。

ルーフトランスポートシステム

ルーフに物を載せて運ぶ場合

▲ 警告

固定されていない、または不適切に固定したルーフトランスポートシステムまたは積載器具。

固定されていない、または不適切に固定されたルーフトランスポートシステムは、走行中に車両から外れ、重大事故を起こす恐れがあります。

- ▶ スキー/スノーボードホルダーやルーフボックスなどの積載機器は、サポート底部に対してできる限り中央になるように取り付けてください。
- ▶ 毎回走行を開始する前に、ルーフトランスポートシステムや積載器具が正しく確実に固定されていることを必ず確認してください。長距離走行時は、途中で定期的に確認してください。
- ▶ すべてのファスニングスクリューを再度締め付けます。

▲ 警告

車両のハンドリング特性の変化

ルーフトランスポートシステムを装着して荷物を載せると、車両操縦性が変化します。

- ▶ 適切な運転を心がけてください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムに荷物を載せている場合、130 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムは装着しているものの荷物は載せていない場合、180 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ ポルシェ テクニップメントの積載器具については、速度に関する情報が異なる場合があるため、積載器具の取扱説明書に従ってください。

▲ 警告

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合

荷物が固定されていない、または固定方法が正しくない場合、走行中に荷物がルーフトランスポートシステムから外れ、重大な事故につながる恐れがあります。

- ▶ 荷物は走行中に動かないように適切な方法で固定してください。
- ▶ ルーフトランスポートシステムに荷物を載せる際には、荷物がシステムの側面からはみ出さないようにしてください。荷物が車両の幅を決して超えないようにしてください。
- ▶ ゴムのテンショナーは使用しないでください。
- ▶ ルーフトランスポートシステム上では、荷物の重心ができる限り低い位置になるようにし、荷重が積載エリア全体に分散されるようにしてください。

知識

ルーフトランスポートシステムを装着したまま自動洗車機を使用したり、車高に注意を払わなかったり、許容最大荷重を超過すると、車両やルーフトランスポートシステムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、ルーフトランスポートシステムを完全に取り外してください。
- ▶ 立体駐車場など、高さが限られた場所に進入する前に、ルーフトランスポートシステムを含めた車両の全高を確認してください。
- ▶ 最大ルーフ積載荷重、最大総車両重量および最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。

① インフォメーション

- ▶ ルーフトランスポートシステムを使用しない場合は、ルーフトランスポートシステムを完全に取り外すことで、電力消費が最適化され、ノイズも低減できます。

荷物を安全に確実に運ぶにはルーフトランスポートシステムや他の補助アタッチメント(スキー/スノーボードホルダー、ルーフボックス、バイクラックなど)を使用してください。

- ▶ ポルシェが試験および認定したルーフトランスポートシステムのみ使用してください。市販のルーフラックシステムは装着できません。

ルーフトランスポートシステムについて詳しくは、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ルーフトランスポートシステムの取り付け

適用対象：Taycan

適用対象：パノラマソリッドガラスルーフ装備車両。

知識

キャリアフットで塗装面やガラスを損傷する恐れがあります。

- ▶ キャリアを組み立てている間、組み立て保護具をキャリアフットに固定します。



図. 176 ルーフトランスポートシステムの構成部品

- A フロントキャリアバー (ロング)
- B リヤキャリアバー (ショート)
- C カバートリム
- D トルクレンチ
- E キー
- F 組み立て保護具を固定するアダプターを取り付ける

初回組み立て：

1. フロントおよびリヤキャリアを車両幅に合わせて調節します。

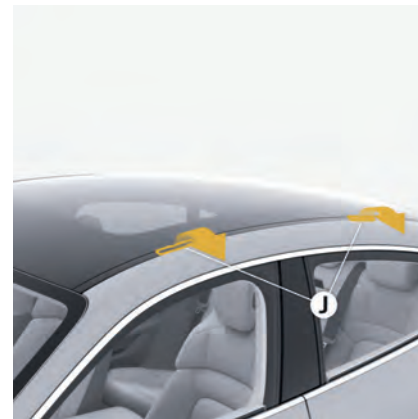


図. 177 ルーフトリムのフラップを開く

2. ルーフトリムのフラップJ(図. 177)を開きます。



図. 178 カバーフラップのロックおよび折りたたみ

- カバーフラップ H (図. 178) をキー E (図. 178) でロック解除して、折りたたみます。

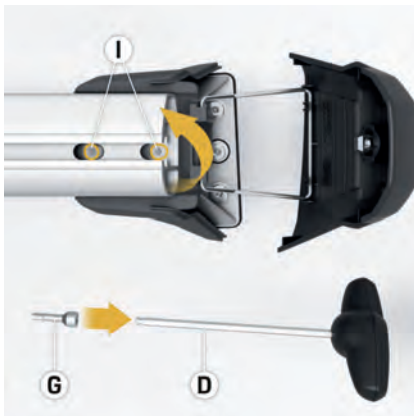


図. 179 調整スクリーをゆるめる

- アダプター G (図. 179) をトルクレンチ D (図. 179) に取り付けます。トルクレンチ D (図. 179) を使用して、各キャリアの 2 か所の上部側の調整スクリー I (図. 179) をゆるめます。

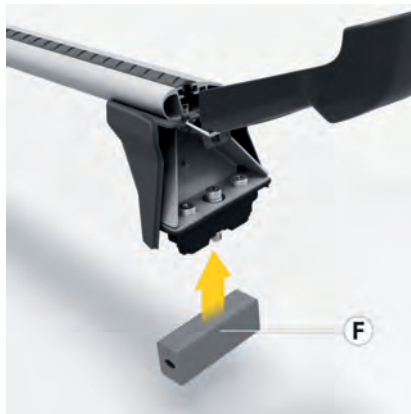


図. 180 組み立て保護具の取り付け

- 組み立て保護具 F (図. 180) を反対側のキャリアフットに取り付けます。



図. 181 キャリアをルーフに取り付ける

- キャリアの下側に貼ってあるステッカーに従ってキャリアが配置されているかどうかを確認します。

長いキャリア A (図. 181) を車両のホルダー K (図. 181) のフロント部に、短いキャリア B (図. 181) をリヤ部に置き、同時に調整式キャリアフィートで車両の幅に合わせます。

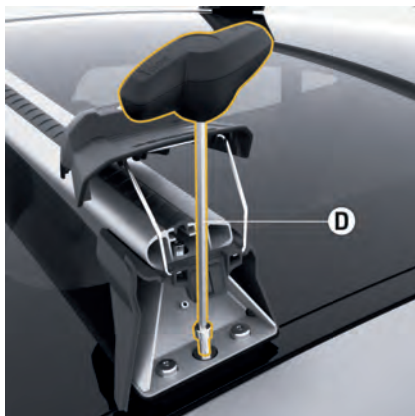


図. 182 ファスニング スクリューを締め付ける

7. トルクレンチ **D** (図. 182) を使用して、キャリアの4つのファスニング スクリューすべてを表面と面一になるまでねじ込みますが、**まだ完全には締め付けません。**

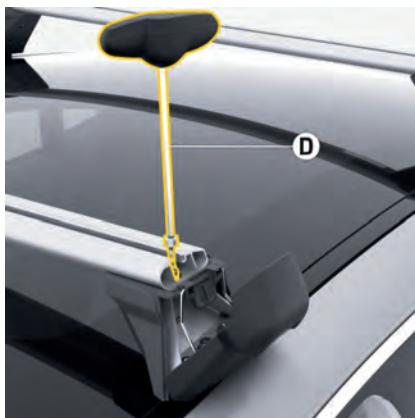


図. 183 調整スクリューを締め付ける

8. 両側のキャリアバーの上側の調整スクリューを**わずかに締め付けますが、まだ完全には締め付けません。**次に、トルクレンチ **D** (図. 183) を使用して、上側の調整スクリューを締め付けます。その際は、「カチッ」という音がするまで、トルクレンチ **D** (図. 183) を回します。
9. 次の手順に進みます。▶ 237 ページの「ルーフトランスポート システムの取り付け」の章を参照してください。

再組み立て

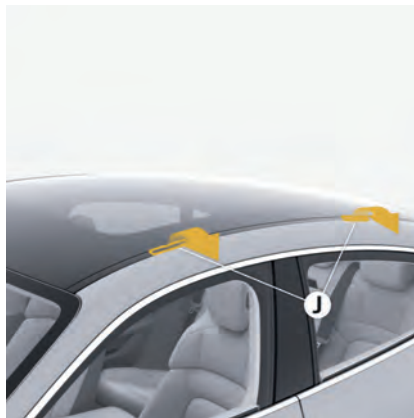


図. 184 ルーフトリムのフラップを開く

1. ルーフトリムのフラップ **J** (図. 184) を開きます。

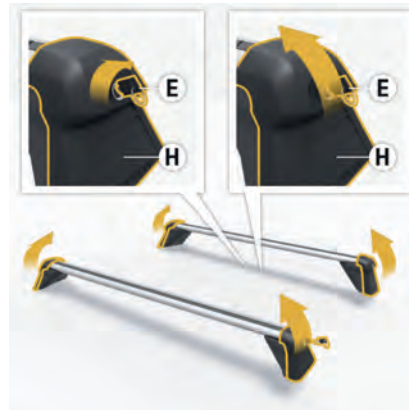


図. 185 カバー フラップのロックおよび折りたたみ

2. カバー フラップ **H** (図. 185) をキー **E** (図. 185) でロック解除して、折りたたみます。

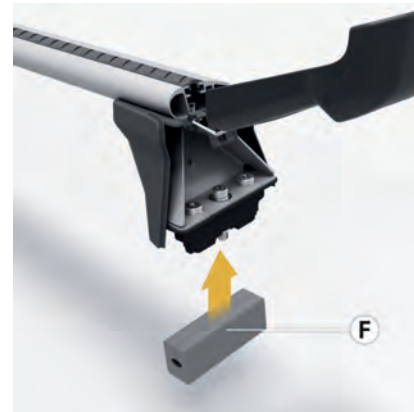


図. 186 組み立て保護具の取り付け

3. 組み立て保護具 F (図. 186) を反対側のキャリア フットに取り付けます。

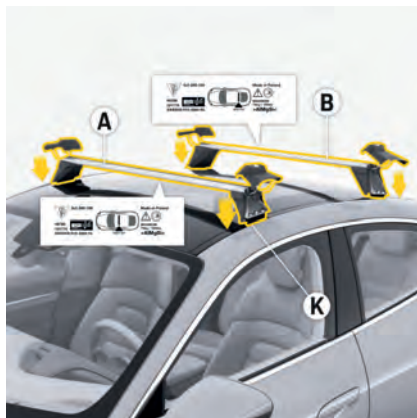


図. 187 キャリアをルーフに取り付ける

4. 長いキャリア A (図. 187) をトリムのくぼみにある車両のホルダー K (図. 187) のフロント部に、短いキャリア B (図. 187) をリヤ部に配置します。

次のステップ

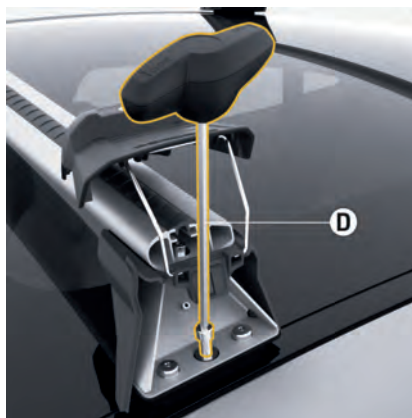


図. 188 ファスニング スクリューを締め付ける

- トルクレンチ D (図. 188) を使用して、キャリア パーの 4 個のファスニング スクリューすべてを表面と面一になるまでねじ込みます。次に、4 個のファスニング スクリューすべてを締め付けます。その際は、「カチッ」という音がするまで、トルクレンチ D (図. 188) を回します。
- キャリアをチェックして、車両にしっかりと固定されていることを確認します。

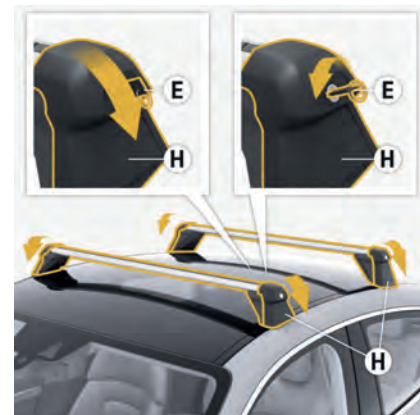


図. 189 カバー フラップを折りたたんでロックする

3. キャリアのカバー フラップ H (図. 189) を完全に下方に下げて、ご希望の積載器具 (ルーフ ボックス、バイク ラックなど) をキャリアに取り付けます。次に、カバー フラップを閉じ、キー E (図. 189) を使用してロックします。

▶ 241 ページの「マウント部品の取り付け」の章を参照してください。

i インフォメーション

50 km 走行後、キャリアおよび積載機器のすべてのスクリューを再度締め付けます。

状態の悪い路面を走行するときは、スクリューを頻繁に点検してください。アタッチメントのゆるみや紛失は、重大な事故につながる可能性があります。

ルーフ トランスポート システムの取り付け

適用対象： Taycan Cross Turismo



図. 190 ルーフトランスポートシステムの構成部品

- A フロントキャリアバー (ロング)
- B リヤキャリアバー (ショート)
- C カバー トリム
- D トルクレンチ
- E キー

初回組み立て:

- ▶ フロントおよびリヤ キャリアを車両幅に合わせて調節します。

ルーフトランスポートシステムのキャリアバーには、下側に前後を示すステッカーが付いています。

- ▶ ステッカーが車両の左側にくるようにキャリアバーを取り付けます。
- ✓ キャリアバーのサポートおよびキャリアバーのサポート表面部分のルーフレールが清掃されている。



図. 191 カバーフラップのロックおよび折りたたみ

1. カバーフラップ F (図. 191) をキー E (図. 191) でロック解除して、折りたたみます。



図. 192 ハンドルの取り外し

2. トルクレンチのハンドルを取り外します。

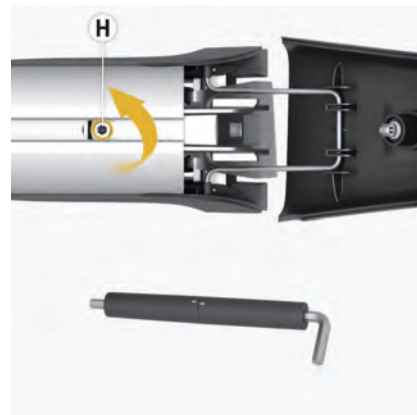


図. 193 調整スクリューをゆるめる

3. トルクレンチ D を使用して、各キャリアバーの上側にある 2 個の調整スクリュー H (図. 193) をゆるめます。



図. 194 キャリアをルーフに取り付ける

4. キャリアの下側に貼ってあるステッカーに従ってキャリアが配置されているかどうかを確認します。

長いキャリアバー **A** (図. 194) をフロント部に、短いキャリアバー **B** (図. 194) をリヤ部に配置します。各ロックピン **I** (図. 194) をルーフレールのそれぞれ該当する穴 **J** (図. 194) に挿入し、その位置で固定します。



図. 195 ファスニング スクリューを締め付ける

5. 両方のキャリアのサポート底部のファスニング スクリュー **K** (図. 195) を軽く締め付けるだけにし、**まだ完全には締め付けない** ください。ロックピンが確実に固定され、キャリアバーがスリップしないことを確認してください。



図. 196 調整スクリューを締め付ける

6. キャリアバーの上側の調整スクリュー **H** (図. 196) を締め付けます。



図. 197 ハンドルの取り付け

7. トルク レンチのハンドルを取り付けます。

再組み立て



図. 198 キャリアをルーフに取り付ける

1. キャリアバーをルーフレール上に慎重に配置し、位置を合わせます。ロックピンI(図. 198)をルーフレールのそれぞれ該当する穴J(図. 198)に挿入し、その位置で固定します。



図. 199 ファスニングスクリューを締め付ける

2. 両方のキャリアのサポート底部のファスニングスクリューK(図. 199)を軽く締め付けるだけにし、**まだ完全には締め付けしないでください**。ロックピンが確実に固定され、キャリアバーがスリップしないことを確認してください。



図. 200 ファスニングスクリューをサポート底部にしっかりとねじ込む

3. トルクレンチD(図. 200)を使用して、ファスニングスクリューK(図. 199)を対角線方向の順に締め付けます。このためには、トルクレンチD(図. 200)の2つの矢印を正確に合わせる必要があります。これにより、2つのキャリアバーが縦方向および横方向に固定されます。



図. 201 カバーを閉じてロックする

4. すべてのカバーF(図. 201)を閉じて、ロックします。その際は、キーE(図. 201)を時計方向に回して垂直位置にしてから、キーを取り外します。

▶ 241 ページの「マウント部品の取り付け」の章を参照してください。

① インフォメーション

50 km 走行後、キャリアおよび積載機器のすべてのスクリューを再度締め付けます。

状態の悪い路面を走行するときは、スクリューを頻繁に点検してください。アタッチメントのゆるみや紛失は、重大な事故につながる可能性があります。

マウント部品の取り付け



図. 202 マウント部品の取り付け

1. カバーフラップをキーでロック解除して、開きます。
2. 所定のT溝にマウント部品を挿入します。
3. カバーフラップを閉じ、キーでロックします。
4. マウント部品の取り付けと固定については、必ず該当する取扱説明書をお読みください。

知識

Taycan Cross Turismo Taycan Cross Turismo：リヤリッドを開くときにマウント部品がリヤスポイラーに当たらないことを確認してください。

プロファイルトリムの閉鎖

水分や汚れから保護し、風切り音を防止するため、マウント部品が使用されていないときはプロファイルトリムのT溝を閉鎖します。



図. 203 プロファイルトリムをサイズに合わせて切り、取り付ける

1. 基本的なキャリアの長さにプロファイルトリムを切断します。
2. プロファイルトリムをT溝に押し入れます。

ドリンクホルダー ドリンクホルダーの使用

▲ 注意

熱い飲み物がこぼれる恐れ

熱い飲み物がこぼれて火傷をする恐れがあります。

- ▶ ふた付きの適切な容器のみを使用してください。
- ▶ 飲み物がいっぱいに入った容器をドリンクホルダーに置かないでください。
- ▶ 熱い飲み物を置かないでください。
- ▶ ドリンクホルダーは、その用途の通り、飲み物を収納するためにのみ使用してください。

知識

飲み物がこぼれて損傷する恐れがあります。

- ▶ ふた付きの適切な容器のみを使用してください。
- ▶ 飲み物がいっぱいに入った容器をドリンクホルダーに置かないでください。

フロントドリンクホルダーの使用



図. 204 フロントドリンクホルダー

ドリンクホルダーはフロントセンターコンソールに1つ、フロントアームレストにもう1つあります。

リヤドリンクホルダーの使用

リヤアームレストにはさらに2つのドリンクホルダーがあります。



図. 205 リヤアームレストのドリンクホルダー

適用対象：リヤシート3席装備車。

- ▶ アームレストのロック解除および開操作。



図. 206 リヤアームレストのドリンクホルダー

適用対象：リヤシート2席装備車。

- ▶ アームレストを開きます。

ボトルの収納

- ▶ ボトルはドアの小物入れに収納してください。

ラゲッジコンパートメント

荷物の積載

▲ 警告

積載時の車両の操縦性の変化

車両の操縦性は積載量によって変化します。

- ▶ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▶ 最大総重量および最大軸荷重を超過しないでください。

▲ 警告

固定されていない、あるいは固定方法や固定位置が正しくない荷物

固定していなかったり不適切な位置に載せられた荷物は、ブレーキやステアリングを操作したとき、または事故の際に、滑り出して乗員がケガをする恐れがあります。

- ▶ 固定していない荷物を輸送しないでください(事故、ブレーキ、コーナリング)。
- ▶ 荷物は常にラゲッジコンパートメントで輸送して、車室内(座席の上または前など)には絶対に入れないでください。
- ▶ 荷物は可能な限りシートバックレストで支えてください。バックレストは必ず固定してください。
- ▶ 重い荷物は必ずリヤシートバックレストを立てて、ロックした状態で積載してください。
- ▶ 可能な限り、空いている座席の後ろに荷物を置きます。
- ▶ 重い荷物はできるだけフロアの前方に寄せ、軽い荷物はその後ろに置いてください。
- ▶ リヤシェルフの上に物を置いたまま走行しないでください。

- ▶ リヤシートに乗員がいない場合は、シートベルトを使用してシートバックレストを補助的に支えることができます。そのためには、外側座席のシートベルトを斜めに渡し、反対側のバックルにはめてください。
- ▶ 小物入れのカバーを開けた状態で重い荷物を運ばないでください。
- ▶ 走行中はロック可能な小物入れカバーを必ず閉じます。

▲ 警告

不適切なタイヤ空気圧

不適切なタイヤ空気圧は、走行安全性に悪影響を与える恐れがあります。

- ▶ 荷重に合わせてタイヤ空気圧を調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧を調整した場合、タイヤ空気圧モニタリングの設定も更新してください。

ラゲッジコンパートメントの最大許容荷重は200 kgです。荷重はラゲッジコンパートメント全体に均等に配分する必要があります。

タイダウンベルトによる荷物の固定

- ▶ 荷物を固定するためにゴムベルトやストラップを使用しないでください。
- ▶ ベルトやストラップが尖った端部を通らないようにしてください。
- ▶ 荷物の上をベルトが横切るようにします。
- ▶ ベルトは必ず手で締め付けてください。補助的なテンション工具(ラチェット)を使用しないでください。
- ▶ タイダウンベルトに関する指示や情報に従ってください。

フードおよびトランクリッドの開閉

- ▶ 33 ページの「ボンネット」の章を参照してください。
- ▶ 35 ページの「リヤリッド」の章を参照してください。

タイヤシーラント(タイヤモビリティシステム-TMS)、工具セット、軽修理用装備の取り外しおよび収納

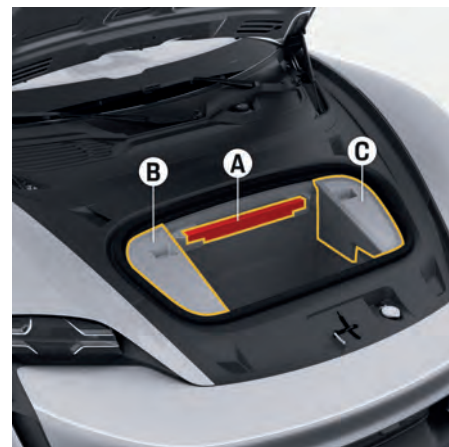


図. 207 フロント ラゲッジコンパートメントのプラスチックボックス

- A 停止表示板(国別仕様により異なる)
- B タイヤシーラント(Tire Mobility System - TMS)、けん引フック、応急処置セット用のプラスチックボックス(国別仕様により異なる)
- C 工具セットおよびタイヤ充填コンプレッサー用のプラスチックボックス

停止表示板の取り外し (国別仕様により異なる)

停止表示板 **A** (図. 207) はラゲッジコンパートメントの裏側に収納されています。

タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS)、けん引フック、応急処置セットの取り外し (国別仕様により異なる)

- ▶ プラスチックボックス **B** (図. 207) からカバーを取り外し、目的の装備を取り出します。

工具セットおよびタイヤ充填コンプレッサーの取り外し

- ▶ プラスチックボックス **C** (図. 207) からカバーを取り外し、目的の装備を取り出します。



図. 208 タイヤシーラント (タイヤモビリティシステム – TMS)、けん引フック、応急処置セット用のプラスチックボックス (国別仕様により異なる)

A タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS)

B けん引フックをゆるめます

C 応急処置セット (国別仕様により異なる)

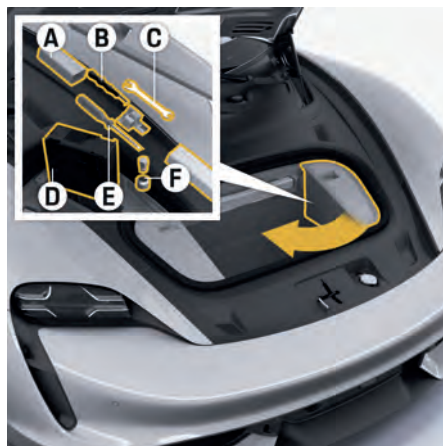


図. 209 工具セットおよびタイヤ充填コンプレッサー用のプラスチックボックス

A 車載工具

B 充電ポートリッド用の緊急解除ツール

C 両口スパナ

D タイヤ充填コンプレッサー

E ドライバー

F 盗難防止ホイールボルト用レンチソケット

フロントラゲッジコンパートメントのプラスチックカバーの取り付けと取り外し

フロントラゲッジコンパートメントのプラスチックカバーの取り外し



図. 210 プラスチックカバーの解除と引き上げ

1. ラッチが外れるまで (外れる音が聞こえます)、プラスチックカバーを持ち上げます。
2. プラスチックカバーを少し前方に引き、前部を持ち上げてください。
3. プラスチックカバーを取り外します。

フロントラゲッジコンパートメントのプラスチックカバーの取り付け



図. 211 プラスチックカバーを閉じる

1. プラスチックカバーの後端部をガイドに差し込み、ホルダー上に置きます。プラスチックカバーの前端を下げてください。
2. カバー下側のセンタリングピンが該当するガイドにはまっていることを確認します。ラッチのはまる音が聞こえるまで、カバーの取っ手部分を下に押してください。

ラゲッジコンパートメントフロアの開閉

ラゲッジコンパートメントフロアを開く



図. 212 ラゲッジコンパートメントフロアを開く

- ▶ タブでラゲッジコンパートメントフロアを持ち上げます。

ラゲッジコンパートメントフロアを閉じる

- ▶ タブを使用してラゲッジコンパートメントフロアを降ろします。

ラゲッジスペースを使用する

ラゲッジコンパートメントカバーの取り外しと取り付け

適用対象：Taycan Cross Turismo

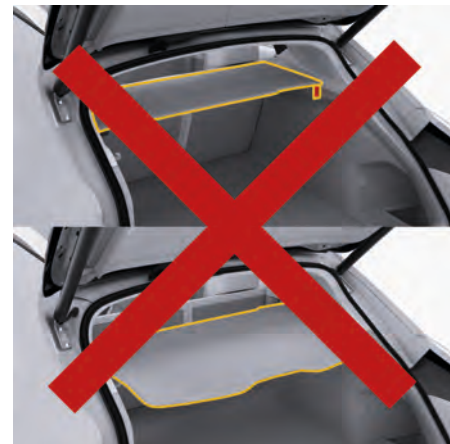


図. 213 ラゲッジコンパートメントカバーの誤った使用



警告

ラゲッジコンパートメントカバーの誤った使用

ラゲッジコンパートメントカバーは前部と後部の2個のパーツで構成されており、しっかりと結合させる必要があります。

- ▶ ラゲッジコンパートメントカバーは必ず両方のパーツを取り付けるか、またはラゲッジコンパートメントカバーをまったく取り付けないかにしてください。
- ▶ ラゲッジコンパートメントカバーが正しく取り付けられている場合は、赤いフラグは見えない状態になります。

知識

リヤリッドが不意に開閉することにより、車両が損傷する恐れがあります。

- ▶ 車両の後方や上方に十分なスペースがあることを確認してください(ルーフトランスポートシステムやガレージの天井など)。
- ▶ 積み荷がラゲッジコンパートメントから突き出したり、はみ出したりしないようにしてください。

知識

ラゲッジコンパートメントシェルフのレッジに、バッグ、衣服、その他の物を取り付けしないでください。

- ▶ 物を取り付けるには、バッグフックのみを使用してください。

ラゲッジコンパートメントカバーの取り外し



図. 214 ラゲッジコンパートメントカバー後部の切り離し

1. 両側のリテーニングストラップを外します。
2. ラゲッジコンパートメントカバー後部をサイドレッジに配置します。

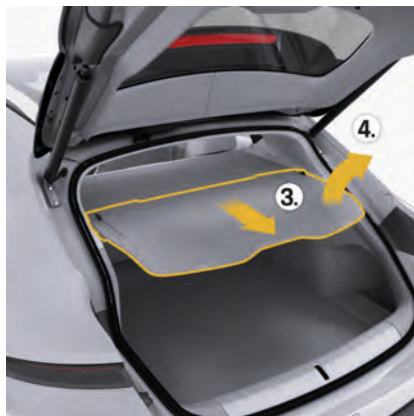


図. 215 ラゲッジコンパートメントカバー後部の取り外し

3. ラゲッジコンパートメントカバーの後部を矢印の方向に引き出します。
4. ラゲッジコンパートメントカバー後部を取り外します。

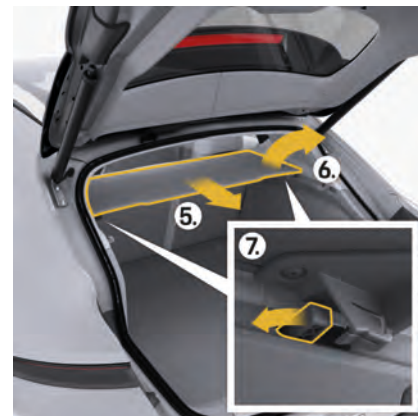


図. 216 ラゲッジコンパートメントカバー前部の取り外し

5. ラゲッジコンパートメントカバーの前部を矢印の方向に引き出します。
6. ラゲッジコンパートメントカバー前部を取り外します。
7. 6つのサイドレッジすべてを格納します。

ラゲッジコンパートメント カバーの取り付け

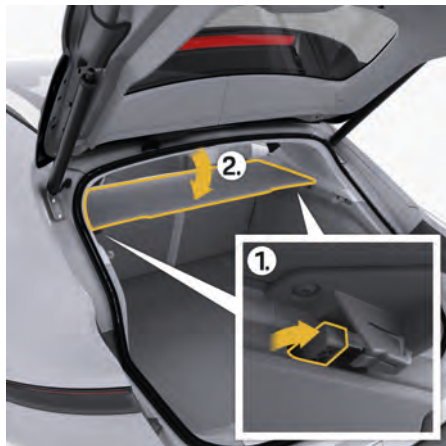


図. 217 ラゲッジコンパートメント カバー前部の取り付け

1. 6つのサイドレッジすべてを拡げます。
2. ラゲッジコンパートメント カバー前部をカチッと音がして収まるまでレッジに挿入します。



図. 218 ラゲッジコンパートメント カバー後部の取り付け

3. ラゲッジコンパートメント カバー後部をラゲッジコンパートメント カバー前部のレッジに差し込み、ラゲッジコンパートメント カバー後部がカチッと音がして収まるまで挿入します。

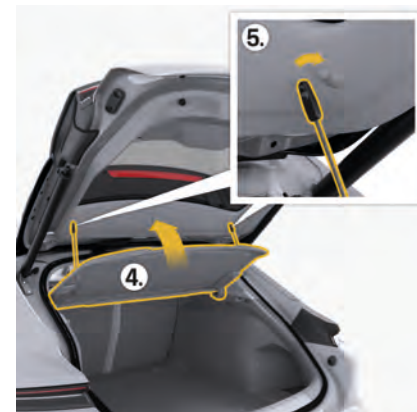


図. 219 ラゲッジコンパートメント カバー後部のはめ込み

4. ラゲッジコンパートメント カバー後部を持ち上げます。
5. 両側のリテーニングストラップを取り付けます。

ラゲッジコンパートメント パーテーションネットの使用

適用対象：Taycan Cross Turismo

ラゲッジコンパートメント パーテーションネットは車室に軽い荷物が飛び込んでくるのを防ぎます。

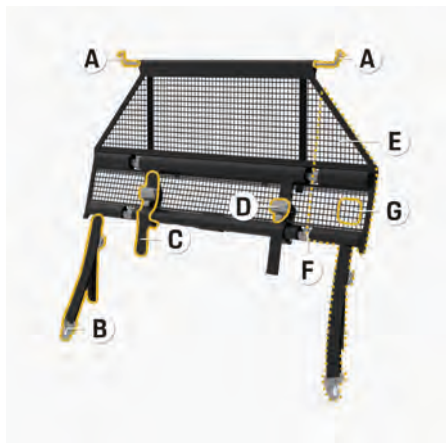


図. 220 ラゲッジコンパートメントパーテーションネット

- A ルーフアンカー
- B フロントタイダウンベルト着用
- C リヤタイダウンベルト着用
- D センターベルトのタイダウンリング
- E ラゲッジコンパートメントパーテーションネットエクステンション
- F ラゲッジコンパートメントパーテーションネットエクステンションのリリース
- G ステッカー

i インフォメーション

車室内のラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り外しと取り付け

- ▶ ステッカー G (図. 220) と後部固定ポイント C (図. 220) のラッシングストラップが後ろ向きになっていることを確認してください。

リヤのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

リヤシートバックレストが前方に折りたたまれます。



図. 221 リヤのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

1. ルーフ左右のリヤ固定リングにラゲッジコンパートメントパーテーションネットを掛けます。

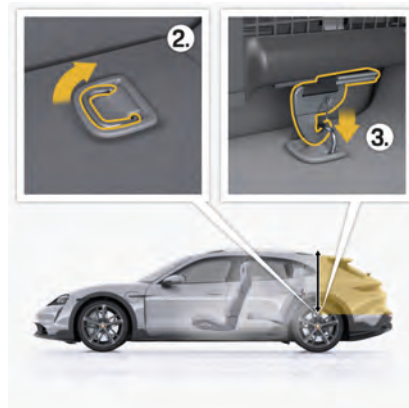


図. 222 リヤのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

2. 固定リングを開きます。
3. 左右にある下部のフック C (図. 220) を使用して、ラゲッジコンパートメントパーテーションネットをはめ込みます。
4. タイダウンストラップを使用してラゲッジコンパートメントパーテーションネットを張ります。ラゲッジコンパートメントパーテーションネットが垂直に張られていることを確認してください。
5. リヤシートバックレストを起こしてください。

フロントのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

リヤシートバックレストが前方に折りたたまれます。

ラゲッジコンパートメントパーテーションネットエクステンション E が開いている。



図. 223 フロントのラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り付け

1. ルーフ左右のフロント固定リングにラゲッジコンパートメントパーテーションネットを掛けます。
2. 下部フック **B** (図. 220) を使用して、ラゲッジコンパートメントパーテーションネットをフットウェルの左右後にあるタイダウンリングにはめ込みます。
3. タイダウンストラップを使用してラゲッジコンパートメントパーテーションネットを張ります。
ラゲッジコンパートメントパーテーションネットが垂直に張られていることを確認してください。

ラゲッジコンパートメントパーテーションネットの取り外し

1. タイダウンストラップ **B** (図. 220) または **C** (図. 220) をゆるめます。
2. ラゲッジコンパートメントパーテーションネットを上部固定リングと下部フックから外します。

3. 必要に応じて、ボタン **F** (図. 220) を押してラゲッジコンパートメントパーテーションネットエクステンションを格納します。

スキーバッグの使用

車内を損傷することなくスキーまたはスノーボードを安全に運ぶことができます。

知識

荷物の鋭い端 (スノーボードなど) によってスキーバッグが損傷する恐れがあります。

- ▶ 荷物の鋭い端部を保護してください。

スノーボードやスキーをスキーバッグに収納する



図. 224 スキーバッグの使用

スキーバッグはラゲッジコンパートメント内の該当するギヤバッグに収納されます。

1. エッジプロテクターをスノーボードまたはスキーに装着します。
2. スノーボードやスキー板をスキーバッグに入れて、バッグを閉じます。スキー板は後端からスキーバッグに入れてください。スキーバッグのファスナーは車両後方に向けてください。
3. スキーを締め付けストラップで締め付けます。スキービンディングはこのストラップより後ろにする必要があります。
4. リヤシート間のパススルーカバーを折り曲げます。
5. タイダウンリングにテンションストラップのブリングフックを掛けます。
6. テンションストラップを締め付けます。

タイダウンリングの使用



図. 225 タイダウンリングの使用

タイダウンストラップをタイダウンリングに留めて、ラゲッジコンパートメントの荷物が移動しないように固定することができます。

- ▶ 荷物固定時に、すべてのリングに均等に負荷がかかっていることを確認します。

① インフォメーション

タイダウンリングは事故の際の大きな負荷に耐えるようには設計されていません。

スモーカーズ パッケージ

灰皿の使用



警告

可燃性物質による火災警告

灰皿に紙類が入っていると引火する可能性があります。

- ▶ 可燃物を灰皿に入れしないでください。

灰皿の挿入



図. 226 灰皿の挿入

車両装備によっては、センターコンソールのドリンクホルダーで灰皿が利用可能です。

▶ 241 ページの「ドリンクホルダー」の章を参照してください。

- ▶ 灰皿をドリンクホルダーに挿入し、しっかりと押し込みます。

灰皿の開閉



図. 227 灰皿の開閉

- ▶ リッドを持ち上げ、倒すことで灰皿を開閉します。

灰皿の取り外し

- ▶ 灰皿を握って取り外します。

電気ソケット

プラグソケットの使用

プラグソケットには電装品(アクセサリ)を接続できません。

USBソケットはフロントアームレストの小物入れ(USBタイプC)とリヤシートの間のリヤの小物入れ(USBタイプC)にあります。12ボルトプラグソケットは、フロントアームレストの小物入れと進行方向右側のリヤラゲッジコンパートメントにあります。

フロントアームレストの小物入れのUSBソケット(USBタイプC)でデバイスを充電することができ、車両の走行準備が整うとデータをPCMに転送することができます。リヤシートの間のリヤのUSBソケット(USBタイプC)で電装品(アクセサリ)をいつでも充電できます(PCMへの転送は不可)。フロントアームレストの小物入れと進行方向右側のブーツにある12Vソケットから電装品(アクセサリ)をいつでも操作できます。

充電アダプターの接続

① インフォメーション

- 12ボルトプラグソケットおよび接続している電装品は、車両がOFFであっても機能します。
- 車両のバッテリーを保護するため、最大30分後に電源の供給が遮断されます。再び電装品をONにするには、電源ボタンを押して車両をONにする必要があります。
- 電装品が1つだけ作動している場合、12ボルトプラグソケットの最大電流値は20Aです。複数の電装品を同時に使用する場合は、12ボルトプラグソケット当たりの電流値が10Aを超えないようにしてください。
- シールドされていない機器を使用すると、ラジオおよび車両電装品に対する電波干渉の原因となることがあります。

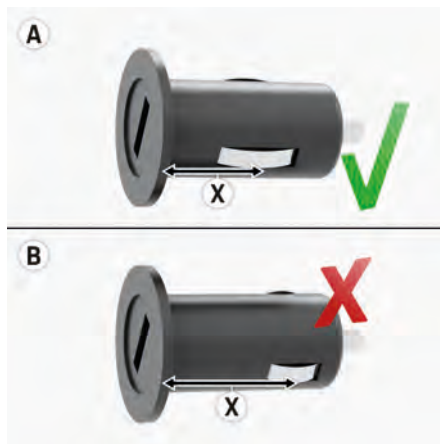


図. 228 12ボルトプラグソケット用充電アダプター

- A 適切な充電アダプター
- B 不適切な充電アダプター

知識

電気システムを損傷する恐れがあります。

- ▶ 適切な充電アダプター(A)のみを使用してください。
グラウンド端子部から充電アダプター上端までの寸法Xは、約16mm以下でなければなりません。
- ▶ グラウンド端子部から充電アダプター上端までの寸法Xが16mm以上の不適切な充電アダプター(B)を使用すると、12Vプラグソケットが損傷することがあります。

モビリティおよび軽修理 12Vバッテリー

一般的な安全に関する指示

この車両には12Vリチウムバッテリー (LiFePO4) が装備されており、従来の鉛バッテリーとは特性が異なります。

▲ 警告

感電、ショート、火災または爆発

車両の通電部品に触れると感電する危険があります。車両電気システムでの作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。燃料、エンジンオイル、トランスミッションオイルなど、自動車用油脂類の多くには非常に引火しやすい性質があります。燃料蒸発ガスは可燃性です。

- ▶ エレクトリカルシステムの作業、バッテリーの取り外しおよび取り付けは、ボルシェ正規販売店のみで実施してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▲ 警告

電解液および有毒ガスの流出

バッテリーの損傷や間違った取り扱いによる例外的な状況では、電解液および有害ガスが漏れる恐れがあります。

- ▶ ガスを吸い込んだり、電解液に触れたりしないようにしてください。
- ▶ 人を周囲に近づけないようにし、かつ人が常に風上にいるようにしてください。
- ▶ リチウムバッテリーの充電は、換気の良好な場所でのみ行ってください。

▲ 警告

不適切なジャンパーケーブルや始動手順

不適切なジャンパーケーブルを使用したり、誤った手順に従って外部電源を供給したりすると、回路の短絡が発生する恐れがあります。短絡は火災の原因となります。

- ▶ 十分な太さがあり、ターミナルクランプが完全に絶縁されている標準的なジャンパーケーブルのみを使用してください。ジャンパーケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。
- ▶ 車両には決して触れないようにしてください。そうしないと、プラス端子を接続した途端、電流が流れる可能性があります。
- ▶ 導電性の装飾品 (指輪、チェーン、時計ストラップなど) が車両の通電部品に接触しないようにしてください。
- ▶ ジャンパーケーブルは絶対に12Vリチウムバッテリーまたは他の電気部品に直接接続しないでください。ジャンパーケーブルを接続するのはジャンパーケーブルによるエンジンの始動用端子のみに行ってください。

▲ 警告

凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパーケーブルによるエンジンの始動

凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパーケーブルによるエンジンの始動は、爆発および化学熱傷を引き起こす危険があります。

- ▶ 凍結または損傷したバッテリーを使用したジャンパーケーブルによるエンジンの始動は、**実行しないでください**。
- ▶ ジャンパーケーブルを接続する前に、凍結したバッテリーを解凍することが重要です。

▲ 警告

損傷のあるバッテリーが引き起こす刺激性ガスの流出

ブースターまたは認定されていない充電器を使用すると、充電対象バッテリーでの充電電圧や充電電流が過度に高くなる場合があります。この場合、バッテリーが損傷して刺激性のガスが流出する恐れがあります。化学火傷およびブースター、充電器、または車両への深刻な損傷が発生する可能性があります。

- ▶ リチウムイオンテクノロジーのブースターは使用しないでください。
- ▶ 内蔵型電子保護回路付きのLiFePO₄バッテリーには、メーカーにより承認された充電器のみを使用してください。
- ▶ 以下の最大値を絶対に超えないでください。
 - 最大充電電圧：14.8V (バッテリーが切り離された状態で故障している場合であっても、電圧ピーク不可)
 - 最大充電電流：90A
- ▶ 疑わしい場合：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

知識

回路のショート、火災、またはオルタネーター、電気系統、および構成部品を損傷する危険があります。

- ▶ バッテリーの脱着は、必ずボルシェ正規販売店で実施してください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ エレクトリカルシステムでの作業時は、常にマイナス端子をバッテリーから切り離してください。

12V リチウム バッテリーはフロント ラググジコンパ
ートメント後方のプラスチック カバーの下にありま
す。

12V リチウム バッテリーの接続は、バッテリーの充電
レベルが低い場合、車両電気システムから
自動的に切り離されます。電気システムは一時的に停止します。バッテリーを充電した場合(10
分以上)、またはジャンパー ケーブルによるエンジンの
始動をした場合、または外部電源を接続した場合、電気
システムは自動的に再作動します。12V リチウム バッテリーは車両電気システムに自動的に再接続され
ます。

▶ ジャンパー ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接
続しないでください。

▶ 254 ページの「外部電源の供給」の章を参照してく
ださい。

▶ 254 ページの「充電器を使用して 12V バッテリーを
充電する」の章を参照してください。

作動待機を確立した後、充電器で 12V リチウム バッ
テリーを(少なくとも 10 分間)充電した後、または車両が
外部電源に接続されると、電気システムは
自動的に再起動します。12V リチウム バッテリーは車
両電気システムに自動的に再接続されま
す。

ジャンパー ケーブルを使用して、他の車両のバッテ
リーを外部電源として使用できます。両方のバッテリー
の公称電圧が 12V でなければなりません。支援車側の
バッテリーの容量(Ah)が、上がったバッテリーの容量
に比べて小さすぎないようにする必要があります。上
がった 12V リチウム バッテリーを車両電気システムに正しく接続する必要があります。

通常の作動条件下で、電源から繰り返し電力を供給したり、12V リチウム バッテリーを繰り返し充電したりし
なければならぬ場合、12V リチウム バッテリーが損
傷している可能性があります。

バッテリー上の安全シンボル



説明書をお読みください



保護眼鏡を着用してください



爆発の危険があります



火気、スパーク、裸火、喫煙は禁止されていま
す
電気配線や電気機器を取り扱うときは、火花
を発生させたり、ショートさせたりしないで
ください。



腐食性火傷の危険があります

電解液は腐食性が高いです：保護手袋と保護
眼鏡を必ず着用してください。



応急処置

電解液が目にかかった場合、直ちにきれいな
水で数分間洗い流し、直ちに医師の診察を受
けてください。電解液が皮膚や衣服にかか
った場合、直ちに石鹸水で中和し、多量の水で
洗い流してください。万一電解液を飲み込ん
でしまった場合は、直ちに医者診察を受け
てください。



お子様を絶対に近づけたりしないでください



廃棄

古いバッテリーは、バッテリー回収場所に持
ち込んでください。



絶対に古いバッテリーを家庭ゴミと一緒に廃
棄しないでください。



メンテナンス作業は、必ずボルシェ正規販売
店で実施してください

ご自身では絶対にバッテリーを交換しないで
ください。この車両のリチウム バッテリーの
交換には、ボルシェ指定のリチウム バッテ
リーのみを使用してください。他のリチウム バ
ッテリーまたは鉛蓄電池の使用は、エレクト
リカルシステムの全面的な故障を含め著しい
不具合の原因になります。
バッテリー交換は必ずボルシェ正規販売店で
実施してください。ボルシェ正規販売店のご
利用をお勧めいたします。十分なトレーニング
を受けた経験豊かなスタッフが、最新の技
術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確か
な整備をお約束します。

リチウム バッテリーのお手入れ

希望する操作	操作方法
冬季走行の準 備をする	▶ 冬になる前に、ボルシェ正規販 売店でバッテリーの点検を受け てください。
バッテリーを 充電する	▶ 損傷したバッテリーは決して充 電しないでください。
長期間使用し ない場合は車 両を休止状態 にします	▶ 車両をガレージやワークショッ プで長期間保管する場合は、ド アとリッドを開けておきます。 ▶ 作動準備を OFF にします。 ▶ 細流充電のために、高電圧バ ッテリーを主電源に接続します。

① インフォメーション

車両を使用していない間でも、バッテリーは常に放電しています。

- ▶ 正常に使用可能な状態を保つには、約6週間ごとの充電またはリチウムバッテリーに適したCC/CVまたはpure CV充電特性を持つトリクル充電器の使用が必要です。ボルシェ テクニップメントの充電器およびトリクル充電器を使用することをお勧めいたします。

充電器を使用して12Vバッテリーを充電する



図. 229 12V リチウム バッテリー端子

- ▶ 充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- ▶ 12V リチウムバッテリーの充電時は、必ず十分に換気してください。

1. ボンネットを開きます。

▶ 243 ページの「フードおよびトランクリッドの開閉」の章を参照してください。

2. プラスチック カバーを取り外します。
- ▶ 244 ページの「フロント ラゲッジコンパートメントのプラスチック カバーの取り付けと取り外し」の章を参照してください。
3. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+のキャップを開きます。
4. 充電器の赤色のプラスケーブルを、ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+に接続してください。
5. 充電器の黒色のマイナスケーブルをアース箇所-に接続します。
6. 充電器のスイッチを ON にしてください。
7. バッテリーの充電後、充電器のスイッチを OFF にして切り離します。
8. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+のキャップを閉じます。
9. プラスチック カバーを取り付けます。

適切な充電器に関する情報は、

- ▶ ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

外部電源の供給

別の車両から外部電源を供給する

1. ボンネットを開きます。

▶ 34 ページの「ボンネットの緊急解除の実行」の章を参照してください。

2. プラスチック カバーを取り外します。

▶ 244 ページの「フロント ラゲッジコンパートメントのプラスチック カバーの取り付けと取り外し」の章を参照してください。

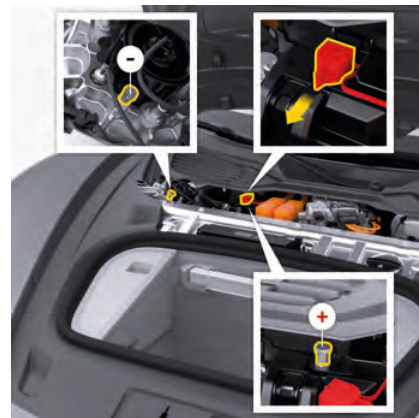


図. 230 12V リチウム バッテリー端子

3. ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+のキャップを開きます。
4. 赤色のプラスケーブルをジャンパー ケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+に接続します。
5. 赤色のプラスケーブルを支援車のバッテリーのプラス端子に接続します。
6. 黒色のマイナスケーブルを支援車のバッテリーのマイナス端子に接続します。
7. 黒色のマイナスケーブルをアース箇所-に接続します。
8. 支援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を高めにします。
9. 外部電源から12V リチウムバッテリーを充電します(5分以上)。
 - ➡ エレクトリカルシステムが自動的に再起動します。

10. 作動待機が確立されている：

まず黒色の**マイナスケーブル**をアース箇所-から外し、次に支援車のバッテリーのマイナス端子からケーブルを外します。

11. 作動待機が確立されている：

まず、赤色の**プラスケーブル**を支援車のバッテリーのプラス端子から外し、次にジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+から外します。

12. ジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+のキャップを閉じます。**13. プラスチックカバーを取り付けます。**

▷ 244 ページの「フロント ラゲッジコンパートメントのプラスチックカバーの取り付けと取り外し」の章を参照してください。

14. 12V リチウムバッテリーの充電を続行するには：充電器を使用して 12V リチウムバッテリーを充電します。

▷ 254 ページの「充電器を使用して 12V バッテリーを充電する」の章を参照してください。

–または–

作動待機が確立されている。

▷ 109 ページの「車両の始動、走行、駐車」の章を参照してください。

別の車両のジャンパーケーブルによるエンジンの始動の実施

✓ 走行準備が確立されている。

1. ボンネットを開きます。

▷ 34 ページの「ボンネットの緊急解除の実行」の章を参照してください。

2. プラスチックカバーを取り外します。

▷ 244 ページの「フロント ラゲッジコンパートメントのプラスチックカバーの取り付けと取り外し」の章を参照してください。



図. 231 12V リチウムバッテリー端子

3. ジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+のキャップを開きます。
4. 赤色の**プラスケーブル**をジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+に接続します。
5. 赤色の**プラスケーブル**を送信先のバッテリーのプラス端子に接続します。
6. 黒色の**マイナスケーブル**を送信先のバッテリーのマイナス端子に接続します。
7. 黒色の**マイナスケーブル**をアース箇所-に接続します。
8. ジャンパーケーブルによるエンジンの始動を実施します。
別の車両の取扱説明書を遵守してください。
9. ジャンパーケーブルによるエンジンの始動用プラス端子+のキャップを閉じます。

10. プラスチックカバーを取り付けます。

▷ 244 ページの「フロント ラゲッジコンパートメントのプラスチックカバーの取り付けと取り外し」の章を参照してください。

12V リチウムバッテリーの交換

警告

不適な 12V リチウムバッテリーによる火災の恐れ

車両電気システムの不具合による作動不良に加えて、不適な 12V リチウムバッテリーの使用または誤った取り付けは特別な状況下で火災の原因になる恐れがあります (充電中など)。

- ▶ ご自身では絶対に 12V リチウムバッテリーを交換しないでください。この車両の 12V リチウムバッテリーの交換には、ボルシェ指定の 12V リチウムバッテリーのみを使用してください。他のリチウムバッテリーまたは鉛蓄電池の使用は、電気システムの不具合を含め著しい不具合の原因になります。
- ▶ 必ずボルシェ正規販売店に 12V リチウムバッテリーの交換を依頼してください。ボルシェではボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ リチウムバッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

サービスステータス

サービスステータスに関する詳細については、以下をご覧ください (一部の国で使用可能)：

▷ 223 ページの「スマート サービス」の章を参照してください。

電源遮断

一時的な電源遮断の後、特定の機器では再初期化が必要です。

1. パワーウィンドウの停止位置を保存します。
 - ▷ 31 ページの「ウィンドウ」の章を参照してください。
2. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) にホイールおよびタイヤを登録します。
 - ▷ 278 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

けん引

車両のけん引

知識

けん引または押しがけによる始動が原因で、車両に重大な損傷を与える危険があります。

- ▶ **けん引または押しがけによる始動は行わない**でください。
- ▶ 車両をけん引しないでください。
- ▶ ロードサイドアシスタンスまたは故障復旧サービスに連絡してください。
- ▶ 復旧車両、車両輸送専用車またはトレーラーに前輪と後輪の両方を載せて車両を輸送してください。
- ▶ ロープ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。テンションストラップをけん引フックにかけないでください。

高電圧バッテリーに不具合があるとき、またはバッテリーが完全に上がってしまったときは、高電圧バッテリーを再充電してからでないと車両を始動できません。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご連絡ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▷ 252 ページの「12Vバッテリー」の章を参照してください。



図. 232 けん引許可



図. 233 けん引不可

- ▷ 258 ページの「鉄道、船舶および積載車での車両輸送」の章を参照してください。

けん引ロープまたはけん引バーの使用による別の車両のけん引

- ▶ これらの仕様と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
- ▶ けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重を遵守してください。けん引ロープまたはけん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
- ▶ けん引する車両より重い車両はけん引しないでください。
- ▶ ブレーキが故障した車両はけん引しないでください。
- ▶ けん引するときは、けん引フックを車両に取り付けてから、けん引ロープまたはけん引バーをけん引フックに取り付けてください。
 - ▷ 257 ページの「けん引フックの使用」の章を参照してください。
- ▶ けん引する前に、両方の車両のドライバーアシスタンスシステムを OFF にします。

けん引ロープの使用

- ▶ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急激な衝撃を与えないでください。

けん引バーの使用

- ▶ けん引バーを斜め方向に取り付けしないでください。

けん引フックの使用

① インフォメーション

- ▶ 車両の輸送に関する法律を必ず遵守してください。
- ▶ お出かけの前に、ドライバーは車両の輸送に影響を与える特別な条件をしっかりと理解しておく必要があります。

フロントのけん引フックの取り付け



図. 234 フロントけん引フック

けん引フックは工具セットに収納されています。

- ▷ 243 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

1. プラスチックカバーの下端をバンパー内に押し込み、カバーを取り外してください。
2. プラスチックカバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック A (図. 234) を反時計方向いっぱいになじ込み (逆ねじ)、手で締め付けます。

リヤけん引フックの取り付け



図. 235 リヤけん引フック

けん引フックは工具セットに収納されています。

- ▷ 243 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

1. プラスチックカバーの上端をマーキングの位置で押し、適切なツールを使用して慎重にプラスチックカバーを取り外してください。
2. プラスチックカバーをバンパーから引き出し、車両に安全に収納します。

- けん引フック A (図 235) を反時計方向いっぱいになじ込み (逆ねじ)、手で締め付けます。

けん引フックの取り外し

- けん引フック A を時計方向に回して外してください (逆ねじ)。
- 開口部の下端にプラスチック カバーを差し込んでください。
- プラスチック カバーを折り曲げ、バンパーにはまるまで上端を押します。
- けん引フックを工具セットに収納してください。

鉄道、船舶および積載車で車両輸送

- ロープ等で車両を固定するときは、ホイール部のみを固定してください。テンションストラップをけん引フックにかけないでください。
- 室内モニタリングシステムと傾斜センサーを解除してください。
 - ▶ 28 ページの「警報システム」の章を参照してください。

フラットベッドの使用

フラットベッドは、トランスミッションパーキングロックまたはエレクトリックパーキングブレーキを解除できる場合にのみ使用してください。故障 (バッテリーの放電など) が発生した場合は、車両をフラットベッドに積み込まないでください。

車両をフラットベッドに載せる



図. 236 車両をフラットベッドに載せる

- トランスミッションレンジ **N** を選択します。
- 作動準備を OFF にします。
 - 約 30 分間、車両のタイヤを回転させることができます。その後、トランスミッションパーキングロックが自動的に作動します。
- 傾斜路をフラットベッドの基部に配置して、積み込み時の角度を小さくします。
- ウインチケーブルをゆっくり引き込み (スピードは 5 km/h を超えないようにすること)、車両のアンダーボディをチェックして、障害物がないかどうかを確認します。

車両をフラットベッドに固定する



図. 237 車両をフラットベッドに固定する

- 後輪の開口部からラッシングストラップを慎重に巻きつけます。ラッシングストラップの金属部分がリムを損傷しないことを確認します。ラッシングストラップがリムビード上で平らに配置されていることを確認します。ブレーキキャリアを損傷しないように注意してください。
- フラットベッドの後部にストラップを固定します。
- ラッシングストラップに張力がかかる程度だけ、ウインチケーブルを引き込みます。
- 前輪の開口部からラッシングストラップを慎重に巻きつけます。ラッシングストラップの金属部分がリムを損傷しないことを確認します。ラッシングストラップがリムビード上で平らに配置されていることを確認します。ブレーキキャリアを損傷しないように注意してください。

- フラットベッドの前部にストラップを固定し
ます。
- ウインチ ケーブルをゆるめますが、外さないで
ください。

ブレーキフルード

ブレーキフルードレベルの点検



図. 238 ブレーキ液タンク

- フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチッ
ク カバーを取り外します。
▷ 244 ページの「フロント ラゲッジ コンパートメ
ントのプラスチック カバーの取り付けと取り外
し」の章を参照してください。
- ブレーキ液タンクのブレーキフルード レベルを読
み取ります。フルード レベルは必ず MIN マークと
MAX マークの間でなければなりません。

ブレーキフルードレベルがMIN マークより下に
ある場合は、ブレーキフルード液を補充します：ポ
ルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正
規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なト
レーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新
の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確
かな整備をお約束します。

- フロント ラゲッジ コンパートメントのプラスチッ
ク カバーを取り付けます。
▷ 244 ページの「フロント ラゲッジ コンパートメ
ントのプラスチック カバーの取り付けと取り外
し」の章を参照してください。

ブレーキフルードの交換



危険

ブレーキフルードの飲み込
み

ブレーキフルードは健康に有害であり、飲み込むと死
に至る可能性があります。

- ▶ カーケア用品はお子様の手が届かない場所に保管
してください。
- ▶ ペットをブレーキフルードに近づけないでくださ
い。ペットは、こぼれたブレーキフルードや開口
容器に保管されている古いブレーキフルードに引
き付けられる可能性があります。
- ▶ ブレーキフルードが皮膚や目に付着した場合は、
すぐに患部をきれいな水で数分すすいでくださ
い。直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ ブレーキフルードの補充容器に関するすべての情
報に注意を払ってください。

ブレーキフルードの定期的な点検および交換は、メン
テナンスの一部です。

- ▶ ご自身ではブレーキフルードを交換しないでくださ
い。

ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ
ではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいた
します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなス
タッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置
を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▷ 15 ページの「お出かけの前に：車両に関する重要な
情報」の章を参照してください。

警告メッセージへの対応

ブレーキフルードレベルが低すぎる場合、インストルメントクラスターに警告灯 (C) と警告メッセージが表示されます。ペダルの可動域が大きくなり、警告灯が点灯する場合、ブレーキシステムが故障している可能性があります。

- ▶ 安全な場所に停車し、運転を続けしないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 184 ページの「警告および情報メッセージ」の章を参照してください。

クーラント

一般的な安全に関する指示



警告

クーラント リザーバータンク

クーラント リザーバータンクは加圧されており、高温のクーラントが入っています。クーラント リザーバータンクを開けると、クーラントが突然噴き出すことがあります。

- ▶ クーラント リザーバータンクのキャップは決して開けないでください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 加熱した車両部品の近くでは、十分注意して作業を行ってください。

知識

警告灯の表示後も車両を運転し続けると、損傷する恐れがあります。

- ▶ 車両を駐車して冷却してください。
- ▶ 早急に故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご連絡ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

クーラントレベルの低下は、クーラントシステムからの漏れといった車両の不具合を示しています。

- ▶ クーラントをご自身で補給することは決してしないでください。
- ▶ 早急に原因を解消してください。ポルシェ正規販売店にご連絡ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジンクーラントには年間を通じた腐食防止と、-37°C までの凍結防止の働きがあります。クーラントレベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。

1. ポルシェでは Glysantin® G40® (または、G12+ +/VW TL 774 G に準拠した不凍液) を推奨しています。
2. ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

充電

高電圧バッテリーの充電

⚠ 危険

不適切な充電

間違った充電プロセス、一般的に当てはまる安全上の注意事項の非遵守、高電圧バッテリーの不適切な取り扱い、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

- ▶ 車両を始動する前に、車両充電ケーブルを外し、カバーおよび充電ポートリッドを閉じ、車両充電ケーブルを安全な場所に収納してください。
- ▶ 高電圧バッテリーの充電時は、必ず規定の順序を遵守してください。充電プロセス中は、電気ソケットから車両充電ケーブルを切り離さないでください。充電プロセスが終了した後、電気ソケットから車両充電ケーブルを切り離してください。
- ▶ ポルシェ充電装置の取扱説明書の安全に関する指示を参照してください。
- ▶ 充電プロセス中は車内または車両の作業を実施しないでください。
- ▶ 両方の充電ポートで同時に車両を充電しないでください。

⚠ 危険

不適合または損傷した電気ソケットおよび車両充電ケーブル

不適合または損傷した電気ソケットと車両充電ケーブルの使用、および高電圧バッテリーの不適切な取扱いは、感電、ショート、爆発、火災、火傷の原因となります。

- ▶ 電気自動車の高電圧バッテリーの充電には、メーカーにより点検および承認された車両充電ケーブルのみを使用してください。
- ▶ 該当する国に適切な充電装置を設置してください。
- ▶ 車両充電ケーブルを接続する電気ソケットの取り付けは、必ず専門家が行ってください。
- ▶ 損傷した、または汚れた電気ソケットに、車両充電ケーブルを接続しないでください。
- ▶ 損傷した車両充電ケーブルを使用しないでください。
- ▶ 延長ケーブル、ケーブルリール、電源タップ、またはトラベルアダプターを使用しないでください。
- ▶ いずれの電子部品に対しても、改造や修理を行わないでください。
- ▶ 電気ソケットおよびプラグコネクターを水、湿気、その他の液体から保護してください。
- ▶ 充電ソケットの汚れ、氷、雪を、鋭いものまたは先が尖ったもので取り除かないでください。
- ▶ 充電ソケットが汚れている場合は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▶ 車両の充電ポートに異物を挿入しないでください。

⚠ 警告

固定されていない車両充電ケーブル

固定されていない、あるいは固定方法や固定位置が正しくない車両充電ケーブルは、ブレーキの際、進路変更時、または事故発生時に位置がずれて乗員を危険にさらす可能性があります。

- ▶ 車両充電ケーブルを車室内（シートの上や前など）に置いたり、固定しない状態で輸送したりしないでください。
- ▶ 車両充電ケーブルは、必ずラゲッジコンパートメントの充電バッグまたはラゲッジコンパートメントの専用的小物入れに保管してください。

⚠ 注意

植込み型ペースメーカーおよび植込み型除細動器

植込み型ペースメーカーまたは植込み型除細動器（ICD）をご使用になっている方の場合、充電中に充電器本体から放出される電磁波が一時的にペースメーカーまたはICDの機能を損なう恐れがあります。したがって、以下の注意事項に従ってください。

- - 充電器に近づかないでください。
- - 充電器を使用する場合は、他の人に操作を依頼してください。
- 他の種類の電気医療機器を使用している場合は、機器製造元に障害のリスクがあるかどうか確認してください。

知識

電源の過電圧により、充電装置および車両が損傷する恐れがあります。

- ▶ 雷雨のときは、車両充電ポートを使用して高電圧バッテリーを充電しないでください。
- ▶ 雷雨発生時には、可能なら充電装置を主電源装置から切り離します。

一般充電およびお手入れの諸注意

高電圧バッテリーは、物理的および化学的な劣化と消耗のプロセスの影響を受けます。これにより、使用パターンや環境条件に応じて、ライフサイクル全体にわたって高電圧バッテリーの容量が減少します。そうすると特に、バッテリーが古くなるにつれて最大走行可能距離が減少し、充電時間が長くなります。

バッテリーの劣化と消耗を抑えるために、以下の対策を講じることができます。

- ▶ 充電プロセス中は、可能であれば車両の温度が約 -20°C から $+30^{\circ}\text{C}$ の間になるようにします。
- ▶ 可能であれば、車両を長時間 30°C を超える温度にさらさないでください(直射日光の当たる場所に長時間駐車するなど)。
- ▶ 外気温度が 30°C 以上で停車中の場合、作動後に車両を主電源に接続し、高電圧バッテリーを交流 (AC) で充電し、充電レベルは最大 85% までにします。タイマー機能を使用します。
- ▶ 外気温が 35°C を超える場合、高電圧バッテリーの冷却効果を最大化するために、150 kW を超える直流 (DC) での充電直後は走行モード「Range」を使用しないでください。
- ▶ 高電圧バッテリーのプレコンディショニングにより、充電時間が短縮されます。長距離走行中は特に、充電プランナーを使用して高電圧バッテリーの充電を開始し、可能であればタイマーまたはプロファイル機能を使用して交流 (AC) でバッテリーを充電します。
- ▶ 長距離走行を行わない日常用途の車両の場合、タイマー機能を使用して、高電圧バッテリー充電レベルを約 80% でプログラムします。
- ▶ 充電レベルが 5% 未満の場合、作動後に車両を主電源に接続し、高電圧バッテリーを充電してください。

- ▶ 必要に応じて、長距離走行開始前にバッテリー充電レベルが 100% になるようにプログラムすることができます。
- ▶ 地域の充電インフラの特徴に注意してください。充電はしばらく開始しない場合があります。充電スタンドのスタート ボタンを押します。

高電圧バッテリーのお手入れに関する詳細情報：




▶ 272 ページの「車両のお手入れ」の章を参照してください。

充電機器に関する指示

- ▶ 充電器とウェブ アプリケーションに関する詳細情報は、以下のウェブアドレスの「E パフォーマンス」で入手できます。 <https://www.porsche.com>
- ▶ 電気自動車の高電圧バッテリーの充電には、点検および承認済みの、国内規格および法規に適合した車両充電ケーブルのみを使用してください (IEC 62196-2、SAE J1772 または GB/T 20234-2 に準拠して標準化された充電プラグおよび IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 (モード 2 および 3) に準拠した充電プロセス)。保護なし車両充電ケーブル (IEC 61851-1、SAE J1772 または GB/T 18487 (モード 1) に準拠して標準化された) には対応していません。
- ▶ 最大長 30 m の充電ケーブルのみを使用してください。
- ▶ ポルシェ充電ドックまたは基本的なウォール マウントと共に、ポルシェによって承認および供給されている充電機器の使用を推奨します。ポルシェ充電装置に付属の注意事項および使用する車両充電ケーブルの注意事項をよくお読みください。

車両と充電インフラの互換性

現地での電源接続が車両に適しているかどうかは、DIN EN17186 に準拠した情報プレートにより知ることができます。これは車両の充電ソケット、ローカル充電インフラ (充電ステーション、電源ソケット) のコンポーネント、および充電ケーブルに付けられています。このマークは、車両に適した充電ステーションを見つけやすくするためのものです。情報プレートは規格化された充電システム DIN EN62196 を示しています。

供給タイプ	規格	デザイン	コネクタタイプ	電圧範囲	コード
AC	EN62196-2	タイプ 2	運転席側の車両カップリングおよび車両プラグ	≤ 480 V RMS	
AC	EN62196-2	タイプ 2	コネクタおよび電気ソケット	≤ 480 V RMS	
DC	EN62196-3	FF	助手席側の車両カップリングおよび車両プラグ	200 V~920 V	

充電には、家庭用および工業用電気ソケットまたは一般の充電ステーションの交流 (AC) を使用できます。

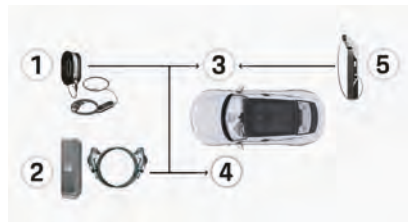


図. 239 高電圧バッテリーの充電

車両の高電圧バッテリーは運転席側 (LHD : 4、RHD : 3 (図. 239)) の充電ポートから交流 (AC) で充電できます。国および装備によっては、助手席側にもう 1 つ AC

充電ポート (LHD : 3、RHD : 4 (図. 239)) があります。どちらの充電ポートも充電電力は同じです。1 つの充電ポートを使用している場合、他の充電ポートは無効になります。

充電時間短縮のために、充電ステーションの工業用電気ソケット 2 またはウォールボックス 1 (図. 239) での充電を推奨します。他の充電設備を利用できない場合は、家庭用電気ソケット 1 でのみ高電圧バッテリーを充電してください。

一般の充電ステーションでの直流 (DC) による急速充電

車両の高電圧バッテリーは助手席側 (LHD : 3、RHD : 4 (図. 239)) の充電ポートから、直流 (DC) 5 (図. 239) の充電ステーションで充電できます。これにより、充電時間が大幅に短縮されます。

最短時間で高電圧バッテリーを充電する場合は、直流 (DC) で充電することを推奨します。充電プランナーの使用により、充電時間を最短にすることができます。

高電圧バッテリーの劣化と摩耗は、バッテリーにやさしいクイック充電機能を使用して低減できます。急速充電は時間がかかる場合があります。

セントラルディスプレイ

1. ▶ 充電 ▶ 概要 ▶ …
2. バッテリーにやさしいクイック充電を有効にします。

充電ポート リッドの開閉

知識

異物や氷によって充電ポート リッドを損傷する恐れがあります。

- ▶ 開閉する前に、充電ポート リッドに異物や氷の付着がないか確認してください。
- ▶ 充電ポート リッドが損傷した場合は、ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▶ 272 ページの「車両のお手入れ」の章を参照してください。

充電ポート リッドは、車両の装備に応じて手動または電動で作動します。

手動充電ポート リッドの開閉



図. 240 車両の外側にある手動充電ポート リッドの開閉

適用対象：手動充電ポート リッド装備車両。

- ✓ 車両がロック解除されているか、キーが充電ポート リッドの近くにある (装備によって異なります)。
 - ✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動している。
1. 充電ポート リッドの後部を押して開きます。
 - ➡ 充電ポート リッドが開きます。
 2. しっかりと合まるまで充電ポート リッドの後部を押して閉じます。

電動充電ポート リッドの開閉

車両の外側にある電動充電ポート リッドの開閉




図. 241 充電ポート リッドを開く

適用対象：電動充電ポート リッド装備車両。

- ✓ 車両がロック解除されているか、キーが充電ポート リッドの近くにある (装備によって異なります)。
 - ✓ パーキング ロックおよびパーキング ブレーキが作動している。
1. フィンの下側に沿って手を動かし、フィンを開きます。
 - ➡ 充電ポート リッドが開きます。
 2. フィンの下側に沿って手を動かし、フィンを閉じます。
 - ➡ 充電ポート リッドが閉じます。

電動充電ポート リッドは、120 秒後か、車両プラグを取り外してから 10 秒後か、車両がロックされると直ちに、自動的に閉じます。

センターコンソールコントロールパネルを使用した電動充電ポートリッドの開閉

1.  をタップします。
2. 希望の充電ポートリッドを選択します。
➔ 充電ポートリッドが開閉します。

充電プロセスの開始と終了

車両プラグを車両充電ポートに挿入し、充電プロセスを開始する

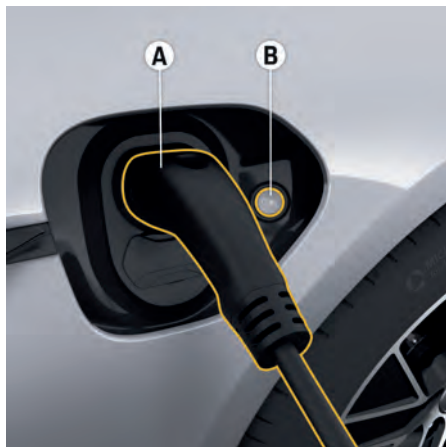


図. 242 車両プラグの挿入

- A** 車両プラグ
B リリースボタン
- ✓ パーキングロックおよびパーキングブレーキが作動している。
 - ✓ 充電ポートリッドが開いている。
 - ✓ 主電源装置に車両の充電ケーブルが接続されている。

1. 充電機器および使用する車両充電ケーブルの取扱説明書を参照します。
2. 車両プラグ **A** (図. 242) を、ロックする定位まで完全に充電ポートに差し込みます。車両プラグが重い場合には、車両プラグを少し持ち上げてロックしなければならない場合があります。
➔ 車両プラグがロックされ、タイマーまたはプロファイル機能、およびローカル充電インフラに従って、充電プロセスが自動的に開始します。タイマーまたはプロファイル機能が作動していない場合、充電は 100% の充電レベルまで自動的に実行されます。リリースボタン **B** (図. 242) は、車両プラグがロックされているかどうかを示すほか、高電圧バッテリーの充電レベルも示します。

▷ 266 ページの「車両充電ポートの充電ステータス表示およびロックステータス表示」の章を参照してください。

① インフォメーション

- 車両ロック時に車両プラグが差し込まれている場合、車両プラグはロックされたままになります。
- 充電中にトランスミッションレンジ **D** を選択すると、充電プロセスが中断されます。車両プラグを取り外さなければ、約 20 秒後に充電プロセスが再開されます。
- 交流 (AC) で充電するときにタイマーまたはプロファイル機能が作動している場合、充電プロセスの開始はタイマーまたはプロファイル機能によって決まります。車両プラグを挿入してロックした直後には、充電が開始されない場合があります。
- 充電中はラジオの受信が制限される場合があります。

充電プロセスを終了し、車両充電ポートから車両プラグを取り外す

1. 車両をロック解除します。
2. 車両充電ポートのリリースボタン **B** (図. 242) を押します。
➔ 車両プラグのロックが解除されます。充電プロセスが開始していた場合でも、終了します。
3. 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグ **A** (図. 242) を切り離します。
4. 車両充電ケーブルを主電源から切り離し、安全に収納します。
5. 充電ポートリッドを閉じます。

① インフォメーション

- 高電圧バッテリー充電のための規定順序を遵守してください。
- 充電プロセスが終了した後、電気ソケットから車両充電ケーブルを切り離してください。
- 進行中の充電プロセスは、車両プラグをロック解除することでいつでも終了できます。
- 高電圧バッテリーの充電に関する安全指示を守ってください。

即時充電機能を使用する

タイマーまたはプロファイル機能が作動している場合、セントラルディスプレイとセンターコンソールコントロールパネルから即時充電機能を作動させることができます。高電圧バッテリーは、タイマーまたはプロファイル機能に関係なく、最大充電レベル 100% まで充電します。タイマーまたはプロファイル機能が作動していない場合、即時充電機能を作動させる必要はありません。車両プラグを挿入すると、充電プロセスが自動的に開始します。


セントラルディスプレイ

- ✓ 車両プラグが挿入されている。
- ✓ タイマーまたはプロファイル機能が作動している。

1. ▶ 充電 ▶ 概要

2. 直接充電を有効にします。
 - ➔ 高電圧バッテリーが充電されます。

センター コンソールコントロールパネル

1.  をタップします。
2. 直接充電をタップします。
 - ➔ 高電圧バッテリーが充電されます。

車両充電ポートの充電ステータス表示およびロックステータス表示

リリースボタンリングは、車両プラグのロックステータスと高電圧バッテリーの充電レベルを示します。

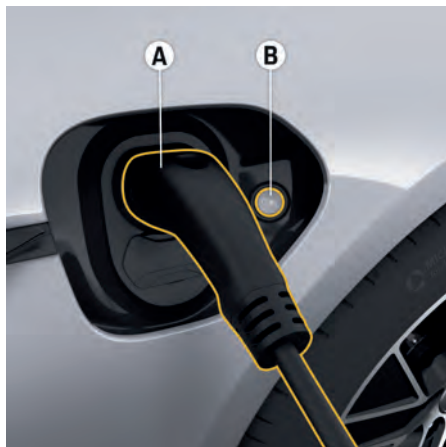










図. 243 車両プラグ挿入中

- A 車両プラグ
- B リリースボタン

B	意味
切断	車両プラグが差し込まれていないか、主電源と接続されていない。 または 車両プラグ挿入中：車両はアイドル状態です。現在の接続ステータスと充電レベルを表示するには、次の手順に従います。キーの  または  ボタンを押してください。
 点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされている。
 パルス	車両プラグが挿入されており、ロックされている。通信のセットアップおよび切断。
 パルス	車両プラグが挿入されており、ロックされている。高電圧バッテリーが充電されている。
 点灯	車両プラグが挿入されており、ロックされている。充電プロセスが完了し、目標充電レベルに達している。
 点滅	車両プラグが挿入されており、ロックされている。プログラムされたタイマーおよびプロファイル設定により、充電が一時停止されている。
 点灯	高電圧バッテリー充電中にエラーが発生した。

充電プロセスが開始されていない場合：

- ▶ 車両プラグが正しく差し込まれているか確認します。
- ▶ ボルシェ充電機器および使用する車両充電ケーブルの取扱説明書を参照し、充電ステーションの取扱説明書を遵守してください。
- ▶ 車両プラグを抜き、再度差し込みます。

-または-

1. スイッチを OFF にし、車両から離れます。
2. 車両プラグを車両充電ポートから抜きます。
3. ドア、ウィンドウおよび充電ポートリッドを閉め、車両をロックし、キーレスコンフォートアクセス反応領域から離れます。
4. 約5分待ちます。この間は、アプリを使用して車両にアクセスしないでください。
5. 車両プラグを車両充電ポートに挿入し、再度充電プロセスを開始します。

セントラルディスプレイ内にある充電機能の使用

充電機能のタイマー機能やプロファイル機能を使用すると、セントラルディスプレイ上で充電プロセスに関するさまざまなパラメーターをプログラムできます。両機能は、交流 (AC) 充電の場合に限り使用できます。

すべての充電機能を最大限に活用するには、適切な充電装置が必要です。充電器とウェブアプリケーションに関する詳細情報は、以下のウェブアドレスの「E パフォーマンス」で入手できます。 <https://www.porsche.com>

充電レベル表示機能の使用



図. 244 充電レベル表示

セントラルディスプレイとセンターコンソールコントロールパネルのバッテリーの充電状態表示には、現在の充電状態、現在の充電電力、タイマーとプロファイル機能の設定など、高電圧バッテリーの充電レベルに関するさまざまな情報が表示されます。

タイマーのプログラミングおよび有効化

- ✓ 出発時間が未来の時間。

タイマー機能が作動すると、高電圧バッテリーは、プログラムした出発時間までに、指定した**目標充電レベル**まで充電されます。充電状態が25%未満の場合、車両が主電源に接続されるとすぐ、高電圧バッテリーは自動的に25%の充電状態まで充電されます。タイマー機能が作動していない場合、高電圧バッテリーは、少なくともプロファイル機能でプログラムした最低充電レベルまで充電されます。

複数のタイマーが作動している場合、より早い時間に設定されているタイマーの充電状態が常に対象になります。

車両プラグを充電ポートに挿入するのは、充電タイマーをプログラムした後に行うことをお勧めします。

プレエアコン オプションを選択すると、車室内を出発時間までに適温に調節することもできます。

▶ 60 ページの「高度なオートエアコンによるエアコンシステム (2-/4-ゾーンエアコン)」の章を参照してください。

セントラルディスプレイ

1. **充電** **タイマー**
2. **新しいタイマーを追加**を選択します。
-または-
タイマー を編集します。
3. **日付/出発時間**をプログラミングします。選択したタイマーを定期的を使用する場合は、**リピート**を有効化し、**週日**を選択します。
4. **充電目標**をプログラミングします。
5. **充電**を有効にします。
6. 必要であれば**プレエアコン**を有効にします。
7. **タイマー**を有効にします。

一部の公共充電ステーションでは、出発タイマーをプログラミングしても充電プロセスを開始できません。

- ▶ 即時充電機能を使用します。

タイマーの停止

セントラルディスプレイ

1. **充電** **タイマー**
2. **タイマー**を無効にします。

タイマーを用いた充電の開始

- ✓ タイマーがプログラムおよび作動済みです。
- ✓ 車両プラグが挿入されています。

タイマー機能を使うと充電プロセスを定義でき、定義後は定義に沿ってプロセスが自動的に開始されます。プログラムされたタイマーによっては、充電プロセスが後で開始する場合があります。

タイマーを用いた充電の終了

- ✓ 車両プラグが挿入されています。
 - ✓ タイマー機能が作動しています。
1. リリース ボタンを押します。
➡ 高電圧バッテリーの充電プロセスが終了します。
 2. 充電が継続している場合は、リリース ボタンのリングが消えるまで待ちます。

充電プロファイルのプログラミングおよび有効化

プロファイル機能が作動している場合、車両が主電源に接続されるとすぐ、高電圧バッテリーはプログラムされた**最低充電レベル**まで可能な限り迅速に充電されます。納車時にプログラムされている最低充電レベルは25%です。

プログラムされた最低充電レベルに達した後、高電圧バッテリーは、**ご希望の充電時間**および**最適化充電機能**に従って、プログラムされた最低充電レベルを超えて充電されます。**ご希望の充電時間機能**を使用して、一時的な充電料金を利用するなどのために、高電圧バッテリーを指定した時間に充電することができます。適切な充電装置と組み合わせると**最適化充電機能**を使用すると、地域の充電インフラと車両をネットワーク接続できるようになります (個々の充電料金の自動使用や太陽光発電による充電など)。

同時にタイマー機能が作動している場合、高電圧バッテリーは、プロファイル機能でプログラムされた最低充電レベルに達した後、タイマー機能でプログラムされた**目標充電レベル**まで充電されます。

一般充電プロファイルのプログラミングおよび有効化

セントラルディスプレイ

1. ▶ 充電 プロファイル
2. 一般充電プロファイル を編集します。
3. ミニマム充電をプログラミングします。
4. 最適化充電を有効にします。
– または –
希望の充電時間を設定を有効にして、ご希望の充電時間をプログラミングします。
5. 一般充電プロファイルを有効にします。

ローカル充電プロファイルのプログラミングおよび有効化

セントラルディスプレイ

1. ▶ 充電 プロファイル
2. 新プロファイル追加を選択します。
– または –
既存のプロファイル を編集します。
3. 名前をプログラミングし、場所を選択します。
4. ミニマム充電をプログラミングします。
5. 最適化充電を有効にします。
– または –
希望の充電時間を設定を有効にして、ご希望の充電時間をプログラミングします。
6. 充電プロファイルを有効にします。

プロファイルの無効化

セントラルディスプレイ

1. ▶ 充電 プロファイル
2. プロファイルを無効にします。

プロファイルを用いた充電の開始

- ✓ プロファイルがプログラムおよび有効化されています。
 - ✓ 車両プラグが挿入されています。
- プロファイル機能を使うと充電プロセスを定義でき、定義後は定義に沿ってプロセスが自動的に開始されます。プログラムした最低充電レベルによっては、高電圧バッテリーが完全に充電されない場合があります。

プロファイルを用いた充電の終了

- ✓ 車両プラグが挿入されている。
 - ✓ プロファイル機能が作動している。
1. リリース ボタンを押します。
➔ 高電圧バッテリーの充電プロセスが終了します。
 2. 充電が継続している場合は、リリース ボタンのリングが消えるまで待ちます。

インテリジェント充電機能¹の使用

Taycan では、適切な充電インフラと連携すると、私有地と公共エリアでインテリジェント充電機能が使用できるようになります。機能内容：

- Plug & Charge
- 個々の電気料金 (コスト最適化充電など) の使用
- 自家消費の最適化 (太陽光発電による充電など)

- 個々の充電統計に関する詳細
- 位相同期および位相個別の過負荷保護

私有地でインテリジェント充電機能を利用するには、車両を自宅の主電源とネットワーク接続できるようにする充電インフラが必要です。詳細については、認定専門業者、電力会社、またはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェでは、Porsche Mobile Charger Plus または Mobile Charger Connect を Home Energy Manager (HEM) と組み合わせて使用することを推奨しています。

公共エリアでインテリジェント充電機能を利用するには、充電サービス / モビリティ サービス プロバイダーとのインテリジェント充電機能用の契約が必要です。詳細については、認定充電サービス / モビリティ サービス プロバイダー、またはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェでは、ポルシェチャージングサービスの使用を推奨しています。

車両のインテリジェント充電機能を有効にする

セントラルディスプレイ

1. ▶ 充電 概要 ▶...
2. Plug & Charge を有効にします。

充電インフラのソフトウェアバージョンが異なるため、インテリジェント充電機能が機能しない場合や、個々のケースで限られた範囲でしか機能しない場合があります。たとえば、車両を認証できなかったり、充電プロセスが中断されたりする場合があります。インテリジェント充電機能が制限されていても、車両を充電できます。この場合、Plug & Charge を無効にします。

セントラルディスプレイ

1. 地域の充電インフラの指示に従ってください。
2. ▶ 充電 概要

1. 装備は、後でしか使用できない場合や、特定の市場でしか使用できない場合があります。

3. Plug & Charge を無効にします。

4. 充電プロセスを開始してください。

後でインテリジェント充電機能を再び最大限に活用するには、Plug & Charge を有効にします。

Plug & Charge の使用

Plug & Charge を使用すると、充電ステーションまたは充電器の充電プロセスを手動で初期化する必要がなく、私有地と公共エリアで適切な充電インフラを使用して車両を充電できます。充電プロセスは、充電プロバイダーとの契約に基づいて自動的に請求されます。

- ✓ 車両のインテリジェント充電機能が有効になっている。
 - ✓ Plug & Charge に適した充電インフラ。
 - ✓ 充電プロバイダーとの契約に、Plug & Charge が含まれている。
1. 充電ポートリッドを開きます。
 2. 車両プラグを充電ポートに差し込みます。
 - ➔ 車両プラグがロックされ、充電プロセスが自動的に開始します。充電インフラによっては、充電プロセスの開始に数秒かかる場合があります。

手動での充電契約証明書の更新

公共エリアでの Plug & Charge を含む充電契約の締結後、Plug & Charge に適した充電ステーションでの最初の登録時に、適切な充電契約証明書が車両にインストールされます。車両の充電契約証明書は、これまでの充電契約が期限切れになって新しい充電契約が有効になり次第、自動更新されます。

これまでの充電契約が有効性を失う前に Plug & Charge を含む新しい課金契約を使用する場合、これまでの充電契約証明書を手動で削除する必要があります。

- ▶ システムを工場設定にリセットします。
重要な車両設定 (ボルシェ コネクト サービスの設定など) が失われる可能性があります。
▶ 197 ページの「車両設定」の章を参照してください。

充電時間

充電の電力や時間は、下記のようなさまざまな要素に応じて変化するため、実際の充電時間は、表示値と比べて大幅に長くなる場合があります。

- 各国固有のエネルギー インフラの利用可能な出力定格。
- お客様固有の取り付け品 (電気ソケットなどを使用)。
- コントロール パネルでの充電電流制限の設定。
- 主電源電圧の変動。
- 車両や充電装置周辺の外気温。
- 高電圧バッテリーおよびコントロールユニットの温度。
- 高電圧バッテリーの充電レベル。
- 高電圧バッテリーのタイプと使用年数。
- 車室内温度プレクーリング / ヒーティング。
- 車両プラグの通電容量。

充電タイプ	充電時間
11 kW の交流 (AC) で 0% から 100% まで	約 8–9 時間
50 kW の直流 (DC) で 100 km (WLTP) まで	約 28–31 分
最適な条件下 (> 270 kW、> 850 V の CCS クイック充電スタンド、バッテリー温度	約 5–5.5 分

充電タイプ	充電時間
30 °C ~ 35 °C、5% の初期充電状態) において、最大充電電力の直流 (DC) で 100 km (WLTP) まで	
50 kW の直流 (DC) で 5% から 80% まで	約 93 分。
最適な条件下 (> 270 kW、> 850 V の CCS クイック充電スタンド、バッテリー温度 30 °C ~ 35 °C、5% の初期充電状態) において、最大充電電力の直流 (DC) で 5% から 80% まで	約 22.5 分。

主電源から取り込まれるエネルギーの量は、高電圧バッテリーの充電中に蓄えられるエネルギーの量を上回ります。この理由には、物理的な充電損失が起こることや、高電圧バッテリーの温度を制御するために一定のエネルギーが使用されることなどがあります。

物理的および化学的な理由により、充電レベルが 100% に近づくとも充電速度が低下します。主にクイック充電スタンド (DC) が使用される状況では、長期的には充電時間が長くなります。

- ▶ 通常の直流 (DC) 充電の場合、最大充電電力は 50 kW が推奨されています。
- ▶ 家庭の環境では交流 (AC) 充電をお勧めします。工業用電気ソケット (AC) を使用すると、家庭用ソケットを用いて充電するよりも効率を高め、充電時間を大幅に短縮することができます。

緊急ロック解除

充電ポート リッドの緊急解除の実行

充電トレイが故障した場合、充電ポート リッドは手動で開けられます。

- ▶ 両側の充電ポート リッドを同時に緊急解除したり、1つの充電ポート リッドが既に正しく開いている状態で緊急解除を実行したりすることはしないでください。反対側にある充電ポート リッドは自動的にロックされます。

手動充電ポート リッドの緊急解除の実行



図. 245 手動充電ポート リッドの緊急解除

手動充電ポート リッドの緊急解除後には、このリッドを介して車両を交流 (AC) または直流 (DC) 充電できません。

- ✓ 車両がロック解除されている。

1. 緊急解除ツールを工具セットから取り外します。
2. 緊急解除ツールの金属製フックを、充電ポート リッド後ろの下部までガイドします。
3. 緊急解除ツールを配置し、引いて開きます。
4. 緊急解除ツールのメタルフックをブランジヤーのくぼみにカチッと音がしてはまるまで挿入します。緊急解除ツールに軽い力を加えて進行方向に約45°回します。
5. ブランジヤーを取り外します。
6. 充電を実行します。
7. 充電プロセスの後、充電ポート リッドを閉じます。

充電ポート リッドのロック解除機構を確認するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

電動充電ポート リッドの緊急解除の実行



図. 246 電動充電ポート リッドの緊急解除

緊急解除後には、車両の交流 (AC) 充電のみ実施できません。

- ✓ 車両がロック解除されている。

 1. 緊急解除ツールを工具セットから取り外します。
 2. 緊急解除ツールの金属製フックを充電ポート リッドの後ろまでガイドします。
 3. 緊急解除ツールを位置決めて引っ張り、充電ポート リッドをアンカーから解放して慎重に取り外します。
 4. 充電を実行します。
 5. 充電ポート リッド カバーをアンカー上に置き、しっかりとかみ合うまで押して閉じます。



充電ポート リッドのロック解除機構を確認するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

車両プラグ緊急解除の実行

(故障などにより) 車両プラグが解除できない場合、緊急解除の実行が必要です。

セントラルディスプレイ

1.  ▶ **充電**  **概要** ▶ ...
2. 充電プロセスを終了し、一時的に車両プラグを解除します。

手動での緊急解除の実行



図. 247 車両プラグ緊急解除の実行

セントラルディスプレイによる車両プラグの緊急解除が作動しない場合は、手動の緊急解除を実行できます。助手席側の車両プラグを手動で緊急解除できるかどうかは、国によって異なります。

1. 運転席または助手席のドアを開けます。
2. 運転席または助手席のドアとフェンダーの間にあるスペースに手を伸ばします。抵抗を感じる位置までノブを上へ引いてください。
 - ▶ 車両プラグが解除されます。充電プロセスが開始していた場合でも、終了します。
3. 約 20 秒以内に、車両充電ポートから車両プラグを引き抜きます。
4. 充電ポート リッドを閉じます。

充電ポートリッドのロック解除機構を確認するには：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

緊急電話システム

故障時電話

故障または事故が発生した場合、故障時電話によって援助を求めることができます (国別仕様および装備による)。

インフォメーション

ポルシェ コネクトに関する詳細な情報 (ヘルプビデオ、ポルシェ コネクト取扱説明書およびヘルプ) は、www.porsche.com/connect で入手できます。

- ✓ 携帯電話ネットワークを利用可能。
- ✓ 故障時電話システムの作動準備が整っています (車両 ON から約 20 秒後)。
- ✓ プライベート モードが無効です。
 - ▶ 220 ページの「ポルシェ コネクト」の章を参照してください。

インフォメーション

故障発信システムには独立した携帯電話モジュールがあるため、車内に登録された携帯電話があることは必要ではありません。

ポルシェが制御できる範囲を超える技術的または組織的な制限 (ローミングまたは有効なデータ接続がないなど) により、ポルシェ アシスタンスに故障時電話を確立することができない場合があります。

データ通信






故障時電話が発生した場合、必要な措置を決定するためのデータ (利用可能な場合) をポルシェ アシスタンスに送信することができます。これには以下が含まれる場合があります。

- 現在の車両位置
- 車両識別番号

- 車両タイプ
- 故障箇所を特定するための故障コードとその他のデータ

故障発信の作動

故障時電話を行う前に、故障診断用ソケットに外部デバイスが接続されていないことを確認してください。

1.   **電話**  **キーパッド**をタップします。
2.  ボタンを押してください。
故障時電話を終了するには、 を選択します。
3. 状況が許す場合は、ボルシェ アシスタンスへの接続が確立されるまで、車内でお待ちください。

故障時電話は、ボルシェ コネクト アプリで作動させることもできます (国別仕様による)。

車両のお手入れ

一般的なお手入れの諸注意

 **警告** ブレーキディスクの水膜

大雨の中で水たまりを走行する場合や洗車場を出た後は、ブレーキの反応が遅れたり、ペダルを踏み込むときに普通以上に力が必要になったりすることがあります。

- ▶ 洗車後にはブレーキを点検してください。
- ▶ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

ボルシェ正規販売店で定期的に点検することは、車両の価値の維持につながります。また、このような点検が車両の保証を受けるための前提条件になっている場合があります。

ボルシェでは、ボルシェ テクニップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。

- ▶ カーケア用品のパッケージに記載されている使用上の注意事項を遵守してください。
- ▶ カーケア用品はおお客様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ カーケア用品を廃棄する際には、廃棄物に関する法律や地域のルールに従ってください。

車両の状態をしっかりと点検し、保証期間を最大限有効にするためには：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。ボルシェ正規販売店が状態レポートを作成し、車両の整備状況を認定いたします。

知識

高圧洗浄機およびスチームクリーナーを使用すると、以下の構成部品に損傷を与える恐れがあります。

- タイヤ
- ロゴ、エンブレム、デコラティブフィルム

- 塗装面
- 充電ポート
- 電子部品 (高電圧バッテリーなど) およびプラグ接続
- パークアシストセンサー
- アダプティブクルーズコントロール(ACC) などのアシスタントシステムで使用される (レーダー) センサー
- カメラ
- ワイパー ブレード

車両は完全な防漏構造ではありません。車両の洗浄時、車内に水が入ることもあります。

- ▶ 機器メーカーの取扱説明書に従ってください。
- ▶ 高圧洗浄機を使用する場合、ノズルから 50 cm 以上離してください。洗浄機を近づけすぎると、洗浄水がリヤリッドリリースボタンに当たり、誤ってリヤリッドが開く恐れがあります。
- ▶ 高圧洗浄機を使用するときは、これらの構成部品にジェットノズルを直接向けしないでください。
- ▶ 開口部にはジェットノズルを直接向けしないでください。洗浄前に開口部を覆ってください。
- ▶ デコラティブフィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。
- ▶ 高圧洗浄機またはスチームクリーナーを丸型ジェットノズルと組み合わせて使用することはしないでください。高圧洗浄機またはスチームクリーナーと丸型ジェットノズルを組み合わせると、車両に傷が付きます。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェットノズルで洗浄しないでください。

高電圧バッテリーのお手入れ

一般充電およびお手入れの諸注意

高電圧バッテリーは、物理的および化学的な劣化と消耗のプロセスの影響を受けます。これにより、使用パターンや環境条件に応じて、ライフサイクル全体にわたって高電圧バッテリーの容量が減少します。そうすると特に、バッテリーが古くなるにつれて最大走行可能距離が減少し、充電時間が長くなります。

バッテリーの劣化と消耗を抑えるために、以下の対策を講じることができます。

- ▶ 充電プロセス中は、可能であれば車両の温度が約 -20°C から $+30^{\circ}\text{C}$ の間になるようにします。
- ▶ 可能であれば、車両が長時間 30°C を超える温度にさらされないようにしてください（直射日光の当たる場所に長時間駐車するなど）。
- ▶ 外気温度が 30°C 以上で停車中の場合、作動後に車両を主電源に接続し、高電圧バッテリーを交流 (AC) で 85% の最大充電レベルまで充電します。タイマー機能を使用します。
- ▶ 外気温が 35°C を超える場合、高電圧バッテリーを最大限冷却するために 150 kW を超える直流 (DC) での充電直後に「レンジ」走行モードを使用しないでください。
- ▶ 高電圧バッテリーのプレコンディショニングにより、充電時間が短縮されます。長距離走行中は特に、充電ブランナーを使用して高電圧バッテリーの充電を開始し、可能であればタイマーまたはプロファイル機能を使用して交流 (AC) でバッテリーを充電します。
- ▶ 長距離走行を行わない日常の車両用途の場合、タイマーまたはプロファイル機能を使用して、高電圧バッテリー充電レベルを最大 80% でプログラムします。

- ▶ 充電レベルが 5% 未満の場合、作動後に車両を主電源に接続し、高電圧バッテリーを充電します。
- ▶ 必要に応じて、長距離走行開始前にバッテリー充電レベルを 100% にプログラムすることができます。

車両を長期間アイドル状態にする場合の注意点

未使用期間が 2 週間以上の場合：

- ▶ 高電圧バッテリーが放電した状態で車両を駐車しないでください。主電源に常時接続してください。
- ▶ 未使用期間中は、高電圧バッテリーが 20%~50% の間に充電されているようにしてください。この目的でプロファイル機能を使用することもできます。
- ▶ 車両が常に直射日光に当たっていないことを確認してください。屋根付きのガレージに駐車することを勧めます。

車両を主電源に常時接続することができない場合：

- ▶ 車両を駐車する前に、高電圧バッテリーを半分程度 (50% の充電レベル) 充電してください。
- ▶ 3 か月ごとに充電レベルを確認し、充電レベルが 20% を下回らないように、必要に応じて再充電してください。
- ▶ 車両付近の外気温が 0°C ~ 20°C の間になるようにしてください。
- ▶ ポルシェ コネクト アプリは使用しないでください。アプリと車両の接続が確立されると高電圧システムが作動するため、高電圧バッテリーおよび 12 V バッテリーが放電します。

車両エクステリアの清掃とお手入れ

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。解氷剤 (塩分)、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。車両は完全な防漏構造ではありません。車両の洗浄時、車内に水が入ることもあります。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください。

- ▶ 車両の下周りは、少なくとも道路の砂まきのシーズンの終わりには、しっかりと洗い流す必要があります。
- ▶ すず、グリース、油、重金属が車両に影響を与えるのを防ぐために指定された洗浄エリアのみを洗車するようにしてください。
- ▶ 直射日光のもとで、または車体が熱くなっているときには洗車しないでください。
- ▶ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カーシャンプーを使用して多量の水で洗ってください。
- ▶ 洗車を始める際には、塗装面にしっかりと水をかけて、泥を洗い落としてください。
- ▶ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

自動洗車機

知識

自動洗車機を使用すると、取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。

- ▶ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。

危険	遵守すべき事項
洗車機で洗車中、フロントウィンドウワイパーの不意の作動による損傷の可能性があります。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ フロントワイパーのスイッチを OFF にしてください。 ▶ 洗車機での洗車中はヘッドライトウォッシャーシステムを操作しないでください。
充電ポートリッドが意図せずに開く	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 車両のロック
外装部品への損傷	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ドアミラーを格納してください。 ▶ 展開したスポイラーを格納してください。 ▶ ルーフトランスポートシステムを完全に取り外してください。 ▶ 充電ポートリッドを閉じます。 ▶ 車両をロックします。
ホイールへの損傷	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 洗車機のガイドレールの寸法を確認してください。タイヤのリム径が大き

危険	遵守すべき事項
ハイグロスまたはシルクグロス ホイールへの傷	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 洗車機のホイール用洗浄ブラシを使用しないでください。

塗装面のお手入れ

知識

塗装された表面に付着したほこり粒子は、お手入れ方法を誤ると塗装を損傷する可能性があります。

- ▶ 乾いた布でほこりを拭き取らないでください。

知識

適切にお手入れを行わないと構成部品の艶消し効果が失われる場合があります。

- ▶ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を使用しないでください。

塗装面の保護

塗装面は風化によって時間とともにつやがなくなりますので、洗車後に定期的に塗装保護剤で保護する必要があります。そうすることにより、塗装の輝きと弾性を維持することができ、汚れが塗装面に付着したり、粉塵が塗装面に侵入したりすることを防ぎます。

塗装面のつや出し(研磨)

ペイントポリッシュを使用するのは、保護剤では元の輝きが出せなくなった場合のみにしてください。ヘッドライトは磨かないでください。

汚れ、染みの除去

タールの跳ねかき、オイル跡、虫などは、そのまま放っておくと時間とともに塗装が変色しますので、インセクトリムーバーを使用してできるだけ早めにそれらを取り除いて、その後その部分を慎重に洗ってください。

小さな傷の補修

亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する前に修理してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー(防錆剤)を塗布してから、上塗り塗装を施してください。

アンダーコーティングの補修

車両のアンダーボディは化学的、機械的影響から永続的な方法で保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

- ▶ ボルシェ正規販売店で定期的に点検を受け、必要に応じて保護コーティングの復元を依頼するようお勧めします。

デコラティブフィルムの清掃

知識

洗浄時にデコラティブフィルムが剥れて損傷する恐れがあります。

- ポリッシュやホットワックスを使用しないでください。
- 高圧洗浄機またはスチームクリーナーを使用しないでください。
- 柔らかいスポンジ、中性洗剤、および多めの水を使用してください。

ウィンドウ、ライト、センサー、カメラの清掃

ウィンドウの清掃

フロントウィンドウ、サイドウィンドウ、リヤウィンドウの清掃

- ▶ すべてのウィンドウの内側と外側を、ウィンドウ洗浄剤を使用して定期的に清掃してください。
- ▶ 塗装面に使用したのと同じセーム皮を使用してウィンドウを拭き取らないでください。保護剤の残留物で視界が低下する可能性があります。
- ▶ 虫の死骸はインセクトリムーバーで取り除きます。

パノラマソリッドガラスルーフの清掃

- ▶ 清潔で柔らかい布を使用して、定期的の内側の窓からほこりを取り除きます。
- ▶ 頑固な汚れの場合は、ウィンドウクリーナーでウィンドウを清掃し、浄水で洗い流してから、清潔な柔らかい布でふき取ります。

フロント側ウィンドウコーティング

フロント両側のウィンドウには、汚れを抑制する(疎水性の)撥水剤がコーティングされています。このコーティングは経年変化で徐々に劣化します。また新たにコーティングすることもできます。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヘッドライト、ライト、プラスチック製部品と表面、センサーとカメラの清掃

知識

洗剤がコントローラーまたはスイッチに侵入し、損傷させる恐れがあります。不適切な洗浄剤を使用するとプラスチック面に損傷を与える場合があります。

- ▶ 車内のプラスチック製部品に直接水や室内用ウィンドウクリーナーをスプレーしないでください。
- ▶ ヘッドライト、ライト、プラスチック製部品と表面、アシスタンスシステム用レーダーセンサーおよび車両カメラの清掃には、きれいな水と少量の液体洗剤または室内用ウィンドウクリーナーのみを使用してください。このとき、柔らかいスポンジまたは柔らかい不織布を使用してください。
- ▶ ヘッドライトは磨かないでください。
- ▶ タッチセンシティブボタンを有するセンターコンソールの清掃には、マイクロファイバークロスのみを使用してください。
- ▶ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

ワイパー ブレードのお手入れ

知識

適切に洗浄されない場合、ワイパー ブレードのグラフィットコーティングが損傷することがあります。

- ▶ 高圧洗浄機のノズルまたはスチームクリーナーをワイパー ブレードに向けしないでください。
- ▶ 布やスポンジでワイパー ブレードを洗浄しないでください。
- ▶ ワイパー ブレードの洗浄は清潔な水でのみ行ってください。

フロントワイパー ブレードを万全の状態に保つことは良好な視界のために不可欠です。

- ▶ ウィンドウクリーナーを使用してフロントウィンドウを定期的に清掃してください。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
- ▶ 汚れがひどい場合(虫の付着など)、スポンジまたは布を使用してフロントウィンドウを清掃します。

ワイパーブレードは年に2回(寒い季節の前後に)、またはワイパーのパフォーマンスが落ちたり、ブレードが損傷したりした場合に交換する必要があります。

ホイールのお手入れ

警告

クリーナーなどの溶剤によるブレーキディスク上の膜の発生

洗浄剤(ホイール洗浄剤など)がブレーキディスクにかかると、ブレーキディスクに膜が形成されてブレーキ性能が低下する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクにホイールクリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
- ▶ 洗浄剤がブレーキディスクにかかった場合は、強力なウォータージェットでブレーキディスクをしっかりと清掃してください
- ▶ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキディスクを乾かしてください。

合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子(ブレーキダストに含まれる黄銅や銅など)は、長期間放置しないでください。金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴(ピッチング)が生じます。

他の金属および機械ツールや製品に一般的に使用される酸化物除去効果のある洗浄剤や不適切なpH値の洗浄剤は、表面を損傷するため、使用には適しません。

- ▶ 軽合金製ホイールには中性洗剤のみを使用してください(pH値:4~10)。pH値の不正な製品を使用すると、ホイールの表面を損傷する場合があります。
- ▶ 可能であれば、2週間ごとにスポンジまたは洗車ブラシを使用してホイールを洗浄してください。冬季に凍結防止剤、すべり止め剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。

ドア、ボンネット、リッド、ウィンドウシールの清掃

知識

インナー ドアシールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃やカーケア製品の使用によりダメージを受けることがあります。

- ▶ カーケミカル洗浄剤や溶剤を使用しないでください。
- ▶ カーケア用品は使用しないでください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください:

- ▶ 定期的に、すべてのシールの汚れ(摩耗、ほこり、凍結防止剤、すべり止め剤など)を暖かい石鹸水を使用して洗浄してください。
- ▶ 凍結の恐れがある場合は、適切な手入れ用品を使用して、アウトードアシールおよびリッドとフラップのシールを凍結から保護してください。

車内の清掃とお手入れ

革のお手入れ

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切な手入れをすると革製品が傷む場合があります。

- ▶ 腐食性のある洗浄剤または固い清掃具を使用しないでください。
- ▶ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
- ▶ 水滴は革製品から直ちに取り除いてください。

適切な車両の清掃とお手入れのために、次の点を遵守してください:

- ▶ 湿らせた柔らかくて白い毛織布、または市販のマイクロファイバークロスを使用して、すべての種類の革製品を定期的に清掃し、細かなほこりを取り除いてください。
- ▶ 頑固な汚れ(水性の染みではない)は、革用洗浄剤で取り除きます。容器に記載されている取扱説明をお読みください。
- ▶ ポルシェでは、ポルシェテクイップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。
- ▶ 清掃した革製品は、皮革ケア製品でのみお手入れするようにしてください。

シートベンチレーター付きシートの清掃

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革シートに染みが付く可能性があります。

水染みおよび湿気による染みを取り除く

- ✓ シートヒーターおよびシートベンチレーターがOFFです。
 - ✓ 直射日光が当たらないようにしてください。
1. 清潔な吸水性スポンジと蒸留水を使用して、シートおよびバックレストの表面全体を湿る程度に拭いてください。表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないように注意してください。
 2. シートカバーを直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。シートカバーを乾かす際、シートヒーターやシートベンチレーションをONにしないでください。
 3. 乾いた後、シートカバーを乾いた柔らかい布で拭いてください。

カーペットおよびフロアマットの清掃



警告

ペダル操作の妨げ

不適切なフロアマットや正しく固定されていないフロアマットは、ペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。アクセルペダルが不意に踏み込まれたり、ブレーキペダル操作の妨げとなったりする場合があります。これにより、予期しない加速が起きたり、ブレーキ操作が難しくなったりする場合があります。

- ▶ 車両には適切なフロアマットのみを使用してください。
- ▶ フロアマットはフロア上に敷くだけでなく、しっかりと固定してください。
- ▶ 幾つものフロアマットを重ねて敷かないでください。
- ▶ 清掃などのためにフロアマットを取り外した場合には、元の場所に正しく取り付けられているか確認してください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ 電気掃除機または柔らかすぎないブラシを使用して清掃します。
- ▶ 染み抜きを使用して、ひどい汚れや染みを取り除きます。
ポルシェでは、ポルシェ テクニクアップメント製のカーケア用品の使用を推奨しています。

フロアカーペットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロアマットをカーアクセサリーとして用意しています。

エアバッグカバーの清掃



危険

不適切な清掃

不適切な洗剤やケア剤を使用すると、エアバッグシステムに染み込む場合があります。不適切な取り扱いにより、エアバッグシステムが損傷する恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグシステムが作動しない可能性があります。

- ▶ 個々の部品（ステアリングホイールカバー、ダッシュボード、フロントシート、ドアパネル、ルーフレームパネルなど）にいかなる調整も加えないでください。
- ▶ エアバッグの周辺には洗剤や他の液体を使用しないでください。

ファブリックライニングの清掃

ピラー、ルーフライナーおよびサンブラインドなどのファブリックライニングは、素材に適した洗剤、ドライフォーム、柔らかいブラシのみを使用して清掃してください。

Race-Texのお手入れ

Race-Tex マイクロファイバーカバーの清掃には皮革ケア製品を絶対に使用しないでください。日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。清掃する際に強く擦りすぎると、表面が恒久的に変化してしまいます。

- ▶ 軽い汚れは、柔らかい布を水または中性の石鹸水で湿らせて、汚れを拭き取ってください。
- ▶ 汚れがひどい場合は、温めのお湯または薄めたクリーニング用溶剤で柔らかい布を湿らせ、汚れた部分の外側から内側へ軽くたたいてください。

Race-Tex マイクロファイバーカバー装備のステアリングホイールは常に皮膚に接触するため、よりひどく汚れる場合があります。

- ▶ 軽い汚れの場合、柔らかい布を中性石鹸水で湿らせ、アウターステアリングホイールリムを拭き取ります。
- ▶ 汚れがひどい場合、洗剤メーカーの指示に従って、柔らかい布と市販の内張り泡クリーナーでアウターステアリングホイールリムを軽く擦ったり、たたいたりして清掃できます。

シートベルトの清掃

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ シートベルトの汚れには、中性洗剤を使用します。
- ▶ 乾燥時は直射日光を避けてください。
- ▶ 適切な洗剤のみを使用してください。
- ▶ シートベルトを染めたり漂白したりしないでください。シートベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

画面とタッチディスプレイの清掃

知識

不適切なクリーナーやケア製品を使用したり、不適切なお手入れを行うと画面およびタッチディスプレイを痛めることがあります。

- ▶ PCMの清掃に変性アルコール、シンナー、ガソリン、アセトン、アルコール類(エタノール、メタノール、またはイソプロピルアルコール)などの溶剤、または研磨剤などを使用しないでください。
- ▶ 画面またはタッチディスプレイに直接クリーナーや他の液体を吹きかけないでください。液体が入り込むと、電子部品は修理不能になることがあります。代わりに布を湿らして慎重に画面を拭いてください。
- ▶ ディスプレイを清掃するのは、ディスプレイがOFFになっている場合にのみしてください。

適切に車両を清掃するために、次の点を遵守してください：

- ▶ 画面とタッチディスプレイは擦ると傷が付く恐れがあります。時折、清潔で柔らかい乾いた布(マイクロファイバークロス)で慎重に画面とタッチディスプレイを清掃してください。清掃の際、表面に大きな力を加えないでください。
- ▶ 指紋は、少し湿らせた布や中性洗剤を使用して拭き取ります。

車両の保管

車両を長期保管する場合：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。必要な対策(腐食予防、お手入れ、メンテナンス、保管など)についての情報やアドバイスを喜んでお伝えします。

タイヤおよびホイール

積載荷重および速度の要件を満たす

タイヤの寿命は、適正なタイヤ空気圧やホイールアライメントに加えて、お客様の運転スタイルにも左右されます。急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使用する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤの摩耗を早める原因です。

- ▶ 適切な速度で走行してください。
- ▶ 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにし、ルーフ積載荷重を確認してください。

▶ 296 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

知識

ラジアルタイヤとクロスプライタイヤを車両で同時に使用しないでください。

- ▶ 必ず同じタイプのタイヤを使用してください。

タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム

タイヤ空気圧の点検

知識

不十分なタイヤ空気圧が原因でタイヤが過熱し、目に見えないところまで損傷が生じることがあります。

- ▶ タイヤ空気圧を補正しても、目に見えないタイヤの損傷は取り除くことができません。
- ▶ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない(空気を抜かない)でください。タイヤが温かい状態ではタイヤ空気圧が増加します。タイヤ空気圧が規定値を下回ってしまいます。



図. 248 タイヤ空気圧プレートの記載箇所

タイヤを規定の空気圧に保ってください。タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき(20°C)を基準にしています。

- ▶ タイヤ空気圧プレートを確認します。
- ▶ 最低2週間ごとに、タイヤが冷えているときにタイヤ空気圧を点検します。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM)

タイヤ空気圧モニタリングシステムには次の機能があります：

- タイヤ空気圧および温度の常時モニタリング。
- 走行中の実際のタイヤ空気圧(実測空気圧)の表示。
- 2段階のタイヤ空気圧警告(黄色と赤色の警告)。
- 停車中に：規定空気圧からの空気圧偏差の表示。

タイヤ空気圧警告灯 (⚠) およびインストルメントクラスターの関連するメッセージは、空気圧が不足している場合、2段階(空気圧低下の程度に応じた黄色および赤色のタイヤ空気圧警告)で警告を表示します。

タイヤ空気圧警告灯が消灯するのは、タイヤ空気圧が正された場合だけです。

黄色のタイヤ空気圧警告は、車両を停止して OFF にした後、または車両の電源を再度 ON にしたときに、約 10 秒間表示されます。黄色のタイヤ空気圧警告は、車両を ON にしたときに確認できます。赤色の空気圧警告は走行中にも表示され、異常を知ることができます。

- ▶ タイヤ圧力が正常にもかかわらず、タイヤ空気圧警告灯が点灯してタイヤ圧力警告が表示される場合：ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

① インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリングシステムは、自然放散による空気圧低下と、タイヤに異物が刺さったことなどによる空気圧のゆっくりとした低下の両方について警告します。タイヤ空気圧モニタリングシステムは、突然のタイヤの損傷については警告しません(予期しない外部からの影響によるパンクなど)。

⚠ 警告

欠陥のあるタイヤ

欠陥のあるタイヤで走行すると、重大な事故を起こす恐れがあります。

- ▶ インストルメントクラスターに赤色のタイヤ空気圧警告灯が表示された場合：速やかに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じて、パンク修理剤で損傷箇所の修理を行うか、スペアホイールを装着してください。
- ▶ 損傷したタイヤを装着したままで運転を続けしないでください。損傷したタイヤは速やかに交換してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ 空気圧を調整しても短時間で空気圧が下がる場合、そのタイヤでの運転を続けしないでください。不安な場合は、ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムの故障

次のような場合は、モニタリングは正常に機能しません：

- タイヤ空気圧モニタリングシステムが故障している場合
- タイヤ空気圧モニタリングシステム用のホイールトランスミッターが取り付けられていない場合
- タイヤ設定を更新した直後の登録プロセス中

- ホイールを交換後、タイヤ設定を更新しなかった場合
- タイヤ温度が高すぎる場合

サービスステータス

サービスステータスに関する詳細については、以下をご覧ください(一部の国で使用可能)：

- ▶ 223 ページの「スマート サービス」の章を参照してください。

インストルメントクラスターのタイヤ空気圧を確認する

個々のタイヤ空気圧は、約 25 km/h の速度を超えた場合、またはタイヤに 0.1 bar 以上の空気を補充した場合にのみ表示されます。約 10 分間以上停車した後に車両を ON にした場合、タイヤ空気圧の代わりにダッシュ記号 (-) が表示されます。

▶ タイヤ情報 ▶ 現在の空気圧

- ▶ 159 ページの「インストルメントクラスターとヘッドアップディスプレイの操作」の章を参照してください。

実測空気圧の表示は、参考情報としてのみ利用してください。タイヤ空気圧は温度によって変化します。

- ▶ いくつの場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

インストール クラスターの空気圧偏差を確認する



図. 249 空気圧偏差の例

- ✓ 車両が停止している。

▶ タイヤ情報 ▶ 空気圧偏差

▶ 159 ページの「インストール クラスターとヘッドアップディスプレイの操作」の章を参照してください。

該当するホイールについて規定空気圧からの偏差が表示されます。例：右リヤホイールの位置に **-0.1 bar** と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充する必要があります。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧偏差を必ず使用してください。

タイヤ設定

タイヤの種類とサイズおよび負荷の設定は、セントラルディスプレイで調整できます。

▶ 280 ページの「セントラルディスプレイでのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定」の章を参照してください。

セントラルディスプレイでのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定



警告

不適切な設定

タイヤ空気圧が極端に低いまたは高いと、タイヤおよびホイールに修復不可能な損傷が発生するだけでなく、制動距離が長くなり、事故を起こす危険が大幅に高まります。

タイヤ空気圧モニタリングを使用している場合でも、タイヤ空気圧を適切に維持し、車両を適切に設定することはドライバーの責務です。不完全な、または不適切な設定は、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼす可能性があります。

- ▶ タイヤの種類および積載重量に適したタイヤ空気圧に調整してください。
- ▶ タイヤ空気圧モニタリングメニューの設定が、車両に装着されているタイヤおよび車両の積載条件に対応していることを確認してください (特にホイール交換後または車両積載量の変更後)。
- ▶ 新しく装着したホイールセットのタイヤ空気圧が以前の設定と一致している場合でも、タイヤ空気圧モニタリングメニューでタイヤの種類とタイヤのサイズを再度選択してください。

充填情報へのアクセス

- ✓ 車両が停止している。

▶ 車両の設定 ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング

積載量、タイヤタイプ、タイヤサイズの設定が表示されます。

タイヤがまだ登録されていない場合は、タイヤ空気圧の代わりにダッシュ (-.-) が表示されます。

空気圧偏差の表示

- ✓ 車両が停止している。

▶ 車両の設定 ▶ 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 空気圧偏差

各ホイールの規定空気圧と規定空気圧からの空気圧偏差に加えて、負荷能力、タイヤの種類とサイズの情報が表示されます。

例：右リヤ ホイールの位置に **-0.1 bar** と表示された場合は、このタイヤに 0.1 bar の空気を補充する必要があります。表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

- ▶ タイヤ空気圧を補正するときは、ディスプレイまたは該当するタイヤ空気圧警告に表示される空気圧偏差を必ず使用してください。

タイヤがまだ登録されていない場合、現在の空気圧偏差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

タイヤの種類とサイズの設定



インフォメーション

利用できる項目は、車両のモデルやタイヤの種類により異なります。このため本書で説明しているオプションの中には、利用できないものが含まれている場合があります。

- ▶ [タイヤ空気圧モニタリング] メニューで選択できないサイズのタイヤとホイールを装着するときは、装着の前に不足している情報を追加する必要があります。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェが承認したタイヤおよびホイールのみを使用してください。

- ▶ ▶ 車両の設定 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ タイヤ選択

全積載または部分積載の選択

- ▶ ▶ 車両の設定 車両 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 全積載

- 全積載**
全積載が選択されます。
- 全積載**
部分積載が選択されます。
- ▶ 選択した積載タイプに応じてタイヤ空気圧を調整してください。

インフォメーション

全積載オプションが表示されない場合は、指定したタイヤ空気圧が全積載タイプで有効であることを意味しません。

タイヤ空気圧モニタリングの登録

タイヤ / ホイール交換、ホイールトランスミッター交換、またはタイヤ設定更新を行うと、タイヤ空気圧モニタリングシステムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリングシステムが各ホイールとその装着位置を検出します。タイヤ空気圧モニタリングシステムが検出した各ホイールに正しい装着位置を割り当てると、直ちにホイールの位置と空気圧情報が表示されます。

登録プロセス中、セントラルディスプレイには冷間時(20℃)の目標タイヤ空気圧が表示され、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。

すべてのホイールの登録が完了するまで、インストルメントクラスターのタイヤ空気圧警告灯は点灯したままになります。

タイヤ空気 の 充填

注意

高温の充填ホース

タイヤに空気を充填する間、コンプレッサーの充填ホースが高温になり、やけどの原因となります。

- ▶ 作業用手袋を着用してください。

コンプレッサーはフロントラゲッジコンパートメントの右側のボックスに収納されています。

▶ 243 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

- ▶ コンプレッサーの取扱説明書を読み、遵守してください。

1. コンプレッサー充填ホースをタイヤバルブにねじ込んでください。
2. コンプレッサーを車両のソケットに接続し、コンプレッサーを ON にしてください。
➡ タイヤに空気が充填されます。
3. 空気圧計で充填した圧力を点検し、必要に応じてタイヤ空気圧を調整してください。再度タイヤ空気圧を点検してください。
4. コンプレッサーを OFF にしてください。
5. コンプレッサー充填ホースを外します。

インフォメーション

タイヤ空気圧はガソリンスタンドでも点検でき、空気の充填も行えます。

タイヤ空気圧を下げる

1. コンプレッサーを OFF にしてください。
2. 充填ホースのエア抜きスクリューを適正なタイヤ空気圧になるまで開いてください。

タイヤ表記の読み取り

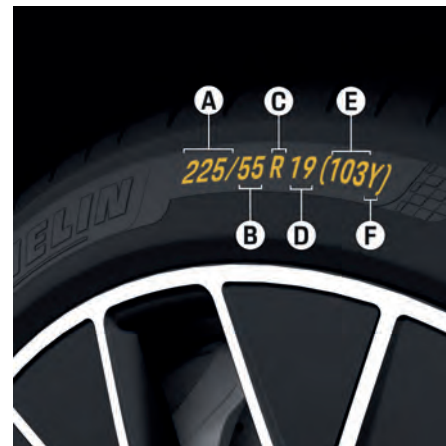


図. 250 タイヤ表記

- A 公称タイヤ幅 (mm)
- B 偏平率 (%)
- C タイヤ構造記号
- D リム径 (インチ)
- E ロードインデックス
- F 速度記号

速度記号 F は、そのタイヤの許容最高速度を示します。

H	210 km/h まで
V	240 km/h まで
W	270 km/h まで

Y	300 km/h まで
(Y)	300 km/h まで (Y 記号タイヤの場合) タイヤのロードインデックス (最大積載容量) の 85% までを搭載した状態の場合、300 km/h 以上の速度で走行することが可能です (300 km/h 以上で走行する場合はタイヤメーカーの確認が必要です)。

タイヤを点検する

タイヤの損傷の検出



警告

目に見えないタイヤ損傷とリム フランジの損傷

目に見えないタイヤの損傷によりタイヤがバーストする恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

- ▶ 定期的にタイヤの状態 – 側面も含めて – を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがなく確認してください。
- ▶ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。傾斜が大きく縁が尖った縁石や角ばった物体 (石など) に強くぶついたり鋭角に乗り上げたりしないように注意してください。
- ▶ ホイールを損傷した可能性があるとき – 特に内側 – は、専門家による点検を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

- タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき。
- タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、機械的な負荷がかかった可能性があるとき。

バルブおよびバルブキャップの点検と交換

- ▶ タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPM) 用のポルシェ純正バルブのみを使用してください。
- ▶ タイヤを交換する場合は必ずバルブを点検し、必要に応じて交換してください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バルブキャップがない場合、ほこりや汚れからバルブを保護することができないため、漏れの原因になることがあります。

- ▶ バルブインサートの汚れを防ぐため、必ずバルブキャップをしっかりと閉めてください。バルブインサートが汚れると、タイヤ空気圧がゆっくり減少する場合があります。
- ▶ 紛失した場合は、直ちに新しいバルブキャップを取り付けてください。
- ▶ プラスチック製のバルブキャップのみを使用してください。

タイヤトレッドの点検

多くのタイヤにはトレッド中央部にスリップサインがあります。スリップサインは主要なトレッド溝に設けられており、トレッド溝の深さが最少の 1.6 mm になると現れます。

- ▶ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。

トレッド溝の深さの測定

- ▶ 市販のトレッドの深さを測るゲージまたはキャリパーをタイヤトレッドに挿入してタイヤトレッドの深さを測定します。

① インフォメーション

タイヤの摩耗に偏りがある場合、車両の不具合が考えられます：

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ホイール交換

一般情報



警告

車両の下に入っでの作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

- ▶ ジャッキアップしながらのホイール交換時は、車内に誰もいないようにしてください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両が斜面（上り坂、下り坂、道路端に向かって傾斜している場所など）に駐車されている場合は絶対にジャッキアップしないでください。
- ▶ ジャッキは、ホイール交換時に車両を持ち上げるためだけに使用してください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。

▶ 294 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。

① インフォメーション

ホイール交換に必要な工具（ジャッキ、ホイールボルトレンチ、組み付け補助工具など）は車両の標準装備品ではありません。

- ▶ 必要となる工具に関する情報：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

① インフォメーション

前輪と後輪それぞれのタイヤおよびホイールのサイズは異なります。ホイールを取り外す場合は、各ホイールの回転方向や取り付け位置をマーキングしておき、取り付け時はこれを目印にしてください。

- ▶ 前輪 / 後輪には必ずそれぞれ認可されたサイズのホイール / タイヤを使用してください。
車両登録書類または 296 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。を参照してください

ホイール取り付け面のお手入れ

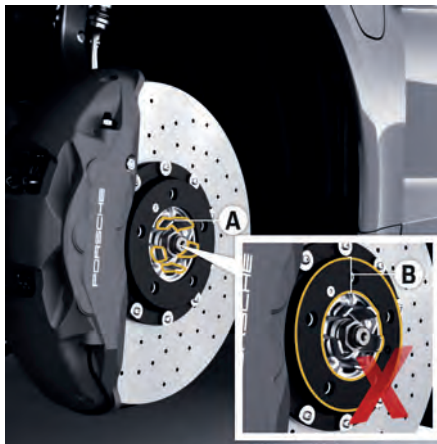


図. 251 ホイール取り付け面

知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

- ▶ ブレーキディスクのホイール取り付け面 **B** (図. 251) およびホイールハブ自体にグリースを塗布する必要は**ありません**。
- ▶ **A** (図. 251) 部分のみにグリースを塗布できます。この領域に Optimoly® TA グリースをごく薄く塗ります：ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。他の油脂類は使用しないでください。

ホイールボルトのお手入れ

- ▶ ホイールボルトは取り付けの前に、必ず清掃してください。
- ▶ ホイールボルトには油脂類を塗布しないでください。
- ▶ 損傷したホイールボルトは交換してください。このモデル専用のポルシェ純正ホイールボルト、またはポルシェが要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。
- ▶ ホイールボルトは **160Nm** の締め付けトルクで締め付けてください。
インパクトドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。

盗難防止ホイールボルトの使用



図. 252 盗難防止ホイールボルト用アダプター

盗難防止ホイールボルト用アダプターはツールキットの中にあります。

- ▶ 盗難防止機能付きホイールボルトを脱着するときは、このアダプターをホイールボルトとホイールボルトレンチの間に入れて使用してください。
- ▶ アダプターを取り付けるときは、ホイールボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

ホイール交換

車両の準備



警告

レベリングシステムのコントロール作動

レベリングシステムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 手でノーマルレベルに設定し、車両のリフトアップを行う前にレベリングシステムをOFFにします。

- ▶ ▶ 車両の設定 ▶ 追加のシャーシ設定
 - ▶ ジャッキの使用のためにシャーシの適応を無効にします

1. エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。
2. 車両の電源をOFFにします。
3. 交換するホイールの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
4. 交換するホイールのホイールボルトまたはホイールナットをわずかにゆるめます。
5. 車両のリフトアップは必ず所定のジャッキアップポイントで行ってください。
 - ▶ 294 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。
6. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

ホイール交換

知識

正しくホイール交換を行わないと、ブレーキディスクを損傷する恐れがあります。特にPCCB装備車の場合は注意してください。

- ▶ ホイールを交換する場合は、組み付け補助工具を取り付けてください。



図. 253 PCCB非装備車には、組み付け補助工具を1つねじ込みます



図. 254 PCCB 装備車には、組み付け補助工具を 2 つねじ込みます

1. PCCB 非装備車の場合：ホイールボルトを 1 本取り外し、組み付け補助工具を 1 つねじ込みます。
-または-
PCCB 装備車の場合：ホイールボルトを 2 本取り外し、組み付け補助工具 A と B の 2 つをねじ込みます。
2. 残りのホイールボルトを取り外してください。
3. ホイールを取り外します。
4. 新しいホイールを取り付けます。
5. ホイールボルトを挿入し、対角交互順に少しか締め付けてください。
6. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイールボルトを仮締めしてください。すべてのホイールボルトを対角交互順に少しか締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。
7. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。

8. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。
9. ホイールボルトを対角交互順に完全に締め付けてください。インパクトドライバーなどの駆動式ツールは使用しないでください。
10. ホイール交換後は、直ちにトルクレンチを使用してホイールボルトの規定締め付けトルク (160 Nm) を確認してください。
11. タイヤ空気圧モニタリング (TPM) の設定が更新されました。
▷ 278 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。

タイヤおよびホイールの交換

- ▷ ホイール交換の際には、車両のスイッチを OFF にしてください。

▲ 警告

グリップの低下

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

- ▷ このため最初の 200 km は、控えめな速度で走行してください。これによりタイヤ寿命が伸び、性能を最大限に引き出すことができます。
- ▷ 装着するタイヤはすべて同一メーカーで同じタイプの同一仕様 (「N...」など) に統一してください。
- ▷ 新しいタイヤに交換する前に、現在の承認状況について確認してください。ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▷ ボルシェがテストを行い承認したタイヤメーカーのみを使用してください。
- ▷ 同一アクスル上のトレッド溝の深さの差は 30 % を超えないようにしてください。

- ▷ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。
- ▷ トレッド溝の深さの差によって不必要な車両操作への影響が出ないように、同一アクスル上の両方のタイヤは必ず同時に交換してください。
- ▷ タイヤの取り付けは、必ず専門の整備工場で実施してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▷ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。
- ▷ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) 用タイヤ空気圧センサー付きタイヤのみを使用してください。
- ▷ この車両の TPM システムに適合するホイールであることを確認してください。この車両の適正ホイールと TPM に関する情報：ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。
- ▷ タイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーのバッテリー充電状態を点検してください。ボルシェ正規販売店にご相談ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▷ 296 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

① インフォメーション

一方のアクスルだけに新しいタイヤを取り付ける場合、他方のアクスルと比較してトレッド深度が異なることにより、以前の運転挙動から顕著な変化が生じる可能性があります。新しいタイヤをリアアクスルに取り付ける場合は特にそうです。とはいえ、タイヤの走行距離が長くなるにつれ、影響は減少していきます。

ホイールのバランス調整

万が一に備えて、春(サマータイヤ)および冬の前(「M+S」のタイヤ)にホイールのバランス調整を実施してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ウィンタータイヤとスノーチェーンの使用

ウィンタータイヤを使用する



警告

最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤがバースト(破裂)する恐れがあります。

- ▶ タイヤの最高許容速度を守ってください。
- ▶ ウィンタータイヤの側面にM+S指定、または雪の結晶のマークがある場合、車両の最高速度より最高許容速度が低いタイヤのみを装着してください。法定速度を遵守してください。
- ▶ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。法定速度を遵守してください。
- ▶ 許容最高速度を制限速度として設定します。
- ▶ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウィンタータイヤを装着してください。
- ▶ ポルシェがテストを行い承認したタイヤメーカーのみを使用してください。
- ▶ 新しいタイヤに交換する前に、現在の承認状況について確認してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

① インフォメーション

気温が低い時には、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にタイヤが原因のジャダーノイズが発生することがあります。

サマータイヤの走行性能は、気温が7°Cを下回ると低下し、快適性も損なわれます。このため、ポルシェでは気温が7°Cを下回る時期にはウィンタータイヤへの交換を推奨しています。

さらに外気温度が-15°Cを下回り極端に低くなると、サマータイヤに恒久的な損傷が生じる可能性があります。

ウィンタータイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると使用に適さない状態になります。

スノーチェーンを使用する

スノーチェーンはリヤタイヤのみに装着してください。またテクニカルデータの章のリストを参照して、スノーチェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

▶ 296ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

- ▶ ホイールハウジングとチェーンのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェが承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- ▶ チェーンを装着する前に、ホイールハウジングに溜まった氷や雪を取り除いてください。
- ▶ 最高速度については各国の法規に従ってください。

タイヤの保管

タイヤの保管

製造から6年以上が経過したタイヤは**使用しない**でください。年数が経過すると、ゴムに弾性を与えるために添加している化学添加物の効果が弱まり、ゴムがもろ

くなります。タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。例えば、最後の4つの数字が3016の場合、タイヤは2016年の第30週に製造されたことを示します。

- ▶ タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。
- ▶ 外気温が-15°C以下の場所にサマータイヤを保管したり、サマータイヤ装着車を駐車したりしないでください。
- ▶ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

パンク

装備品

モデルと車両装備によっては、車両にタイヤシーラントキット (Tire Mobility System –TMS) またはスペアホイールが装備されている場合があります。

タイヤ空気圧モニタリングの警告メッセージに対応する

タイヤ空気圧モニタリングシステムが空気圧の著しい低下を検出した場合、インストルメントクラスターにメッセージが表示されます。空気圧の低下はタイヤの損傷を示している可能性があります。

- ▶ 適切な場所に停車し、該当するタイヤに損傷がないか点検してください。

▶ 278 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

安全に駐車する

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。ジャッキをセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザードライトを ON にします。
3. パーキングブレーキを掛けます。
4. フロント ホイールをまっすぐにします。
5. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。降車時には交通状況に注意してください。
6. 適切な距離に停止表示板を設置します。
7. 交換するタイヤの対角にある車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにします。

▶ 294 ページの「ジャッキおよびリフティングプラットフォーム」の章を参照してください。

損傷したタイヤの補修

適用対象：タイヤシーラント装備車 (Tire Mobility System –TMS)

▲ 警告

シーラントでふさいだだけのタイヤは、事故の原因となる可能性があります

タイヤシーラントでふさがれた損傷タイヤは、不適切な速度で走行したり連続的な負荷がかかったりすると圧力を失ったり、バーストしたりする可能性があります。

- ▶ タイヤシーラントを使用してタイヤの傷をふさぐことは、最寄りの修理工場まで走行するための応急処置に過ぎません。
- ▶ タイヤシーラントは 4 mm 以下の切り傷またはパンクにしか使用しません。
- ▶ リムが損傷している場合、空気圧が低い状態のタイヤや空気の抜けたタイヤで走行していた場合、絶対にタイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 外気温度が -20 °C 未満の場合は、タイヤシーラントを使用しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
- ▶ 80 km/h を超える速度で走行しないでください。
- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。タイヤ空気圧が 1.5 bar 未満の場合は、運転を中止してください。
- ▶ シーラントでふさいだタイヤは修理工場ですぐに交換してください。タイヤシーラントを使用したタイヤであることを修理工場に伝えてください。
- ▶ タイヤを修理しないでください。損傷したタイヤを交換します。
- ▶ タイヤシーラントおよびコンプレッサーの各取扱説明書に記載されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

パンクした場合、車両に備えられているタイヤシーラントを使用してタイヤの傷を一時的にふさぐことができます。

(Tire Mobility System –TMS) タイヤシーラントキットと付属のコンプレッサーはフロントラゲッジコンパートメントにあります。

▶ 243 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。

サービスステータス

サービスステータスに関する詳細については、以下をご覧ください (一部の国で使用可能)。

▶ 223 ページの「スマートサービス」の章を参照してください。

タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) の充填

▲ 警告

人体に有害な可燃性シーラント

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。長時間または繰り返し触れていると、刺激、アレルギー反応または臓器の損傷の原因となります。

- ▶ タイヤシーラントの近くで喫煙したり、裸火を使用したりしないでください。
- ▶ タイヤシーラントは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- ▶ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
- ▶ タイヤシーラントが皮膚に付着したり目に入ったときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
- ▶ 体調不良やアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
- ▶ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
- ▶ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。
- ▶ タイヤシーラントを誤って飲み込んだときは、すぐに口を多量の水でゆすぎ、多量の水を飲んでください。無理に嘔吐しないでください。直ちに医師の診察を受けてください。

▲ 警告

タイヤの空気圧低下が検出されない

タイヤシーラントが付着したタイヤ空気圧センサーでは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

- ▶ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

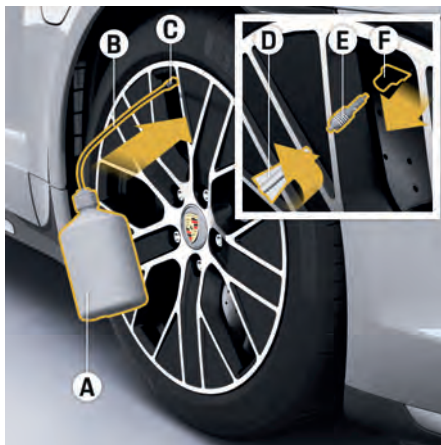


図. 255 タイヤシーラント (タイヤモビリティシステム – TMS) の充填

- A 充填ボトルを振る
- B 充填ホースをねじ込む
- C 充填ホース プラグ
- D バルブ回し
- E バルブインサートをねじ込む
- F タイヤバルブ

充填作業の準備

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. フロントラゲッジコンパートメントの左側のボックスからタイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) と提供されたステッカーを取り外します。
▶ 243 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。
3. 許容最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。

タイヤシーラント (Tire Mobility System – TMS) の充填

▶ タイヤシーラント (タイヤモビリティシステム – TMS) の取扱説明書に従ってください。

1. 充填ボトル A (図. 255) を振ります。
2. 充填ホース B (図. 255) を充填ボトルにねじ込みます。
◆ 充填ボトルが開きます。
3. タイヤバルブ F (図. 255) からバルブキャップをゆるめます。
4. バルブ回し D (図. 255) を使用して、バルブインサート E (図. 255) をタイヤバルブから取り外します。交換用バルブインサートが入手できない場合は、バルブインサートを清潔で乾燥した場所に保管します。
5. 充填ホース B (図. 255) からプラグ C を取り外します。
6. 充填ホースをタイヤバルブに押し付けます。
7. 充填ボトルをタイヤバルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填します。
8. タイヤバルブから充填ホースを取り外します。
9. 入手可能な場合は、バルブ回し D (図. 255) を使用して、交換用バルブインサートまたはバルブインサート E (図. 255) をタイヤバルブに確実にねじ込みます。

タイヤ空気の充填

▶ コンプレッサーの取扱説明書を読み、遵守してください。

1. フロント ラゲッジコンパートメントの右側のボックスからコンプレッサーを取り外します。
▶ 243 ページの「ラゲッジコンパートメント」の章を参照してください。
2. コンプレッサーを車両のプラグソケットに接続し、圧力が 2.5 bar 以上になるまでタイヤに空気を入れます。タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。このようなタイヤで運転を続けしないでください。
3. パルプキャップをタイヤバルブ F (図. 255) にねじ込みます。

タイヤ空気圧の点検

- ▶ 約 10 分間走行してからタイヤ空気圧を点検します。タイヤ空気圧が 1.5 bar 未満の場合は、運転を中止してください。
- ▶ 296 ページの「テクニカルデータ」の章を参照してください。

タイヤ交換

- ▶ 283 ページの「ホイール交換」の章を参照してください。

ホイール交換後、タイヤ空気圧モニタリングのタイヤ設定を更新する

- ▶ 278 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

スペアホイールの使用

適用対象：スペアホイール装備車

▲ 警告

車両のハンドリング特性の変化

スペアホイールを装着すると車両の挙動が乱れる場合があります。

- ▶ スペアホイールは緊急時に短距離を走行する場合にのみ使用してください。
安全のため、トレッドの溝にスリップサイン (深さ 1.6 mm) が**現れる前に**タイヤを交換してください。
- ▶ ポルシェ スタビリティ マネージメント (PSM) システムを絶対に解除しないでください。
- ▶ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。
スペアホイールを装着すると走行特性が大きく変化します。また、タイヤの摩耗を避けるためにも **80 km/h** の最高速度を厳守してください。
- ▶ 車種の異なるスペアホイールを使用しないでください。
- ▶ この車両用のスペアホイールを他車で使用しないでください。
- ▶ 同時に複数のスペアホイールを使用しないでください。

クラシブルスペアホイールはラゲッジコンパートメントにあります。

- ▶ 283 ページの「ホイール交換」の章を参照してください。

- ▶ 281 ページの「タイヤ空気の充填」の章を参照してください。

スペアホイールを使用した後は

- ▶ 持ち運ぶためにリヤラゲッジコンパートメントにスペアホイールを再び収納します。

スペアホイールが故障している場合、

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヒューズ

一般的な安全に関する指示

⚠ 危険

感電

エンジン作動中またはイグニッション ON の状態でヒューズまたはリレーを交換すると、感電の恐れがあります。

- ▶ 車両電気システム作業を行うときは、必ずエンジンとイグニッションを OFF にしてください。

⚠ 警告

短絡

車両電気システム作業により、短絡が発生する場合があります。短絡は火災の原因となります。

- ▶ 電気系統の作業を行うときは、必ず 12 V リチウムバッテリーのマイナス端子を外してください。

▶ 252 ページの「12V バッテリー」の章を参照してください。

⚠ 警告

不適切な介入および不適切なアクセサリ

ヒューズボックスへの不適切な介入および不適切なアクセサリの使用は、電気システムおよび電子回路の損傷や故障の原因になります。

- ▶ ここに記載されているヒューズ以外のすべての電気部品（リレーなど）については、交換しないでください。
- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェではポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
- ▶ ポルシェが承認したアクセサリのみを使用してください。認定アクセサリに関しては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。




ヒューズの点検および交換


短絡や過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各回路はヒューズで保護されています。

ヒューズボックスは、フットウェルおよび運転席側と助手席側のダッシュボード外側端部にあります。

装備仕様により、追加のヒューズボックスが車両内のさまざまな箇所にあります。これらの箇所には修理工場でのみアクセスできます。

ヒューズ定格

色	定格電流
	5 A
	7.5 A
	10 A

色	定格電流
	15 A
	20 A
	25 A
	30 A
	35 A
	40 A

ヒューズの点検および交換

ヒューズスロットの番号は、ヒューズホルダーに刻印されています。

割り当てられていないヒューズスロットは、以下の概要に記載されません。

1. 可能であれば交換するヒューズと関係のある電装品を OFF にしてください。
2. 該当するヒューズボックスカバーを開きます。
3. 必要に応じて、ヒューズ上の紫色のプラスチックストリップを慎重に取り外します。
4. ヒューズを点検するため、プラスチック製ヒューズリムーバー **D** を使用して、対応するヒューズをスロットから引き抜いてください。切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
5. 新しいヒューズを差し込んでください。交換するヒューズは、必ず同じ容量のものを使用してください。
6. 紫色のプラスチックストリップを元の位置に戻します。

同じヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

- ▶ ポルシェ正規販売店にご相談ください。ポルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヒューズボックスを開く

左側ダッシュボードのヒューズボックスを開ける

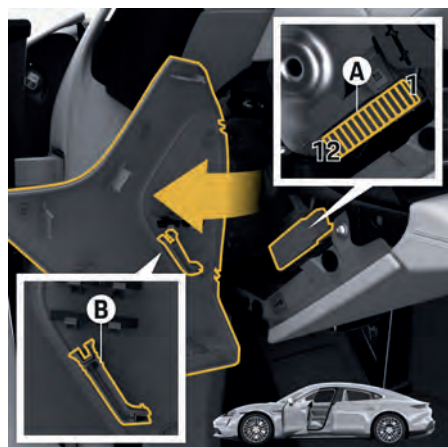


図. 256 左ヒューズボックス

- A ヒューズ 1 - 12 (機器による)
- B プラスチック製ヒューズリムーバー

左ヒューズボックス

- ▶ カバーを下側から慎重にこじり外し、取り外します。

No.	積載量
2	リヤエアコン、リヤのシートヒーターコントロールユニット
3	エアコンコントロールユニット
4	ヘッドアップディスプレイ
5	ステアリングコラムエレクトロニクスコントロールユニット
6	ステアリングコラム調節用コントロールユニット
8	インストルメントパネル
9	ETC料金システムカードリーダー(国別仕様による):
10	デジタル/ストップウォッチ
12	ステアリングホイールヒーター

右側ダッシュボードのヒューズボックスを開ける

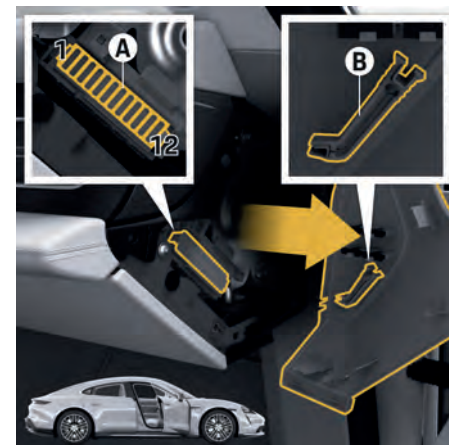


図. 257 右ヒューズボックス

- A ヒューズ 1 - 12 (機器による)
- B プラスチック製ヒューズリムーバー

右ヒューズボックス

- ▶ カバーを下側から慎重にこじり外し、取り外します。

No.	積載量
1	スマートフォントレイ
2	PCM
3	セントラルディスプレイ
4	フロント助手席ディスプレイ
5	オーディオインターフェース

No.	積載量
6	外気ブロワー
7	PCMコントロールユニット
8	セレクター レバー
9	充電トレイ/左右の充電ソケットの充電ボタン
12	故障診断用ソケット

左フットウェルのヒューズボックスを開く



図. 258 左フットウェルのヒューズボックスを開く

A列

No.	積載量
1	ヒーター回路クーラント ポンプ
3	冷却回路リレー
5	BCMコントロールユニット (LHD)
6	BCMコントロールユニット (LHD)
7	ライト/レインセンサー
8	無線制御パーキングコントロールユニット (LHD)、充電ポートリッドセンサー (RHD)
9	オーバーヘッドコンソール
10	BCMコントロールユニット (LHD)
11	無線データ転送コントロールユニット (LHD)
12	通信ボックス

B列

No.	積載量
1	ドライバー アシスタンス システム コントロールユニット
2	左リヤ ドアコントロールユニット
3	ヒーター回路コントロールユニット (LHD) 充電ポートリッド (RHD)
4	フロントウィンドウワイパー (LHD)

No.	積載量
5	PSMコントロールユニット
7	シートベルト、左フロント
8	BCMコントロールユニット (LHD)
9	BCMコントロールユニット (LHD)
10	左ヘッドライト エレクトロニクス
11	左フロントドアコントロールユニット
12	BCMコントロールユニット (LHD)

C列

No.	積載量
1	無線データ転送コントロールユニット (LHD)
2	リヤ オーディオ インターフェース
3	BCMコントロールユニット (LHD)
4	故障診断用ソケット (LHD)
6	左フロントレーダーセンサーコントロールユニット
7	ブレーキブースターコントロールユニット (LHD)
8	ルームミラー
9	通信ボックス

No.	積載量
10	右電圧供給端子 15 (RHD)
11	電源供給リヤ、端子 15 (RHD)

右フットウェルのヒューズボックスを開く

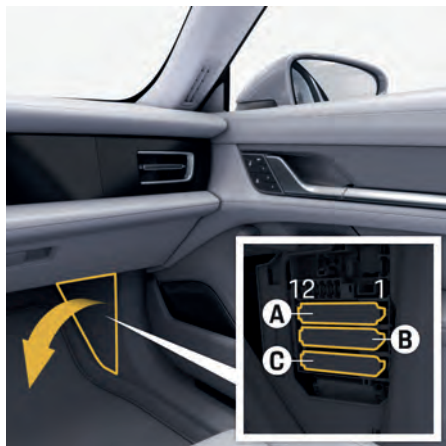


図. 259 右フットウェルのヒューズボックスを開く

A列

No.	積載量
1	BCMコントロールユニット (RHD)
3	BCMコントロールユニット (RHD)
4	フロントウィンドウワイパー (RHD)
5	BCMコントロールユニット (RHD)

No.	積載量
6	右リアドアコントロールユニット
7	アシスタンスシステムコントロールユニット
8	右フロントドアコントロールユニット
9	エアバッグコントロールユニット
10	シートベルト、右フロント
11	充電ポートセンサー (LHD)、無線制御パーキングコントロールユニット (RHD)
12	BCMコントロールユニット (RHD)

B列

No.	積載量
1	ゲートウェイコントロールユニット
2	無線データ転送コントロールユニット (RHD)
3	ヒーター回路コントロールユニット (RHD)、充電ポートリッド (LHD)
4	右ヘッドライトエレクトロニクス
5	BCMコントロールユニット (RHD)
6	BCMコントロールユニット (RHD)
7	ナイトビューアシストコントロールユニット

No.	積載量
8	ドライバーアシスタンスシステムのフロントカメラ
9	フロントPDCCコントロールユニット
10	無線データ転送コントロールユニット (RHD)
11	レーダーセンサーコントロールユニット、右フロント

C列

No.	積載量
1	故障診断用ソケット (RHD)
2	ゲートウェイコントロールユニット
3	ブレーキブースターコントロールユニット (RHD)
4	BCMコントロールユニット (RHD)
5	フロントパルス制御式インバーター
6	イオナイザー
7	電源供給左、端子 15 15 (LHD)
8	電源供給リヤ、端子 15 (LHD)
9	DC/DCコンバーター
10	電動パワーステアリングコントロールユニット

No.	積載量
12	アダプティブクルーズコントロール(ACC)

ジャッキおよびリフティングプラットフォーム トフォーム 車両のリフトアップ



図. 260 ジャッキおよびリフティングプラットフォーム用のフロント側ジャッキアップポイント

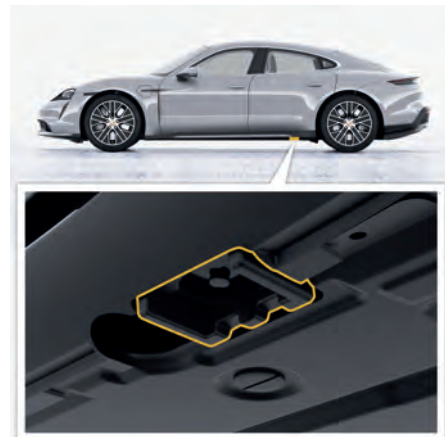


図. 261 ジャッキおよびリフティングプラットフォーム用のリア側ジャッキアップポイント

⚠ 警告

車両の不十分な固定

車両がしっかりと固定されていない場合、または正しく固定されていない場合、不意に動いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両をジャッキで持ち上げる場合、固く水平な場所でのみ行ってください。
- ▶ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップポイントで持ち上げてください。
- ▶ 車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポートスタンドで車体を支えてください。
- ▶ 作動待機が確立した状態で作業する場合には、エレクトリックパーキングブレーキを作動させてください。

▲ 警告

レベリングシステムのコントロール作動

レベリングシステムが作動している車両は、予期しないタイミングで動いたり、傾いたり、ジャッキやリフティングプラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。これにより深刻な怪我や損傷に至る場合があります。

- ▶ 車両の高さを上げる際には、事前に車両の高さを標準の高さに設定し、レベリングシステムをOFFにします。

▲ 警告

車両のリフトアップ

PASM 警告メッセージ、または車両が高温になっているという警告メッセージが表示されている場合、車高を上げると、怪我や車両損傷の恐れがあります。

- ▶ 必ず車両が冷めた状態で車高を上げてください。
- ▶ PASM からの警告メッセージが表示されている状況では、お客様ご自身でシャーシに関する作業を行わないでください。ボルシェ正規販売店にご連絡ください。ボルシェ正規販売店のご利用をお勧めいたします。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

- ▶ **🏠 ▶ 車両の設定 ⚙️ 車両 ▶ 追加のシャーシ設定**
▶ ジャッキの使用のためにシャーシの適応を無効にします

ウォッシャー液

ウォッシャー液の選択



図. 262 ウォッシャー液タンク

- ▶ 季節に合わせて、水と適切な添加剤 (ウィンドウクリーナー濃縮液、不凍液) を混ぜ合わせてください。常に適切な割合で混合し、使用する添加物の容器に記載された指示をすべてお読みください。
 - 夏季：水とウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください
 - 冬季：水、不凍液、およびウィンドウクリーナー濃縮液を入れてください

次の要件を満たしたウィンドウクリーナー濃縮液のみを使用してください：

- 希釈 1:100
- リン酸塩不使用
- プラスチック製ヘッドライト レンズ適合品

ボルシェが推奨するウォッシャー液濃縮液については、ボルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ウォッシャー液レベルが低くなりすぎると、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

ウォッシャー液の追加

知識

ヘッドライトを損傷する恐れがあります。

- ▶ ウォッシャー液を補充するときに、ヘッドライトに寄りかからないようにしてください。

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開けます。
2. ウォッシャー液を追加します。
 - ▶ 297 ページの「充填容量」の章を参照してください。
3. キャップを慎重に閉めます。

テクニカルデータ

テクニカルデータ

車両識別番号

この取扱説明書に含まれる情報は、装備品または国固有の理由により、車両固有のデータとは異なる場合があります。個別に指定されている場合を除き、すべてのボディの種類に適用されます。車両固有データに関しては、車両の公式登録書類およびインフォメーションプレートを参照してください。

車両の公式登録書類の情報は常にこのマニュアルの情報よりも優先されます。



図. 263 車両識別番号の記載箇所

車両識別番号はフロント ウィンドウ後ろの左下と助手席の下に記載されています。

- ▶ スペア パーツを注文する場合、必ず車両識別番号を記載してください。

タイヤ空気圧プレート



図. 264 タイヤ空気圧プレートの記載箇所

タイヤ空気圧プレートは、運転席ドアのドアシル部に取り付けられています。

車両データバンク

車両の大切な情報が記載されているデータバンクは、整備手帳の中に添付されています。このデータバンクは、紛失したり破損したりしても再注文することができません。

寸法

全長 (装備仕様により異なる)	4,963 mm – 4,974 mm
全幅 (装備仕様により異なる)	1,966 mm – 1,972 mm
ドア ミラーを含む全幅	2,144 mm
DIN 規定の空車重量での車高 シャーシのバリエーションと選択したレベルにより異なる	1,368 mm – 1,442 mm
DIN 規定の空車重量での地上高 シャーシのバリエーションと選択したレベルにより異なる	116 mm – 179 mm

充填容量

規定の / 使用可能なバッテリー電力容量	約 93.4/83.7 kWh (大型バッテリー) 約 79.2/71.0 kWh (小型バッテリー)
ウォッシュャー液	約 2.5 L (ナイト ビュー アシストまたはリバース カメラ装備車: 約 5.5 L)

重量

- ▶ 最大総重量と最大軸荷重の限度を超えないようにしてください。追加装備が取り付けられている場合、最大許容荷重が小さくなります。
- ▶ 233 ページの「ルーフ トランスポート システム」の章を参照してください。

	Taycan
空車重量 (装備仕様により異なる)	
DIN 70020 規格	2.050 kg – 2.340 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	2.125 kg – 2.415 kg
最大軸荷重、フロント	1.310 kg
最大軸荷重、リヤ	1.540 kg
最大総重量	2.795 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg

	Taycan 4 Cross Turismo
空車重量 (装備仕様により異なる)	
DIN 70020 規格	2.245 kg – 2.460 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	2.320 kg – 2.535 kg
最大軸荷重、フロント	1.365 kg
最大軸荷重、リヤ	1.575 kg
最大総重量	2.885 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg

	Taycan 4S
空車重量 (装備仕様により異なる)	

	Taycan 4S
DIN 70020 規格	2.140 kg – 2.465 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	2.215 kg – 2.540 kg
最大軸荷重、フロント	1.395 kg
最大軸荷重、リヤ	1.540 kg
最大総重量	2.880 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg

	Taycan 4S Cross Turismo
空車重量 (装備仕様により異なる)	
DIN 70020 規格	2.245 kg – 2.465 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	2.320 kg – 2.540 kg
最大軸荷重、フロント	1.365 kg
最大軸荷重、リヤ	1.575 kg
最大総重量	2.885 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg

	Taycan Turbo
空車重量 (装備仕様により異なる)	
DIN 70020 規格	2.305 kg – 2.495 kg

	Taycan Turbo
EC 規格 1230/2012 に基づく	2.380 kg – 2.570 kg
最大軸荷重、フロント	1.385 kg
最大軸荷重、リヤ	1.545 kg
最大総重量	2.880 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg

	Taycan Turbo Cross Turismo
空車重量 (装備仕様により異なる)	
DIN 70020 規格	2.320 kg – 2.490 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	2.395 kg – 2.565 kg
最大軸荷重、フロント	1.350 kg
最大軸荷重、リヤ	1.575 kg
最大総重量	2.880 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg

	Taycan Turbo S
空車重量 (装備仕様により異なる)	
DIN 70020 規格	2.295 kg – 2.475 kg
EC 規格 1230/2012 に基づく	2.370 kg – 2.550 kg

	Taycan Turbo S
最大軸荷重、フロント	1.390 kg
最大軸荷重、リア	1.540 kg
最大総重量	2.870 kg
最大ルーフ積載荷重	75 kg

タイヤおよびホイール

ホイールおよびタイヤのサイズ

荷重指数（「105」など）と許容最高速度を示す記号（「Y」など）は、いずれも最低要件です。新しいタイヤの装着時やタイヤ交換時：

▶ 278 ページの「タイヤおよびホイール」の章を参照してください。

- スノーチェーンは適切なマークが付いたホイールおよびタイヤのサイズにのみ装着してください。スノーチェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ポルシェが承認したスノーチェーンのみを使用してください。
- タイヤ/ホイールを取り付ける前に、EU 適合宣言をチェックし、そのホイール/タイヤの組み合わせがこの車両に許可されているかどうかを確認してください。詳しくは、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

タイヤ	タイヤのサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
サマータイヤ	FA : 225/55 R 19 103Y XL RA : 275/45 R 19 108Y XL	FA : 8.0J x 19 R0 50 RA : 10.0 x 19 R0 47	不可
	FA : 245/45 R 20 103Y XL RA : 285/40 R 20 108Y XL	FA : 9.0J x 20 R0 54 RA : 11.0J x 20 R0 60	不可
	FA : 255/40 R 20 101Y XL ¹ RA : 295/35 R 20 105Y XL ¹	FA : 9.0J x 20 R0 54 RA : 11.0J x 20 R0 60	不可
	FA : 265/35 ZR 21 101Y XL RA : 305/30 ZR 21 104Y XL	FA : 9.5J x 21 R0 60 RA : 11.5J x 21 R0 66	不可

1. Taycan Turbo S Cross Turismo のみ

タイヤ	タイヤのサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
オールシーズンタイヤ	FA: 225/55 R19 103H XL M+S RA: 275/45 R19 108H XL M+S	FA: 8.0J x 19 RO 50 RA: 10.0 x 19 RO 47	不可
	FA: 245/45 R 20 103H XL M+S RA: 285/40 R 20 108H XL M+S	FA: 9.0J x 20 RO 54 RA: 11.0J x 20 RO 60	不可
	FA: 265/35 R 21 101H XL M+S RA: 305/30 R 21 104H XL M+S	FA: 9.5J x 21 RO 60 RA: 11.5J x 21 RO 66	不可
ウィンタータイヤ	FA: 225/55 R19 103V XL M+S RA: 275/45 R19 108V XL M+S	FA: 8.0J x 19 RO 50 RA: 10.0 x 19 RO 47	リヤアクスルのみ
	FA: 245/45 R 20 103V XL M+S RA: 285/40 R 20 108V XL M+S	FA: 9.0J x 20 RO 54 RA: 11.0J x 20 RO 60	リヤアクスルのみ

19インチホイールは、ボルシェーフサーフェスコーテッドブレーキ (PSCB) またはボルシェーフセラミックコンポジットブレーキ (PCCB) 装備車両に適していません。

FA = フロントアクスル、RA = リヤアクスル、RO = リムオフセット

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧は、いずれも、ボルシェーフが認定したメーカーおよび仕様のタイヤの冷間時 (20 °C) にのみ適用されるものです。

工場取り付けタイヤの正しいタイヤ空気圧は、タイヤ空気圧プレートで確認できます。選択できるその他すべてのタイヤの指定タイヤ空気圧は、セントラルディスプレイのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) 表示で確認できます。

- ▶ タイヤ空気圧モニタリング (TPM) システムで、車両のタイヤ、タイヤのサイズおよび積載荷重を設定します。
 - ▶ 278 ページの「タイヤ空気圧およびタイヤ空気圧モニタリング (TPM) システム」の章を参照してください。
- ▶ タイヤ空気圧プレートと、セントラルディスプレイのタイヤ空気圧モニタリング (TPM) 表示を参照します。

🏠 ▶ 車両の設定 ⚙ ▶ 車両設定 ▶ タイヤ空気圧モニタリング ▶ 空気圧偏差

- ▶ タイヤ空気圧を仕様に合わせて調整します。

スペアホイール

- ▶ 289 ページの「スペアホイールの使用」の章を参照してください。

ホイールおよびタイヤのサイズ

タイヤサイズ	ホイールサイズ	スノーチェーンの装着
T 155/70 R20 115M	4.5B x 20 R0 7	不可

FA = フロント アクスル、RA = リヤ アクスル、R0 = リム オフセット

タイヤ空気圧

タイヤ空気圧はいずれも、ポルシェが認定したメーカーおよび仕様のタイヤの冷間時 (20 °C) にのみ適用されるものです。

FA	RA
4.2 bar / 420 kPa / 61 psi	4.2 bar / 420 kPa / 61 psi


ポルシェ コミュニケーション マネージメント (PCM)

テクニカルデータ：オーディオおよびビデオ ファイル	
対応するメディア	ポータブルプレーヤー MTP プレーヤー、「USB デバイス サブクラス 1 および 6」の USB 3.0 デバイス (USB スティック、特別なドライバー ソフトウェアを含まない USB MP3 プレーヤー、外部 USB フラッシュメモリー、およびハードドライブなど)
ファイル システム	USB 大容量ストレージ exFAT、FAT、または FAT32、NTFS ファイル システム (最大 4 パーティション)
フォーマット	MPEG 1/2 Layer 3、Windows Media Audio 9 および 10、MPEG 2/4、FLAC、MPEG 1/2、ISO-MPEG4、DivX 3、4、5、Xvid、ISO-MPEG4 H.264 (MPEG4 AVC)、Windows Media Video 9
ファイル拡張子	.mp3、.wma、.asf、.m4a、.m4b、.aac、.flac、.mpg、.mpeg、.avi、.mp4、.m4v、.mov、.wmv
再生リスト	.M3U、.PLS、.WPL、.M3U8、.ASX
特性	最大 320 kbit/s および 48 kHz サンプリング周波数、最大 2,000 kbit/s および 720x576 ピクセル (最大 25 fps)
ファイル数	USB 大容量ストレージ 1 メディアにつき最大 10,000 ファイル、1 ディレクトリー / 1 再生リストにつき最大 1,000 ファイル
メタデータ	アルバム ジャケット最大 800 x 800 ピクセル。GIF、JPG、および PNG フォーマット、または Gracenote データベース 経由
テクニカルデータ：接続	
モバイル ネットワーク	GSM/GPRS/EDGE：デュアルバンド、900 MHz/1800 MHz UMTS/HSPA+：トリプルバンド、900 MHz (Band VIII)/1800 MHz (Band III)/2100 MHz (Band I) LTE：クワッドバンド、800 MHz (Band 20)/900 MHz (Band 8)/1800 MHz (Band 3)/2600 MHz (Band 7)
WiFi	IEEE 802.11a/b/g/n (2.4 GHz)
Bluetooth®	Bluetooth® 2.1、IEEE 802.15.1、クラス 2、到達範囲約 10 m

テクニカルデータ：ラジオ

周波数範囲 / 規格	UKW (FM) : 87.5 – 108MHz (100 kHz ごとの手動調節)
	MW (AM) : 537 – 1602 kHz (国別仕様による、9 kHz 単位の手動設定)
放送局の自動検索による選局グリッド	UKW (FM) : 100 kHz
	MW (AM) : 9 kHz (国別仕様により異なる)

ライセンスについて

Bluetooth®	Bluetooth® マークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、AISIN AW CO, LTD. は認可を受けてこれらを使用しています。その他のマークおよびブランド名は、それぞれの所有者に帰属します。
Dolby Digital	Dolby Laboratories のライセンスの下で製作 Dolby およびダブル D マークは Dolby Laboratories の登録商標です。
DTS Digital Surround	 DTS の特許については、 http://patents.dts.com を参照してください。DTS Licensing Limited のライセンスの下で製作。DTS、シンボル、および DTS とシンボルの組み合わせは登録商標として登録されています。DTS Digital Surround のシンボルは DTS, Inc. の登録商標です。© DTS, Inc. All Rights Reserved.
Gracenote®	 Gracenote ロゴおよび「Powered by Gracenote」ロゴは、米国またはその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

エンドユーザーライセンス契約

Gracenote®	<p>Gracenote® エンドユーザーライセンス契約</p> <p>このアプリケーションまたは機器には、米国カリフォルニア州エメリービルの Gracenote, Inc. によるソフトウェア [「Gracenote」] が搭載されています。このアプリケーションは Gracenote によるソフトウェア [「Gracenote Software」] を利用し、オンラインのディスクまたはファイルを識別し、名前、アーティスト名、トラック名、タイトル情報など音楽関連の情報 [「Gracenote Data」] をオンラインサーバーまたは実装データベース (総称として「Gracenote Servers」) から入手するとともに、その他の機能も実現しています。Gracenote データは、アプリケーションまたは機器のエンドユーザー機能の意図に沿う形でのみ利用できます。Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを個人的かつ非営利の目的でのみ使用することに同意するものとします。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データを第三者に譲渡、コピー、転送または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。これらの制限に反した場合は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの通常使用権約が解除されることに同意するものとします。ライセンスが停止</p>
------------	--

エンドユーザー ライセンス契約

すると、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーすべての使用を中止することに同意するものとします。全所有権を含めた Gracenote データ、Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーについてのすべての所有権を含む、すべての権利を Gracenote が保有します。いかなる状況においても Gracenote はお客様が提供した情報についてお客様に対して支払いの責任を持ちません。Gracenote, Inc. が自己の名義をもってお客様に対してこの合意に基づいた権利を執行できることに同意するものとします。Gracenote サービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用します。ランダムに割り当てた数字による識別子の目的は Gracenote サービスが質問者の個人情報を取得せずにクエリをカウントすることを可能にします。より詳細な情報については、Gracenote サービスの Gracenote プライバシー ポリシーのウェブページを参照してください。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote データの各アイテムは、「現状のまま」でお客様にライセンス供与されます。Gracenote は、Gracenote サーバーから得られた Gracenote データの正確性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリーを変更したりする権利を留保します。Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーにエラーがない、または Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断しないことは保証されていません。Gracenote は Gracenote が提供可能な新しい拡張または追加データ タイプまたはカテゴリーを提供する義務を負いません。またいつでもサービスを中断することができます。Gracenote は明示的または暗示的にかかわらず、商品性および特定目的に対する適合性、所有権および非侵害などで暗示されている保証も含め (限定はしない)、いかなる保証も行いません。Gracenote は、お客様が Gracenote ソフトウェアおよび Gracenote サーバーを使用することにより入手した結果について保証しません。結果的なまたは付随的な損害、または利益や収益の損失について、Gracenote は一切責任を負いません。©Gracenote, Inc. 2009

Bluetooth® 認証 (抜粋)

アルバニア-アンドラ-アンゴラ-アルバ-オーストラリア-オーストリア-バハマ-バーレーン-バルバドス-ベラルーシ-ベルギー-ベリーズ-ボリビア-ボネール島-ボスニアヘルツェゴビナ-ブラジル-ブルネイ-ブルガリア-ブルキナファソ-カナダ-チリ-中国-コロンビア-コスタリカ-クロアチア-キュラソー-キプロス-チェコ共和国-デンマーク-ドミニカ共和国-エクアドル-エジプト-エルサルバドル-エストニア-エチオピア-フィンランド-フランス-フランス領ギアナ-フランス領ポリネシア-ガボン-ドイツ-ガーナ-ジブラルタル-グアドループ島-グアテマラ-ギリシャ-グリーンランド-香港-ハンガリー-アイスランド-インド-インドネシア-アイルランド-イラク-イスラエル-イタリア-コートジボワール-ジャマイカ-日本-ヨルダン-ケニア-コソボ-クウェート-ラトビア-レバノン-レソト-リベリア-リビア-リヒテンシュタイン-リトアニア-ルクセンブルグ-マカオ-マケドニア-マダガスカル-マレーシア-マルタ-マルティニーク-モーリシャス-メキシコ-モナコ-モンゴル-モロッコ-モザンビーク-オランダ-ニューカレドニア-ニュージーランド-ナイジェリア-ノルウェー-オマーン-パキスタン-パナマ-ペルー-ポーランド-ポルトガル-プエルトリコ-カタール-レユニオン-ルーマニア-ロシア-サンマリノ-サウジアラビア-セネガル-セルビア-シンガポール-スロバキア-南アフリカ-スペイン-セントルシア-スウェーデン-スイス-タヒチ-台湾-タイ-アラブ首長国連邦-イギリス-ウルグアイ-米国-ベネズエラ-ベトナム-イエメン-ジンバブエ

リサイクル

耐用年数経過後の車両の返却

EU加盟国のみ：

- 一部の国では、無線技術の試運転または使用承認の制限、不許可、または追加要件の要求が課される場合があります。

Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG は、お客様の古くなったポルシェを無料で環境に配慮した方法でスクラップ処理いたします。使用済みの車両を返却して関連する解体証明書を取得するには、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

エアバッグおよびシートベルトテンショナーユニット

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、エアバッグユニット、シートベルトテンショナーユニットは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。適切な廃棄に関する詳細情報については、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

⊗電気/電子部品および使用済みバッテリー

ゴミ箱にバツマークがある絵文字のラベルが付いている電気/電子部品および使用済みバッテリーは、家庭ごとと一緒に廃棄できません。適切な方法で廃棄してください。

- ▶ 各国の廃棄に関する法規を遵守してください。
- ▶ 古いバッテリーおよび電気/電子機器は、回収場所に持ち込んでください。
- ▶ 12V リチウムバッテリーは危険物です。このバッテリーに手を加えたり、決してご自身で廃棄したりしないでください。
- ▶ 高電圧バッテリーは危険物です。このバッテリーに手を加えたり、決してご自身で廃棄したりしないでください。

適切な廃棄に関する詳細情報については、

- ▶ ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

欧州化学物質規制 (REACH) に基づく表示

ポルシェは EU 化学物質規制 REACH (化学物質の登録、評価、認可、および制限) に従い、車両に含まれている可能性のある高懸念物質 (SVHC) に関する情報を提供します。

この情報はインターネットで入手できます。

▶ <https://www.porsche.com/international/reach-regulation/>

無線機器 (EU 地域内) 適合宣言書

この車両には、さまざまな無線システムが搭載されています。これらの無線システムのメーカーは、これらの無線システムが指令 2014/53/EU に従った使用方法に適合していることを宣言しています。関連する EU 適合宣言書の全文は、以下のインターネットアドレスから入手できます。

<https://www.porsche.com/international/accessoriesandservice/porscheservice/vehicleinformation/documents/>



無線システム、適合宣言書におけるデバイス名称、周波数帯域、最大伝送電力

特に明記されていない限り、詳細は関連する無線システムを搭載するすべてのモデルまたは車両に適用されます¹。許容差は脚注に記されます。

セキュリティ

キー	
PK3	
21.85 kHz	< 40 dB μ A/m @ 10 m
433.47 – 434.37 MHz	10.00 mW

ボルシェ車両追跡システム – ドライバー カード	
PD2	
21.85 kHz	< 40 dB μ A/m @ 10 m
433.47 – 434.37 MHz	10.00 mW

ガレージドアオープナー (HomeLink®)	
Universal Garage Door Opener HomeLink® ADHL5D	
433.05 – 434.79 MHz	0.04 mW
868.00 – 868.60 MHz	1.05 mW
868.70 – 869.20 MHz	1.05 mW

コントロールユニット

セントラルコントロールユニット	
BCMev0 5	
21.85 kHz	< 40 dB μ A/m @ 10 m

セントラルコントロールユニット	
BCMev0 5	
433.05 – 434.79 MHz	受信機のみ

タイヤ

タイヤ空気圧モニタリング – 第3世代ホイールエレクトロニクス	
TPMS Sensor G3.8 433.92 MHz TSSRE4Dg	
433.92 MHz	81 dB μ V/m

タイヤ空気圧モニタリング – 第3世代コントロールユニット	
TPMS ECU G5 compact 433.92 MHz TSSS G4G5	
433.92 MHz	受信機のみ

エンターテインメント

スマートフォントレイ	
LTE-MBC-EU2 Multi Band Compensor	
GSM 900 (880 – 915 MHz)	2000.00 mW
GSM 1800 (1710 – 1785 MHz)	1000.00 mW
WCDMA I (1920 – 1980 MHz)	125.00 mW

スマートフォントレイ	
LTE-MBC-EU2 Multi Band Compensor	

WCDMA III (1710 – 1785 MHz)	125.00 mW
WCDMA VIII (880 – 915 MHz)	125.00 mW
LTE FDD1 (1920 – 1980 MHz)	200.00 mW
LTE FDD3 (1710 – 1785 MHz)	200.00 mW
LTE FDD7 (2500 – 2570 MHz)	200.00 mW
LTE FDD8 (880 – 915 MHz)	200.00 mW
LTE FDD20 (832 – 862 MHz)	200.00 mW

ワイヤレス充電	
WCH-193c	

111.00 kHz	42 dB μ A/m
------------	-----------------

ボルシェ リヤ シート エンターテインメント (PRSE)

ボルシェ リヤシート エンターテインメント	
RSE stream¹	
WiFi (2412 – 2483 MHz)	44 mW
Bluetooth® (2402 – 2480 MHz)	18 mW
ドライバー アシスタンス	
アダプティブクルーズコントロール(ACC)	
LRR4 automotive radar sensor	
76 – 77 GHz	981.75 mW
パーキングアシスタント	
TRANSCVRP01	
Bluetooth® (2402 – 2480 MHz)	2.51 mW
レーンチェンジアシスト(LCA)、インターセクションアシスト(IA)	
R3TR Short Range Radar	
76 – 77 GHz	1000.00 mW

アンテナ	
コミュニケーションボックスCボックス	
CONBOX-HIGH	
Bluetooth® (2402 – 2480 MHz)	< 10 mW
Bluetooth® LE (2.4 – 2.483-GHz クラス2)	< 2.51 mW
WiFi (2400 – 2483.5 MHz)	< 31.6 mW
WiFi (5735 – 5835 MHz)	< 25.1 mW
GSM EGSM 900 クラス4	1995 mW
GSM GSM 1800 クラス1	1000 mW
GSM GSM 900 8-PSK クラスE2	501 mW
GSM GSM 1800 8-PSK クラスE2	398 mW
UMTS	251 mW

コミュニケーションボックスCボックス	
CONBOX-HIGH	
B1 (2100 MHz) クラス3	
UMTS B3 (1800 MHz) クラス3	251 mW
UMTS B8 (900 MHz) クラス3	251 mW
LTE FDD B1 (2100 MHz) クラス3	199 mW
LTE FDD B3 (1800 MHz) クラス3	199 mW
LTE FDD B7 (2600 MHz) クラス3	199 mW
LTE FDD B8 (900 MHz) クラス3	199 mW
LTE FDD B20 (800 MHz) クラス3	199 mW
LTE	199 mW

1. 適合宣言書からのデバイス名称は、本稿執筆時点では入手可能ではありませんでした。

コミュニケーションボックスCボックス

CONBOX-HIGH

FDD B28 (700 MHz) クラス3

LTE 199 mW

FDD B32 (1500 MHz) クラス3

LTE 199 mW

TDD B38 (2600 MHz) クラス3

送信出力のないアンテナ

- 992.035.504.A
- VAG_724791001
- 920286352
- VAG_724791007

その他

充電ケーブル

IC-CPD

WiFi 2.4 GHz (2400 – 2483.5 MHz) 100 mW

WiFi 5 GHz (5150 – 5250 MHz) 100 mW

Porsche Home Energy Manager

WiFi (2412 – 2462 MHz) 60 mW

無線機器 (EU 地域外)

検査マークおよび適合宣言書

Albania, Bahrain, Bosnia and Herzegovina, French Guyana, Georgia, Gibraltar, Guadeloupe, Iceland, Israel, Ivory Coast, Kuwait, Macedonia, Martinique, Monaco, Montenegro, New Caledonia, Norway, Reunion, Sri Lanka, St. Lucia, Switzerland, Trinidad & Tobago, Turkey.



Argentina

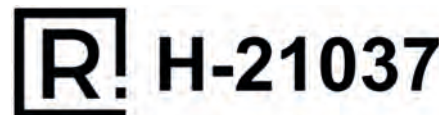
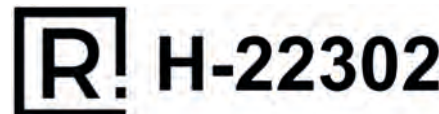
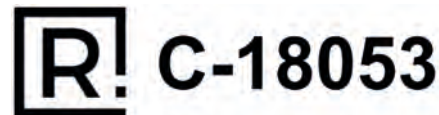


CNC ID: C-21672 (LRR4)

CNC ID: C-24063 (MIB3)

CNC ID: H-17001 (Homelink)

CNC ID: H-24102 (TPMS)



Australia**Botswana****Brazil**

00716-15-03745 (LRR4)
 00971-18-02930 (Key PK3)
 01683-20-12822 (HEM)
 02393-19-05364 (BCMevo5)
 01622-20-12817 (BT-Transceiver)
 05031-16-06324 (Homelink)
 05224-19-12227 (MIB3)
 05674-16-06830 (R3TR)
 07137-19-08137 (TPMS)
 09087-19-07978 (C-Box High)
 09589-19-12707 (IC-CPD)

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados. Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos técnicos aplicados. Para maiores informações, consulte o site da ANATEL www.anatel.gov.br

Brunei

DTA-000713 (TPMS)
 DTA-002281 (Key PK3)
 DTA-002453 (BCMevo5)
 DTA-003655 (MIB3)
 DTA-005830 (LRR4)

Canada

This vehicle includes following Radio Frequency Devices/ Ce véhicule comprend les appareils à radiofréquence suivants:
 IC: 2694A-BCMEVO5 (BCMevo5)
 IC: 2701A-PK3 (Key PK3)
 IC: 3702A-TSSRE4UD (TPMS)
 IC: 3887A-LRR4 (LRR4)
 IC: 4112A-ADHL5D (Homelink)
 IC: 8595A-JODYW16407A (MIB3)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with RSS-210 of Industry Canada. ISED Canada's licence-exempt RSSs and These devices contain licence-exempt transmitter(s)/ receiver(s) that comply with Innovation, Science and Economic Development Canada's licence-exempt RSS(s).

Operation is subject to the following two conditions:

1. These devices may not cause interference; and
2. These devices must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

These Class B digital apparatus comply with Canadian ICES-003.

Ces appareils sont conformes à la norme RSS-210 de l'Industrie Canadienne. Les 'émetteurs/récepteurs exempt de licence contenu dans le présent appareil sont conformes aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. Son fonctionnement est soumis aux deux conditions suivantes:

1. Ces appareils ne doivent pas causer d'interférences nuisibles et
2. Ces appareils doivent accepter toute interférence reçue, y compris les interférences pouvant entraîner un fonctionnement.

Ces appareils numérique de la classe B sont conforme à la norme NMB-003 du Canada.

China

取得審驗證明之低功率射頻器材，非經核准，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻器材之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前述合法通信，指依電信管理法規定作業之無線電通信。低功率射頻器材須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

Customs Union (including Armenia, Belarus, Kazakhstan, Russia)



Декларация о соответствии ТР ТС 020/2011 ЕАЭС № RU Д-DE.ЭМ03.В.00148 от 05.03.2018, действительна по 04.03.2023, зарегистрирована органом по сертификации продукции ФГУП Ор-дена Трудового Красного Знамени научно-исследовательский институт радио «Испытательный центр «Омега»

Модель: LTE-MBC-EU2

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделано в Германии

Электропитание: 12 V₌, 400 mA

Модель: LTE-MBC-EU

Изготовитель: Molex CVS Dabendorf GmbH

Сделано в Германии

Электропитание: 12 V₌, 400 mA

Модель: Bluetooth Transceiver

RU Д-DE.PA01.B.60415/20

Изготовитель: Continental Advanced Antenna GmbH

Модель: Tire Pressure Monitoring Sensor

RU Д-DE.A.U04.B.09167

Изготовитель: HUF Electronics GmbH

Costa Rica

SUTEL 00770-2018

SUTEL 00922-2018 (Key PK3)

SUTEL 02922-2019 (MIB3)

SUTEL 05901-2019 (BCMevo5)

SUTEL 07096-2014 (LRR4)

SUTEL 07764-2016 (Homelink)

SUTEL 08513-2016 (R3TR)

Ghana

NCA APPROVED: 1R3-1M-7E0-14B (Key PK3)

NCA APPROVED: 6x6-4H-7E0-0F3 (R3TR)

NCA APPROVED: BRE-1M-GE2-15A (BCMevo5)

NCA APPROVED: SRO-1M-7E4-22 (LRR4)

NCA APPROVED: ZRO-M8-7E3-X79 (MIB3)

Great Britain

The following acts as importer of the radio equipment devices for the United Kingdom market within the meaning of The Radio Equipment Regulations 2017: Porsche Cars Great Britain Ltd.

Bath Road, Calcot, Reading, Berkshire, RG31 7SE
United Kingdom

Hong Kong

HKCA 1035: Automotive radar: radio equipment exempted from licensing.



Certified for use in Hong Kong
經驗證可在香港使用
Certificate No. 證書號碼
HK002900058



通訊事務管理局
COMMUNICATIONS
AUTHORITY

Certified for use in Hong Kong
 經驗證可在香港使用
 Certificate No. 證書號碼
 US0031900022



通訊事務管理局
 COMMUNICATIONS
 AUTHORITY


India

- ETA-1736/18-RLO(NE)
- ETA-1759/18-RLO(NE) (PK3)
- ETA-3001/16-RLO(WR) (LRR4)
- ETA-SD-20190601822 (MIB3)
- ETA-SD-20201208973 (Homelink)
- ETA-SR-20180387 (BCMevo5)

Indonesia




Dilarang melakukan perubahan spesifikasi yang dapat menimbulkan gangguan fisik dan/atau elektromagnetik terhadap lingkungan sekitarnya




55538/SDPPI/2018
2208

53856/SDPPI/2017




63118/SDPPI/2019
2692

55747/SDPPI/2018



63852/SDPPI/2019
4334



73613/SDPPI/2021
2692



63118/SDPPI/2019
2692




66074/SDPPI/2020
4334


Israel

Model Name: TSSRE4Dg
 Manufacturer: Huf Electronics Bretten
 Model Name: LRR4
 Manufacturer: Bosch


Japan



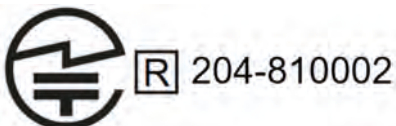
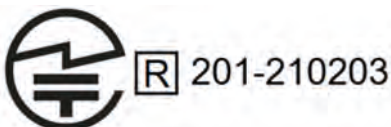
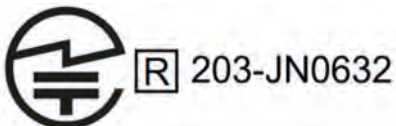
® 204-560001



® 202-LSC054



® 202-JN0638



Japanese Radio Law Compliance. This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law. This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

Jamaica

These products have been Type Approved by Jamaica:

SMA - MIB3 TOP

SMA - PK3

SMA - BCMevo5

Jordan

TRC/LPD/2014/212 (LRR4)

TRC/LPD/2016/584 (R3TR)
 TRC/LPD/2017/615 (PK3)
 TRC/LPD/2018/66
 TRC/SS/2019/155 (MIB3)
 TRC/34/6858/2020 (BCMevo5)

Malaysia



CIDF15000490 (LRR4)
 CIDF17000143 (R3TR)
 CIDF19000029 (PK3)
 CIDF18000015

Mexico

IFETEL: IFT-008-2015 (HomeLink)
 IFETEL: RLVBOLR14-1873 (LRR4)
 IFETEL: RLVDER316-2005
 IFETEL: RLVPOPK17-1947 (PK3)
 IFETEL: RCPAUMI19-2202 (MIB3)
 IFETEL: RCPAPR318-2005 (R3TR)
 IFETEL: RCPHEBC18-2099 (BCMevo5)
 IFETEL: RCPKATR18-0034 (BT-Transceiver)

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. Este equipo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Moldova

Acest vehicul este echipat cu o varietate de echipament radio. Urmatorul este importatorul de echipament radio pentru piata din Republica Moldova cu privinta reglementarii echipamentului radio: GT Sport Auto Ltd., General Importer of Dr. Ing. h.c. F. Porsche AG in Moldova. Calea Iesilor str. 28/1, MD-2069, Chisina

Mongolia



**APPROVED
 IN MONGOLIA
 ID: A18000286**



**APPROVED
 IN MONGOLIA
 ID: A17000167**



**APPROVED
 IN MONGOLIA
 ID: A19000455**

Morocco

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 9668 ANRT 2014
 Date d'agrément: 30/09/2014

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 12623 ANRT 2016
 Date d'agrément: 11/10/2016

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 13255 ANRT 2017
 Date d'agrément: 09/02/2017

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 15019 ANRT 2017
 Date d'agrément: 26/10/2017

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 15845 ANRT 2018
 Date d'agrément: 19/02/2018

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 19520 ANRT 2019
 Date d'agrément: 13/04/2019

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 19571 ANRT 2019
 Date d'agrément: 26/04/2019

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 17800 ANRT 2018
 Date d'agrément: 24/10/2018

AGREE PAR L'ANRT MAROC
 Numéro d'agrément: MR 24106 ANRT 2020
 Date d'agrément: 20/05/2020

Nigeria

Connection and use of this communications
 equipment is permitted by the Nigerian
 Communications Commission

Oman

OMAN - TRA
 D080134
 TRA/TA-R/2160/14

OMAN - TRA
 D080134
 TRA/TA-R/3848/17

OMAN - TRA
 D080134
 TRA/TA-R/2609/15

OMAN - TRA
 D080134
 TRA/TA-R/3621/16

OMAN - TRA
 D100428
 TRA/TA-R/0447/15

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/4813/17

OMAN - TRA
D172249
TRA/TA-R/6358/18

OMAN - TRA
D090024
TRA/TA-R/8056/19

OMAN - TRA
D100428
TRA/TA-R/7350/19

OMAN - TRA
D090258
TRA/TA-R/6363/18

Pakistan



Paraguay



- NR: 2019-09-I-0517 (LRR4)
- NR: 2019-04-I-000226 (MIB3)
- NR: 2018-10-I-000492 (BCMevo5)
- NR: 2017-12-I-0000410 (Key PK3)
- NR: 2016-11-I-000293 (Homelink)
- NR: 2016-11-I-000310 (R3TR)
- NR: 2014-10-I-000305

Philippines

NTC
Type Approval No:
ESD-1612188C

NTC
Type Approval No:
ESD-1409770C

NTC
Type Approved
No.: ESD-CPE-19-19424C

NTC
Type Approved
No.: ESD-CPE-16-13726C



Qatar

Approval Ref.: CRA/SM/2019/R-7764 (MIB3)
 Approval Ref.: CRA/SM72018/R-7460 (Homelink)
 Approval Ref.: CRA/SM/2018/R-7340 (BCMevo5)
 Approval Ref.: CRA/SA/2017/R-6610 (PK3)
 Approval Ref.: CRA/SA/2016/R-5808 (R3TR)
 Approval Ref.: CRA/SA/2015/R-4714
 Approval Ref.: CRA/SA/2014/R-4315 (LRR4)

Serbia



34540-1313/16-3
 34540-1020/17-3

Singapore

- Complies with
IMDA Standards
DB107205
- Complies with
IMDA Standards
DB103787
- Complies with
IMDA Standards
N2853-18
- Complies with
IMDA Standards
DB102033

South Africa

-  TA-2014/2597
APPROVED
-  TA-2014/1784
APPROVED
-  TA-2017/2491
APPROVED
-  TA-2016/2759
APPROVED
-  TA-2017/3465
APPROVED

-  TA-2016/3539
APPROVED
-  TA-2017/209
APPROVED
-  TA-2019/5064
APPROVED
-  TA-2016/2568
APPROVED
-  TA-2019/5116
APPROVED
-  TA-2019/978
APPROVED
-  TA-2018/3465
APPROVED

South Korea


ACC (LRR4) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Robert Bosch GmbH

기차재의 명칭(모델명):
특정소출력 무선기기(차량 충돌방지용 레이더 무선기기)

인증번호:
MSIP-CMM-B02-LRR4

제조사/제조국가:
Robert Bosch GmbH/독일




Key (PK3) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Marquardt GmbH

기차재의 명칭(모델명):
특정소출력 무선기기

인증번호:
R-C-MQU-PK3

제조사/제조국가:
Marquardt GmbH/독일




Communication Management (MIB3) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Aptiv Services Deutschland GmbH

기차재의 명칭(모델명):
특정소출력 무선기기

인증번호:
R-R-DDg-MIB3TOPKR1

제조사/제조국가:
Aptiv Services Deutschland GmbH /독일



TPMS 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Huf Electronics Bretten GmbH

기차재의 명칭(모델명):

인증번호:
MSIP-CRM-HEB-TSSRE4DG

제조사/제조국가:
Huf Electronics Bretten GmbH/독일



LCA (R3TR) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Delphi Deutschland GmbH

기차재의 명칭(모델명):
특정소출력 무선기기

인증번호:
R-CRM-DDG-R3TR

제조사/제조국가:
Delphi Deutschland GmbH/독일




Body Control Module (BCMevo5) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Hella GmbH & Co. KGaA

기차재의 명칭(모델명):
미학 견계장도 무선기기

인증번호:
R-R-HLA-BCMevo5

제조사/제조국가:
Hella GmbH & Co. KGaA /독일




Parking Assist (Bluetooth Transceiver) 인증정보

적합성평가를 받은자의 상호:
Continental Advanced Antenna GmbH

기차재의 명칭(모델명):


인증번호:
R-R-Ca3-TRANSCVRP02

제조사/제조국가:
Continental Advanced Antenna GmbH/독일




이 기기는 업무용 환경에서 사용할 목적으로 적합성평가를 받은 기기로서 가정용 환경에서 사용하는 경우 전파간섭의 우려가 있습니다.

Taiwan




CCAK15LP0801T1



CCAEL5LP0190T0




CCAF16LP2450T2




CCAEL8LP0110T0




CCAL19LP2970T8



CCAM17LP1830T7



CCAB16LP13140T4



CCAJ19LP58A0T7

해당 무선 설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條：低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電信。

低功率射頻電機需忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

本器材須經專業工程人員安裝及設定，始得設置使用，且不得直接販售給一般消費者

電磁波警語標示：「減少電磁波影響，請妥適使用
輸入電源需使用所附的 5A 保險絲於產品前端做保護

Thailand

This telecommunication equipment conforms to NTC technical requirements.



เครื่องโทรคมนาคมและอุปกรณ์นี้ มีความสอดคล้องตามมาตรฐานหรือ

ข้อกำหนดทางเทคนิคของ กสทช.

เครื่องวิทยุคมนาคมนี้มีระดับการแผ่คลื่นแม่เหล็กไฟฟ้าสอดคล้องตามมาตรฐานความปลอดภัยต่อสุขภาพของมนุษย์จากการใช้เครื่องวิทยุคมนาคมที่คณะกรรมการกิจการโทรคมนาคมแห่งชาติประกาศกำหนด.

Turkey

Aracınızda çeşitli telsiz ekipmanları bulunmaktadır. Telsiz Ekipmanları Yönetmeliği (2014/53/AB) açısından Türkiye pazarı için telsiz ekipmanı ithalatacıs¹ :

Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş.

Şekerpinar Mahallesi, Anadolu Caddesi, No:22 ve 45, 41420 Çayırova/Kocaeli

Ukraine

Your vehicle features a variety of radio equipment. The manufacturers of this radio equipment declare that it complies with the specifications for its use pursuant to the Technical Regulation on Radio Equipment of Ukraine (Decree 355/2017). This information contains details of the manufacturers and the transmission characteristics of the radio equipment from April 2019. The full text of the relevant Declarations of Conformity is available at the following website:

<https://porsche.ua/accessoriesandservice/porschesevice/>



United Arab Emirates

TRA
REGISTERED No:
ER36213/14
DEALER No.
36785/14

TRA
REGISTERED No:
ER77661/19
DEALER No.
DA65993/17

TRA
REGISTERED No:
ER58762/17
DEALER No.
DA18994/09

1. Bu bilgi sadece resmi temsilcimiz olan Doğuş Otomotiv Servis ve Ticaret A.Ş.'nin ithal ettiği ürünler için geçerlidir.

TRA
REGISTERED No:
ER54754/17

DEALER No.
DA43253/10

TRA
REGISTERED No:
ER72174/19

DEALER No.
DA62437/11

TRA
REGISTERED No:
ER71148/19

DEALER No.
43253/10

TRA
REGISTERED No:
ER61595/18

DEALER No.
65993/17

TRA
REGISTERED No:
ER66073/18

DEALER No.
DA18994/09

TRA
REGISTERED No:
ER50430/16

DEALER No.
DA18994/09

TRA
REGISTERED No:
ER497919/16

DEALER No.
62437/11

TRA
REGISTERED No:
ER38964/15

DEALER No.
DA0018994/09

United States of America

This vehicle includes Radio Frequency Devices that are certified under the following IDs:

FCC ID: IYZ-PK3 (PK3)

FCC ID: LTQ-R3TR (R3TR)

FCC ID: NF3-LRR4 (LRR4)

FCC ID: NBG-BCMEVO5 (BCMev05)

FCC ID: NZL-ADHL5D (Homelink)

FCC ID: OYGTSSRE4UD (TPMS)

FCC ID: XPY-JODYW164 (MIB3)

Radio Frequency Devices and Radio Communication Equipment comply with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. These devices may not cause harmful interference, and
2. These devices must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications made to the equipment not expressly approved by Porsche may void the FCC authorization to operate the equipment.

Radiofrequency radiation exposure Information: The radiated output power of the devices is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the devices shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. Any antenna used with these devices must be located at least 8 inches (20,3 cm) from all persons.

NOTICE: The equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. The equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

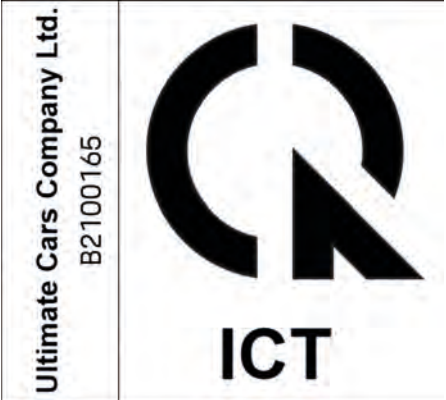
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Uzbekistan



Vietnam





索引

番号と記号

12 V リチウム バッテリー			
ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動...	254		
外部電源	254		
迂回	216		
運転席			
オドメーター	161		
トリップメーター	161		
パワーメーター	159		
ライト調節	48		
警告灯およびインジケーターライト	163		
車両 & 情報ディスプレイ	159		
速度 & アシストディスプレイ	158		
運転席メモリー	72		
運搬 (カートレイン、フェリーなど)			
車両の固定	258		
応急処置セット	243		
横加速度			
表示	159		
横方向の加速度			
表示	161		
音楽			
USB を介した外部機器の接続	207		
アームレスト内のインターフェース	207		
お気に入りの保存 / 編集	211		
再生	209		
対応するデータ形式	304		
画面			
お手入れの諸注意	277		
回生	111		
回生ボタン	160		
灰皿			
開く	250		
掃除する	250		
開閉操作とロック	38		
サイドウィンドウ	31		
パーソナル設定の保存と呼び出し	72		
車両	38		
外部 WiFi ホットスポット	221		
外部電源	254		
各操作部			
フロント ウィンドウワイパー	141		
革			
お手入れの諸注意	276		
距離警告	154		
緊急アシスト	128		
緊急ブレーキ機能			
作動	106		
緊急ロック解除			
ボンネット	34		
緊急警告 (振動による警告)	155		
緊急操作			
車両プラグ	271		
充電ポート リッド	270		
緊急停止機能	128		
ON/OFF の切り替え	129		
オーバーライド	129		
システム制限	128		
一般的な安全に関する指示	128		
警告メッセージ	128		
作動原理	129		
携帯電話			
Bluetooth® 経由で接続する (既知の携帯電話)	229		
Bluetooth® 経由で接続する (新しい携帯電話)	228		
Bluetooth® 経由で接続する (別の携帯電話)	229		
ワイヤレス充電	230		
携帯電話を接続する	228		
収納	230		
携帯電話のワイヤレス充電	230		
携帯電話の収納	230		
経由地を入力する (ナビゲーション)	215		
計器照明			
明るさの調節	48		
警告およびブレーキアシスト	154		
システム制限	154		
ステアリング回避アシスト	155		
ステアリング回避アシストの ON/OFF の切り替え	156		
ターンアシスト	155		
ターンアシストの ON/OFF の切り替え	156		
ブレーキアシスタンス	155		
ブレーキの振動	155		
一般的な安全に関する指示	133		
距離警告	154		
距離警告の ON/OFF の切り替え	156		
距離警告の警告時間の設定	156		
警告およびブレーキアシストの ON/OFF を切り替える	156		
警告メッセージ	154		
作動原理	154		
衝突警告	155		
衝突警告の ON/OFF の切り替え	156		
衝突警告の警告時間の設定	156		
設定機能	156		
予防的乗員保護機能	155		
警告および情報メッセージ	184		
警告灯	163		
警報システム			
ON/OFF の切り替え	28		
機能説明	28		
機能表示	28		
室内モニタリングシステムおよび傾斜センサーを停止する	28		
軽合金製ホイール			
お手入れの諸注意	276		
軽修理			
バンクしたとき	287		
車両が動き出さないように固定してください	287		
車両のけん引	256		
減速			
表示	159		
言語			
調節	198		

個人画面	208	コンフォート アクセスによるロック解除	40	車両充電ポートの高電圧バッテリー充電ステータス表示	
故障		開始	110	およびロックステータス表示	266
キーのバッテリー	30	緊急ロック	44	車両設定	
パワーウィンドウ	32	緊急ロック解除	44	E サウンドの調整	202
故障時電話	271	降車	113	INDIVIDUAL 走行モードの設定	202
データ通信	271	走行	110	PCM 表示の調整	198
作動	272	駐車場	113	RANGE 走行モードの設定	202
故障診断用ソケット	7	停止	113	アシスタンス システムを ON にする	203
交通標識検知		発進	111	インストルメントパネルディスプレイの調整	198
ディスプレイ	153	車両データバンク	296	キーボード設定のコンフィギュレーション	198
制限速度警告表示	153	車両ドア		シャーシ高の調節	202
前方カーブあり警告	153	車内からのロック解除	41	シャーシ設定の調整	202
速度制限の表示	153	車両に近づいたときのロック解除	200	ステアリングホイールのクイックアクセス ボタン	
工具セット		車両のアイドル期間	273	のコンフィギュレーション	200
取り外しと収納	243	車両のお手入れ		タイヤの種類とサイズの設定	280
工場設定		Dinamica	277	タイヤ空気圧モニタリング (TPM)	280
車両設定のリセット	198	アンダーコーティング	274	タイヤ充填情報	280
降車警告	104	ウィンドウ	275	タッチディスプレイ設定の変更	198
高圧洗浄機		エアバッグ	277	トリップデータのリセット	204
取扱説明書	272	シートベルト	277	トリップデータの表示	204
高電圧バッテリー	261	シール	276	ナビゲーション案内の音量調整	199
高電圧バッテリーのお手入れ	273	デコラティブフィルム	274	パーソナル ボタンへの保存	72
高度なオートエアコン	64	ファブリックライニング	277	ボイスコントロールシステムの設定	199
作動準備の確立	110	プラスチック部品	275	ロック オプションの設定	200
作動不良		ヘッドライト	275	ロックおよびロック解除オプションの設定	200
サイドウィンドウの停止位置の保存	32	ホイールボルト	283	ロック解除オプションの設定	200
自動リフト機能	136	リヤスポイラー	118	回生の調整	202
自動減光機能		革	276	空気圧偏差の表示	280
ミラー	85	警告	272	警告音量およびパークアシストの設定	199
自動内気循環モードの設定		軽合金製ホイール	276	言語の設定	198
エアコンシステム	68	高圧洗浄機の使用	272	工場設定へのリセット	198
識別番号	296	車両の保管	278	静電容量ボタンのコンフィギュレーション	200
車台番号	296	洗車	273	設定	197
車内で取扱説明書を開く	178	塗装	274	走行モードの設定	202
車幅灯	121	車両の保管	278	単位の設定	198
車両		車両プラグ (緊急操作)	271	日付と時刻の設定	198
キーでロックする	42	車両プラグの挿入および充電プロセスの開始	265	手書き入力	171
キーによるロック解除	40	車両ホットスポット	221	手書き文字パネル	171
コンフォート アクセスによりロックする	43	車両識別番号	296	収納オプション	232
		車両充電ポートの高電圧バッテリー充電ステータスおよびロックステータス	266	グローブボックス	232
				フロントアームレストの小物入れ	232

充填容量	200	静電容量ボタンのコンフィギュレーション	200	駐車場	
ウォッシャー液	297	積載量		アクティブパーキングサポート	93
充電		ルーフに載せて運ぶ場合	233	サラウンドビュー	132
残りの距離	159	接続		パークアシスト	130
充電 (高電圧バッテリー)		データ接続の確立	221	リバースカメラ	132
タイマー機能	266	接続ステータス	229	通知	196
プロファイル機能	266	接続ステータス	229	フィルタリング	196
安全に関する指示	261	接続マネージャー	206	開く	196
車両プラグの緊急操作	271	設定		通知センター	196
車両プラグの挿入および充電プロセスの開始	265	パーソナル設定の保存と呼び出し	72	停止表示板	243
車両充電ポートの高電圧バッテリー充電ステータス表示およびロックステータス表示	266	車両	197	締め付けトルク	
充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し	265	洗車	273	ホイールボルト	283
充電プランナー	217	全積載		電話	
充電プロセスの終了および車両プラグの取り外し	265	調節	281	Bluetooth® 経由で接続する	228
充電ポートリッド		操作アシスト	98	Bluetooth® 経由で接続する (既知の携帯電話)	229
緊急操作	270	走行モード	107	Bluetooth® 経由で接続する (新しい携帯電話)	228
充電ポートリッドを開く	264	INDIVIDUAL	107	Bluetooth® 経由で接続する (別の携帯電話)	229
渋滞アップデート (ナビゲーション)	216	INDIVIDUAL の設定	108	インストルメントクラスター内の電話情報	230
縦加速度		NORMAL	107	お気に入りの保存 / 編集	229
表示	159	RANGE	107	デバイスマネージャー	206
縦方向の加速度		RANGE の設定	108	ワイヤレス充電	230
表示	161	SPORT	107	収納	230
助手席エアバッグ OFF/ON インジケータ	47	SPORT PLUS	107	接続ステータス	229
助手席シート		警告メッセージ	109	設定の変更	231
運転席からの調整	204	砂利	107	通話中の各種機能	230
助手席ミラー		車両設定	109	番号をダイヤルする	227
パーキングエイドとしての調整	85	選択	107	連絡先の編集	231
格納 / 復帰する	84	走行可能距離	109	塗装	
調節	83	走行時間と走行距離		お手入れ	274
小物入れ		表示	159	お手入れの諸注意	274
フロントアームレストを開く	232	走行準備の確立	111	つや出し (ポリッシュ)	274
収納オプション	232	送風口		汚れ、染みの除去	274
衝突警告	155	調節	65	傷の補修	274
ON/OFF の切り替え	156	惰性走行モード	112	保護する	274
警告時間の設定	156	地図 (ナビゲーション)		登録および有効化	
情報エリア		開く	213	My Porsche への登録	220
設定	159	設定	215	盗難防止機能	28
寸法	297	遅延消灯の設定	123	到着時刻	
		着信に応答する / 拒否する	227	表示	159
				道路交通案内	216
				読書灯	48

- 内気循環モード
ON/OFF の切り替え..... 68
- 内蔵 SIM カード
データ接続の確立..... 221
- 日付
表示..... 159
- 日付と時刻
調節..... 198
- 表示
車両 & 情報..... 159
速度 & アシスト..... 158
- 不凍液
ウォッシャー液の割合..... 295
クーラント内..... 260
- 部分積載
調節..... 281
- 風量を設定する..... 66
- 文字の入力..... 171
- 保存
パーソナル設定..... 72
- 放送局/トラック
表示..... 159
- 放送局の選局 / 保存..... 209
- 方向指示灯..... 125
コンフォート方向指示..... 125
作動..... 125
- 目的地の入力 / 検索..... 213
- 予防的乗員保護機能..... 155
- 連絡先 (電話)..... 227
- A**
ABS (アンチロック ブレーキ システム)..... 138
Android Auto..... 192
Google アシスタント..... 192
Apple CarPlay
Siri..... 194
Apple CarPlay..... 193
iPod と Apple CarPlay の切り替え..... 194
- B**
Bluetooth®
デバイス マネージャー..... 206
携帯電話を接続する..... 228
- C**
Connect..... 220
- D**
DAB
周波数帯の設定..... 209
- F**
FM
周波数帯の設定..... 209
- G**
G-Force ディスプレイ..... 161
Google アシスタント..... 192
GPS 高度
表示..... 159
- H**
HOLD 機能..... 118
一般的な安全に関する指示..... 118
警告メッセージ..... 118
作動..... 119
作動原理..... 119
HUD (ヘッドアップディスプレイ)..... 157
- I**
i-Size システム
i-Size システム付きチャイルド シートの取り付け..... 56
トップテザー..... 56
ISOFIX システム..... 51
ISOFIX システム付きチャイルド シートの取り付け..... 56
トップテザー..... 56
- L**
LED ヘッドライト搭載のボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)..... 123
LED マトリックス ヘッドライト搭載のボルシェ ダイナミック ライト システム プラス (PDLS Plus)..... 124
- M**
My Porsche
Porsche ID による登録..... 220
サービスの設定..... 220
- P**
PASM (ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント)..... 134
PCM
Apple CarPlay..... 193
PCM WiFi ホットスポットの使用..... 221
お手入れの諸注意..... 277
キーボード..... 177
スタート ページの設定..... 208
スタート メニュー..... 208
セントラル ディスプレイ..... 176
テキストおよび文字を入力する..... 177
ホーム画面の設定..... 208
マイ スクリーン設定..... 208
メニューを開く..... 177
外部 WiFi ホットスポットの使用..... 221
警告および情報メッセージ..... 184
個人画面..... 208
時刻または温度ディスプレイの設定..... 177
通知..... 196
表示の調整..... 198
PCM ホットスポット..... 221
PCM 設定アシスタント
開く..... 202
PSM (ボルシェ スタビリティ マネージメント)..... 137
- R**
Race-Tex
お手入れの諸注意..... 277

S					
SIM カード					
電話の使用	227				
Siri	194				
T					
TPM (タイヤ空気圧モニタリング)	278				
U					
USB を介した外部機器の接続	207				
USB 接続	207				
W					
WiFi					
PCM WiFi ホットスポットの使用	221				
デバイス マネージャー	206				
外部 WiFi ホットスポットの使用	221				
A					
アームレスト					
フロント小物入れ	232				
アームレストの接続	207				
アームレスト内のインターフェース					
USB	207				
アカウント	73				
アクティブパーキングサポート	93				
アクティブブレーンキープ					
ON/OFF の切り替え	101				
システム制限	100				
ディスプレイ	101				
一般的な安全に関する指示	99				
作動原理	100				
アシスタンス システム					
設定の変更	200				
アダプティブクルーズコントロール (ACC)					
ON/OFF の切り替え	90				
コントロールの中断と再開	92				
ディスプレイ	90				
ブレーキによる車両停止と再発進	92				
各操作部	89				
作動原理	89				
制御を無効にする	92				
操作ステータス	90				
目標車間距離の変更	91				
目標速度の変更	91				
アッパーベンチレーションパネル	65				
アップデート					
ダウンロード	218				
失敗	219				
取り付け	218				
アプリ	222				
ボルシェ コネクト アプリ	222				
アルミニウム リム					
お手入れの諸注意	276				
アンダーコーティング					
お手入れの諸注意	274				
アンチロック ブレーキ システム (ABS)	138				
アンビエント ライト	48				
カラーの調整	204				
明るさの調節	204				
I					
イージー エントリー機能					
ON にする	204				
イオナイザー					
ON/OFF の切り替え	68				
イモビライザー	28				
インジケーター ライト	163				
インストールメント クラスタ					
オプションの選択および機能の有効化	160				
タイヤ空気圧モニタリング システム	278				
ライト調節	48				
警告灯およびインジケーター ライト	163				
操作	159				
インストールメント パネル	158				
オドメーター	161				
スポーツ クロノストップウォッチ	224				
トリップメーター	161				
パワーメーター	159				
メニュー概要	161				
概要	158				
警告および情報メッセージ	184				
警告灯およびインジケーター ライト	163				
車両 & 情報ディスプレイ	159				
静電容量ボタンのコンフィギュレーション	200				
速度 & アシスト ディスプレイ	158				
表示の調整	198				
インターセクション アシスト	119				
ON/OFF の切り替え	120				
システム制限	119				
ディスプレイ	120				
一般的な安全に関する指示	119				
警告メッセージ	119				
作動原理	120				
インターネット					
データ接続の確立	221				
インテリア ライト					
ON/OFF の切り替え	48				
アンビエント ライト	48				
ライト遅延時間および明るさの設定	200				
減光	48				
インテリジェント充電機能	268				
ウ					
ウインター タイヤ					
一般情報	286				
ウィンドウ					
お手入れの諸注意	275				
フロントウィンドウデフロスター	68				
リヤウィンドウヒーターの ON/OFF の切り替え	69				
ウォッシャー液					
充填容量	297				
追加	295				
不凍液	295				

エ

エアサスペンション (PASM).....	134
エアコンシステム	
A/C MAX モードの ON/OFF の切り替え.....	66
Eco モードの ON/OFF の切り替え.....	67
ON/OFF の切り替え.....	64
アッパーベンチレーションパネル.....	65
イオナイザーの ON/OFF の切り替え.....	68
オート エアコンコントロールを ON にする.....	64
パーソナル設定の保存と呼び出し.....	72
フットウェル温度の設定.....	65
フロントウィンドウデフロスター.....	68
温度の設定.....	66
自動内気循環モードの設定.....	68
送風口を調節する.....	65
内気循環モードの ON/OFF の切り替え.....	68
風量を設定する.....	66
冷房機能の ON/OFF.....	66
エアバッグ	
お手入れの諸注意.....	277
警告灯.....	47
助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え.....	55
エクステリアライト	
ライト遅延時間の設定.....	200
エマージェンシーキー.....	30
エレクトリカルシステム電圧表示.....	159
エレクトリックパーキングブレーキ作動.....	200
オ	
オートマチックカミングホームライト.....	123
オートマチックヘッドライト調節.....	121
オーバーラン回生.....	112
オドメーターの表示とリセット.....	161
オンボードコンピューター	
タイヤ空気圧モニタリングシステム.....	278
メニュー概要.....	161

オンラインサービス	
データ接続の確立.....	221
オンラインソフトウェアアップデート	
ダウンロード.....	218
失敗.....	219
取り付け.....	218
オンラインナビゲーション.....	213
お気に入りの保存 / 編集	
メディア.....	211
電話.....	229
お手入れの諸注意.....	272
PCM.....	277
Race-Text.....	277
アンダーコーティング.....	274
ウィンドウ.....	275
エアバッグ.....	277
カーペット.....	277
シートベルト.....	277
シール.....	276
タッチディスプレイ.....	277
ディスプレイ.....	277
デコラティブフィルム.....	274
ファブリックライニング.....	277
フロアマット.....	277
ホイールボルト.....	283
画面.....	277
革.....	276
軽合金製ホイール.....	276
高電圧バッテリー.....	273
車両の保管.....	278
車両を長期間アイドル状態にする場合の注意点.....	273
洗車.....	273
塗装.....	274
カ	
カーペット.....	277
お手入れの諸注意.....	277
カップホルダー.....	241
カメラ	
概要.....	21

キ

キー.....	29
エマージェンシーキーの取り出し.....	30
パーソナル設定の保存と呼び出し.....	72
バッテリーの交換.....	29
車両のロック.....	42
車両のロック解除.....	40
キー (リモートコントロール)	
サイドウィンドウの開閉 (コンフォートアクセス非装備車).....	32
キーボード.....	177
調節.....	198
キャリアーの取り付け.....	233
ク	
クーラント.....	260
クルーズコントロール.....	151
クルーズコントロール.....	151
一般的な安全に関する指示.....	151
各操作部.....	151
警告メッセージ.....	151
作動.....	152
作動原理.....	151
クルーズコントロール (CC)	
ON/OFF の切り替え.....	152
ディスプレイ.....	151
制御のキャンセル.....	153
制御の再開.....	153
目標速度の変更.....	152
グローブボックス	
収納スペース.....	232
けん引	
けん引フックをゆるめます.....	257
けん引ロープまたはけん引バーの使用.....	257
一般情報.....	256
けん引フックをゆるめます	
工具セット内.....	243

コ			
コマンドの例	183		
コンパス			
表示	159		
コンフォート アクセス			
作動原理	40		
車両のロック	42		
車両のロック解除	40		
コンフォートメモリーパッケージ	72		
サ			
サービスポジション	142		
サイドウィンドウ			
キーによる開閉 (リモートコントロール)	32		
開閉操作	31		
停止位置の保存	32		
サウンド設定			
トレブルおよびバスの設定	199		
バランス / フェーダー	199		
サマータイヤ			
収納スペース	286		
サラウンドビュー	132		
サンバイザー	82		
シ			
シート			
シート位置の調節	77		
シート位置の保存と呼び出し	72		
フロントシートの調節	77		
ベビーキャリア	55		
リヤシートバックレストを前方または後方へ倒す	78		
シートヒーターバランス			
調節	204		
シートヒーターをON/OFFにする	80		
シートベルト			
インストールメント クラスターの警告灯	76		
お手入れの諸注意	277		
シートベルトプリテンショナー	75		
		ベルトバックルを解除してシートベルトを外す	75
		警告	75
		警告メッセージ	76
		着用	75
		シートベンチレーター バランス	
		調節	204
		シートベンチレーターをON/OFFにする	80
		シートメモリー	72
		シート位置の調節	77
		シーラント / シールセット	
		損傷したタイヤ用	287
		シール	
		お手入れの諸注意	276
		ジェスチャー	171
		シャーシ高の選択	135
		シャーシ設定の選択	134
		ジャッキ	
		エアサスペンション装備車のリフティングに関する情報	135
		車両のリフトアップ	294
		ジャンパーケーブルによるエンジンの始動	254
		外部電源	254
		ス	
		スキーバッグ	
		スキー / スノーボードの収納	249
		スタートメニュー	208
		ステアリングホイール	
		クイックアクセス ボタンのコンフィギュレーション	200
		ヒーターのON/OFFの切り替え	71
		調節	71
		ステアリングホイールヒーターのON/OFFの切り替え	72
		ステアリングホイールのクイックアクセス ボタンのコンフィギュレーション	200
		ステアリング回避アシスト	155
		ストップウォッチ	224
		スノーチェーン	
		一般情報	286
		スピードリミッター	114
		作動原理	115
		スピードリミッター (LIM)	
		ON/OFFの切り替え	116
		アダプティブスピードリミッター	117
		システム制限	115
		ディスプレイ	115
		一時的に無効にする	117
		一般的な安全に関する指示	114
		各操作部	115
		最高速度の設定	117
		最高速度の変更	116
		中断と再開	116
		有効化	116
		スペアホイール	289
		スポイラー	118
		リヤスポイラー	118
		一般的な安全に関する指示	118
		警告メッセージ	118
		作動原理	118
		手動クリーニング位置の設定	200
		清掃位置	118
		スポーツクロノストップウォッチ	224
		スポーツクロノモードスイッチ	107
		スマートサービス	223
		スマートフォン	
		Bluetooth® 経由で接続する	228
		ワイヤレス充電	230
		収納	230
		スモーカーズパッケージ	250
		セ	
		セーフロック	42
		セキュリティコード	220
		センサー	
		概要	21
		センターアームレスト	
		フロント小物入れ	232

センターコンソールコントロールパネル			
クイックフィルター	169		
リモートコントロール	169		
手書き入力	178		
操作	171		
セントラルディスプレイ	176		
Android Auto	192		
スタートページの設定	208		
スタートメニュー	208		
スマートサービス	223		
ホーム画面の設定	208		
マイスクリーン設定	208		
警告および情報メッセージ	184		
個人画面	208		
通知	196		
セントラルディスプレイで取扱説明書を開く	178		
セントラルロック	38		
キーでロックする	42		
キーによる車両のロック解除	40		
コンフォートアクセスによりロックする	42		
コンフォートアクセスによる車両のロック解除	40		
パーソナル設定の保存と呼び出し	72		
調節	44		
ソ			
ソース(メディア)の選択	209		
ソフトウェア情報			
ソフトウェア構成部品の表示	202		
バージョン情報の表示	202		
タ			
ターンアシスト	155		
ON/OFFの切り替え	156		
タイダウンリング			
使用	249		
ダイナミックハイビーム			
作動	200		
タイマー機能	266		
タイヤ	278		
ウィンタータイヤ(一般情報)	286		
シーラント	287		
スノーチェーン(一般情報)	286		
タイヤバルブ	282		
タイヤの種類とサイズの設定	280		
タイヤ空気圧の点検	278		
タイヤ空気圧プレート	296		
タイヤ交換(一般情報)	285		
タイヤ表記	281		
トレッドの深さ	282		
パンク修理	287		
空気圧偏差の表示	280		
収納スペース	286		
新しいタイヤをタイヤ空気圧モニタリング(TPM)に登録する	281		
全積載または部分積載の設定	281		
タイヤシーラント			
取り外しと収納	243		
タイヤシーラント/シールセット			
損傷したタイヤ用	287		
タイヤバルブ			
タイヤ	282		
タイヤモビリティシステム-TMS			
取り外しと収納	243		
タイヤ空気圧			
インストールメントクラスターで開く	278		
システムは登録中	281		
点検	278		
タイヤ空気圧プレート	296		
タイヤ空気圧モニタリング(TPM)	278		
開く	280		
設定	280		
登録中	281		
タイヤ空気圧警告灯	163		
タイヤ空気圧表	301		
タイヤ選択	200		
タッチディスプレイ			
お手入れの諸注意	277		
表示の調整	198		
チ			
チャイルドシート			
i-Size システム付きの取り付け	56		
ISOFIX システム付きの取り付け	56		
トップテザー	56		
取り付け	55		
助手席エアバッグのON/OFFの切り替え	55		
正しい取り付け位置の徹底	51		
正しく使用する	50		
適切な体重およびサイズグループの使用	50		
チャイルドプロテクション			
リヤでの操作を無効にする	32		
チャイルドロック	44		
リヤシート	32		
ツ			
ツアーを計画する(ナビゲーション)	215		
ツール	243		
テ			
ディスプレイ			
お手入れの諸注意	277		
データ接続			
デバイス マネージャー	206		
外部WiFiホットスポット	221		
確立(内蔵SIMカード)	221		
車両ホットスポットの使用	221		
テキストメッセージの表示/編集	212		
テキストメッセージの表示および編集	212		
テクニカルデータ			
充填容量	297		
デコラティブフィルム			
お手入れの諸注意	274		
デジタル取扱説明書			
アプリ	2		
車載	2		
デバイス マネージャー	206		

ト			
ドア			
キーでロックする.....	42		
コンフォート アクセスによりロックする.....	43		
緊急ロック.....	44		
緊急ロック解除.....	44		
ドア ミラー			
パーキング エイドとしての調整.....	85		
格納 / 復帰する.....	84		
設定の保存 (メモリー).....	84		
調節.....	83		
ドア ミラー ヒーターの ON/OFF の切り替え.....	69		
ドアの緊急ロック.....	44		
ドアの緊急ロック解除.....	44		
トップテザー			
トップテザー付きチャイルド シートの取り付け	56		
トップテザーを通す			
ISOFIX テザー付きチャイルド シートの取り付け	56		
トラベルモード			
ライト.....	126		
トランスミッション レンジ.....	110		
トリップメーターの表示とリセット.....	161		
ドリンクホルダー.....	241		
トルク			
ホイールボルトの締め付けトルク.....	283		
トレイ (電話).....	230		
トレッドの深さ			
タイヤ.....	282		
ナ			
ナイトビューアシスト			
ON/OFF の切り替え.....	128		
カメラの清掃.....	128		
システム制限.....	127		
ディスプレイ.....	128		
一般的な安全に関する指示.....	127		
警告メッセージ.....	127		
警告時間の設定.....	128		
作動原理.....	127		
動物警告.....	127		
歩行者警告.....	127		
ナビゲーション.....	213		
GPS 座標の入力.....	213		
インストルメント クラスターのマップビューおよびナビゲーション情報.....	217		
ツアーを計画する.....	215		
トリップ概要.....	216		
ボルシェ インテリジェント レンジ マネージャー (PIRM).....	217		
経由地を入力する.....	215		
交通渋滞の回避.....	216		
交通情報通知の表示.....	216		
充電プランナー.....	217		
設定.....	218		
地図コンテンツの設定.....	215		
地図画面の表示 / 設定.....	217		
目的地の入力 / 検索.....	213		
ハ			
パーキング			
リモートパーキング.....	96		
パーキングアシスタント			
リモートパーキング.....	96		
リヤクロスストラフィックアラート.....	103		
操作アシスト.....	98		
パーキングエイド			
ミラー ガラスの下向き切り替え.....	85		
パークアシスト			
サラウンドビュー.....	132		
リバースカメラ.....	132		
リヤクロスストラフィックアラート.....	103		
パーソナル設定の呼び出し.....	72		
ハイビームヘッドライト			
ハイビームレバー.....	125		
ハザードライト.....	125		
ハザードライトの ON/OFF.....	125		
バッテリー			
お手入れ.....	253		
ジャンパー ケーブルによるエンジンの始動.....	254		
バッテリー上の安全シンボル.....	253		
リチウム バッテリー.....	254		
外部電源.....	254		
交換 (リチウム バッテリー).....	254		
車両電気リカルシステムの警告 (リチウム バッテリー).....	254		
充電 (リチウム バッテリー).....	254		
接続後の作業 (リチウム バッテリー).....	254		
バッテリーの交換			
キー.....	29		
バッテリー温度			
表示.....	159		
バッテリー充電			
表示.....	159		
パニティー ミラー.....	82		
パワーウィンドウ			
キーによるサイドウィンドウの開閉 (リモートコントロール).....	32		
サイドウィンドウの開閉.....	31		
ドアハンドルの近接センサーでサイドウィンドウを閉じる (コンフォート アクセス装備車).....	32		
停止位置の保存.....	32		
パワーウィンドウの停止位置の保存.....	32		
パワーメーター.....	159		
ヒ			
ビデオ			
対応するデータ形式.....	304		
ヒューズ			
ヒューズボックス.....	290		
ヒューズの割り当て.....	290		
ヒューズの交換.....	290		
ヒューズ割り当て、ダッシュボード、右.....	291		
ヒューズ割り当て、ダッシュボード、左.....	291		
ヒューズ割り当て、右フットウェル.....	293		
ヒューズ割り当て、左フットウェル.....	292		

フ

ファブリックライニング お手入れの諸注意	277
ファンクションオンデマンド (FoD) アクティベーションの失敗	205
ダウンロード	204
購入	204
無効化	205
有効化	205
ファンの設定 エアコンシステム	66
フットウェル温度 調節	65
プライバシー 設定の変更	201
プラグ & 充電	268
プラグソケット (12 V)	251
フルードおよび燃料 ウォッシャー液	297
ぶれいりすとをひらく	209
ブレーキ ブレーキパッドとブレーキディスク	106
ブレーキパッドの警告シンボル	106
ホルシェサーフェスコーテッドブレーキ (PSCB)	106
一般的な安全に関する指示	105
慣らしおよび清掃	106
緊急ブレーキ機能	106
ブレーキアシスタンス	155
ブレーキフルード ブレーキフルードレベルの点検	259
ブレーキフルードの交換	259
フロアマット お手入れの諸注意	277
プロファイルトリムの閉鎖	241
プロファイル機能	266
フロントウィンドウ デフロスター	68

フロントウィンドウウォッシャーシステム ウォッシャー液の追加	295
充填容量	297
不凍液	295
フロントウィンドウワイパー スプレーおよびワイパー作動	142
リバースカメラの清掃	143
レインセンサーの感度を設定する	141
レインセンサーを ON にする	141
ワイパーブレードの交換	142
ワイパーのワンタッチ機能	142
ワイパーの連続作動を ON にする	141
ワンタッチ機能	141
各操作部	141
フロントシート 調節	77
フロントウィンドウワイパー お手入れの諸注意	275
フロント助手席ディスプレイ	179
手書き入力	180
操作	180

へ

ヘッドアップ 操作	159
ヘッドアップディスプレイ (HUD)	157
ヘッドライト お手入れの諸注意	275
トラベルモード	126
バルブの交換	126
調節	126
ベビーキャリア	55
ベビーシート 助手席エアバッグの ON/OFF の切り替え	55
ベルト シートベルトプリテンショナー	75
警告	75

ホ

ホイール ウィンタータイヤ (一般情報)	286
スノーチェーン (一般情報)	286
タイヤシーラント	287
タイヤバルブ	282
タイヤモビリティシステム - TMS	287
タイヤ空気圧プレート	296
タイヤ交換 (一般情報)	285
タイヤ表記	281
パンク修理	287
ホイールボルト (お手入れの諸注意)	283
交換	283
収納スペース	286
締め付けトルク	283
盗難防止ホイールボルト (レンチソケット)	284
ホイールボルト	283
ホイールおよびタイヤのサイズ	301
ホイールのお手入れ	276
ボイスコマンドの発話	183
ボイスコントロール Google アシスタント	181
Siri	192
コマンドの例	183
ボイスコマンドの発話	183
ボイスコントロールの使用	182
自然なボイスコマンドを発話する	183
設定	184
調節	199
ボイスコントロールによるリストの使用	183
ボイスコントロールのヘルプ	184
ボイスコントロールの使用	182
ボイスコントロール設定	184
ボイスメールを聞く	227
ホットスポット PCM WiFi ホットスポットの使用	221
外部 WiFi ホットスポットの使用	221
ボトルホルダー	241

ボルシェ アクティブ サスペンション マネージメント (PASM).....	134	ボネット		再生.....	209
シャーシ高の選択.....	135	開く.....	33	設定の変更.....	211
シャーシ設定の選択.....	134	緊急ロック解除.....	34	対応するメディアおよびデータ形式.....	304
レベリングシステムを OFF にする (車両ジャッキモード).....	135	閉じる.....	34	放送局の選局 / 保存.....	209
ボルシェ インテリジェント レンジ マネージャー (PIRM).....	217	マ		メディアを再生する.....	211
ボルシェ コネクト.....	220	マウント部品の取り付け.....	241	メニューバー.....	
サービス概要を表示.....	222	マッサージプログラム		クイック フィルター.....	169
セキュリティコード.....	220	調節.....	204	メモリー パッケージ.....	72
データ接続の確立.....	221	マッサージの強さ		メンテナンス	
データ保護通知の表示.....	201	調節.....	204	ウォッシュ液の追加.....	295
ユーザー (Porsche ID) でログインする.....	220	マルチ コリジョン ブレーキング.....	139	モ	
ユーザー (Porsche ID) で車両にログインする.....	220	マルチファンクション ステアリング ホイール		モード スイッチ.....	107
ユーザー (Porsche ID) の管理.....	221	ボタンを押す.....	159	モバイル データ (接続).....	221
リモート アクセス権限の付与.....	222	回生ボタン.....	160	ラ	
管理と設定.....	221	マルチファンクション ステアリング ホイールのファンクション ボタン.....	159	ライト	
設定の変更.....	201	マルチファンクション ステアリング ホイールのボタン.....	159	LED ヘッドライト搭載の PDLs Plus.....	123
法的通知の表示.....	201	マルチモーダル マップ.....	183	LED マトリックス ヘッドライト搭載の PDLs Plus.....	124
ボルシェ コネクト アプリ.....	222	ニ		OFF にする.....	122
WiFi 経由で PCM に接続する.....	222	ミラー		アンビエント ライト.....	48
ボルシェ コミュニケーション マネージメント システム (PCM)		ドア ミラー ヒーター.....	69	インテリア ライト.....	48
セントラル ディスプレイ.....	176	ドア ミラーの格納 / 復帰.....	84	エクステリア ライト.....	121
車内で取扱説明書を開く.....	178	ドア ミラーの調節.....	83	エントリー / イグジット 機能.....	123
ボルシェ サーフেস コーテッド ブレーキ (PSCB).....	106	ドア ミラー設定の保存 (メモリー).....	84	オートマチック カミング ホーム ライト.....	123
ボルシェ スタビリティ マネージメント (PSM).....	137	パーキング エイドとしてのドア ミラー調整.....	85	オートマチック ヘッドライト.....	121
PSM スポーツの作動.....	138	パニティー ミラー.....	82	オートマチック ヘッドライト 較正.....	124
作動原理.....	137	自動減光機能.....	85	お手入れの諸注意.....	275
ボルシェ 車両追跡システム (PVTS)		自動減光機能.....	85	ダイナミック コーナリング ライト.....	123
サービス.....	140	ミラーの折り畳み.....	200	ダイナミック ハイ ビーム.....	123, 124
操作.....	139	メ		ダイナミック ハイ ビームの ON/OFF の切り替え.....	125
輸送.....	140	メッセージ.....	212	トラベルモード.....	126
ボルシェ 車両追跡システム プラス (PVTS プラス)		メディア.....	209	トラベルモードの設定.....	200
サービス.....	140	USB を介した外部機器の接続.....	207	パーキング ライトの ON/OFF の切り替え.....	125
ドライバー カードの緊急停止.....	140	アームレスト内のインターフェース.....	207	ハイ ビームの ON/OFF の切り替え.....	125
ドライバー カードの不具合.....	139	お気に入りの保存 / 編集.....	211	ハザード ライト.....	125
操作.....	139	ソースの選択.....	209	パッシング ライト.....	124
輸送.....	140	閲覧.....	209	バルブの交換.....	126
				ヘッドライト パッシング.....	125

リヤフォグライト.....	121	リヤ スポイラー		□	
ロー ビーム.....	121	作動原理.....	118	ロー ビーム.....	121
悪天候のライト.....	123	清掃位置へ動かす.....	118	ローンチ コントロール.....	111
一般的な安全に関する指示.....	122	リヤ ターン アシスト.....	147	ロック	
概要.....	121	リヤ フォグライト.....	121	キーで車両をロックする.....	42
警告メッセージ.....	122	配光の適応.....	123	コンフォート アクセスにより車両をロックする.....	42
検知ライト.....	124	リヤ リッド		セーフロック.....	42
高速道路ライト.....	123	開く.....	36	車内から車両をロックする.....	43
車幅灯.....	121	開く高さの調整.....	37	車両の緊急ロック.....	44
状況に応じたライト配光.....	123	リヤ ロール アップ ブラインド.....	245	ロック オプション	
遅延消灯の設定.....	123	ル		調節.....	200
標識の眩しさの軽減.....	124	ルーフ トランスポート システム		ロック解除	
方向指示灯.....	125	キャリアーの取り付け.....	233	キーによる車両のロック解除.....	40
霧機能.....	123	プロファイル トリムの閉鎖.....	241	コンフォート アクセスによる車両のロック解除.....	40
ライト バルブ.....	126	マウント部品の取り付け.....	241	ボンネットのロック解除および開閉操作.....	33
ラゲッジ コンパートメント.....	243	ルーフに荷物を載せて運ぶ場合.....	233	リヤ リッドのロック解除および開閉操作.....	36
開く.....	33, 36	ルーム ミラー		車内からの車両のロック解除.....	41
緊急ロック解除.....	34	減光.....	85	車両の緊急ロック解除.....	44
閉じる.....	34	調節.....	85	ロック解除オプション	
ラゲッジ コンパートメント カバー.....	245	レ		調節.....	200
ラジオ.....	209	レーン キープ アシスト.....	144	ワ	
オンライン ラジオ.....	209	ON/OFF の切り替え.....	146	ワイパー ブレード	
お気に入りの保存 / 編集.....	211	作動原理.....	145	お手入れの諸注意.....	275
周波数帯の設定.....	209	レーン チェンジ アシスト (LCA).....	147	ワイヤレス インターネット アクセス.....	221
放送局の選局 / 保存.....	209	ON/OFF の切り替え.....	148		
リ		システム制限.....	147		
リパース カメラ.....	132	ディスプレイ.....	148		
リモート コントロール.....	29	リヤ ターン アシスト.....	147		
車両のロック.....	42	リヤ 衝突警告.....	148		
車両のロック解除.....	40	一般的な安全に関する指示.....	147		
リモート パーキング.....	96	運転状況.....	149		
リヤ ウィンドウ		画面の明るさの設定.....	148		
ヒーターの ON/OFF の切り替え.....	69	警告メッセージ.....	147		
リヤ クロス トラフィック アラート.....	103	作動原理.....	148		
リヤ シート		情報および警告ステージ.....	148		
チャイルド ロック.....	32				
リヤ シート バックレストを前方に倒す.....	78				
リヤ シート 収納スペース.....	78				
リヤ シェルフ.....	245				

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ポルシェ・カスタマーケアセンター

フリーダイヤル：0120-846-911

車両受領証
(販売店で保管)

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

販売店スタンプ

日時

お客様の署名